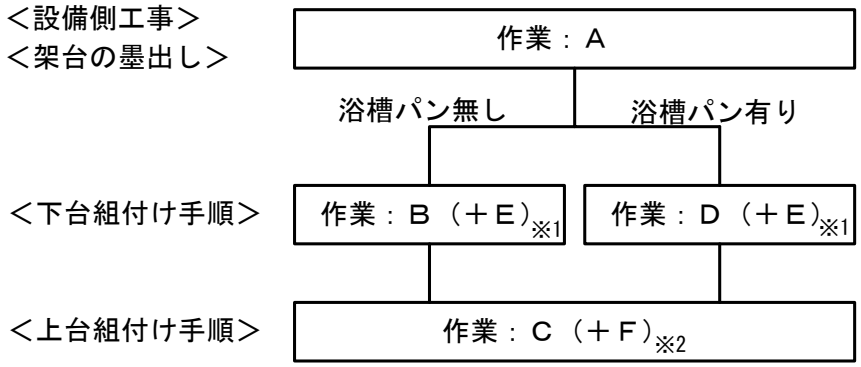
XⅡ．設置手順

設置手順説明

◇設置工程作業一覧

作業	設置工程	参照項
A	設備側工事及び架台の墨出し （全仕様共通）	P.80～
B	浴槽パン無し 下台組付け 基本手順	P.94～
C	上台組付け 基本手順 （全仕様共通）	P.113～
D	浴槽パン有り 下台組付け 基本手順	P.185～
E	その他仕様 下台組付け 手順	P.225～
F	１８１８サイズ　壁パネル組付け　手順	P.250～

◇設置手順　※１８１８サイズの場合、作業Ｆも参照のこと。



※1.上記の手順は　浴槽パン無し仕様の場合、「戸建、フレーム架台、FRP洗場」を示す。
浴槽パン有り仕様の場合、「階上、ボルト架台、FRP洗場」を示す。
その他の架台、洗場の場合は 作業E も参照すること。
※2.1818サイズの場合は 作業F も参照すること。

ユニット仕様は、サイズ以外にも浴槽パンの有無、架台タイプ、洗場タイプにより
バリエーションがあり、浴槽パン有り・無し仕様ユニットにおいて下表(ユニット仕様一覧)
に示す『標準』を基本手順としています。

◇ユニット仕様一覧

架台タイプ	戸建				階上	
	フレーム		ボルト		フレーム	ボルト
洗場タイプ	ＦＲＰ	タフロア	ＦＲＰ	タフロア	ＦＲＰ	
浴槽パン無し仕様	標準	その他	その他	その他	その他	その他
浴槽パン有り仕様	その他	その他	その他	その他	その他	標準

作業：Ａ　設備側工事及び架台の墨出し手順

〈設備側工事〉

基礎工事	P.81～
給水給湯管の立上げ	P.83～
外部排水管の設置	P.84～

〈架台の墨出し〉

架台の墨出し	P.86～

〈設備側工事〉

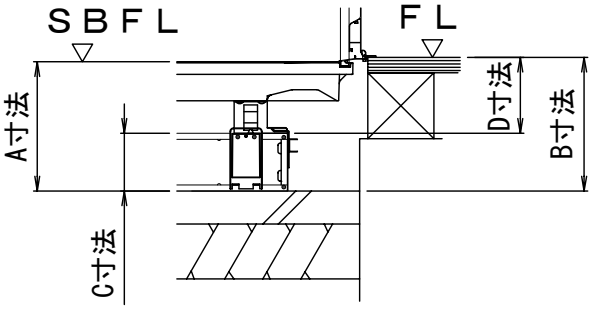
1. 床の納まり(基礎工事)

※この項目は設備側の作業区分になりますので
事前に依頼してください。

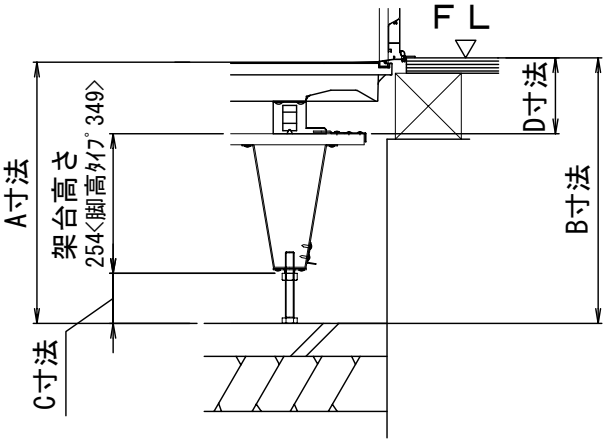
・浴室入口の沓ずり高さ調整のためにシステムバスをかさ上げする必要がある場合には
下図のように全体をかさ上げして基礎を築く。

■戸建て用

フレーム架台の場合



ボルト脚架台の場合



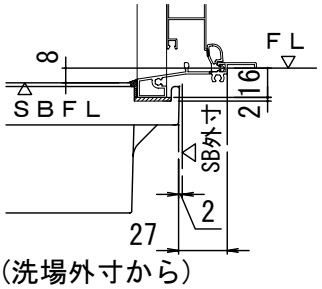
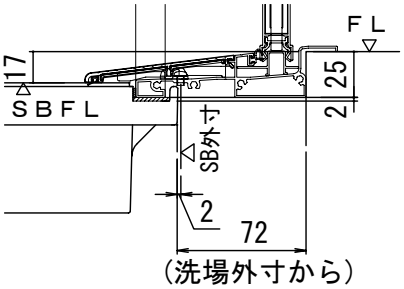
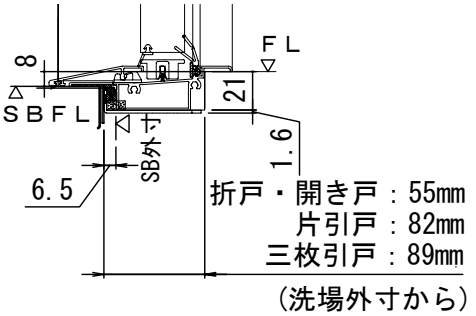
①FRP洗場の場合

	A寸法 (SBFLから)	B寸法 (FLから)		C寸法	D寸法	
		折れ戸・開き戸	片引戸・三枚引戸		折れ戸 開き戸	片引戸 三枚引戸
フレーム架台	235	243	252	105	138	147
ボルト脚架台	410～505	418～513	427～522	26～121	138	147
脚高ボルト脚架台	505～600	513～608	522～617	26～121	138	147

②ﾀﾌﾛｱの場合

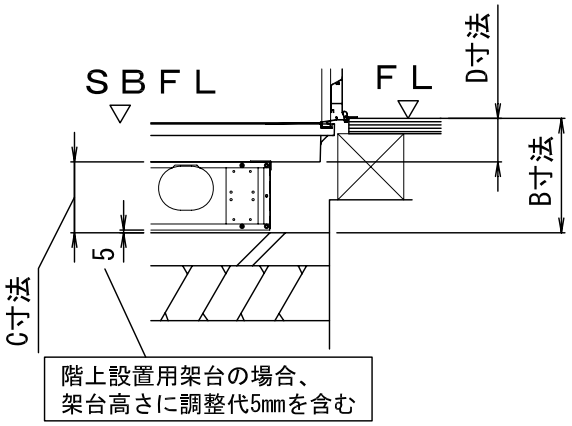
	A寸法 (SBFLから)	B寸法 (FLから)	C寸法	D寸法
フレーム架台	223	231	105	126
ボルト脚架台	398～493	406～501	26～121	126

〈ドア部詳細取り合い図〉

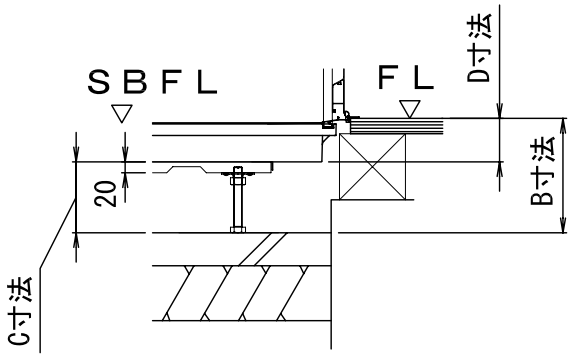
FRP洗場		ﾀﾌﾛｱ
折戸・開き戸	片引戸・三枚引戸	全てのドア
		
(洗場外寸から)	(洗場外寸から)	(洗場外寸から)

■ 階上設置用

フレーム架台の場合



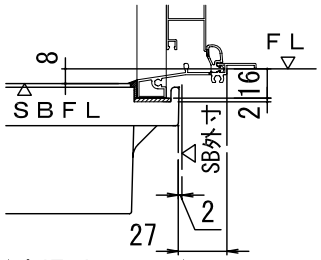
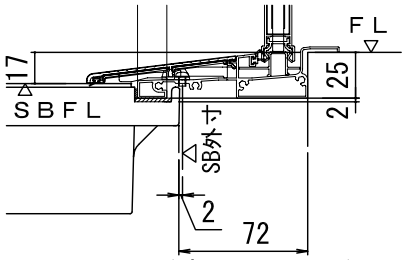
ボルト脚架台の場合



①FRP洗場の場合

	B寸法 (FLから)		C寸法	D寸法	
	折れ戸 開き戸	片引戸 三枚引戸		折れ戸 開き戸	片引戸 三枚引戸
フレーム架台	208	217	洗場側： 129 浴槽側： 70	洗場側：79 浴槽側：138	洗場側：88 浴槽側：147
ボルト脚架台	208 (199～219)	217 (208～228)	洗場側： 129 (120～140) 浴槽側： 70 (61～81)	洗場側：79 浴槽側：138	洗場側：88 浴槽側：147

〈ドア部詳細取り合い図〉

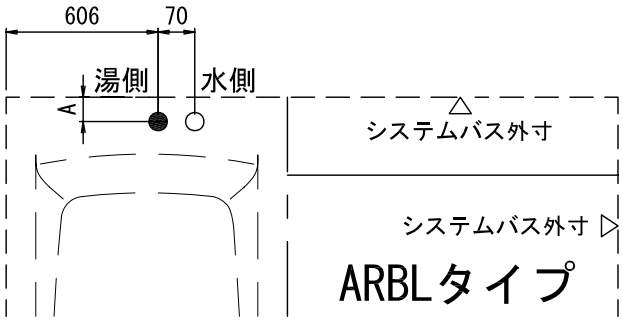
FRP洗場	
折戸・開き戸	片引戸・三枚引戸
 (洗場外寸から)	 (洗場外寸から)

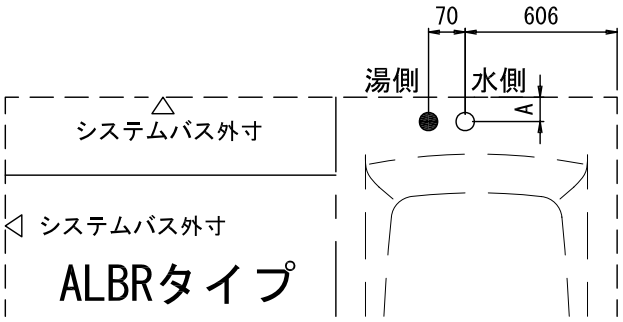
2. 給水給湯管の立上げ

※この項目は設備側の作業区分になりますので
事前に依頼してください。

・給水、給湯管とも断熱材を巻き、下図の位置に立ち上げる。

・給水給湯管の立ち上げは、排水管と重ならないように注意してください。
・給水給湯管は、できるだけ基礎にそわせて立ち上げてください。





※洗場１水栓仕様は、2水栓仕様と共通です。

	A
1620タイプ	91
1616/1618/1818/S1216タイプ 1418/1317/1216/1116タイプ	83

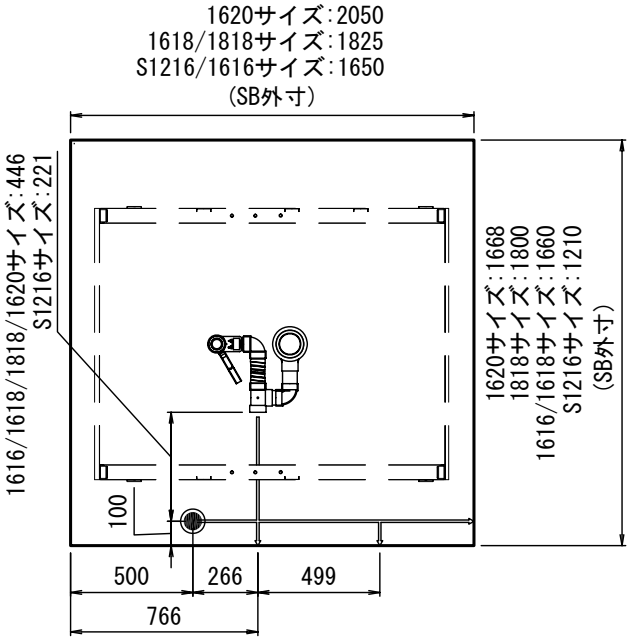
	立ち上げ高さ (架台底面より)
戸建て用　フレーム架台	320
戸建て用　ボルト脚架台	560
階上設置用　フレーム架台	285

3. 外部排水管の設置

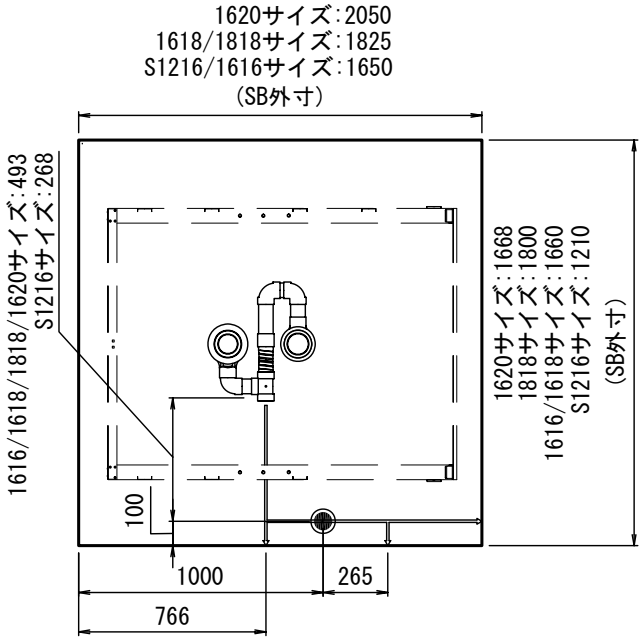
※この項目は設備側の作業区分になりますので
事前に依頼してください。

・下図は、ユニット側排水配管取出し可能位置を示す。
下図を参照の上、外部排水管を設置する。
・ユニット側の使用配管は、VU-50 を使用する。
※図は、ARBLタイプを示します。ALBRタイプは対称です。

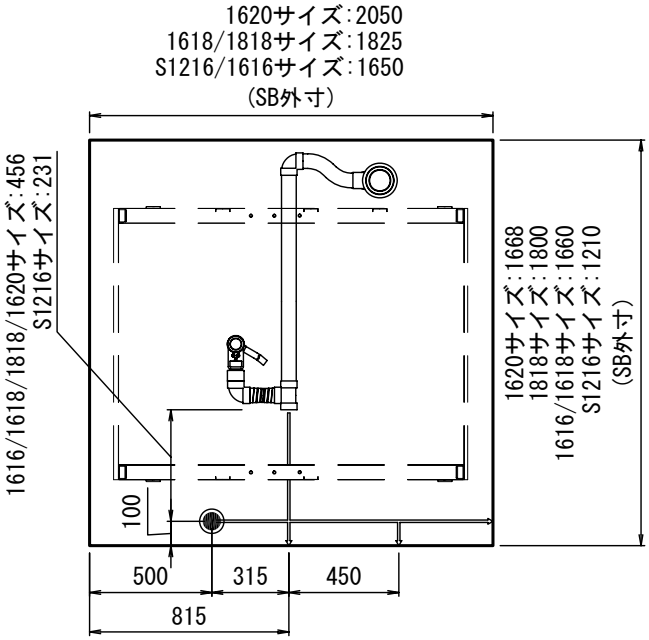
■戸建て用



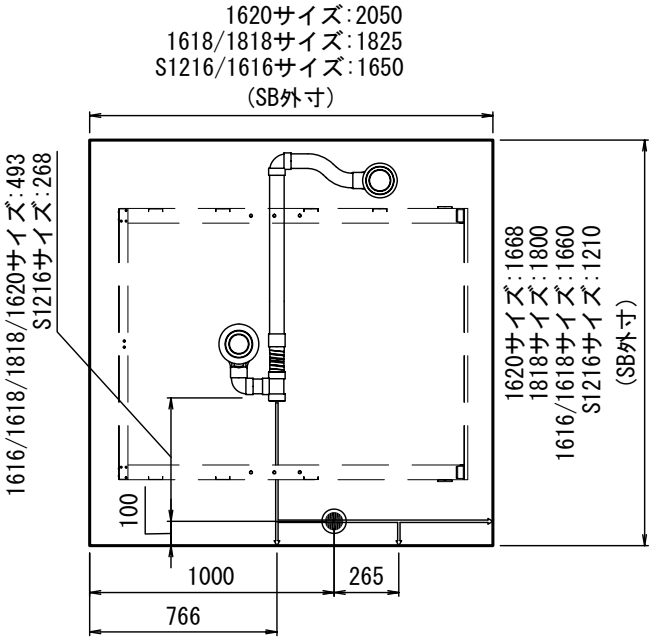
FRP洗場
浴槽パン無し仕様



FRP洗場
浴槽パン有り仕様



タフロア
浴槽パン無し仕様



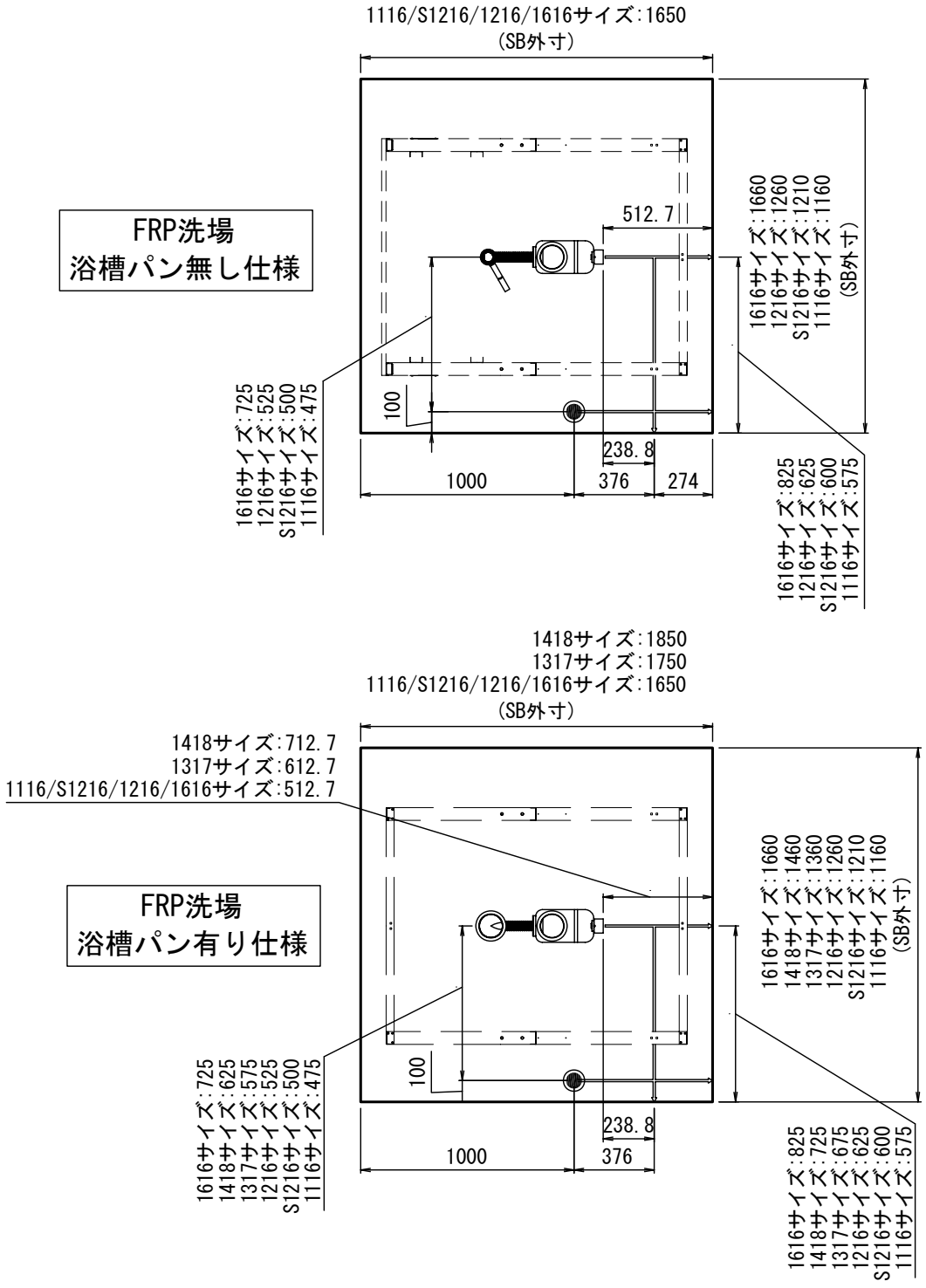
タフロア
浴槽パン有り仕様

図中の ◉ は、排水管推奨立上げ位置を示します。

※この項目は設備側の作業区分になりますので
事前に依頼してください。

・下図は、ユニット側排水配管取出し可能位置を示す。
下図を参照の上、外部排水管を設置する。
・ユニット側の使用配管は、VP-50 を使用する。
※図は、ARBLタイプを示します。ALBRタイプは対称です。

■階上設置用



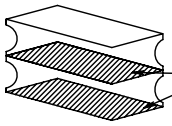
図中の ◉ は、排水管推奨立上げ位置を示します。

〈架台の墨出し〉

※ここからがシステムバス設置作業です。

：ブロック（390x190）

ブロックの固定方法



全面をコンクリートボンドで接着

架台の墨出し

①戸建て用フレーム架台の場合

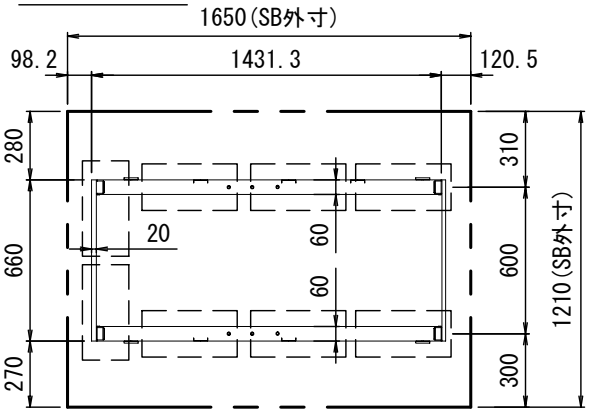
・据付け位置の墨出しをする。

・下図は、ハーフユニットの本体と架台、ブロック位置を示す。

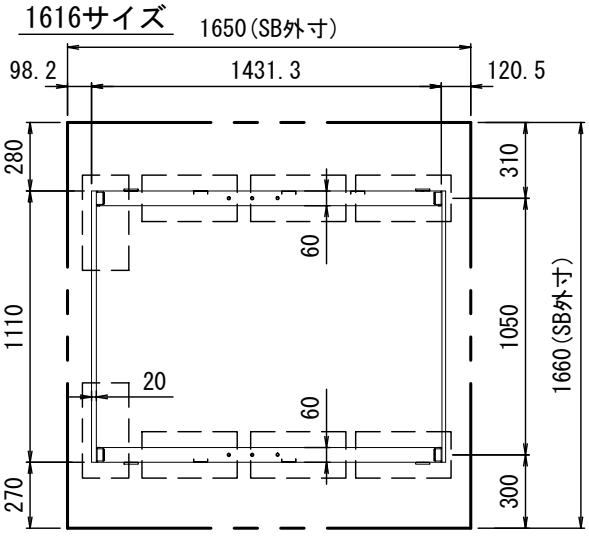
※図は、ARBLタイプを示します。ALBRタイプは対称です。

浴槽パンなし仕様

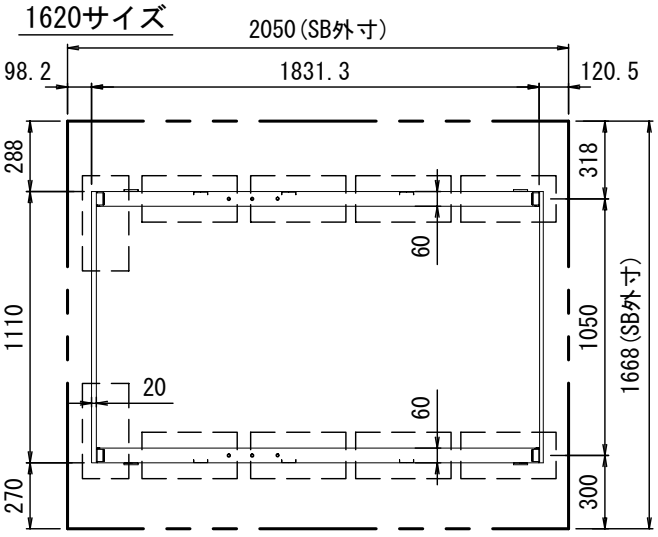
S1216サイズ



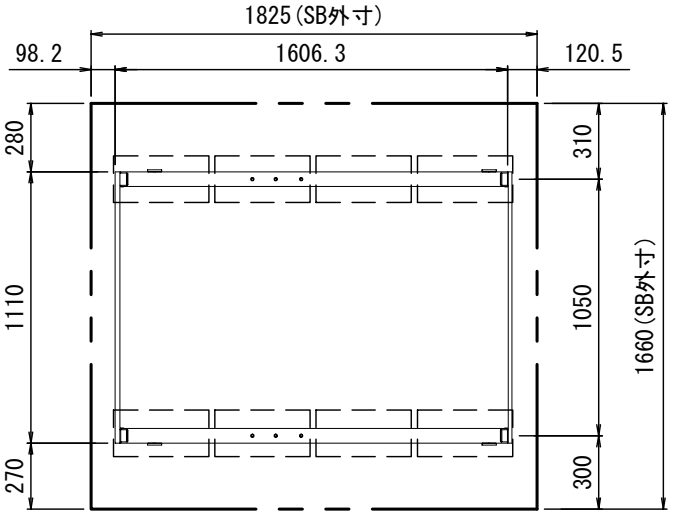
1616サイズ



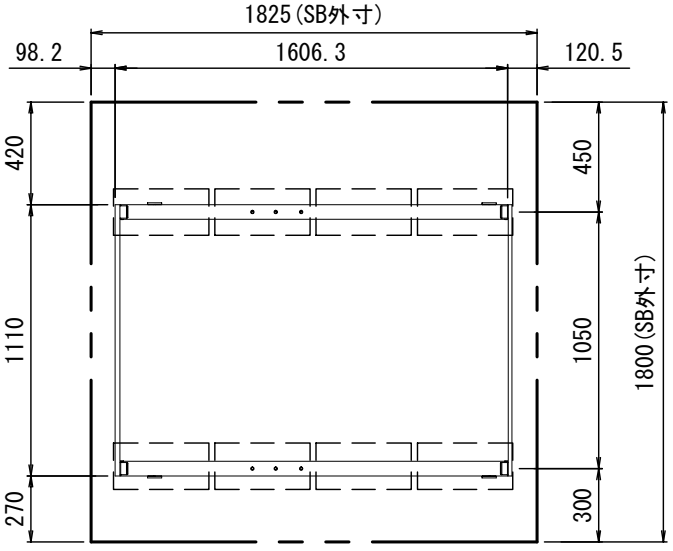
1620サイズ



1618サイズ



1818サイズ

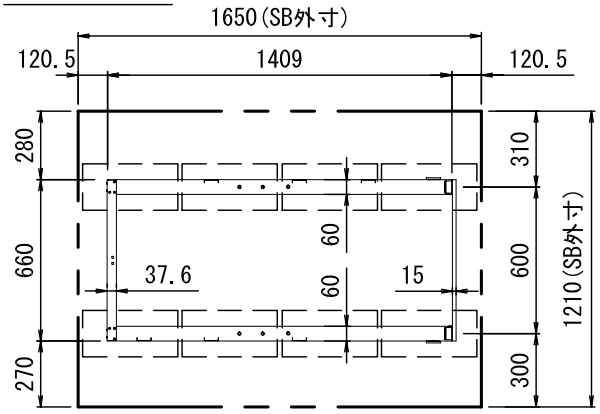


架台　[墨出し 組立 設置]

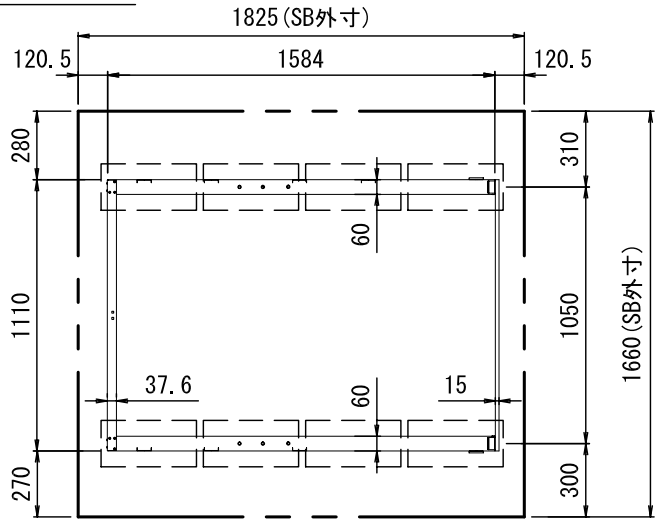
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

浴槽パンあり仕様

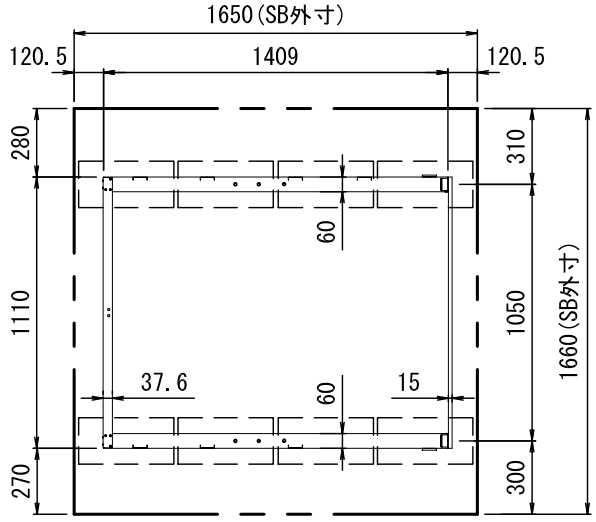
S1216サイズ



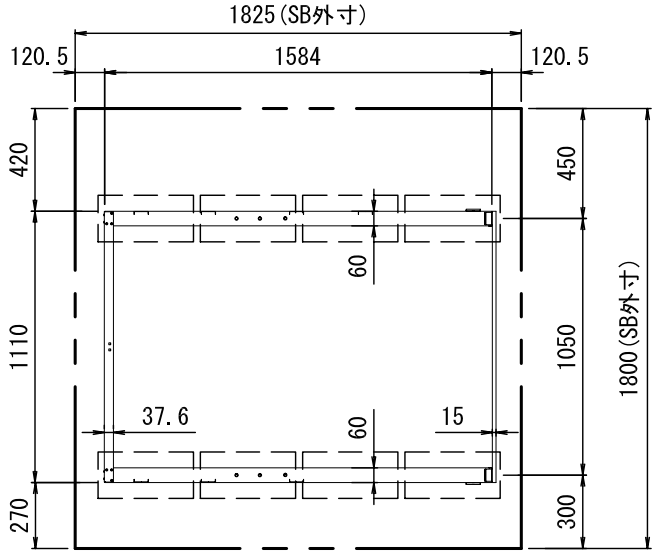
1618サイズ



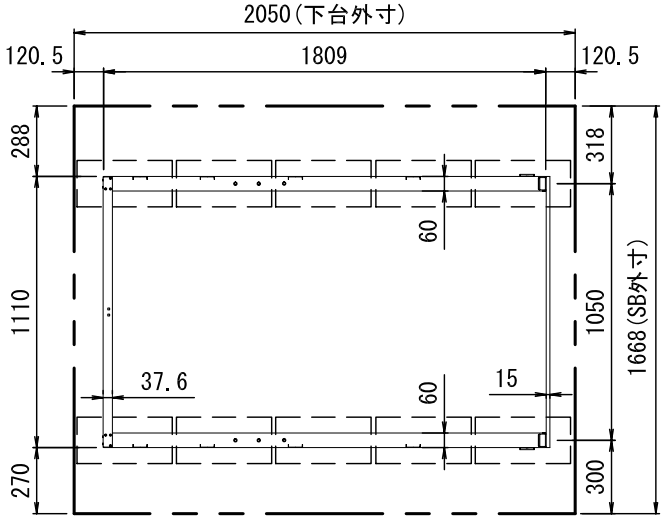
1616サイズ



1818サイズ



1620サイズ



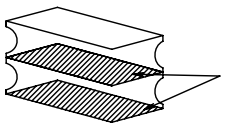
架台　[墨出し 組立 設置]

戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

：ブロック（390x190）

②階上設置用　フレーム架台の場合

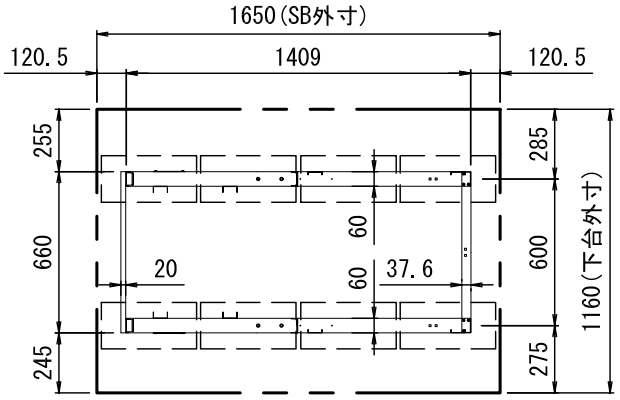
ブロックの固定方法



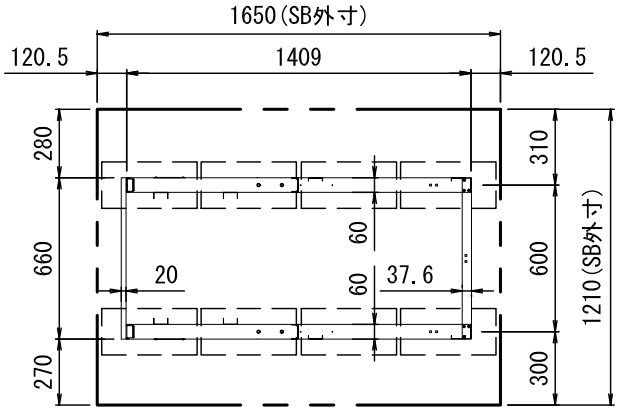
・据付け位置の墨出しをする。
・下図は、ハーフユニットの本体と架台、ブロック位置を示す。
※図は、ARBLタイプを示します。ALBRタイプは対称です。

浴槽パンなし仕様

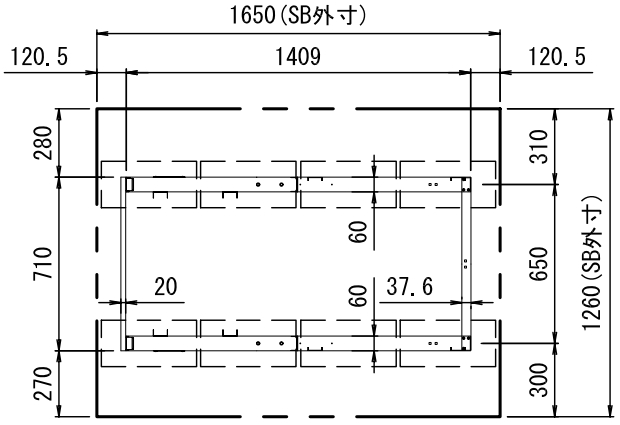
1116サイズ



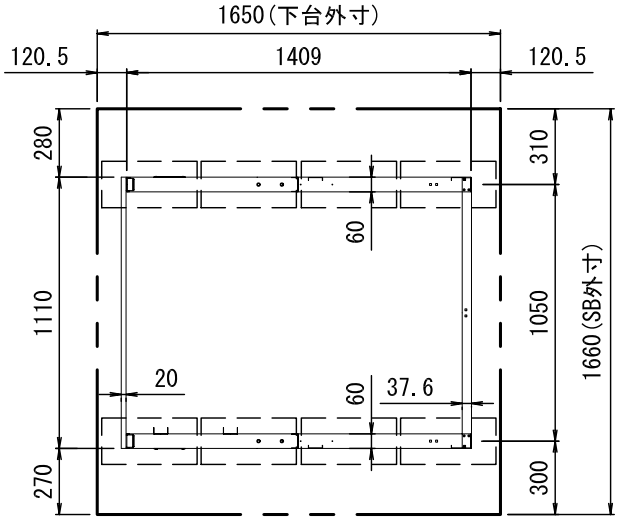
S1216サイズ



1216サイズ



1616サイズ

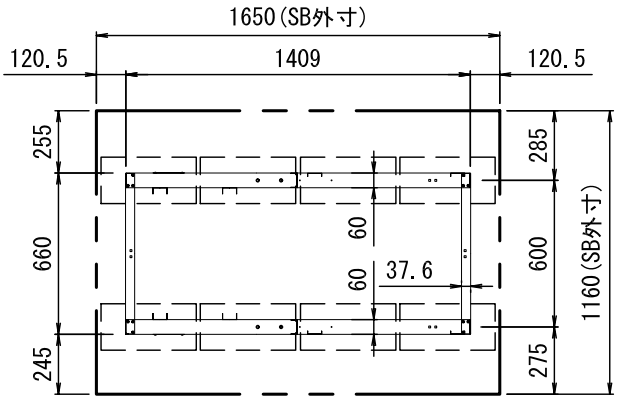


架台　[墨出し 組立 設置]

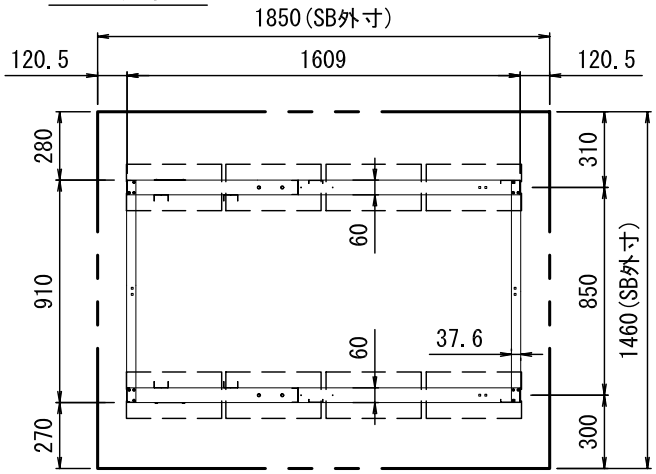
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

浴槽パンあり仕様

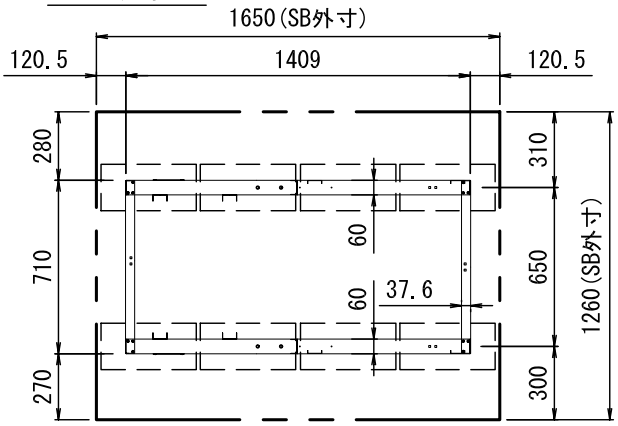
1116サイズ



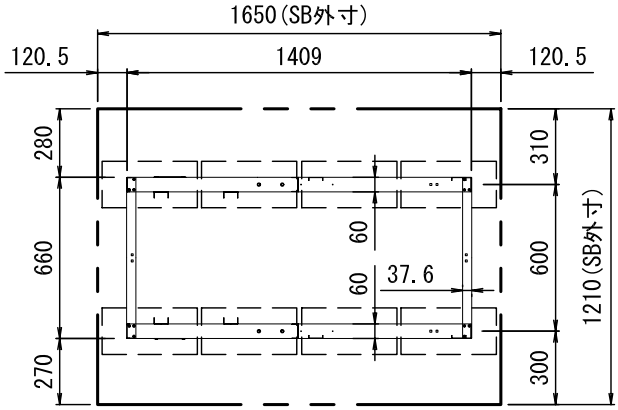
1418サイズ



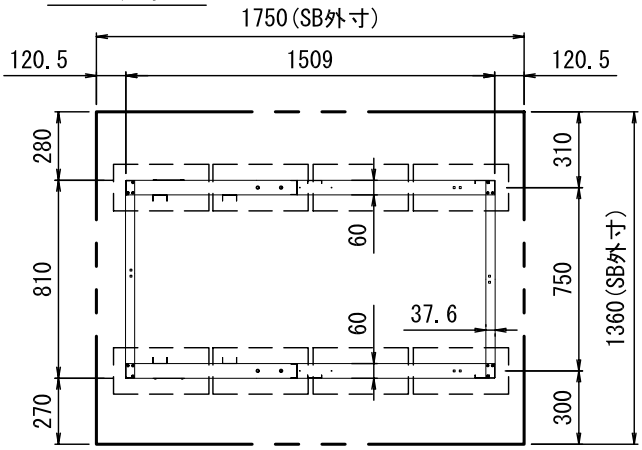
1216サイズ



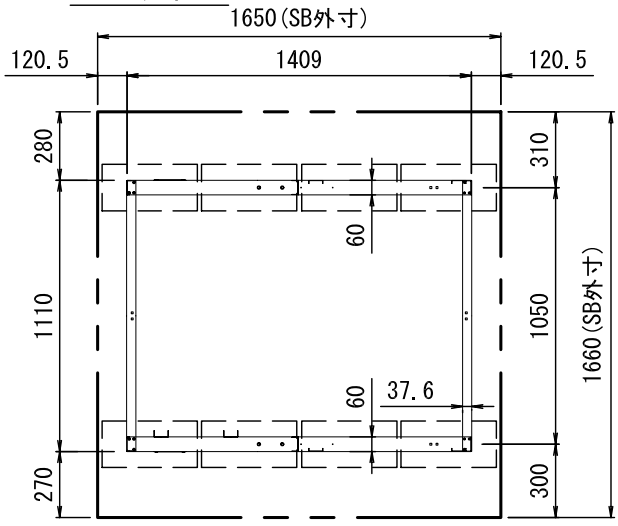
S1216サイズ



1317サイズ



1616サイズ



架台　[墨出し 組立 設置]

戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

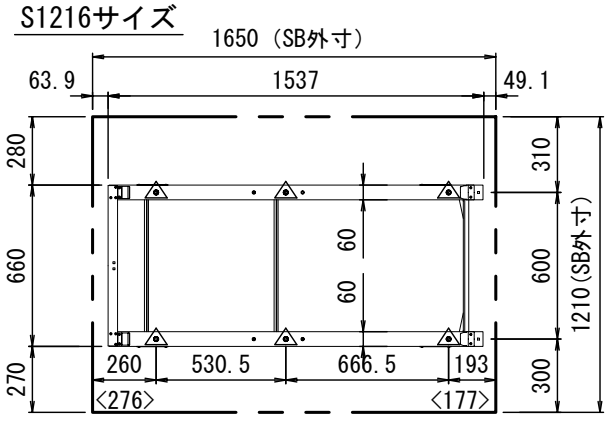
③戸建て用　ボルト脚架台の場合

・据付け位置の墨出しをする。
・下図は、ハーフユニットの本体と架台、ボルト脚位置を示す。

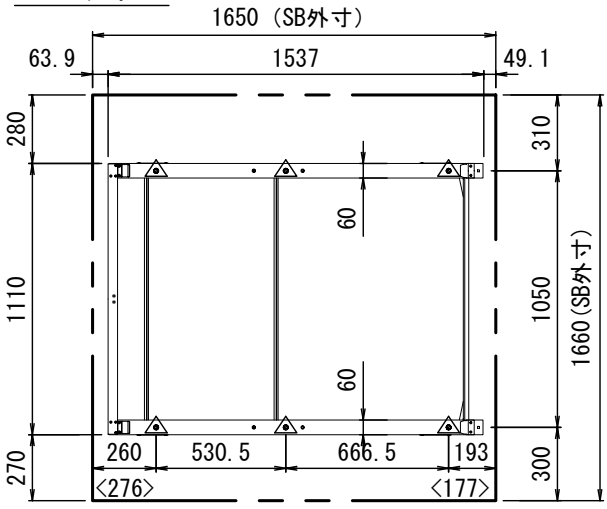
※図は、ARBLタイプを示す。ALBRタイプは対称です。
　△印の位置がボルト位置を示す。
※図は、戸建ボルト脚架台を示します。＜ ＞内寸法は、脚高ボルト脚架台を示します。

浴槽パンなし仕様

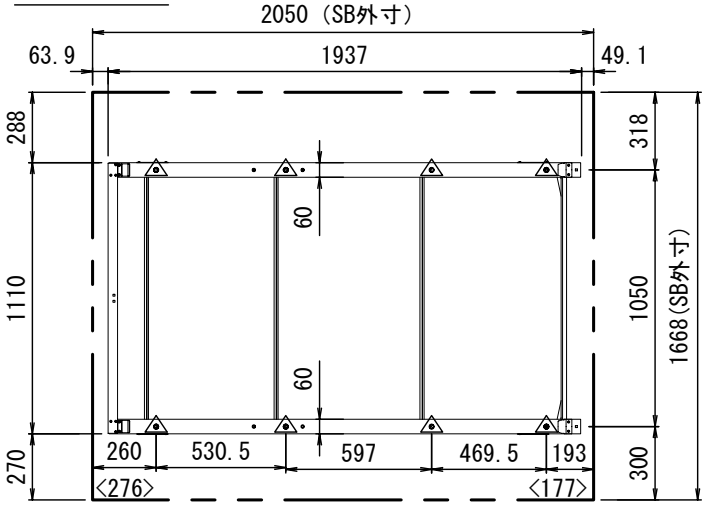
S1216サイズ



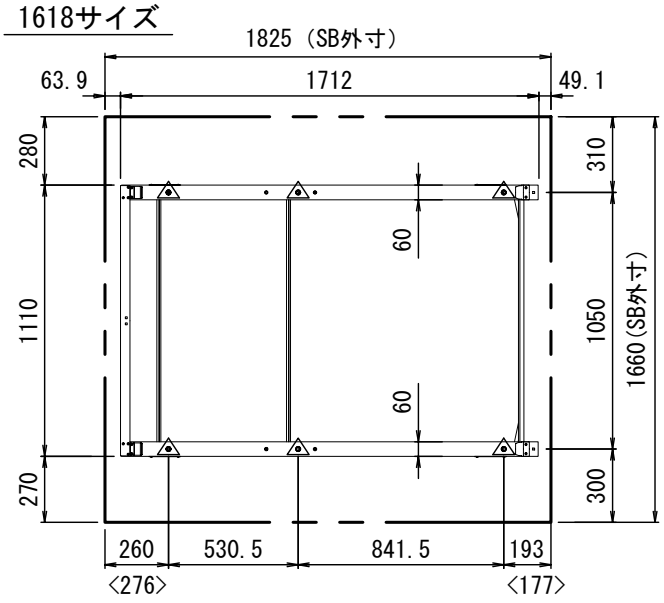
1616サイズ



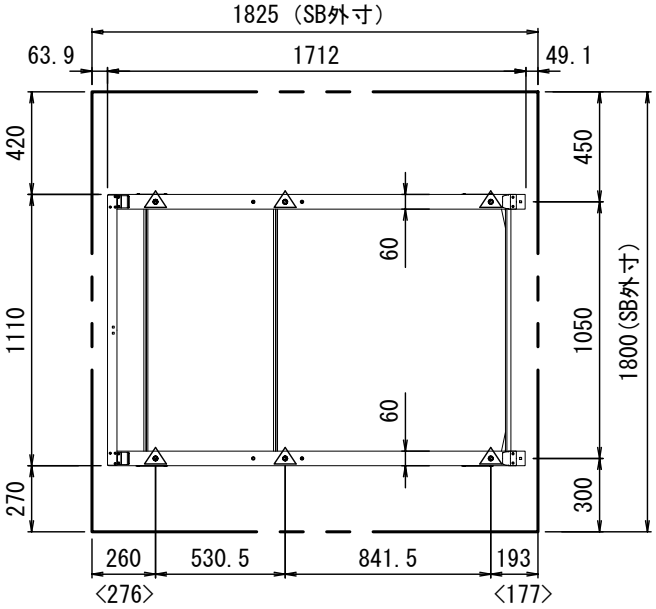
1620サイズ



1618サイズ



1818サイズ

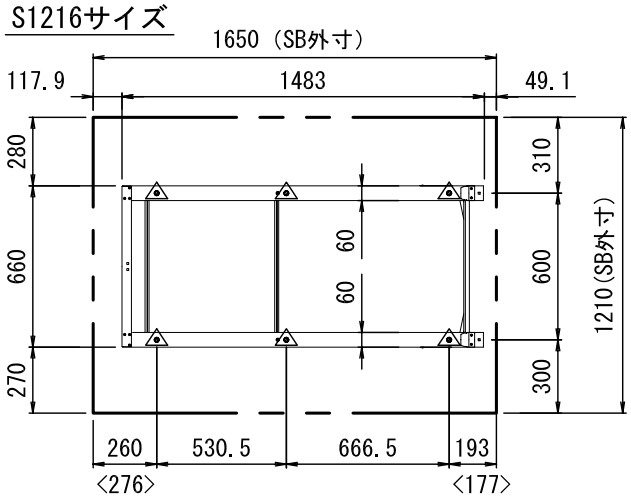


架台　[墨出し 組立 設置]

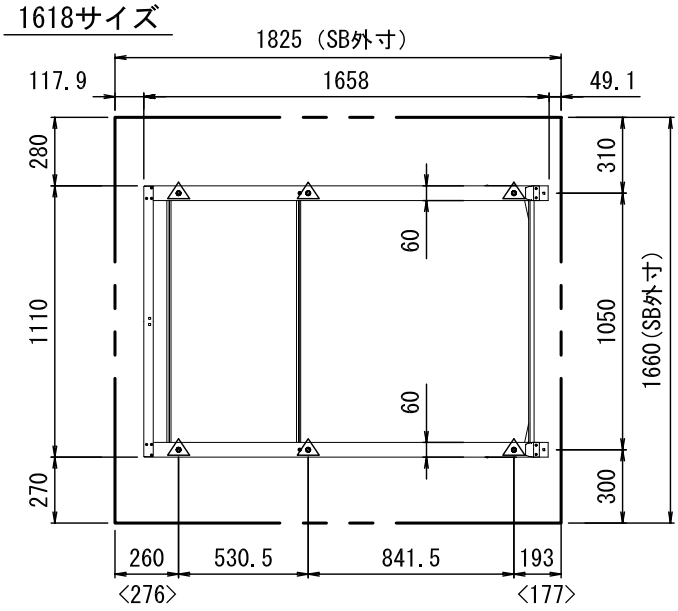
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

浴槽パンあり仕様

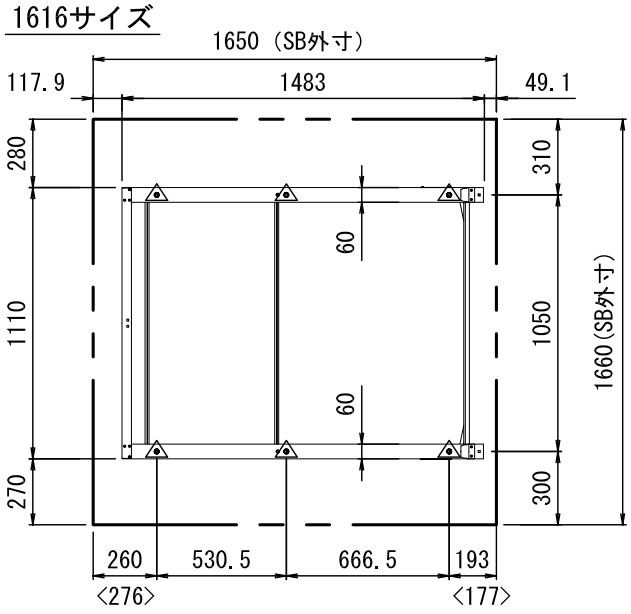
S1216サイズ



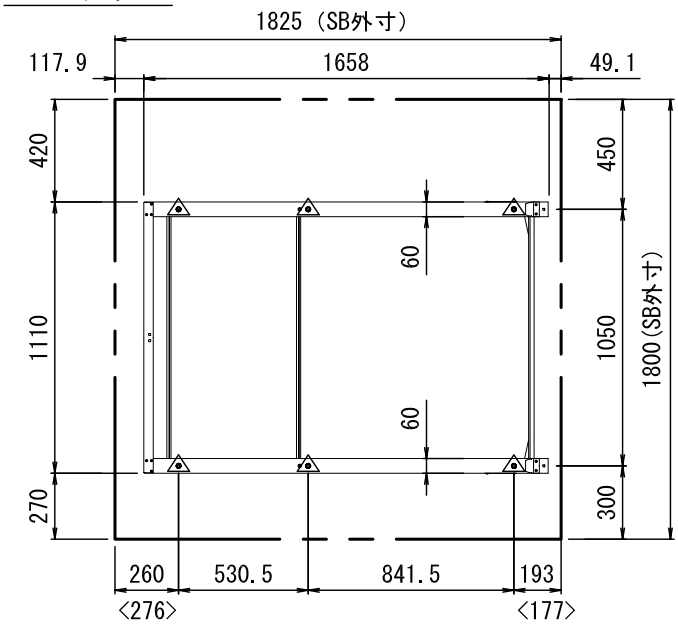
1618サイズ



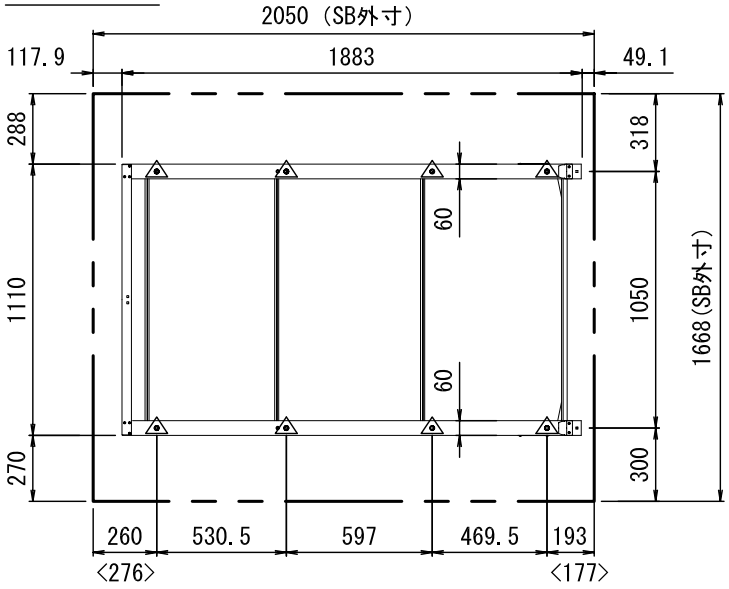
1616サイズ



1818サイズ



1620サイズ



架台　[墨出し 組立 設置]

戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

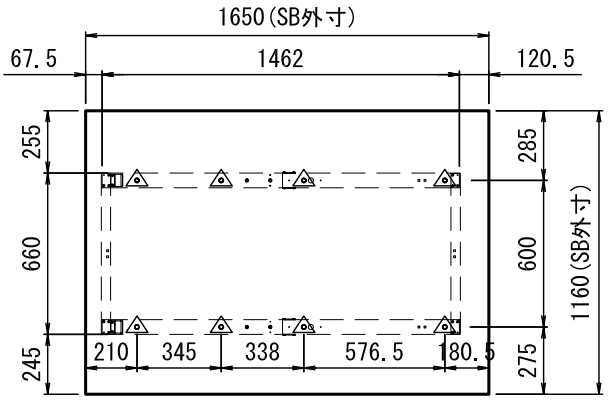
④階上設置用　ボルト脚架台の場合

・据付け位置の墨出しをする。
・下図は、ハーフユニットの本体と架台、ボルト脚位置を示す。

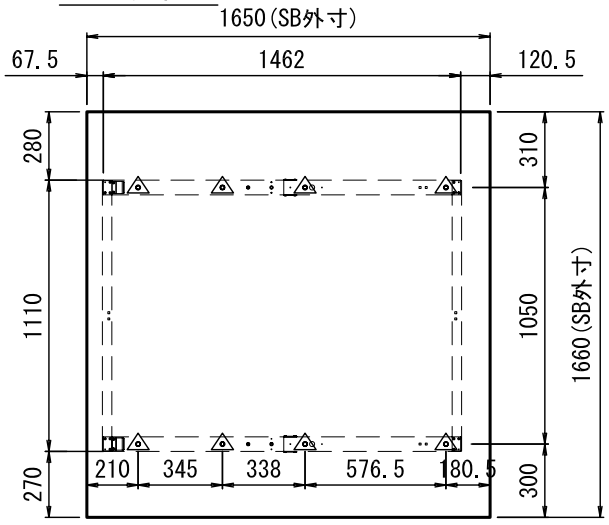
※図は、ARBLタイプを示す。ALBRタイプは対称です。
△印の位置がボルト位置を示す。

浴槽パンなし仕様

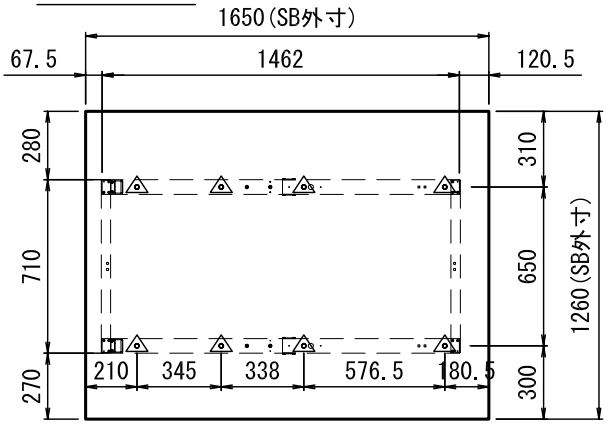
1116サイズ



1616サイズ



1216サイズ

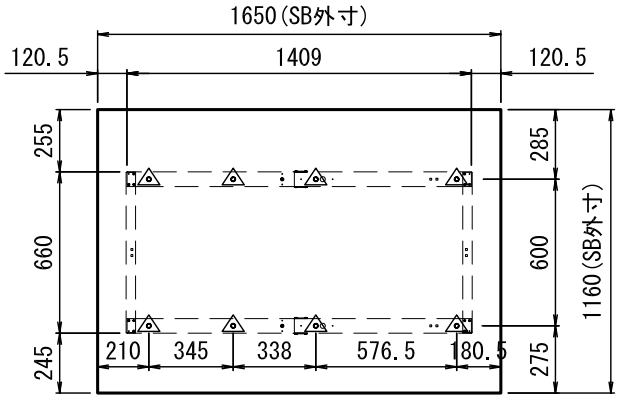


架台　[墨出し 組立 設置]

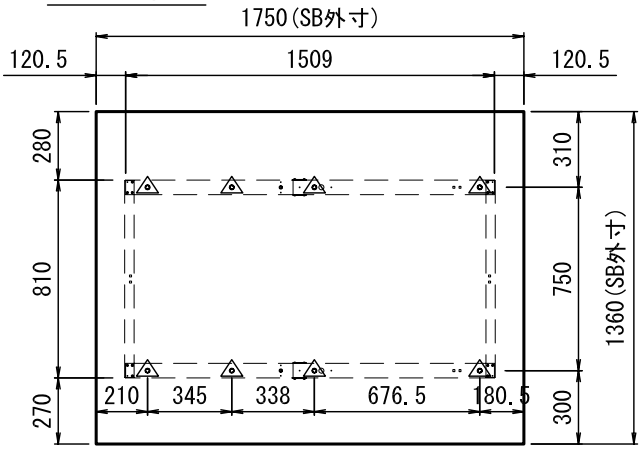
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

浴槽パンあり仕様

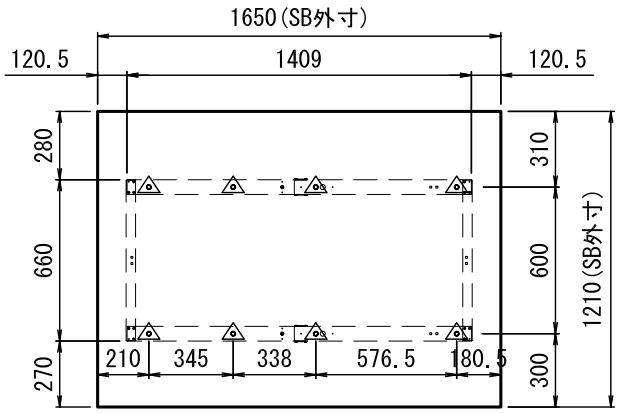
1116サイズ



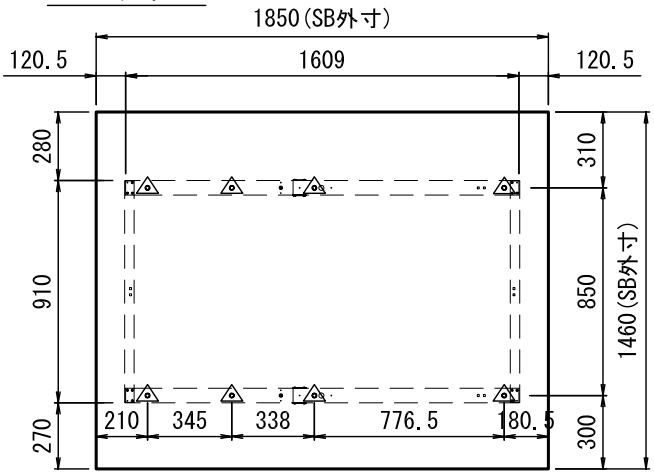
1317サイズ



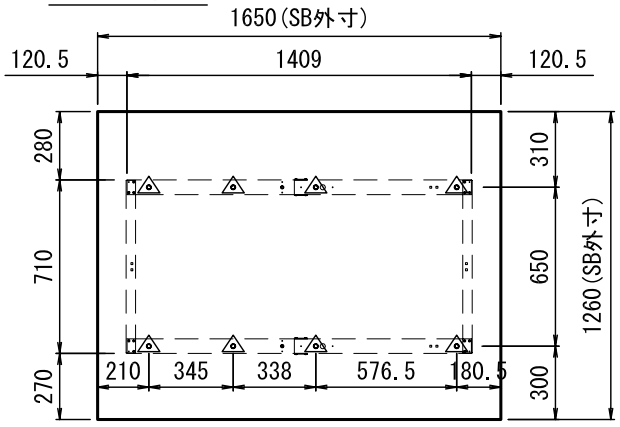
S1216サイズ



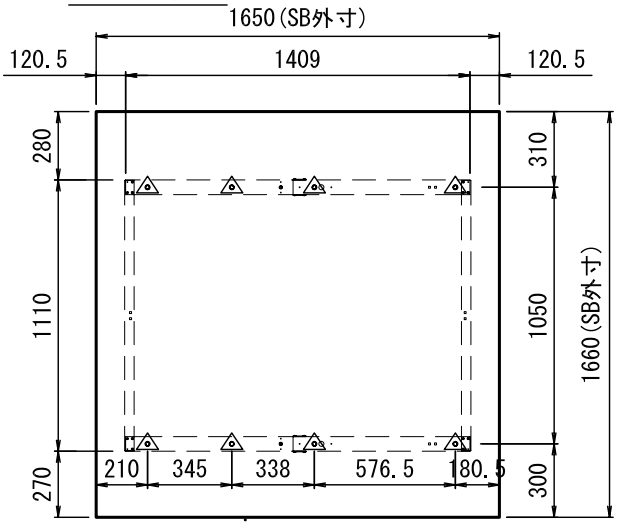
1418サイズ



1216サイズ



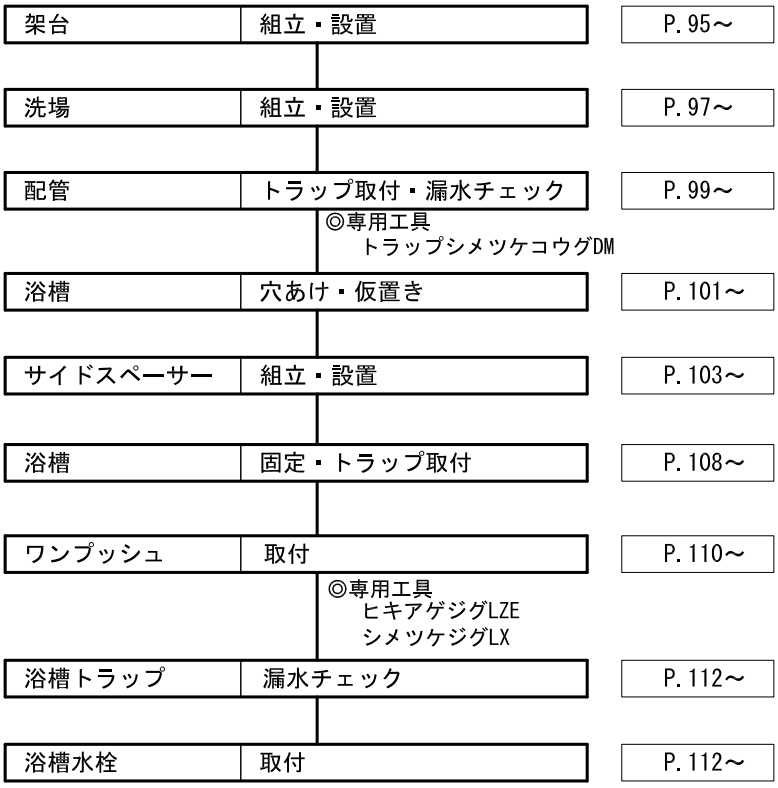
1616サイズ



架台　[墨出し 組立 設置]

戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無　有

作業：Ｂ　浴槽パン無し　下台組付け基本手順



＜設備側工事＞
＜架台の墨出し＞

作業：Ａ

浴槽パン無し　　浴槽パン有り

＜下台組付け手順＞

作業：Ｂ（＋Ｅ）　　作業：Ｄ（＋Ｅ）

＜上台組付け手順＞

作業：Ｃ（＋Ｆ）

1. 架台の組立手順

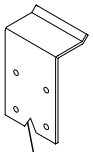
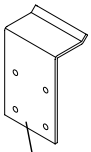
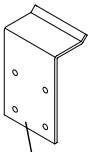
①戸建て用 フレーム架台[浴槽パン無しの場合] ※ボルト架台の場合はP.188参照のこと

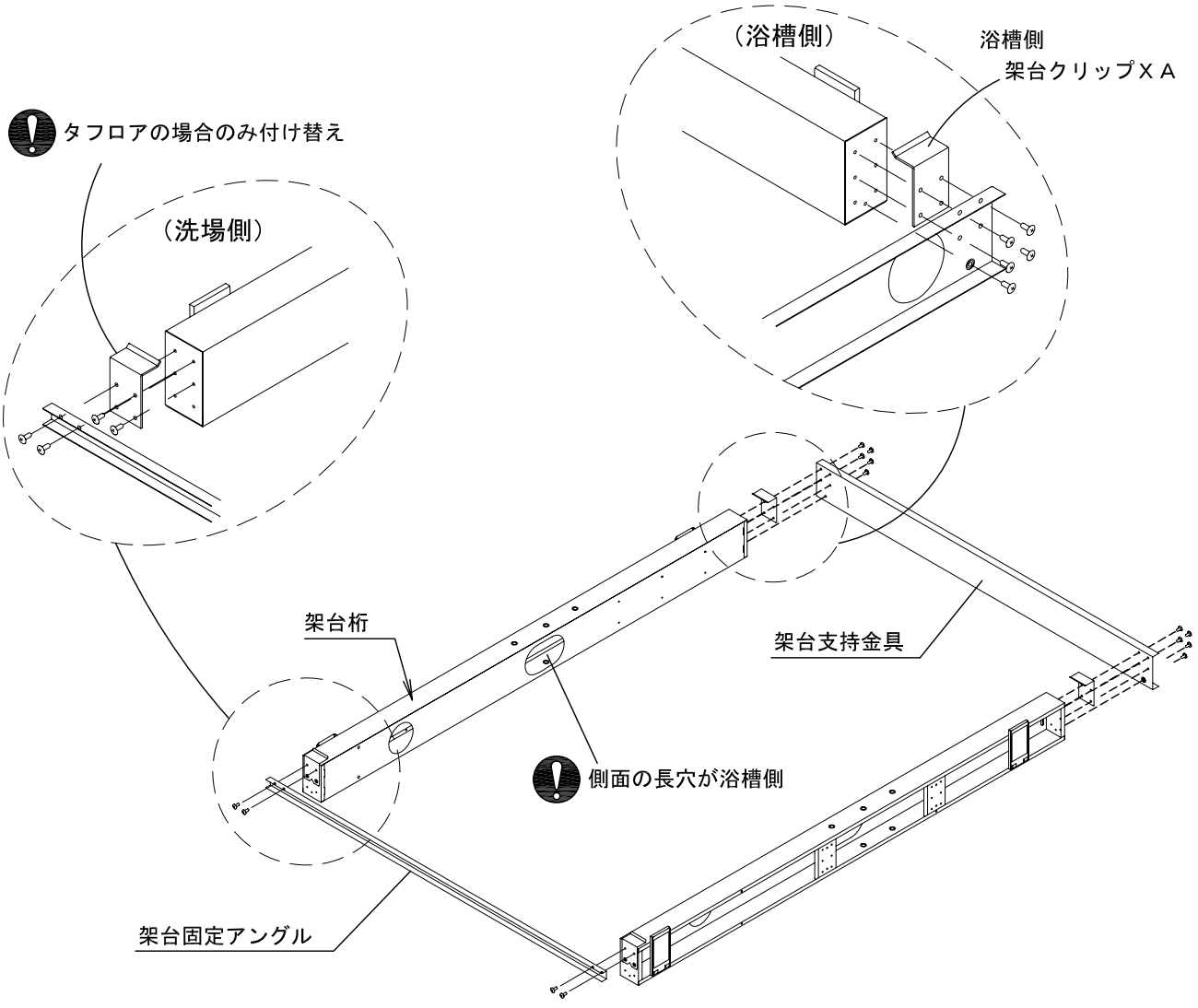
・架台桁に架台支持金具を架台クリップとネジにて共締め固定する。
・次に、架台桁に架台固定アングルと架台クリップを共締め固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 架台同梱	14本

◇使用部材

洗場側		浴槽側
FRP洗場	タフロア	
架台クリップZCA （架台に組付け済）  切欠き	架台クリップXA （バックガードセット同梱）  切欠き無し	架台クリップXA （架台に同梱）  切欠き無し



架台 [墨出し 組立 設置]

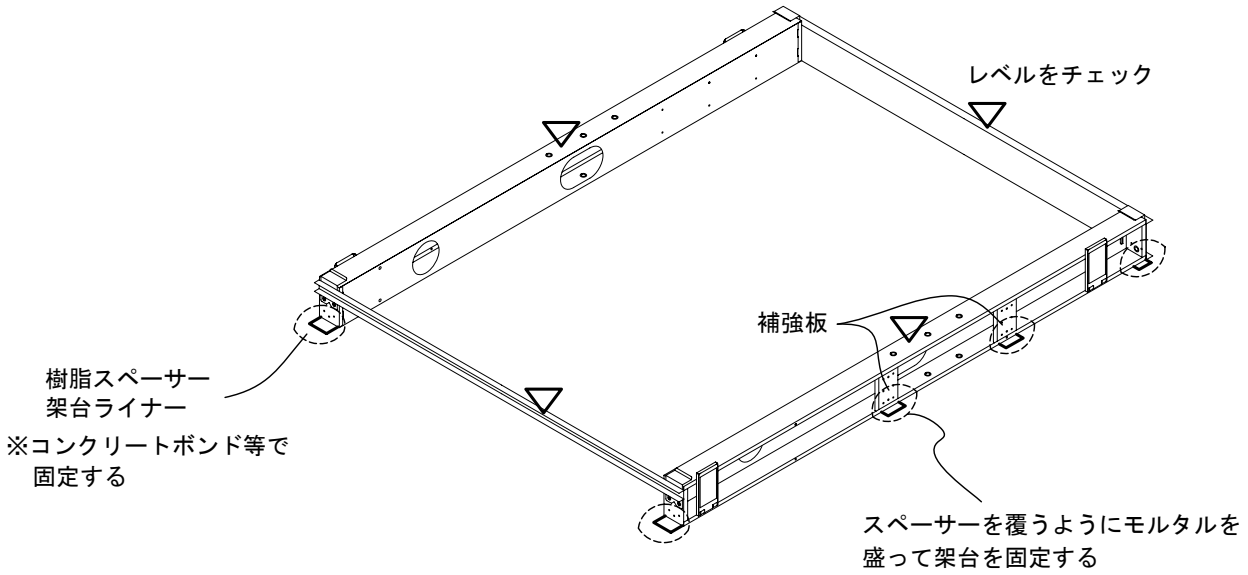
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無 有

2. 架台の設置

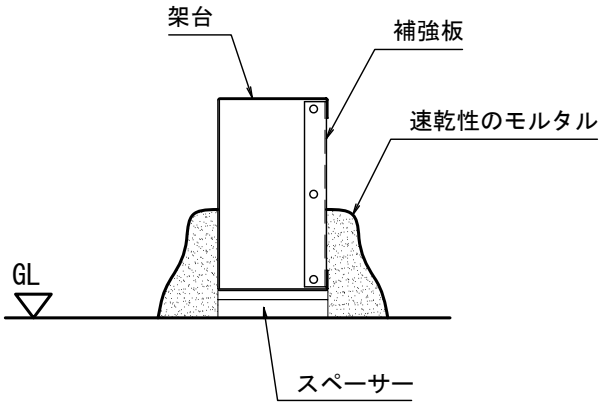
［一体型架台の場合］。 ※ボルト架台の場合はP.188･189参照のこと

・基礎上に墨出しされた位置に架台を設置する。
・架台が水平になるように水準器もしくはレーザー投光器でレベル調整する。
（レベル調整には、同梱されている樹脂スペーサー及び架台ライナーを架台の補強板の下に敷く。）
・速乾性のモルタルもしくはコンクリートボンドで架台を固定する。

スペーサーの挿入箇所 及び モルタル もしくは コンクリートボンドの固定箇所は、①補強板の下部、②架台の接続部、③架台の端部 です。（下図参照）

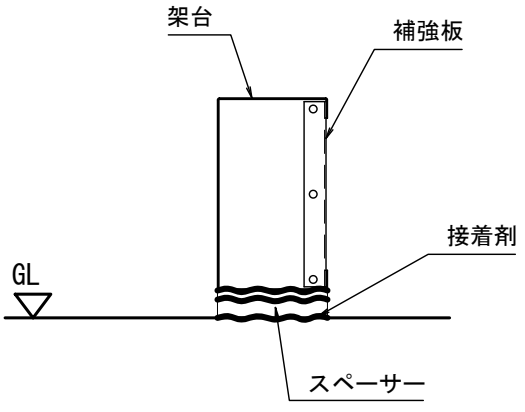


速乾性のモルタルの場合



モルタルの場合、架台が水平方向にずれないように、上方に盛ること。

コンクリートボンドの場合



コンクリートボンドは、スペーサー全面にむらなく塗布すること。
スペーサーを使用しない場合は、指定の位置にスペーサー同等の面積に塗布する。

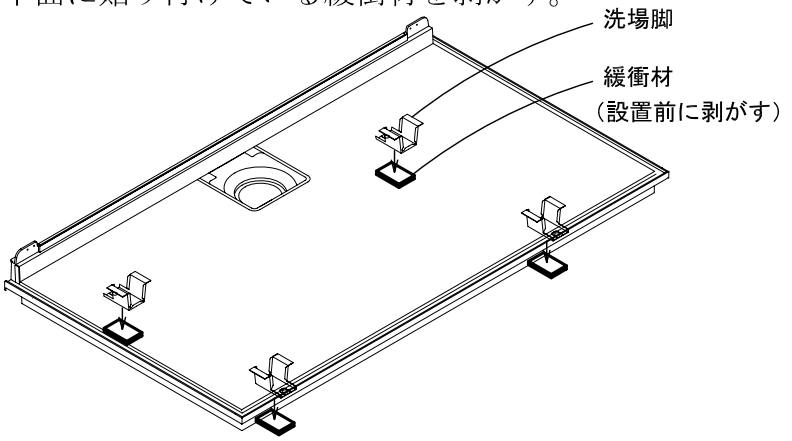
3. 洗場の設置

(1)洗場の事前準備

①FRP洗場の場合

戸建て用の場合のみ

・洗場脚下面に貼り付けている緩衝材を剥がす。



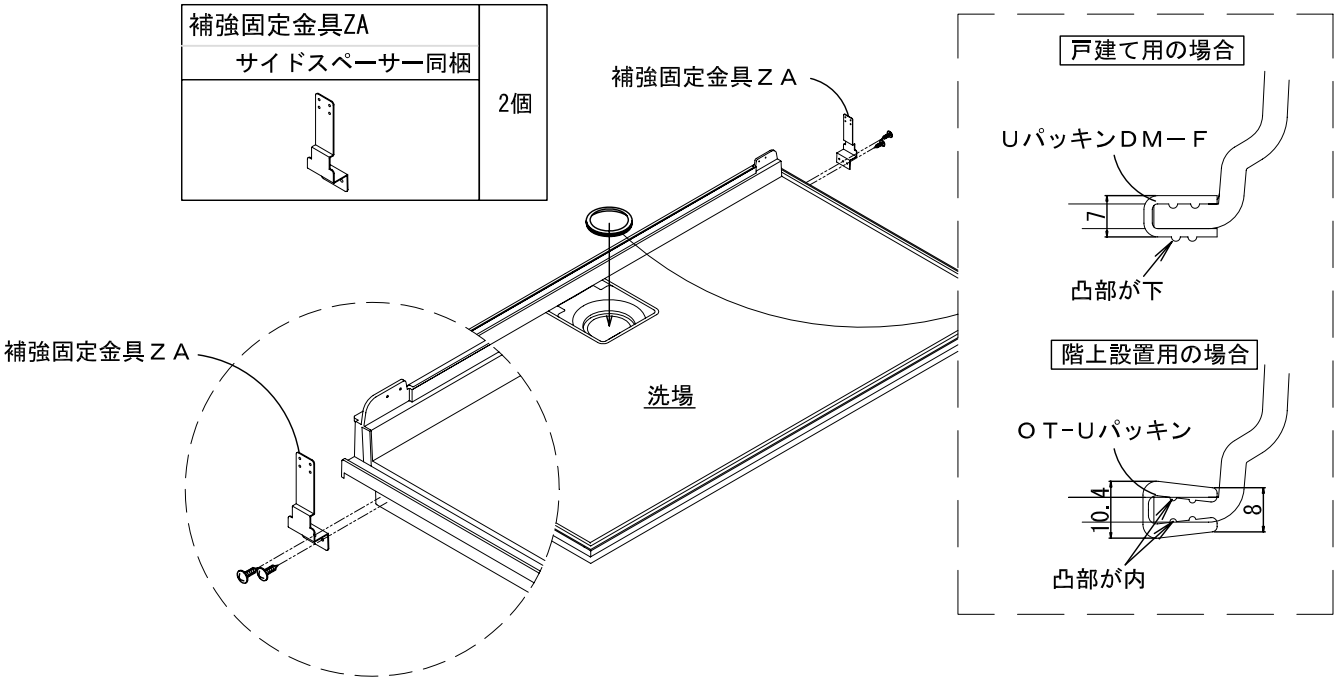
・洗場へ補強固定金具ＺＡをネジ２本（２ヶ所）で固定する。
・洗場へUパッキン（配管セット同梱）を取り付ける。

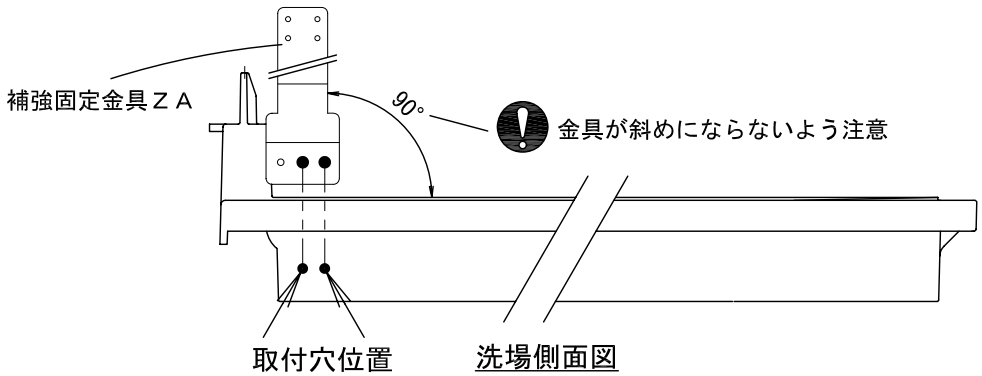
◇使用ネジ

Ｂ１トラスタッピンネジ4×16ＳＵＳ 先端形状 みぞ付　サイドスペーサー同梱	4本

◇使用部材

補強固定金具ZA サイドスペーサー同梱 	2個





洗場　［組立 設置］

①浴槽パン「無し」の場合

戸建	FRP
階上	ﾀﾌﾛｱ

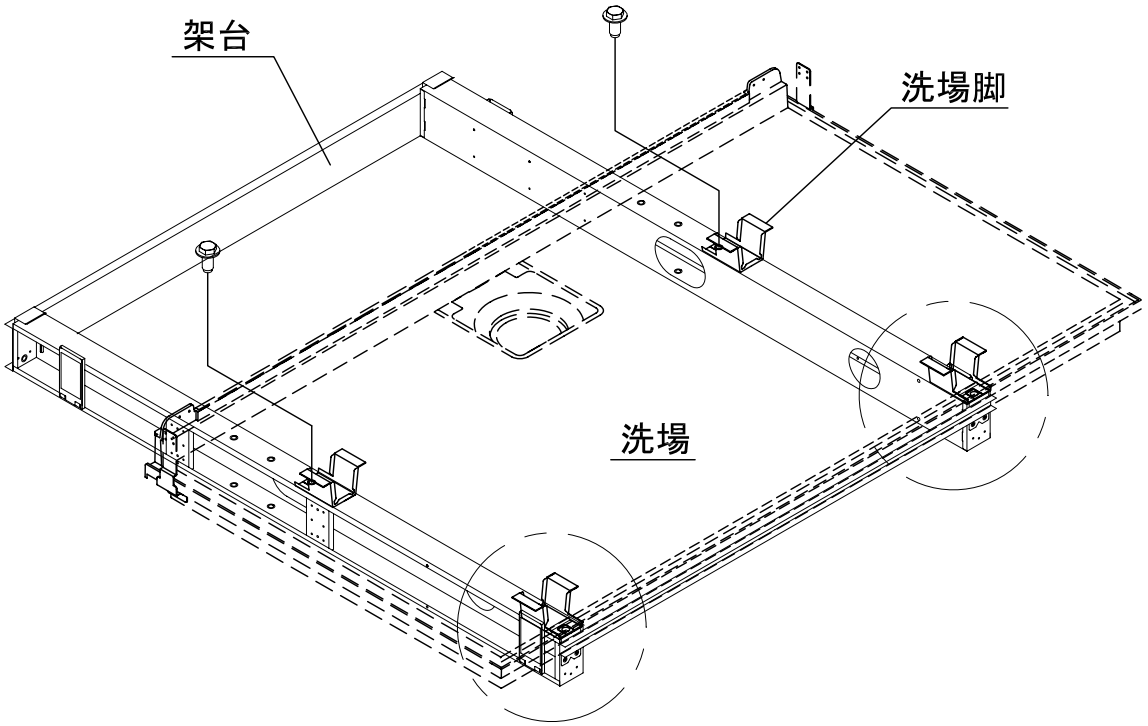
(2)洗場パン設置

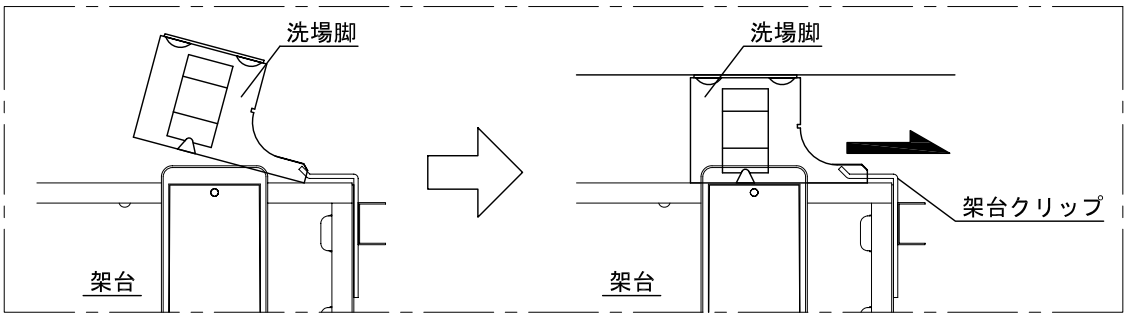
①戸建て用 FRP洗場の場合

洗場パンを架台の上に置き、洗場脚の奥側を架台クリップに差し込み、
手前側の洗場脚と架台をフランジ付き六角ボルトで固定する。

◇使用部材

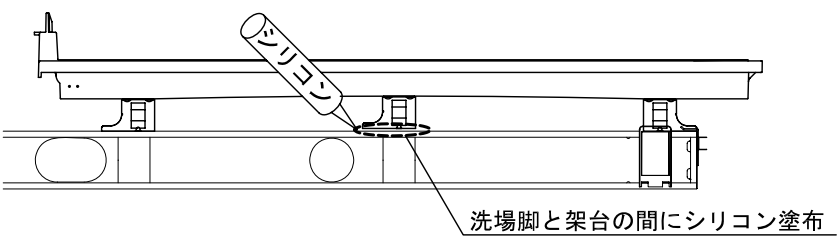
フランジ付き六角ボルトM10×21クロメート 小物セット同梱	2本





・20洗場の場合のみ

中央部の洗場脚と架台の間に、シリコンを塗布してください。
※音鳴り防止のため



(3)洗場トラップの取付

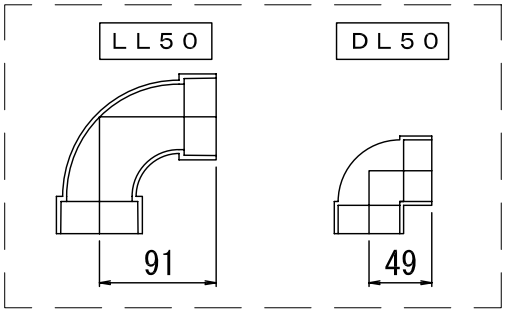
①戸建て用 FRP洗場の場合

1 洗場パンにUパッキンを取付けた後、洗場トラップ上面にシリコンを塗布し、洗場トラップを取付ける。

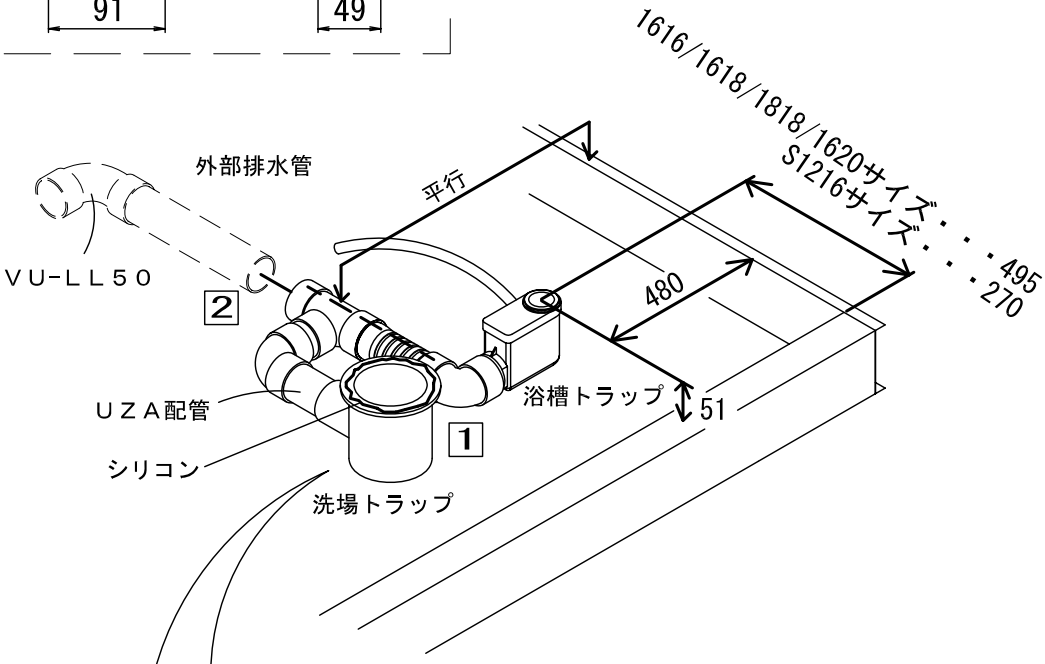
※UZA配管が架台と平行になるように取付

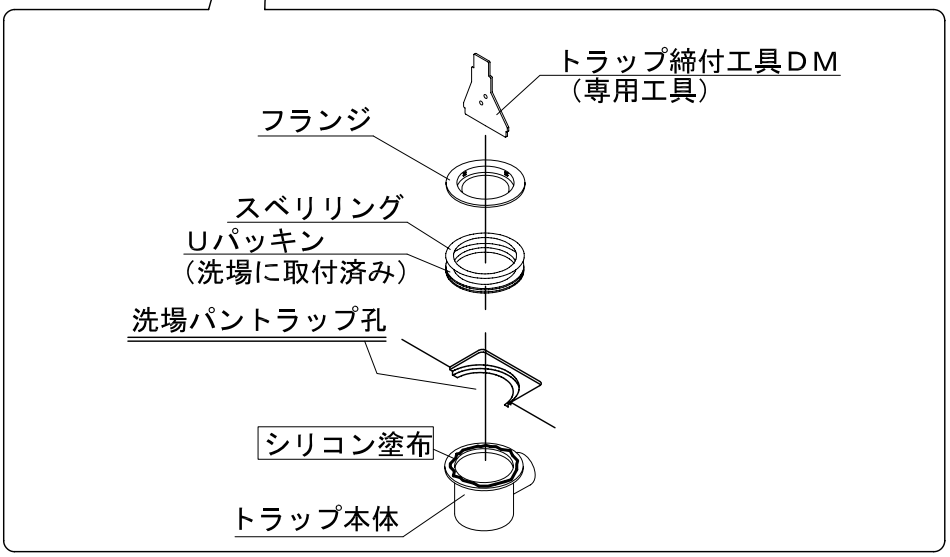
2 排水勾配（1/50～1/100）を確認し、外部排水管を接着する。

※外部排水の最初のエルボはVU-LL50を使用のこと



蛇腹部の部品点検、
配管接着時の注意点は
７ページを参照してください。





配管［ﾄﾗｯﾌﾟ取付 漏水ﾁｪｯｸ］

①浴槽パン「無し」の場合

戸建	FRP
階上	ﾀﾌﾛｱ

(4)洗場トラップ取付部の漏水チェック

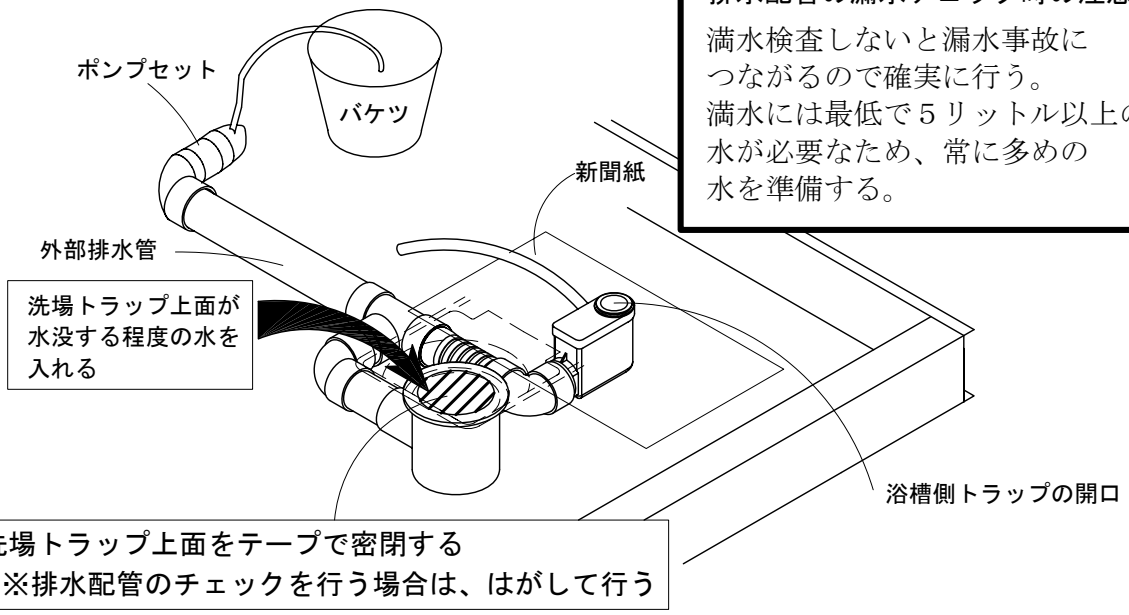
・洗場トラップ上面をテープで密閉する。
・洗場トラップ上面が水没する程度の水を入れる。
・トラップ取付部からの漏水を検査する。
・（漏水がない場合）テープをはがし、水を抜きとる。
※漏水確認後の排水は、接着してから１０分程度硬化時間を待ってから行ってください。

(5)排水配管の漏水チェック

・洗場トラップから注水し、接着部や配管からの漏水を検査する。
この時、配管内部が満水になるよう浴槽側トラップの開口すれすれまで注水する。
・（漏水がない場合）トラップに残りの部材を取付ける。
・浴槽側トラップの下に浴槽設置後の漏水チェックの新聞紙を敷く。
※漏水ポンプの準備は７ページを参照のこと。

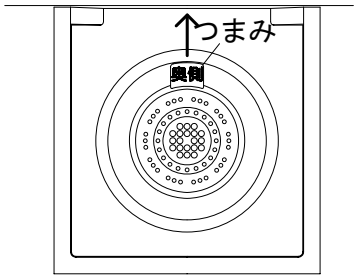
排水配管の漏水チェック時の注意点

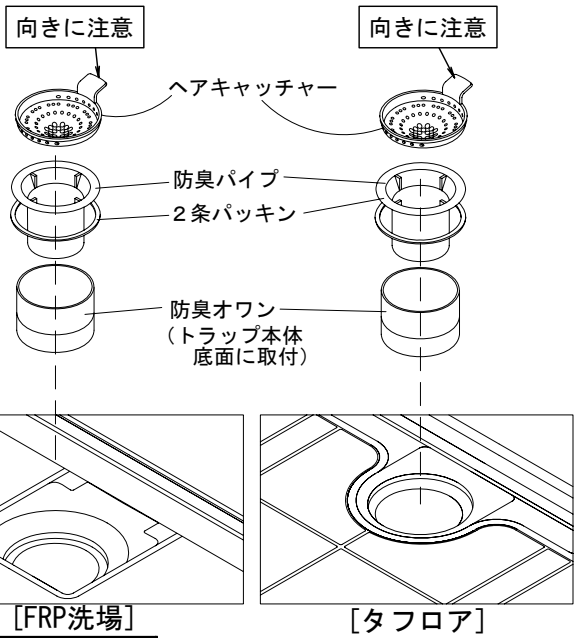
満水検査しないと漏水事故につながるので確実に行う。
満水には最低で５リットル以上の水が必要なため、常に多めの水を準備する。



ヘアキャッチャーの取付向きについて

※つまみを奥側にセットする。
FRP洗場はエプロン側が奥側
タフロアは正面側が奥側

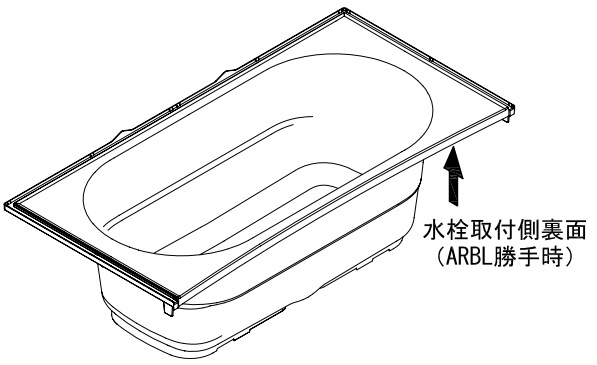




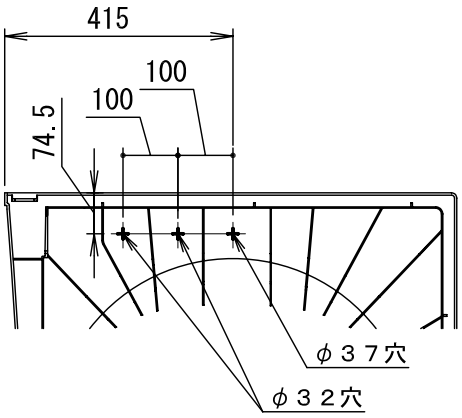
4. 浴槽の設置準備

(1)浴槽側水栓用穴あけ

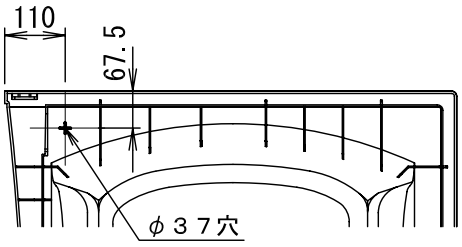
・浴槽裏側のケガキに従って、穴あけを行う。



[1616/1618/1818/1620サイズ]



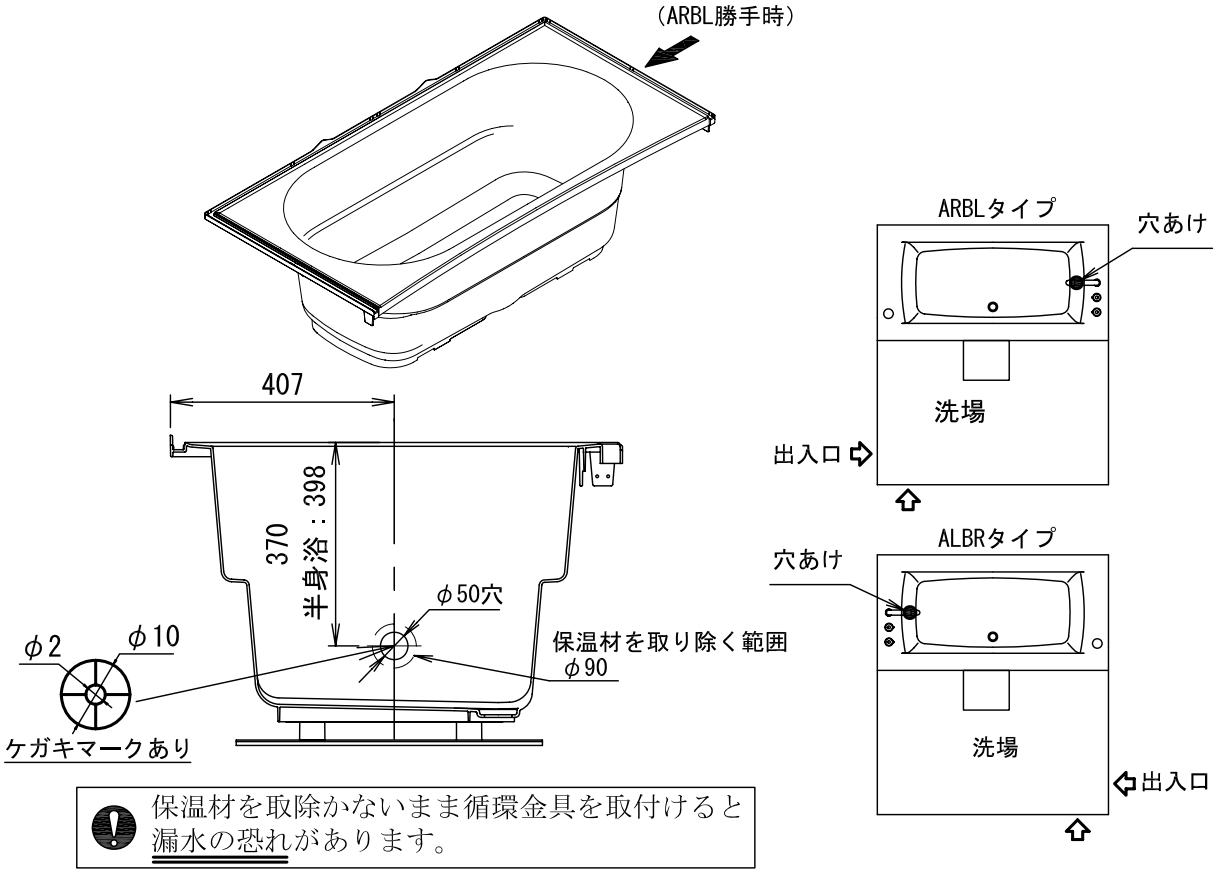
[1116/S1216/1216サイズ]



(2)循環金具の穴あけ

・設置するユニットの勝手に合わせ、右図を参照し、
ケガキに合わせてφ５０の穴をあける。

・穴あけ後、浴槽裏面の保温材をφ９０程度取り除く。



保温材を取除かないまま循環金具を取付けると
漏水の恐れがあります。

浴槽　[穴あけ 仮置き 固定]
①浴槽パン「無し」の場合

共通

5. 浴槽の仮置き

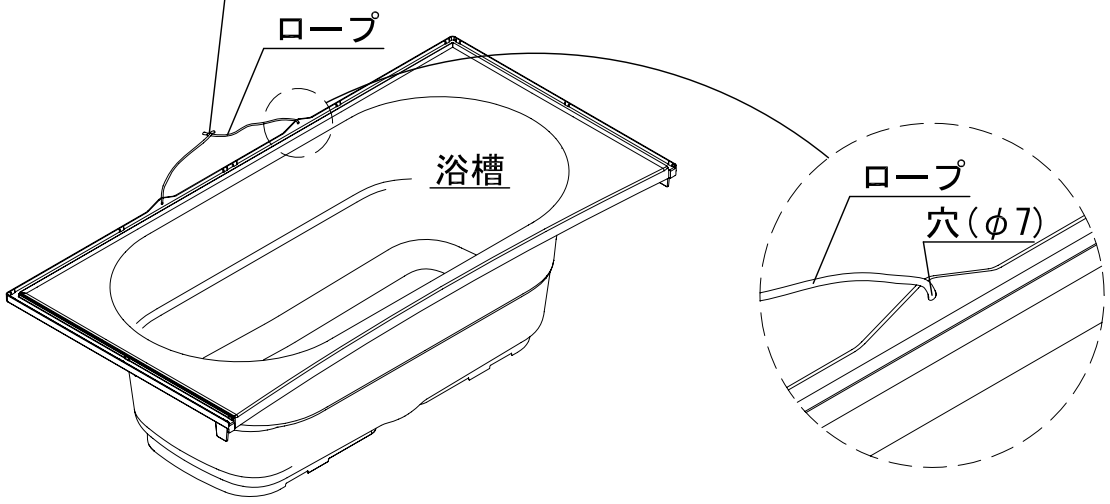
・浴槽の手前と浴槽奥に通したロープを使用し、浴槽を架台の上に仮置きする。
・通しているロープは、サイドスペーサー設置後に外す。
※この時点では、浴槽は架台に固定しない。

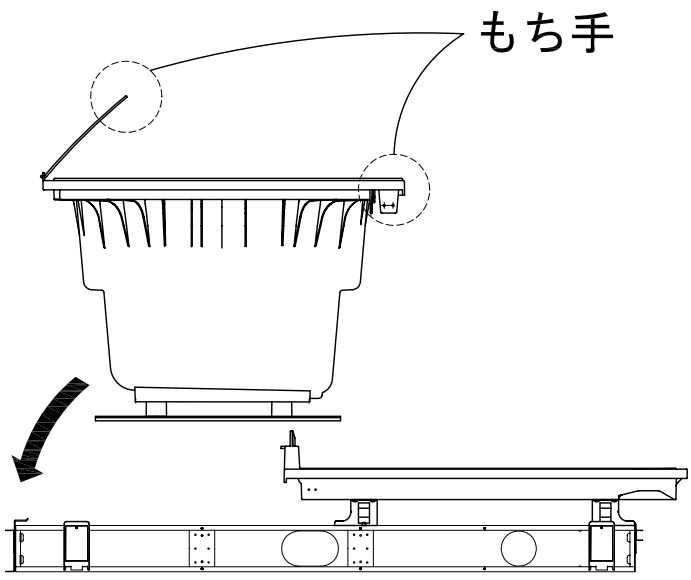
◇使用部材

ロープ：φ5径の丈夫なもの（市販品）	約1.5m

ハンドグリップを搬入に使用すると、破損の恐れがあるため、絶対に使用しないこと。

注意 浴槽の重量は約35ｋｇ程度です。
ロープは破断しないよう丈夫なものを選択し、
結び目がほどけないよう、しっかりと結ぶこと。





浴槽　[穴あけ 仮置き 固定]

共通

6. サイドスペーサーの設置

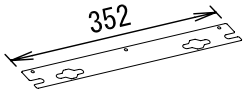
(1)スペーサーチャンネルK4の取付

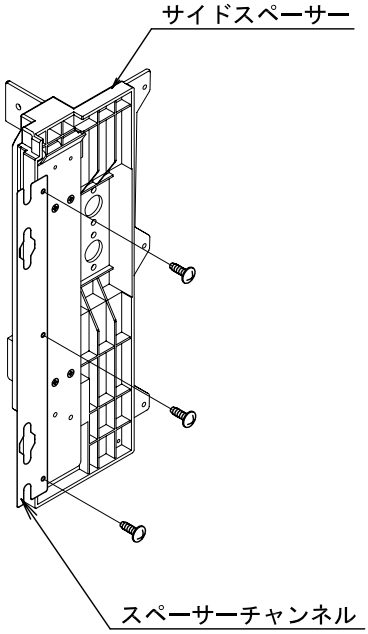
・サイドスペーサーの裏面にスペーサーチャンネルＫ４をビス固定する。

◇使用ネジ

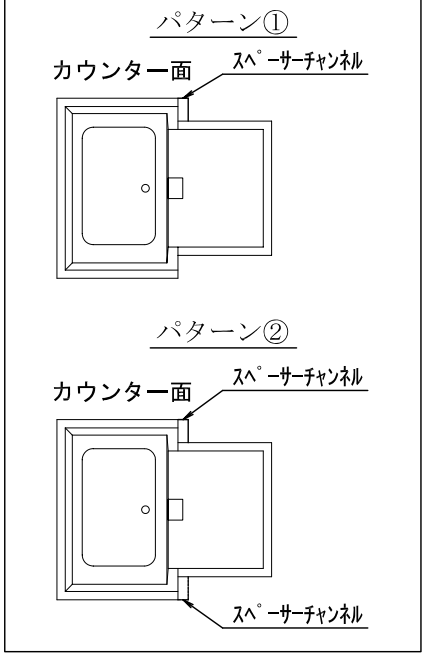
トラスデルタイトM4×12 先端形状 小物セット同梱	6本

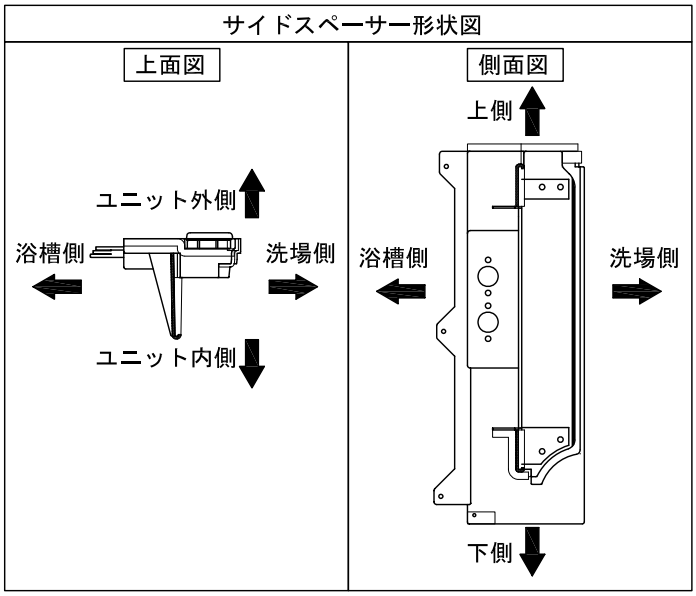
◇使用部材

スペーサーチャンネルＫ４ ＨＰアングルセット同梱 	2個



サイズ	A勝手	B勝手
1116	ﾊﾟﾀｰﾝ①	ﾊﾟﾀｰﾝ②
S1216		
1216		
1616		
1618	ﾊﾟﾀｰﾝ②	
1818		
1620		





サイドスペーサー［組立　設置］
①浴槽パン「無し」の場合

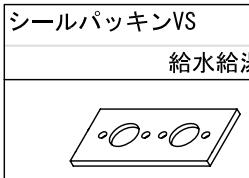
共通

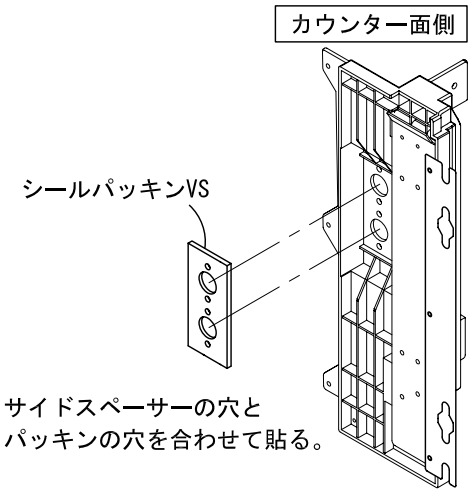
(2)パッキン及びアルミテープの貼り付け

・サイドスペーサー（カウンター面側）の裏面にシールパッキンVSを貼り付ける。

◇使用部材

シールパッキンVS 給水給湯管同梱	1枚



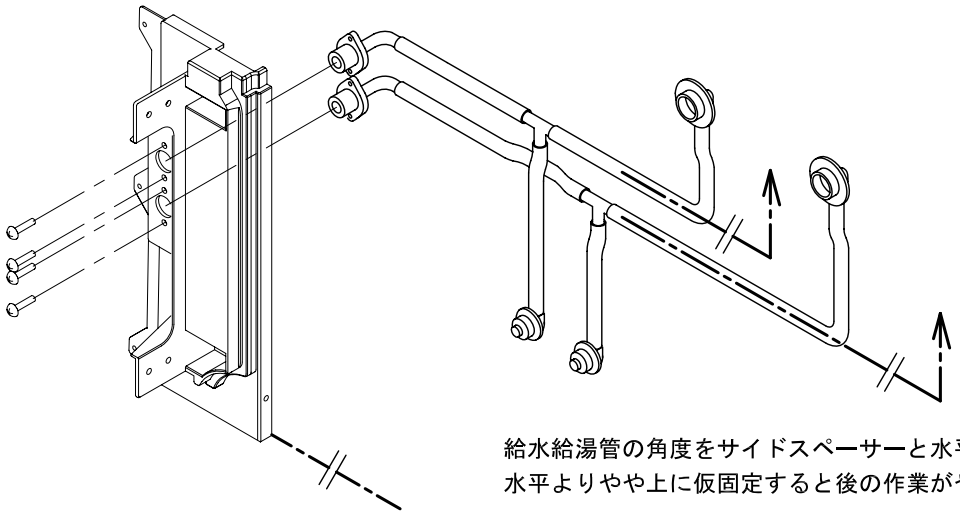


(3)給水給湯管の取り付け

・(2)でパッキンを取り付けたサイドスペーサー（カウンター面側）に給水給湯管をトラスコネジM4x10にて仮固定する。

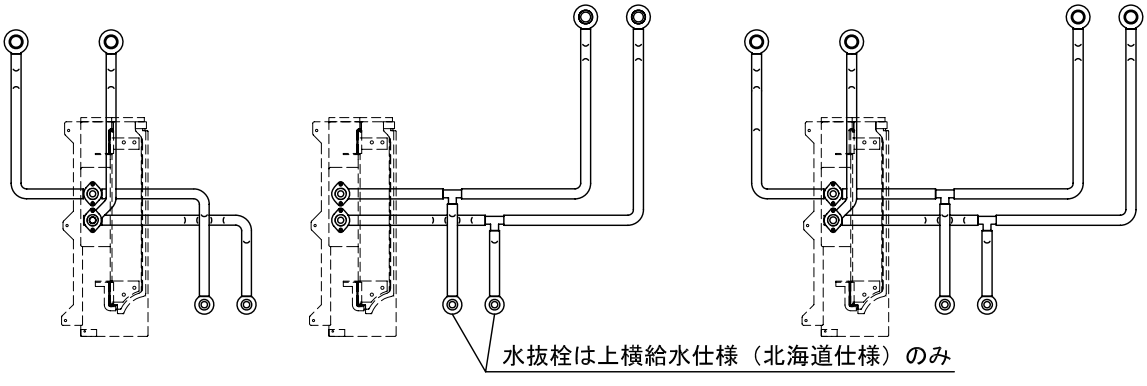
◇使用ネジ

トラスコネジ4×10SUS 先端形状 給水給湯管同梱	4本



給水給湯管の角度をサイドスペーサーと水平または
水平よりやや上に仮固定すると後の作業がやり易くなります。

［兼用水栓仕様の場合］　［１水栓・２水栓仕様の場合］　［２水栓（浴槽側壁付水栓）の場合］



サイドスペーサー［組立　設置］

①浴槽パン「無し」の場合

共通

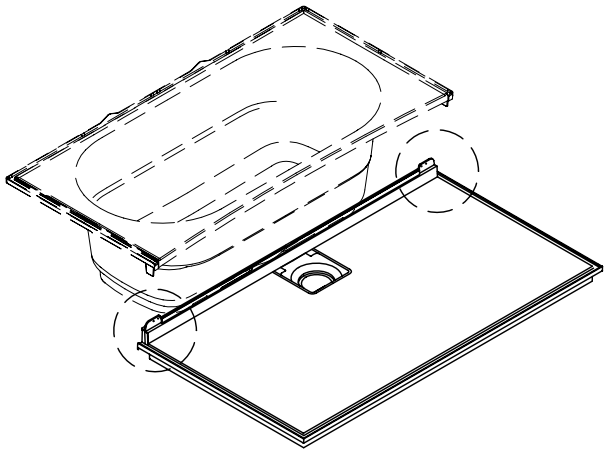
(4)シリコンの塗布

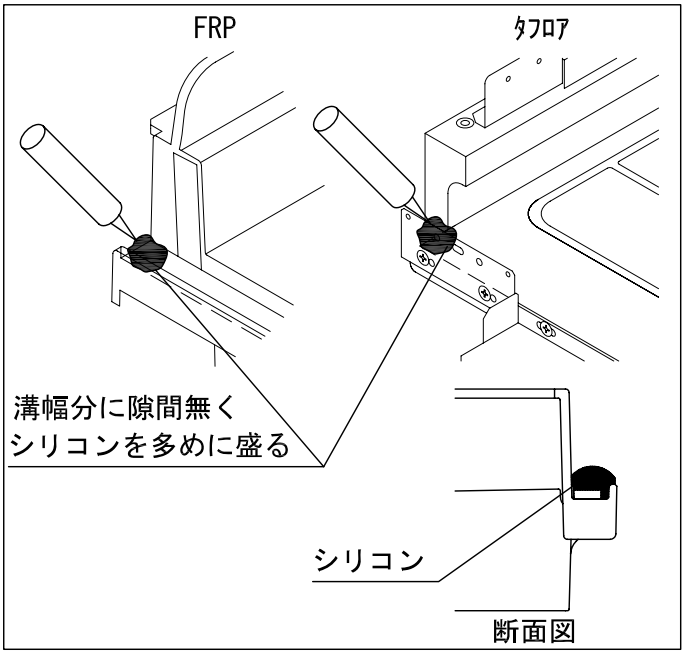
①洗場の壁パネル載せ面の端部（浴槽側）にシリコンを塗布する。

シリコンの塗布量が不十分の場合、漏水の危険性があるため、浴槽パン側にはみ出す程度になるよう、十分に塗布すること。

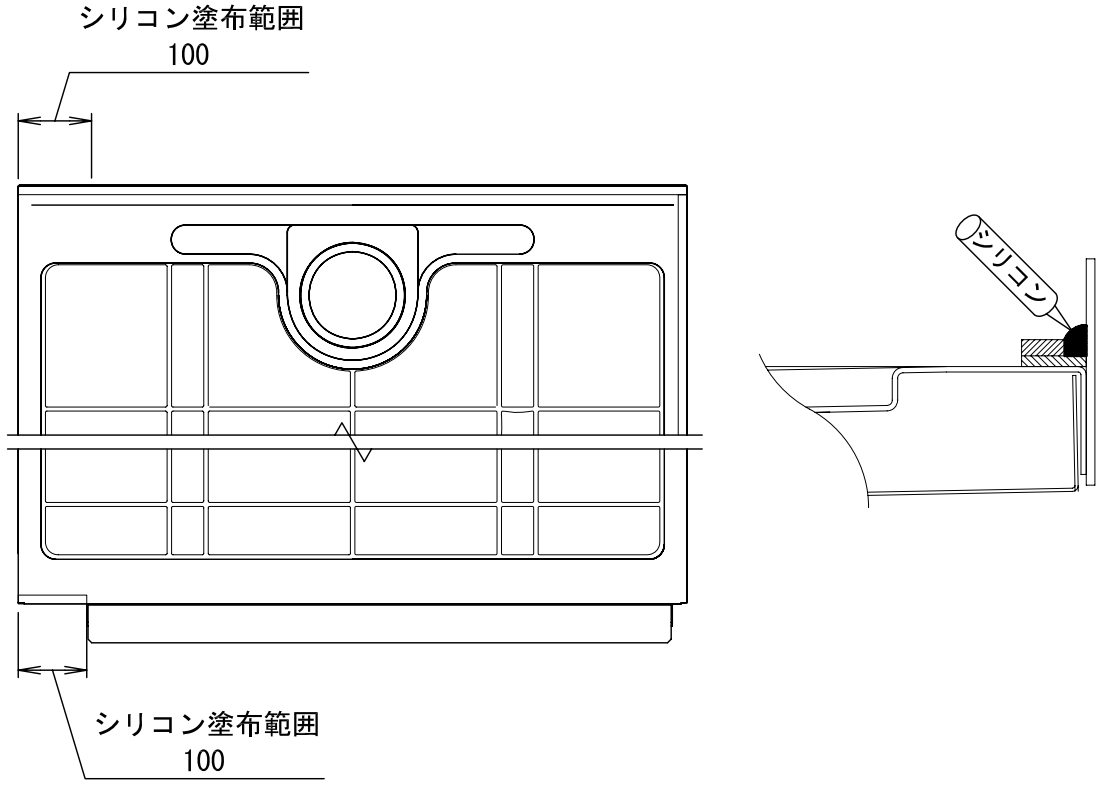
◇使用部材

シリコン	
	小物セット同梱





②（タフロアの場合のみ）２層パッキンの溝にもシリコンを塗布する。



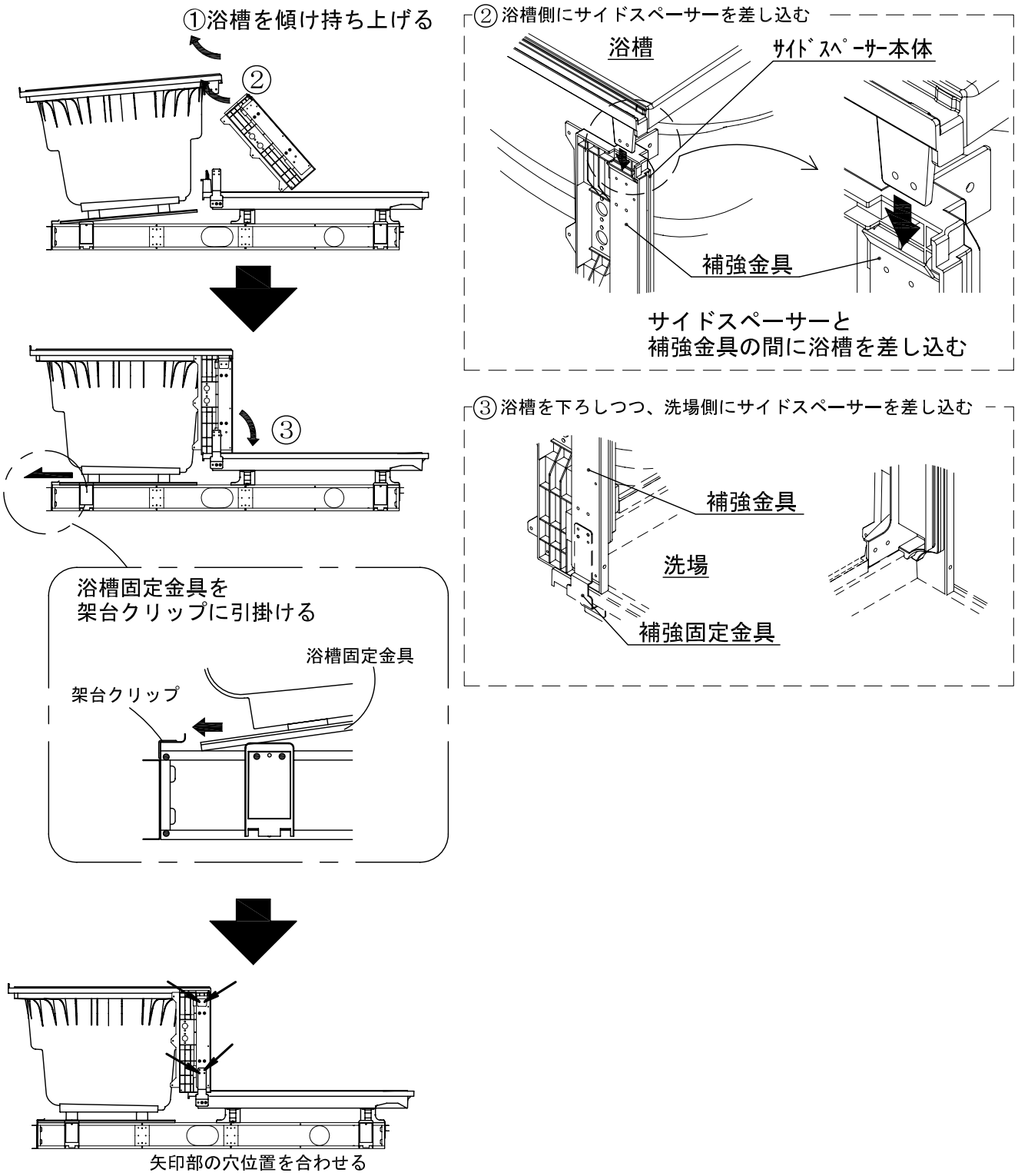
サイドスペーサー［組立　設置］

①浴槽パン「無し」の場合

共通

(5)サイドスペーサーの取付

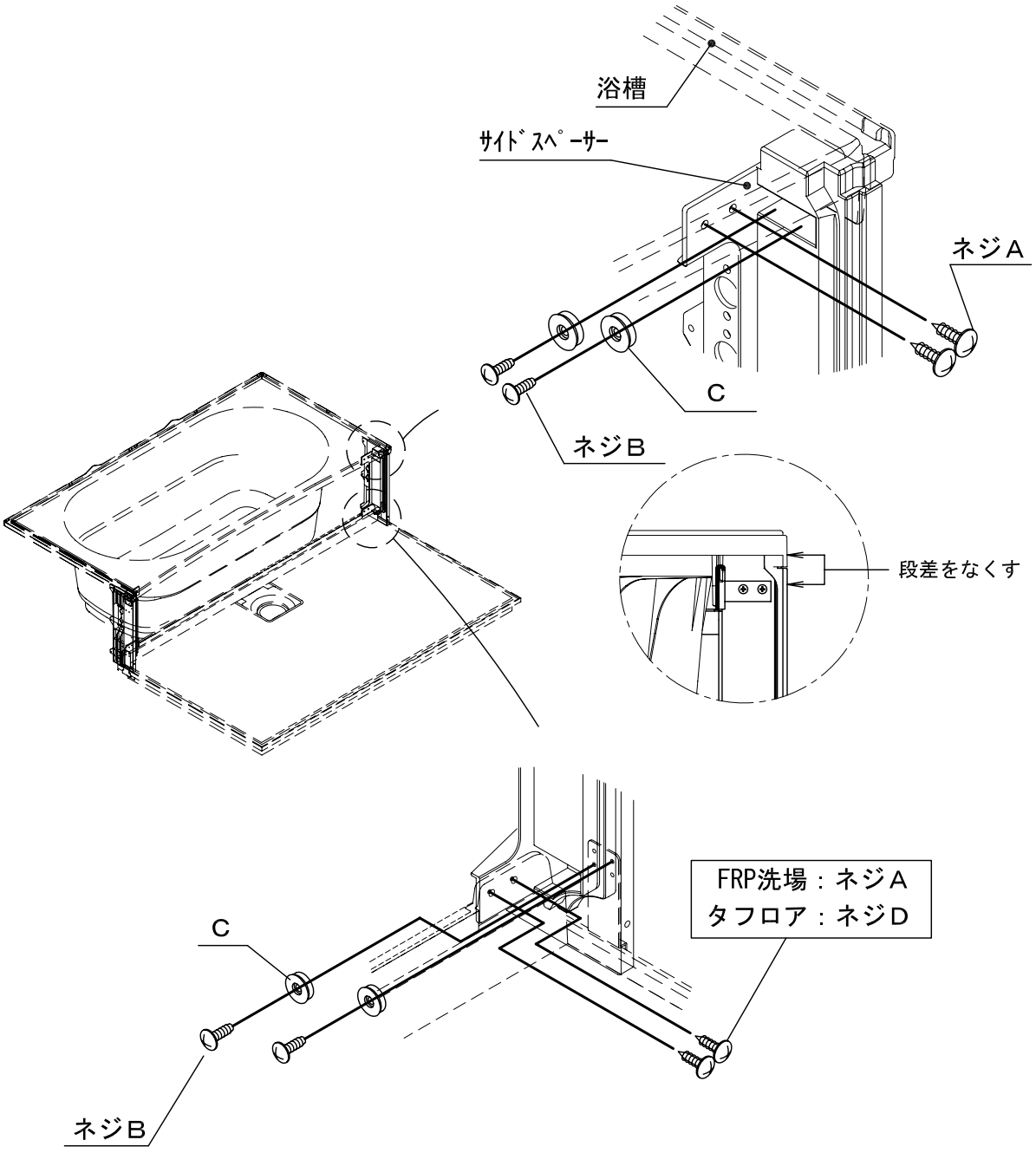
①サイドスペーサー（手前側および奥側）を浴槽と洗場の間に据え付ける。



②サイドスペーサーの位置決めを行い、固定する。

◇使用ネジ

B１トラスタッピンネジ4×16SUS 先端形状 みぞ　サイドスペーサー同梱	4本	A
トラスデルタイトネジ4×20SUS 先端形状　サイドスペーサー同梱	8本	B
ボンデットワッシャー 形状　サイドスペーサー同梱	4個	C
トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状　バックガードセット同梱	4本	D



サイドスペーサー［組立　設置］
①浴槽パン「無し」の場合

共通

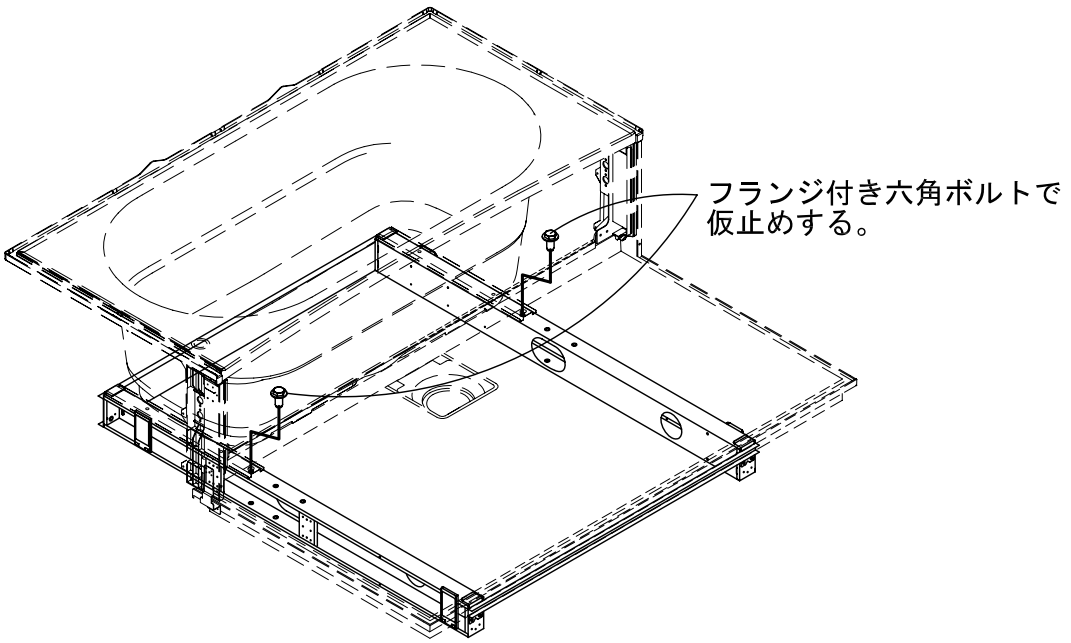
7. 浴槽の固定

(1)浴槽の固定

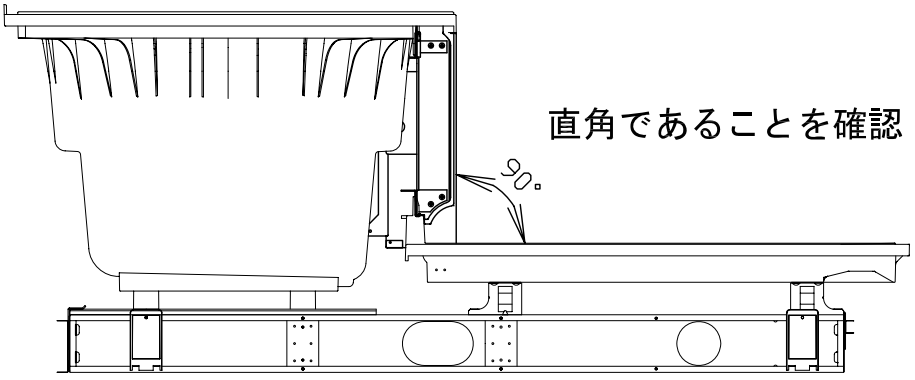
①浴槽をフランジ付き六角ボルトで仮固定する。

◇使用部材

フランジ付き六角ボルトM10×21クロメート 小物セット同梱	2本

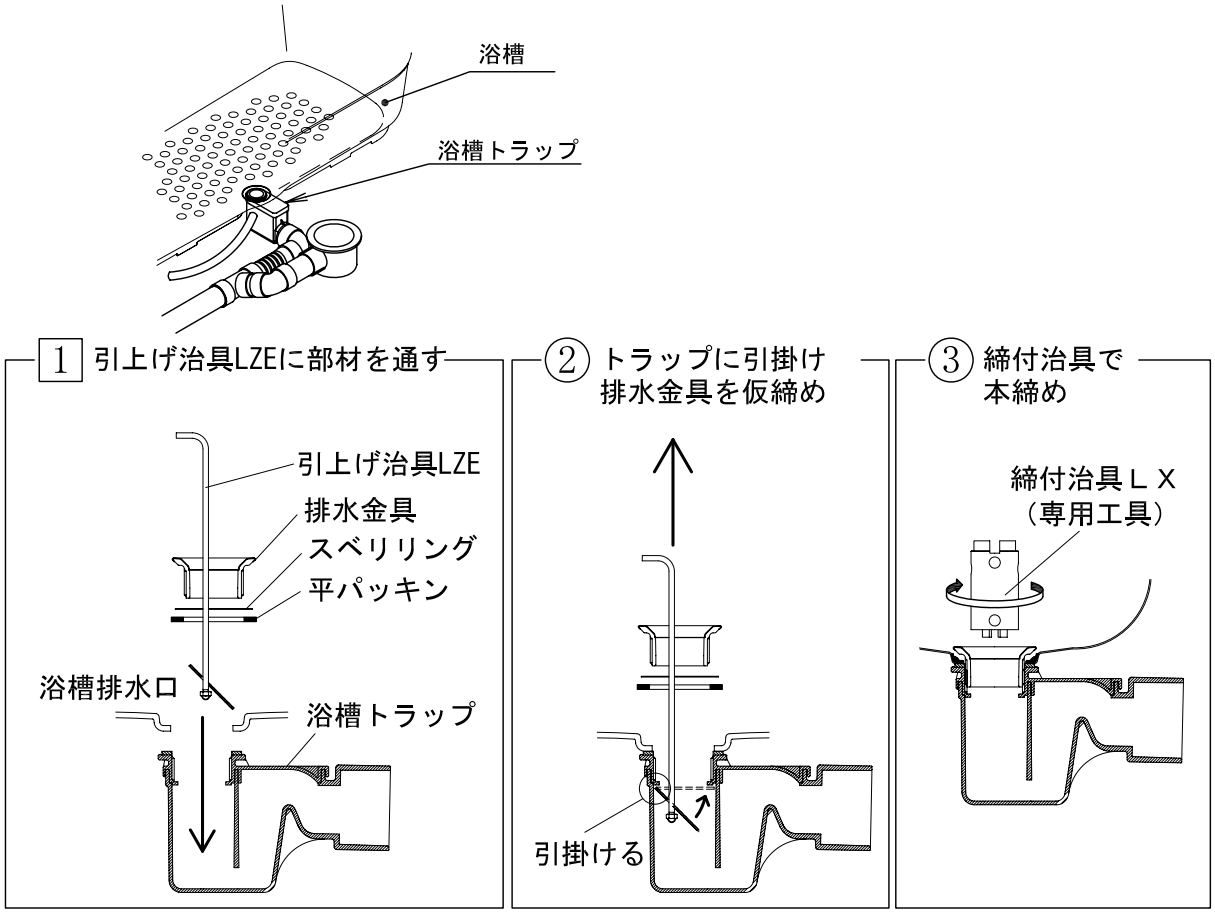


②サイドスペーサーと洗場が直角であることを確認し、洗場の位置決めを行う。



③フランジ付き六角ボルトを本締めする。

(2)浴槽トラップを下図に従い、浴槽に取り付ける。



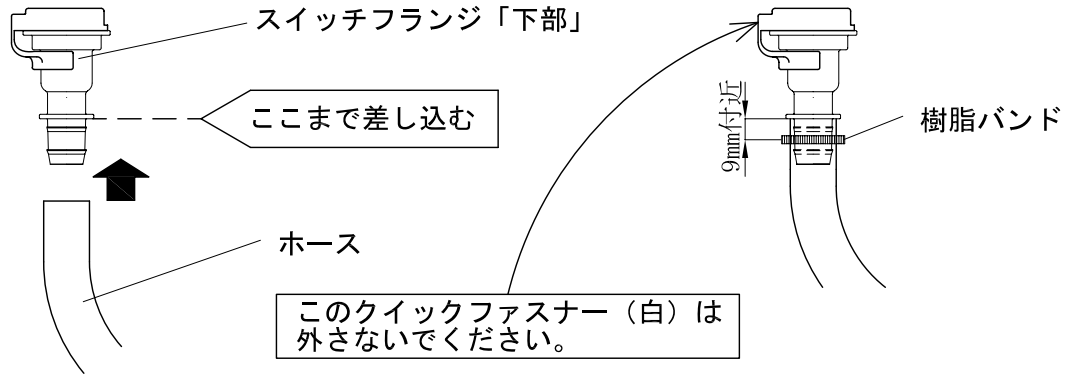
浴槽［穴あけ 仮置き 固定］　浴槽トラップの取付

①浴槽パン「無し」の場合

共通

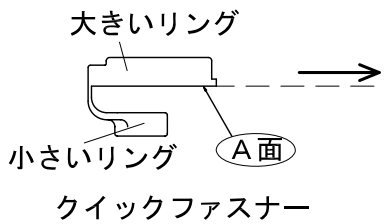
(3)ワンプッシュ排水栓用ホースの接続

①ホースをエプロン側開口から取り出し、
スイッチフランジ「下部」をホースに差し込んだ後、
樹脂バンドで固定する。

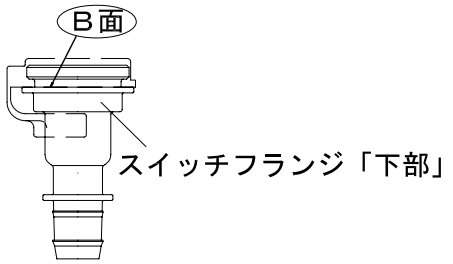


＜参考＞クイックファスナーが外れた場合

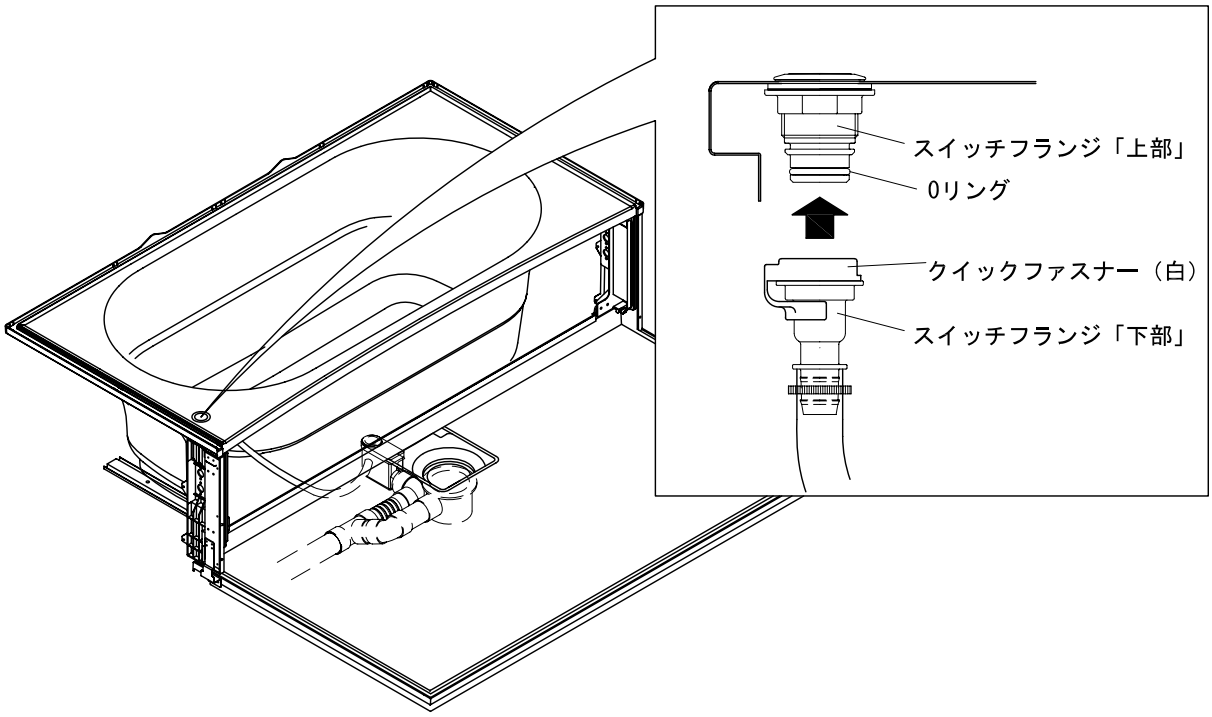
※取付向きに注意
真横から見て大きいリングが
上側になる向きで取付



※取付位置に注意
ファスナーのA面がスイッチフランジ
B面に接する位置に取付



②スイッチフランジ上部に、スイッチフランジ下部を
カチッ と音がするまで差し込む。



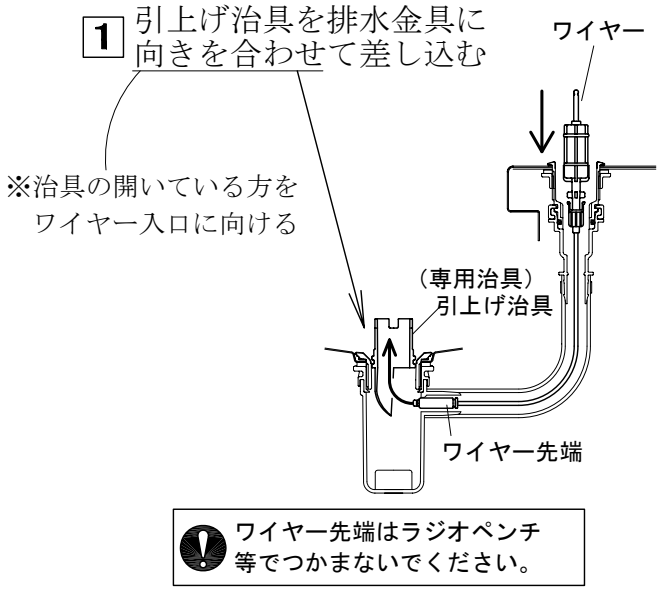
ワンプッシュの取付
①浴槽パン「無し」の場合

共通

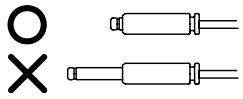
(4) **ワンプッシュ排水栓機能部品の取付**

・ワイヤー等の機能部品を記載の番号順に取付ける。

1 引上げ治具を排水金具に向きを合わせて差し込む

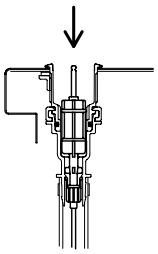


2 ワイヤー先端が飛び出ていないことを確認してワイヤーを入れる

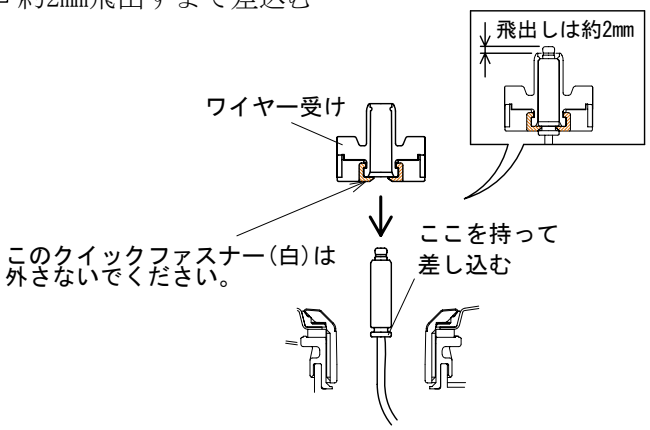


3 ワイヤー先端が引上げ治具から出てきたことを確認後奥まで押し込む

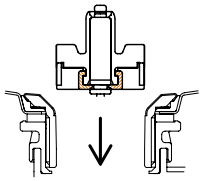
(ワイヤー先端が出る前に押し込むとワイヤーが座屈する。)



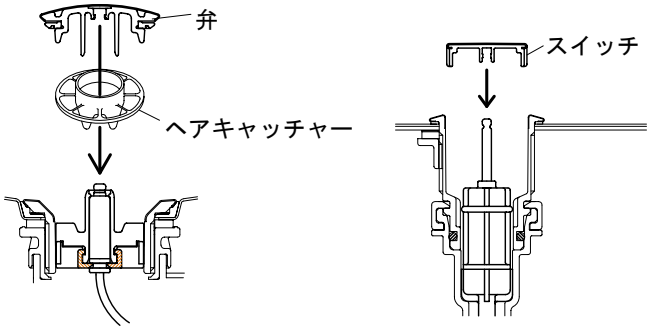
4 ワイヤー先端をワイヤー受けから約2㎜飛出すまで差込む



5 ワイヤー受けを**カチッ** と音がするまで押し込む。



6 排水口にヘアキャッチャーをセットし、弁とスイッチを **カチッ** と音がするまで垂直に押し込む。



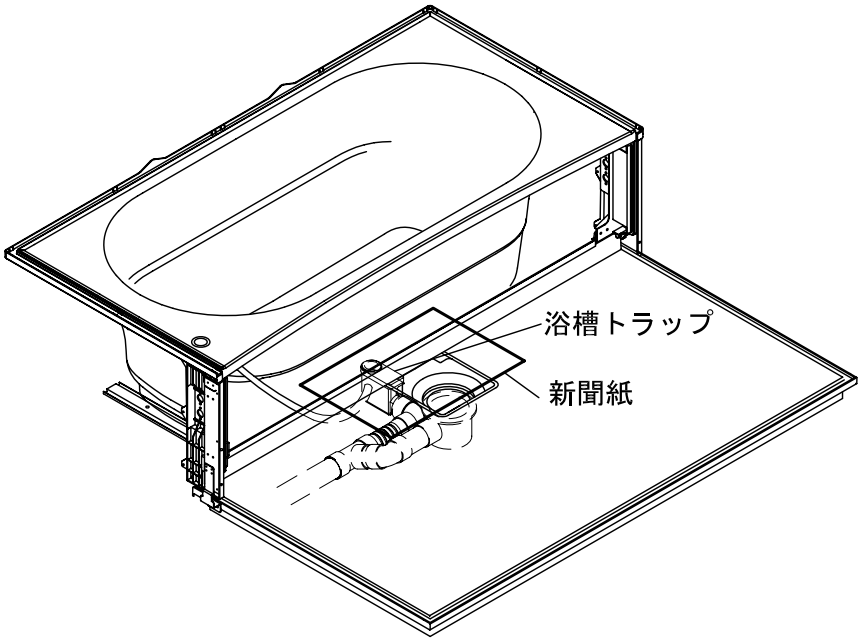
7 最後に、4回以上スイッチを押し作動確認をする。

ワンプッシュの取付
①浴槽パン「無し」の場合

共通

8. 浴槽トラップ結合部の漏水チェック

・浴槽に水をはり、排水する。（１回）
・浴槽と洗場のすき間からあらかじめ敷いておいた新聞紙を取り出し、
漏水チェックを行う。

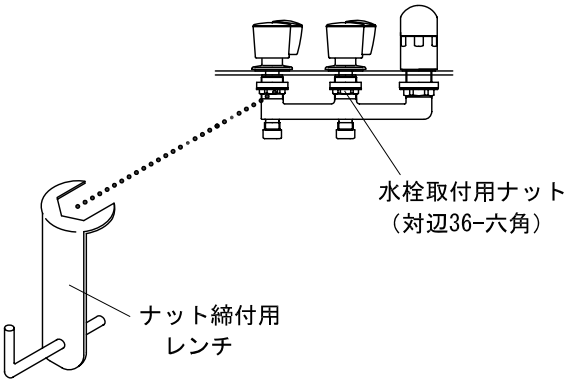


9. 浴槽水栓の取付

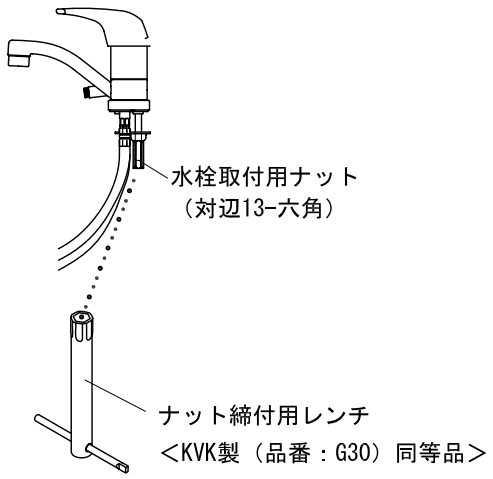
・水栓に同梱の設置説明書を参照して取付ける。

浴槽上に水栓本体を設置する際、水栓取付用ナットの締め付けがやりにくい場合は、
ナット締付用レンチを使用するなどして設置してください。

＜２ハンドル水栓の場合＞



＜シングルレバー水栓の場合＞



作業：C　全仕様共通 上台組付け基本手順

＜設備側工事＞
＜架台の墨出し＞
作業：A
浴槽パン無し
浴槽パン有り
＜下台組付け手順＞
作業：B（＋E）
作業：D（＋E）
＜上台組付け手順＞
作業：C（＋F）

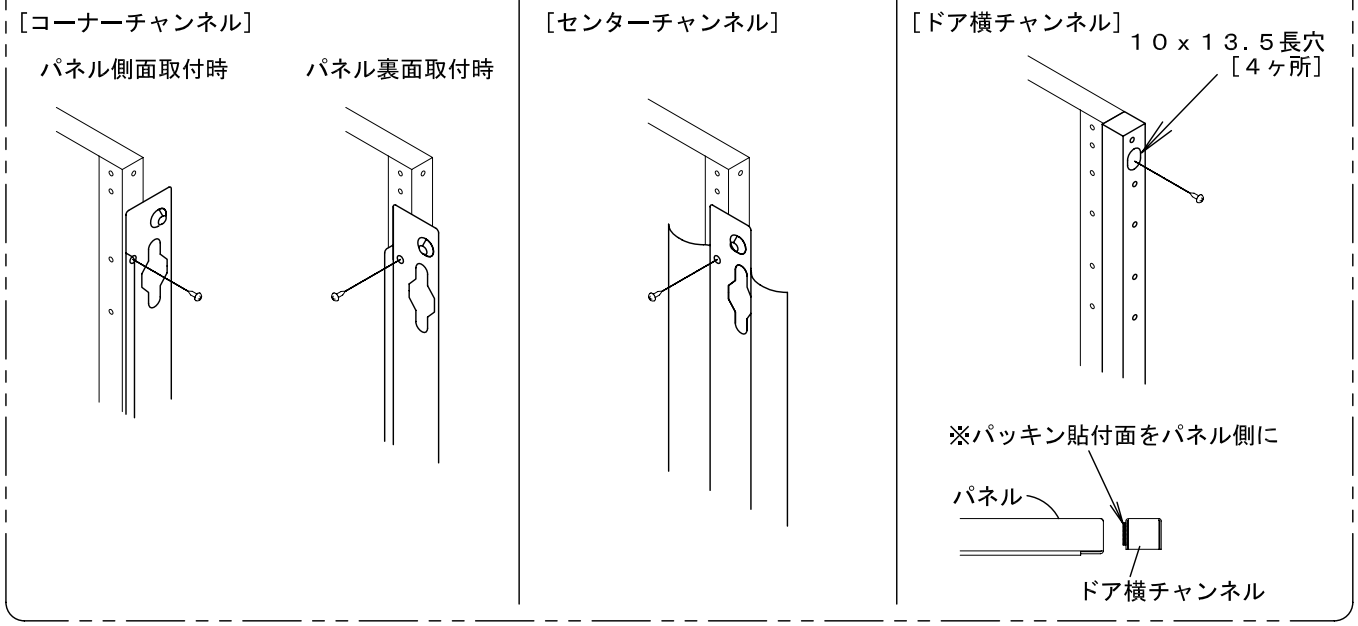
1. 壁パネルの組付準備

(1)センターチャンネル、コーナーチャンネル、ドア横チャンネルの取付

・下図のようにチャンネルの向きに注意し、パネルに取り付ける。
取付位置及びネジ数量は［金具取付位置詳細図］を参照。

取付要領 | 使用ネジ：トラスタッピンネジ(４ｘ１０クロメート)

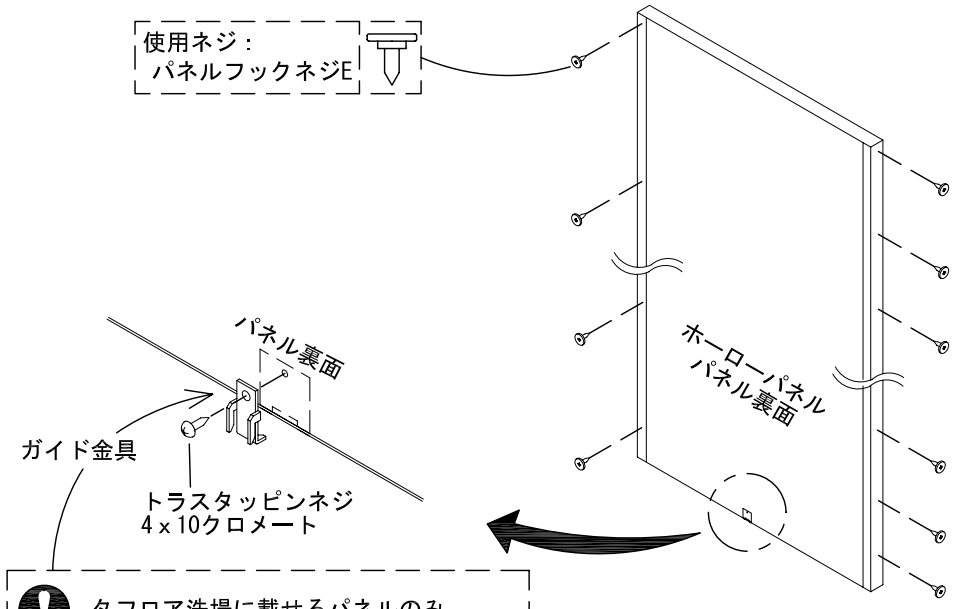
ネジを強く締めつけすぎるとネジが利かなくなります



※センターチャンネル・コーナーチャンネルを図と逆側に取付ける場合は、上下をひっくり返して取付けてください。

(2)パネルフックネジ、ガイド金具の取付

・下図のように取り付ける。
取付位置及びネジ数量は［金具取付位置詳細図］を参照。

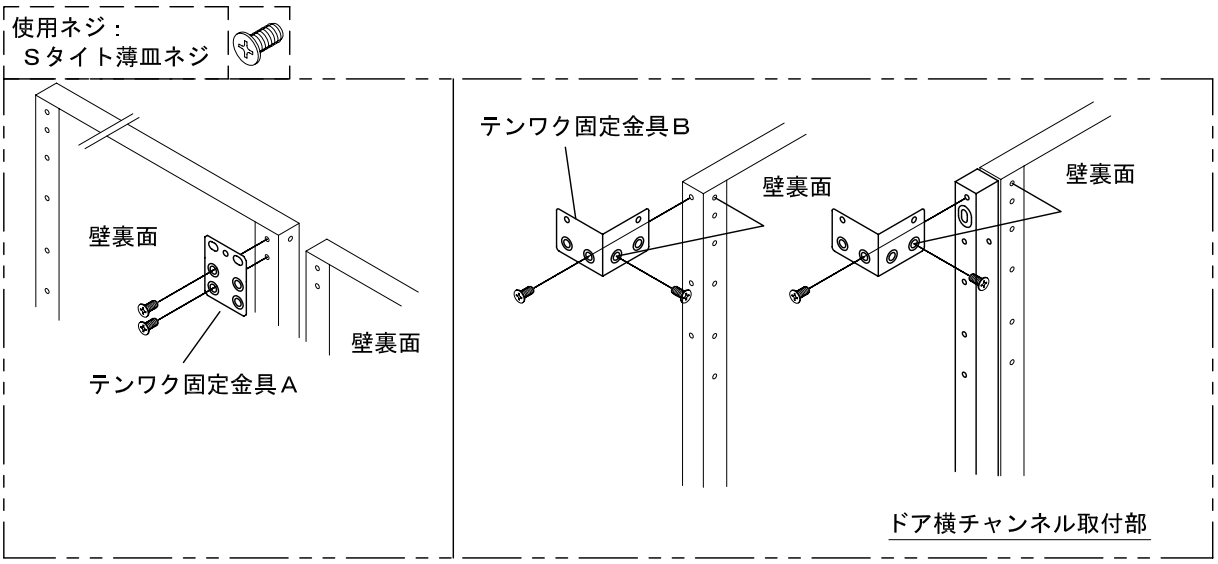


タフロア洗場に載せるパネルのみ

※ＦＲＰ洗場時に取り付けると洗場の
溝部に干渉し、設置できません。

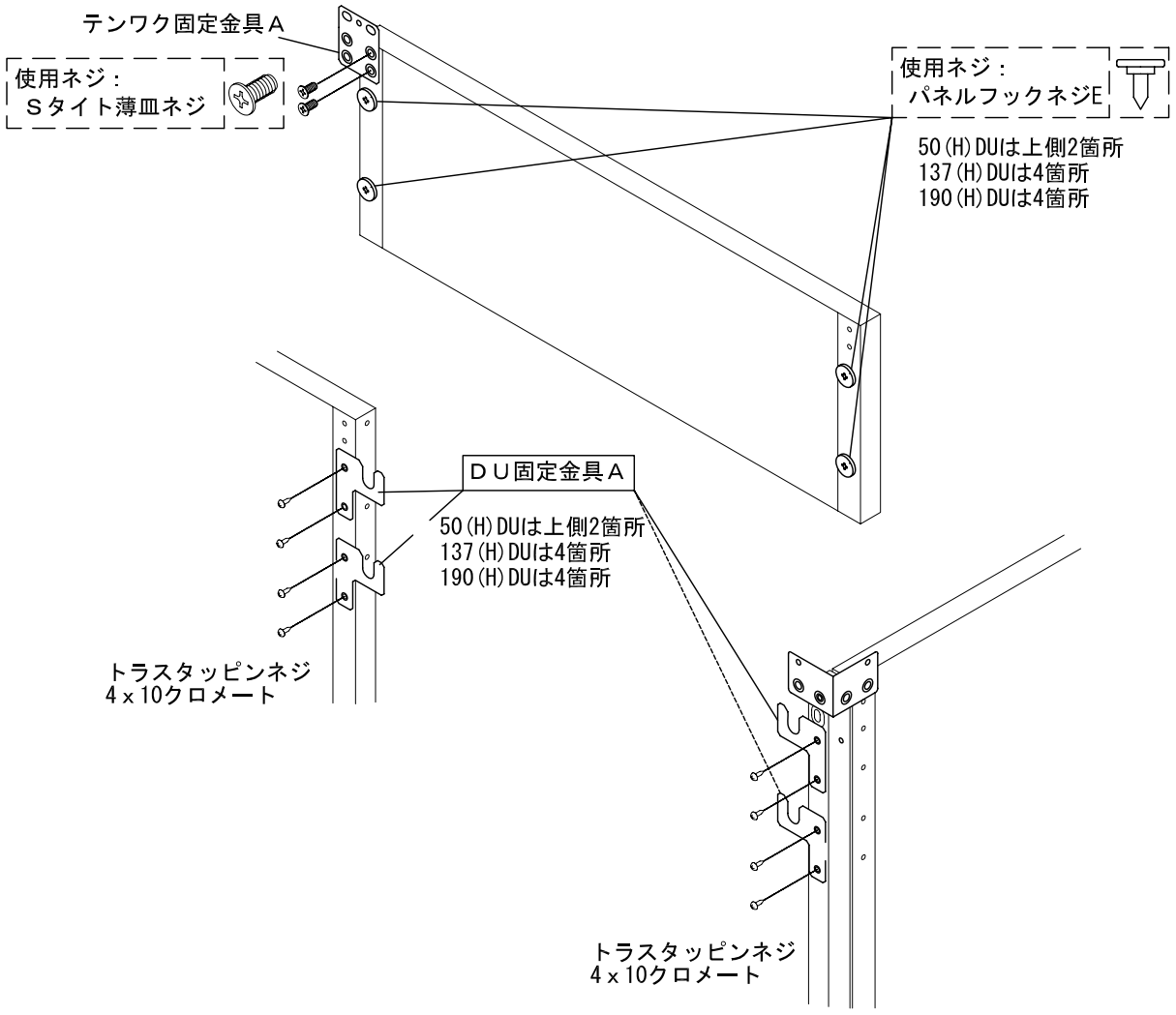
(3)テンワク取付金具の取付

・下図のようにパネルに取り付ける。
　取付位置及びネジ数量は［金具取付位置詳細図］を参照。



(4)ドア上パネルあり仕様時の金具の取付

・下図のようにパネルに取り付ける。
　取付位置及びネジ数量は［金具取付位置詳細図］を参照。

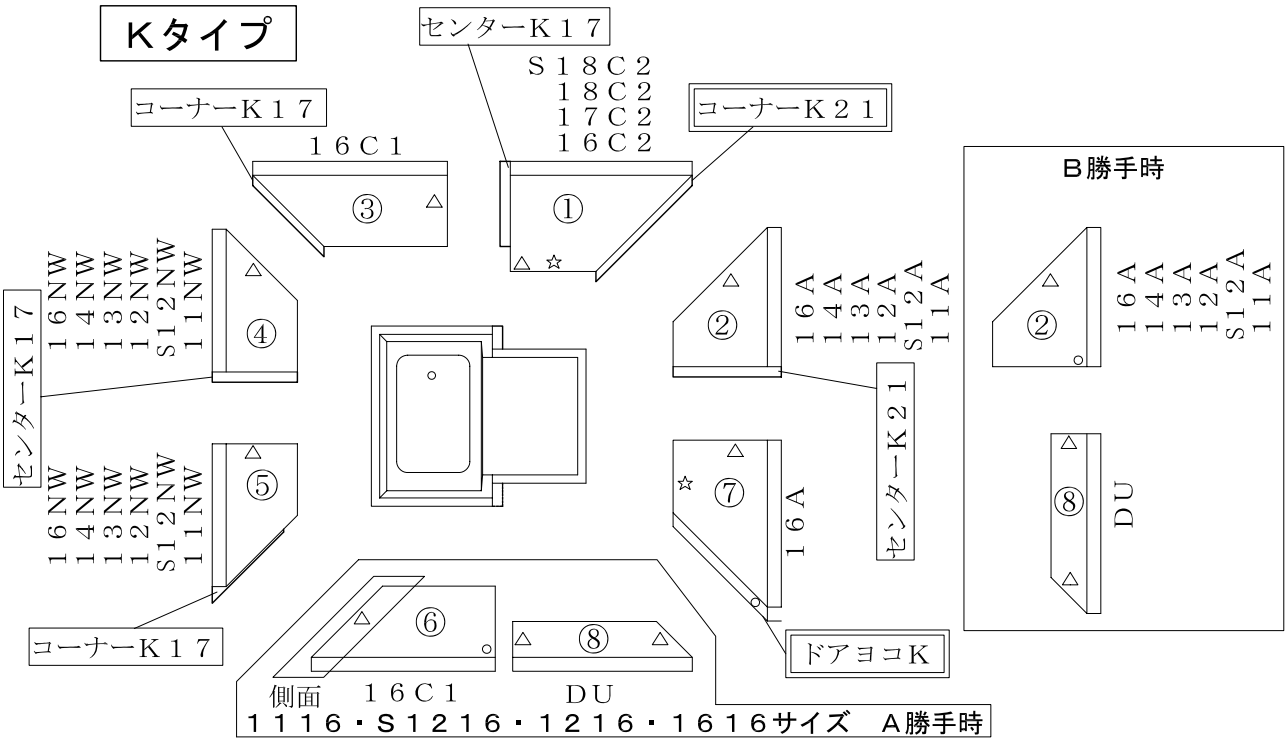


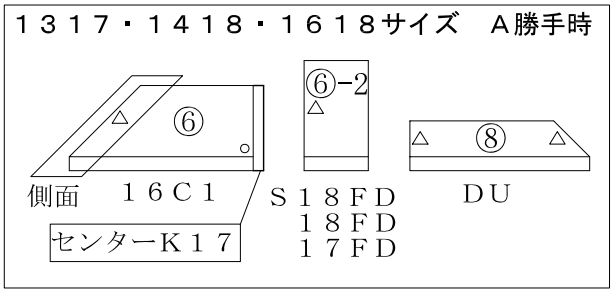
１１１６・Ｓ１２１６・１２１６・１３１７・１４１８・１６１６・１６１８サイズの場合

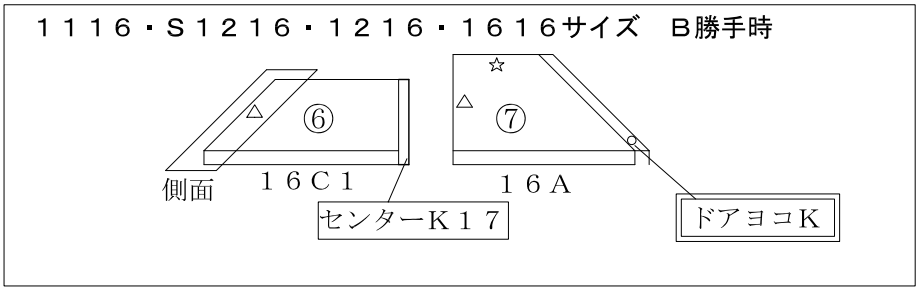
〈金具、チャンネル取付位置図及び 組付け順序と取付位置〉

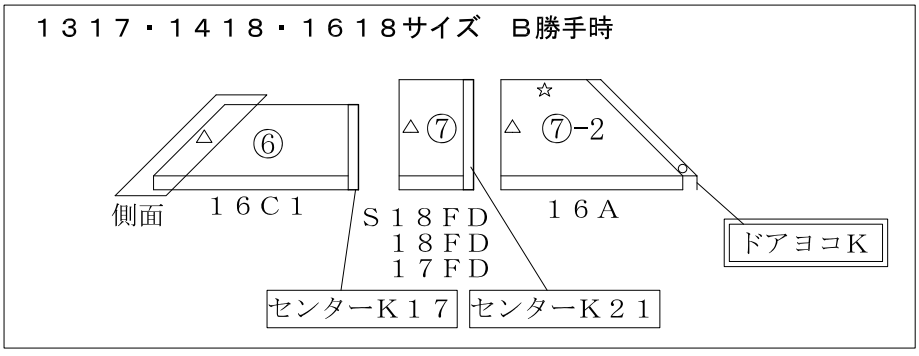
○：ＤＵコテイカナグＢ
△：パネルフックネジＥ
☆：ガイド金具（タフロアのみ）

注）．◯ 内の数字はパネルの組付順序を示す。
注）．二重線で囲まれたチャンネルはパネル側面に取付
注）．――― 線で囲まれたパネルフックネジはパネル側面に取付





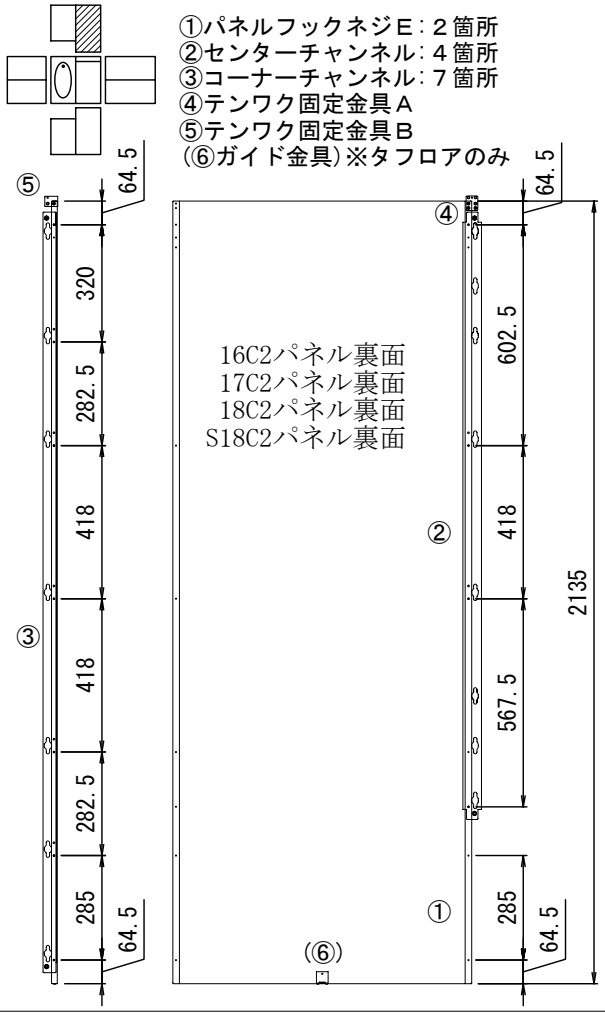


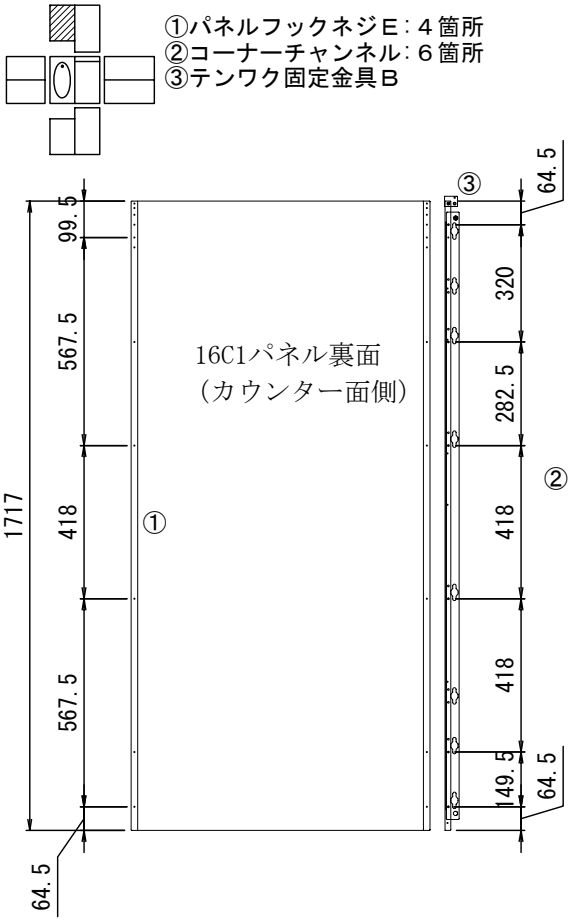


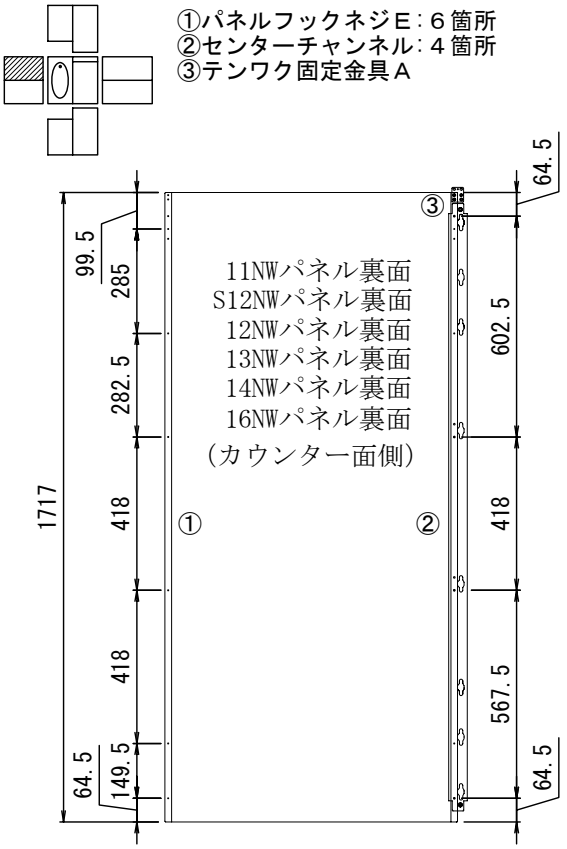
金具取付位置詳細図

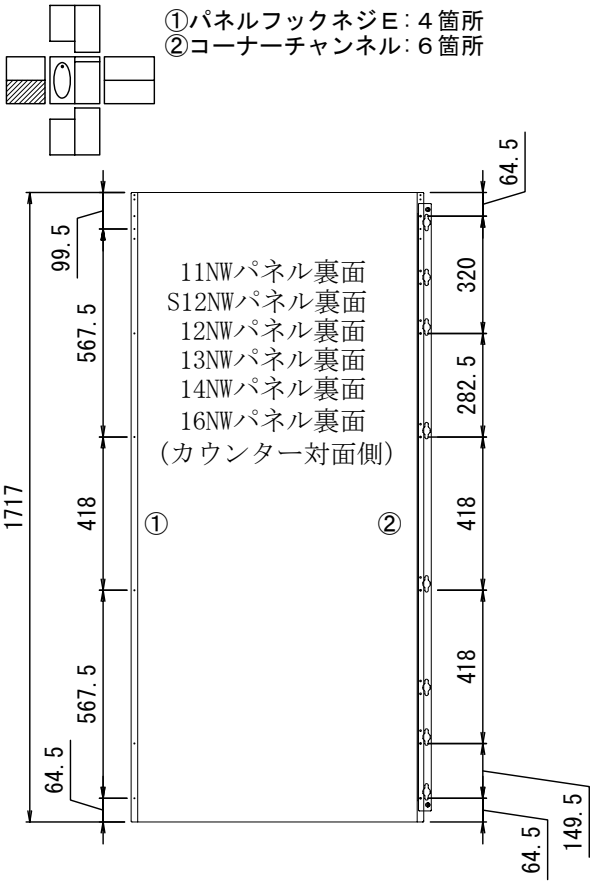
１１・Ｓ１２・１２・１３・１４・１６・１６１８
Ｋタイプ カウンター面・浴槽側面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。







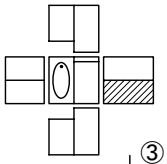


金具取付位置詳細図

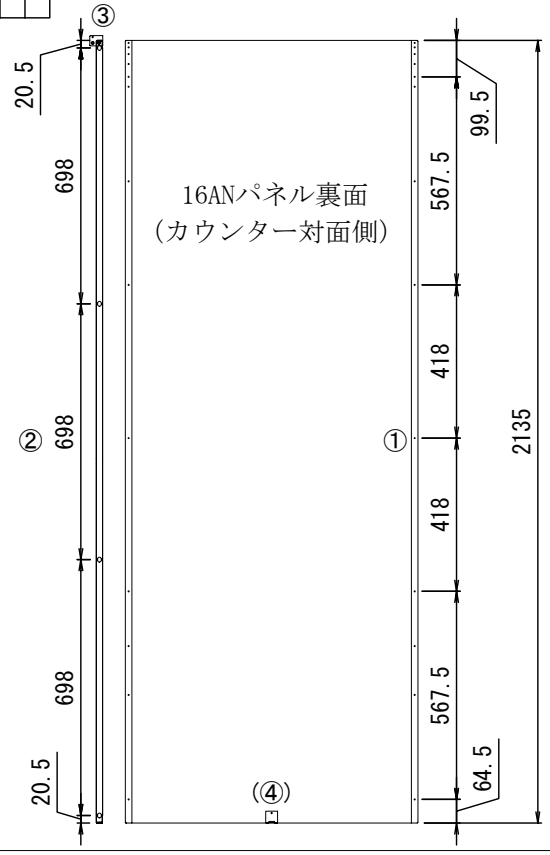
１１・Ｓ１２・１２・１３・１４・１６・１６１８
Ｋタイプ　Ａ勝手　洗場側面・カウンター対面

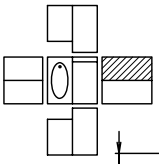
13･14･1618カウンター対面はP.121参照のこと

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

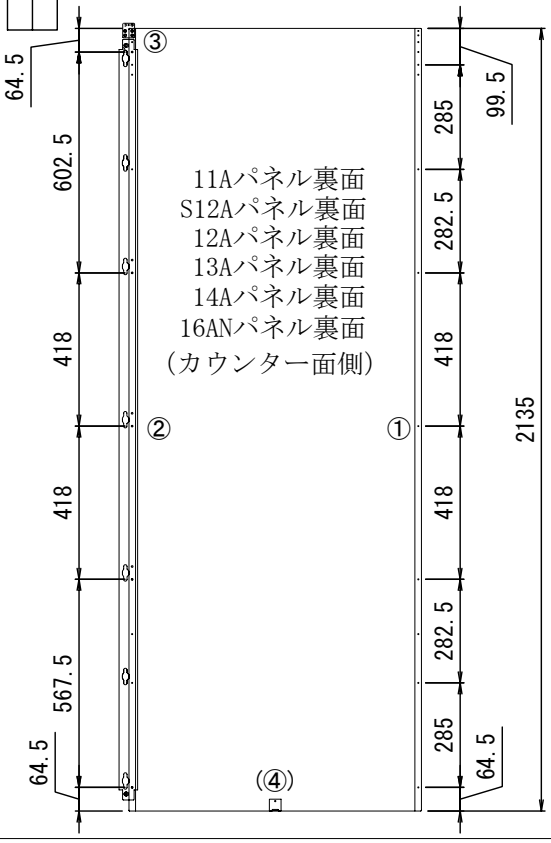


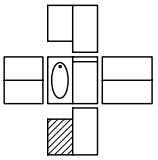
①パネルフックネジＥ：５箇所
②ドア横チャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
(④ガイド金具)※タフロアのみ





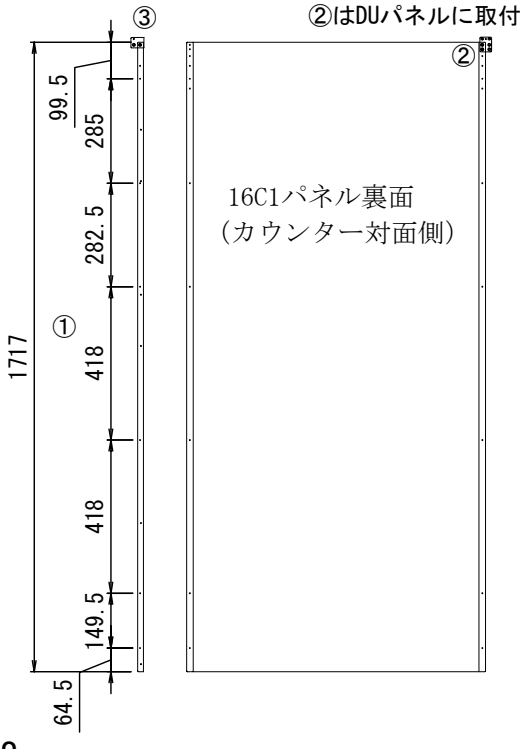
①パネルフックネジＥ：７箇所
②センターチャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ａ
(④ガイド金具)※タフロアのみ、12Aは不要





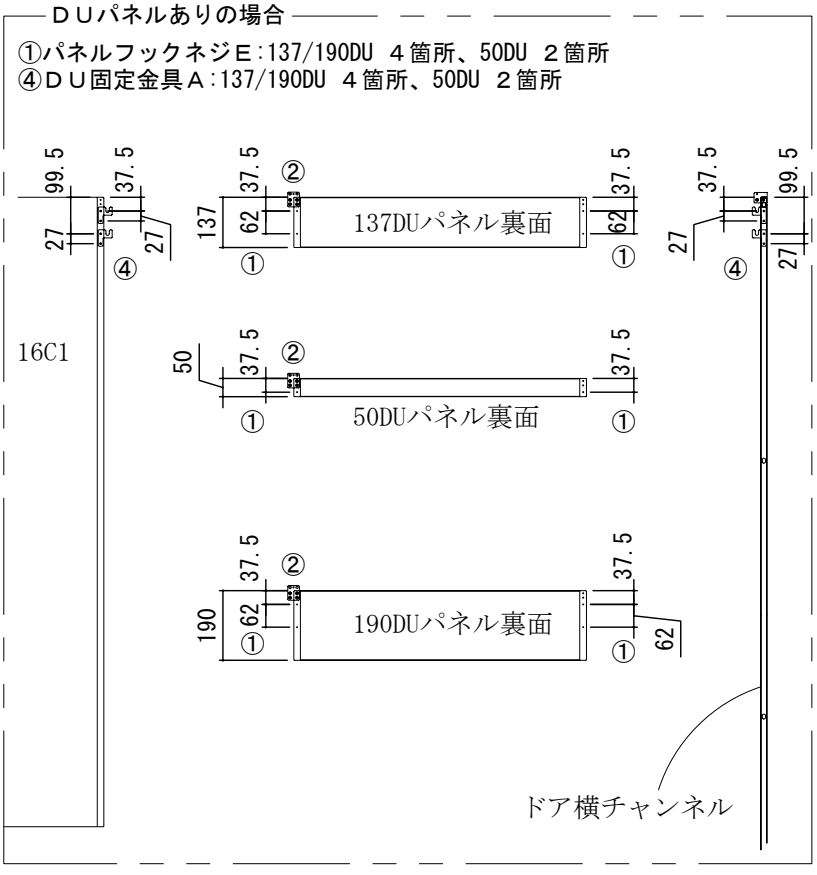
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③テンワク固定金具Ｂ

注)DUパネルありの場合、
②はDUパネルに取付



ＤＵパネルありの場合

①パネルフックネジＥ:137/190DU　４箇所、50DU　２箇所
④ＤＵ固定金具Ａ:137/190DU　４箇所、50DU　２箇所



金具取付位置詳細図

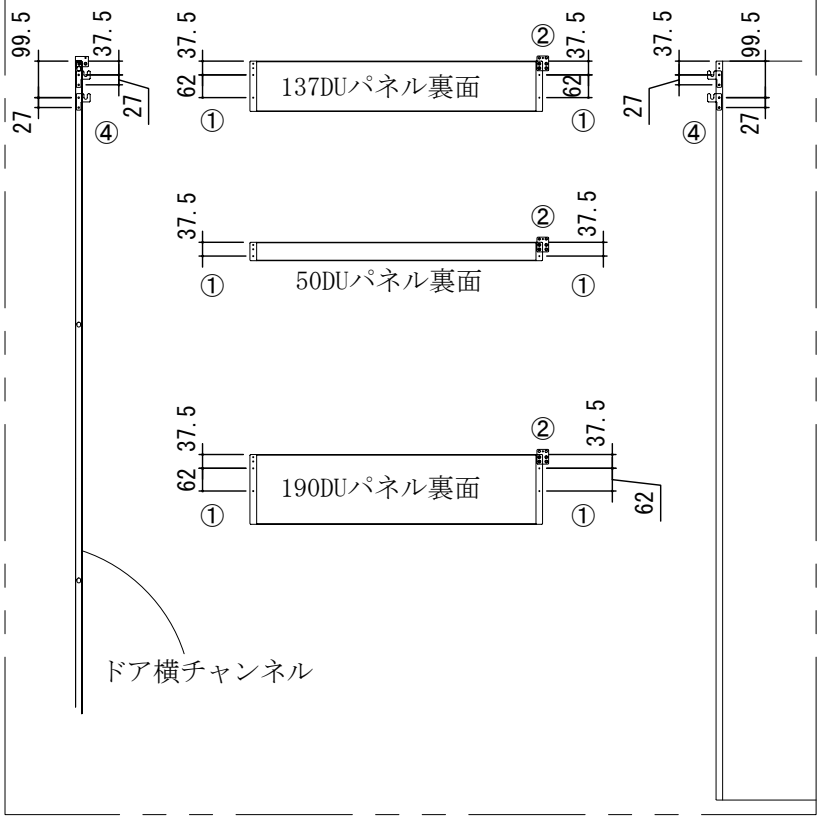
１１･Ｓ１２･１２･１３･１４･１６･１６１８
Ｋタイプ Ｂ勝手 洗場側面・カウンター対面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

13･14･1618カウンター対面も同様に金具を付け替えのこと

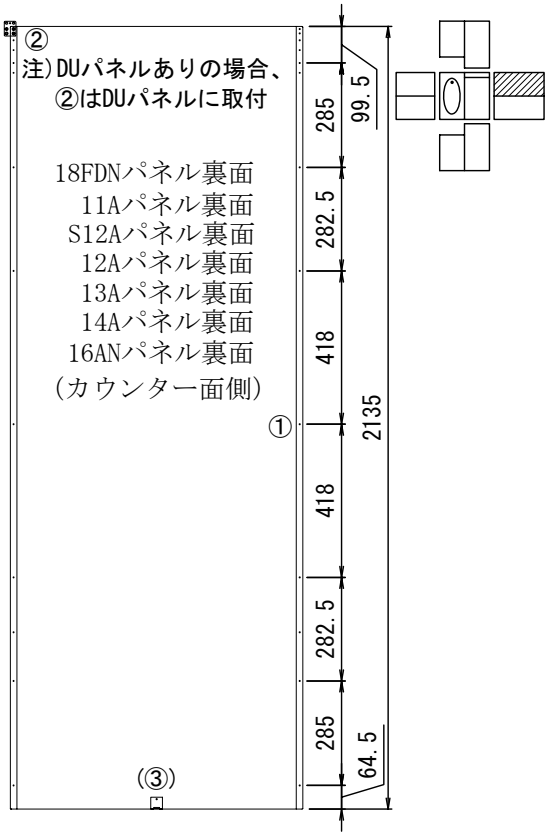
ＤＵパネルありの場合

①パネルフックネジＥ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所
④ＤＵ固定金具Ａ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所

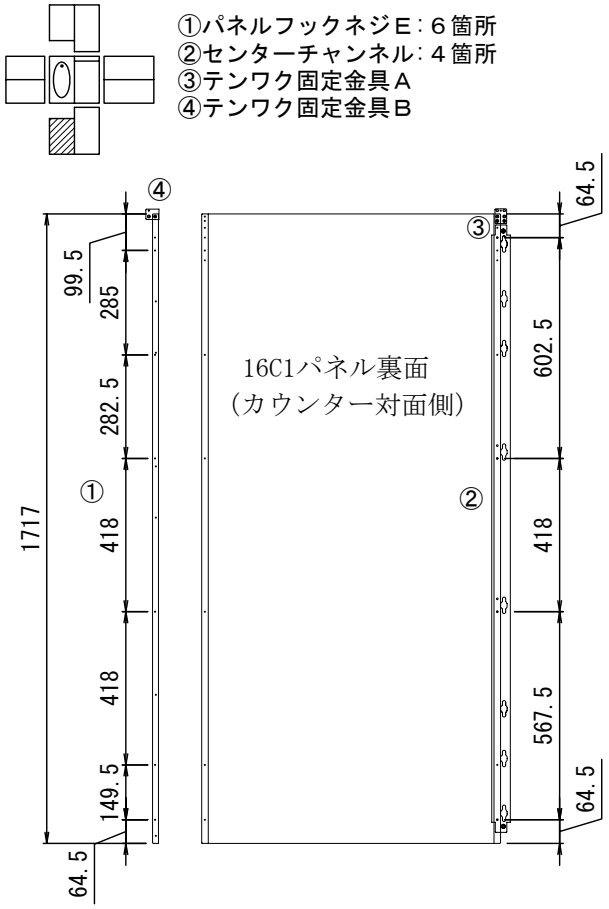


①パネルフックネジＥ:７箇所
②テンワク固定金具Ａ
(③ガイド金具)※タフロアのみ、12A/18FDは不要

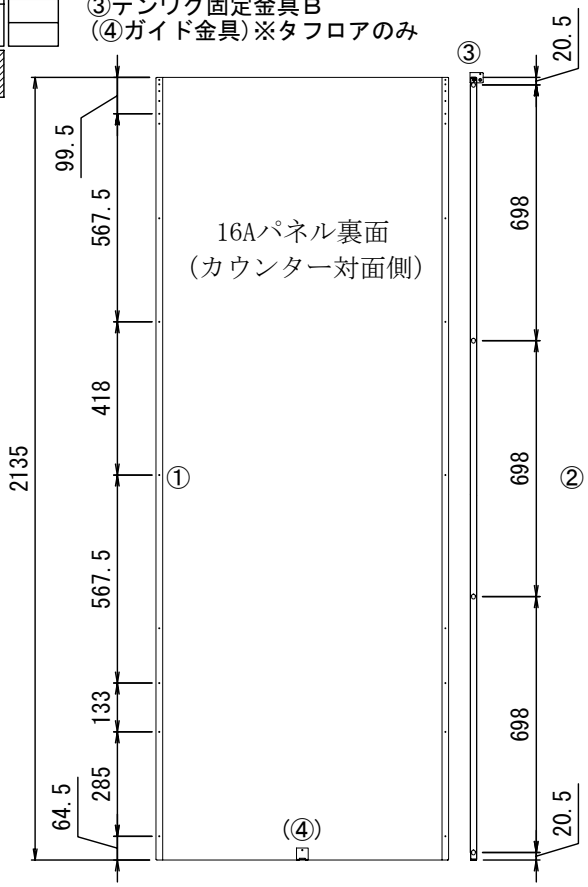
注)DUパネルありの場合、
②はDUパネルに取付



①パネルフックネジＥ:６箇所
②センターチャンネル:４箇所
③テンワク固定金具Ａ
④テンワク固定金具Ｂ

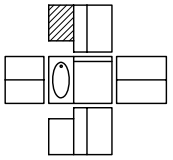


①パネルフックネジＥ:６箇所
②ドア横チャンネル:４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
(④ガイド金具)※タフロアのみ

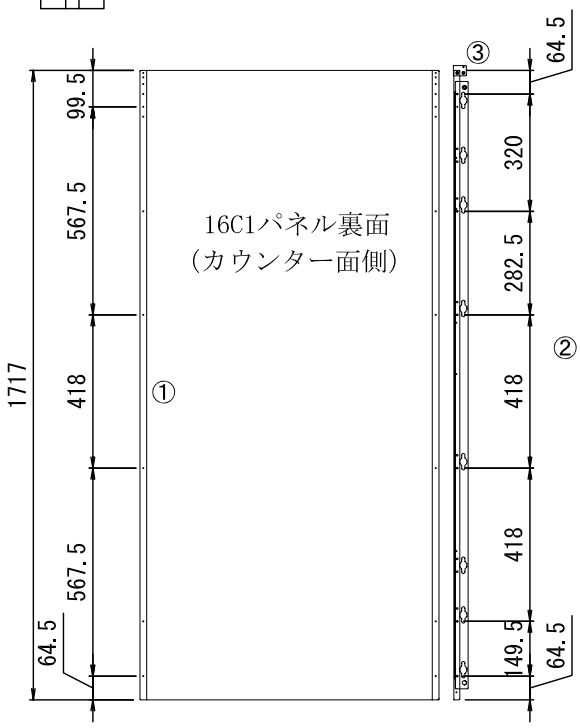


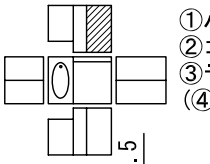
金具取付位置詳細図　２０Ｋタイプ　カウンター面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

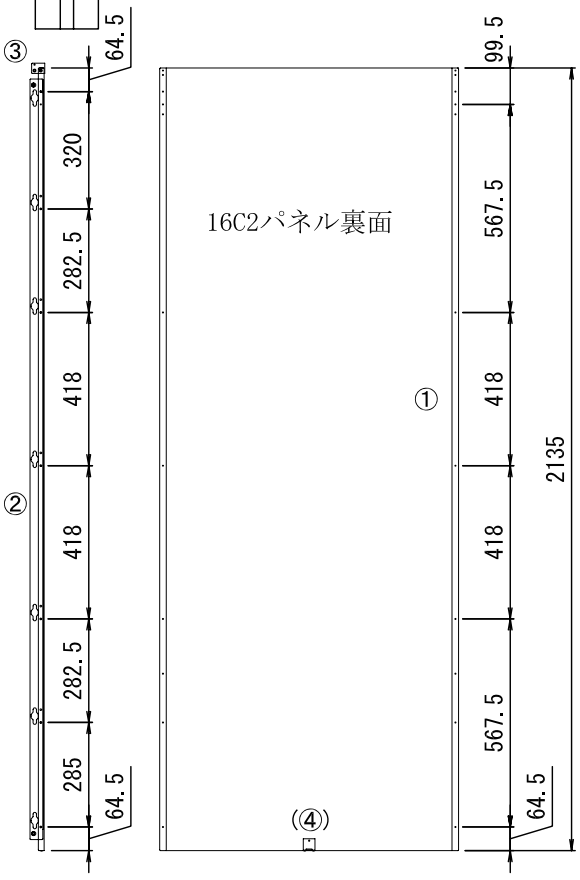


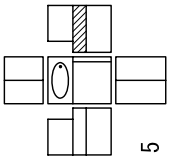
①パネルフックネジＥ：４箇所
②コーナーチャンネル：６箇所
③テンワク固定金具Ｂ



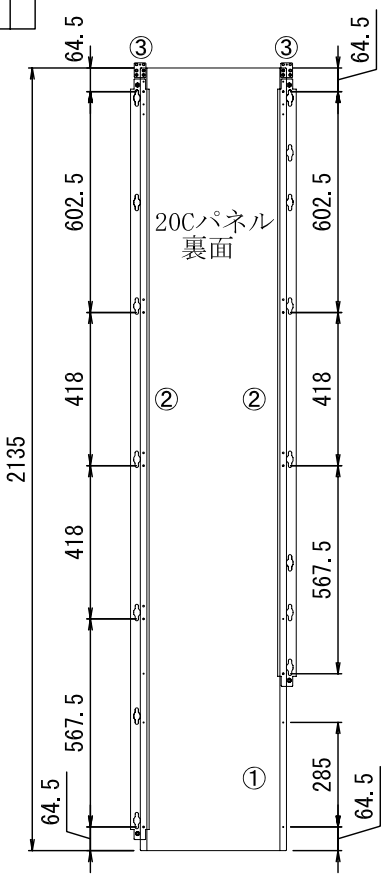


①パネルフックネジＥ：５箇所
②コーナーチャンネル：７箇所
③テンワク固定金具Ｂ
（④ガイド金具）※タフロアのみ





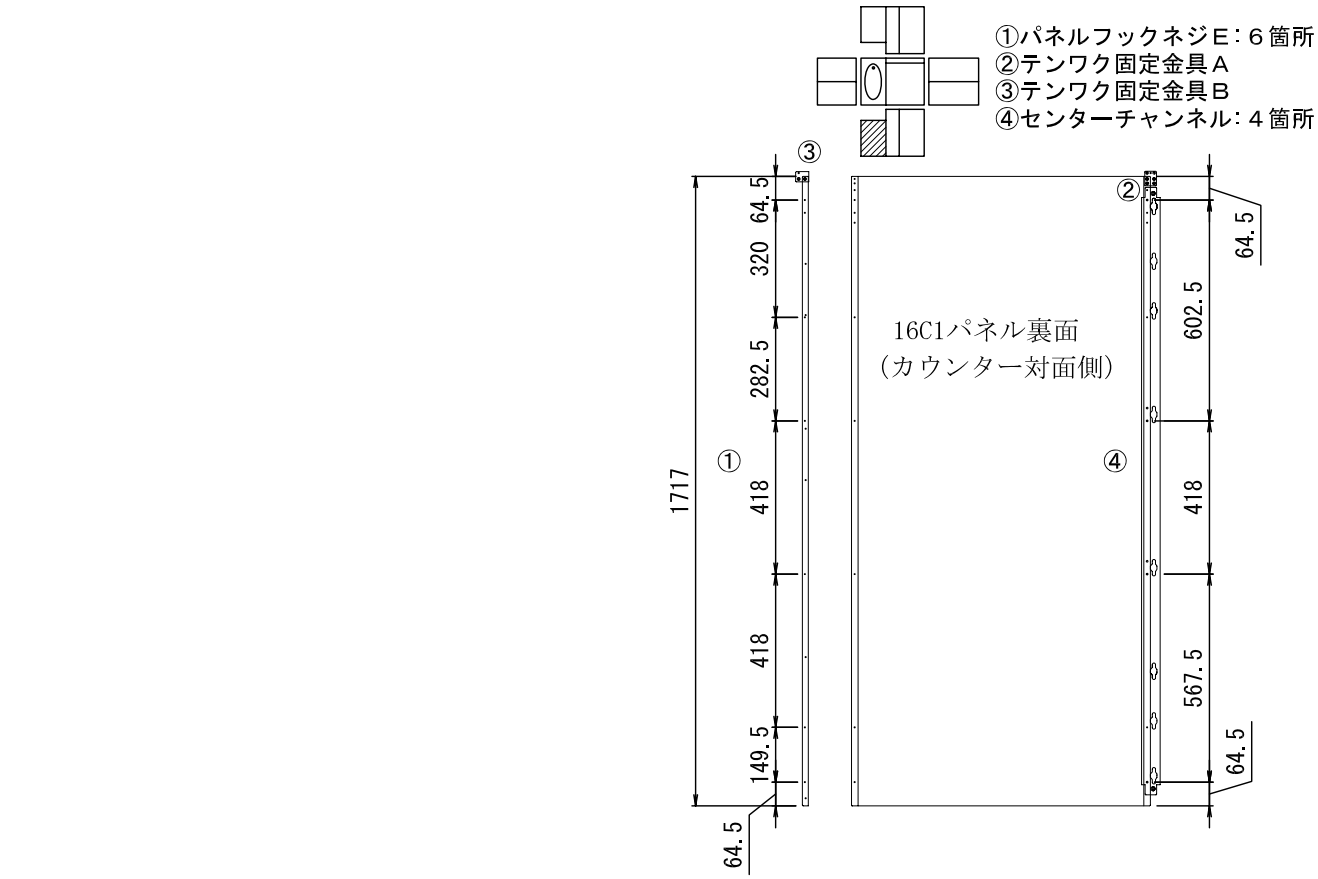
①パネルフックネジＥ：２箇所
②センターチャンネル：９箇所
③テンワク固定金具Ａ：２箇所

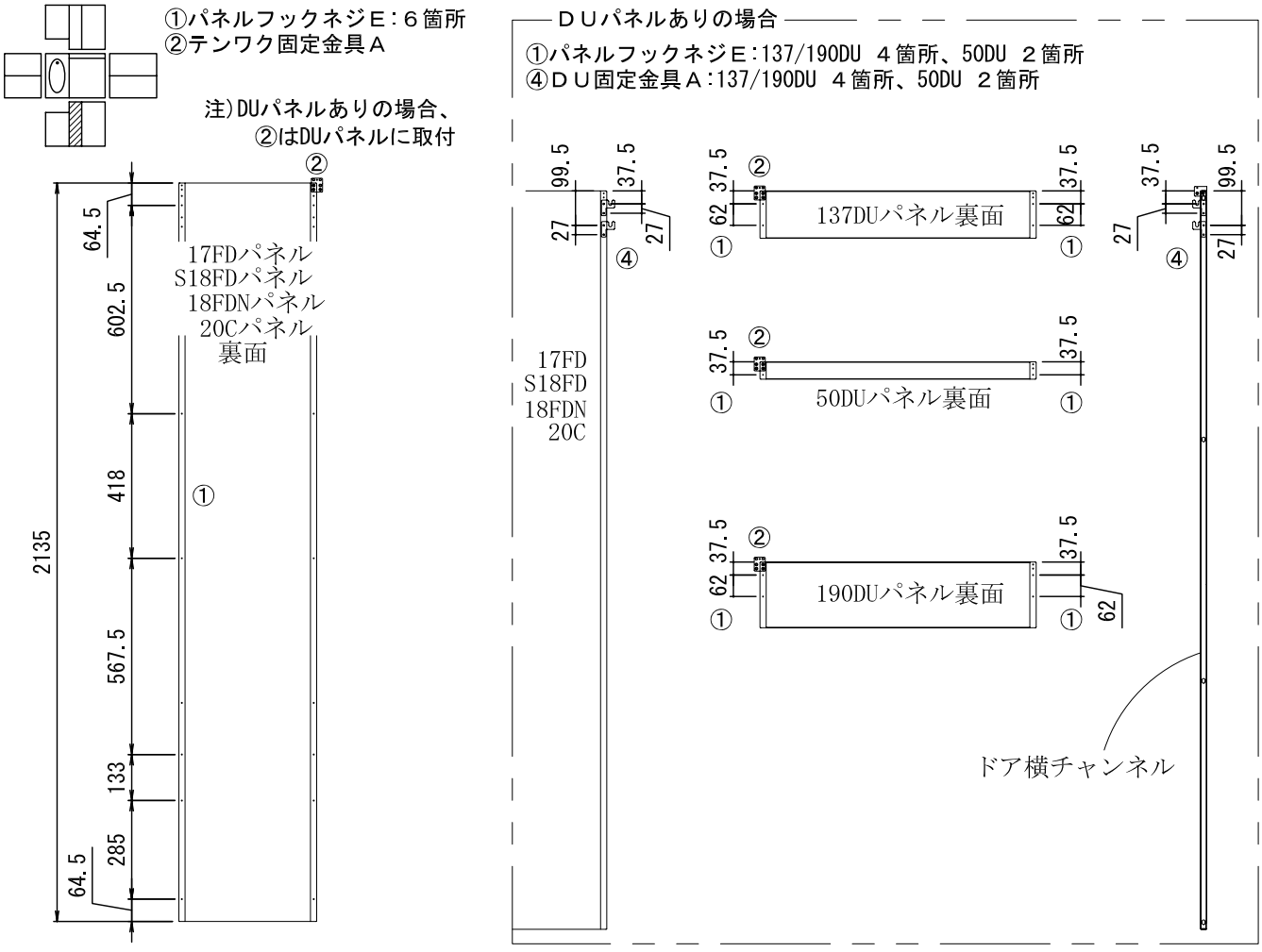


金具取付位置詳細図

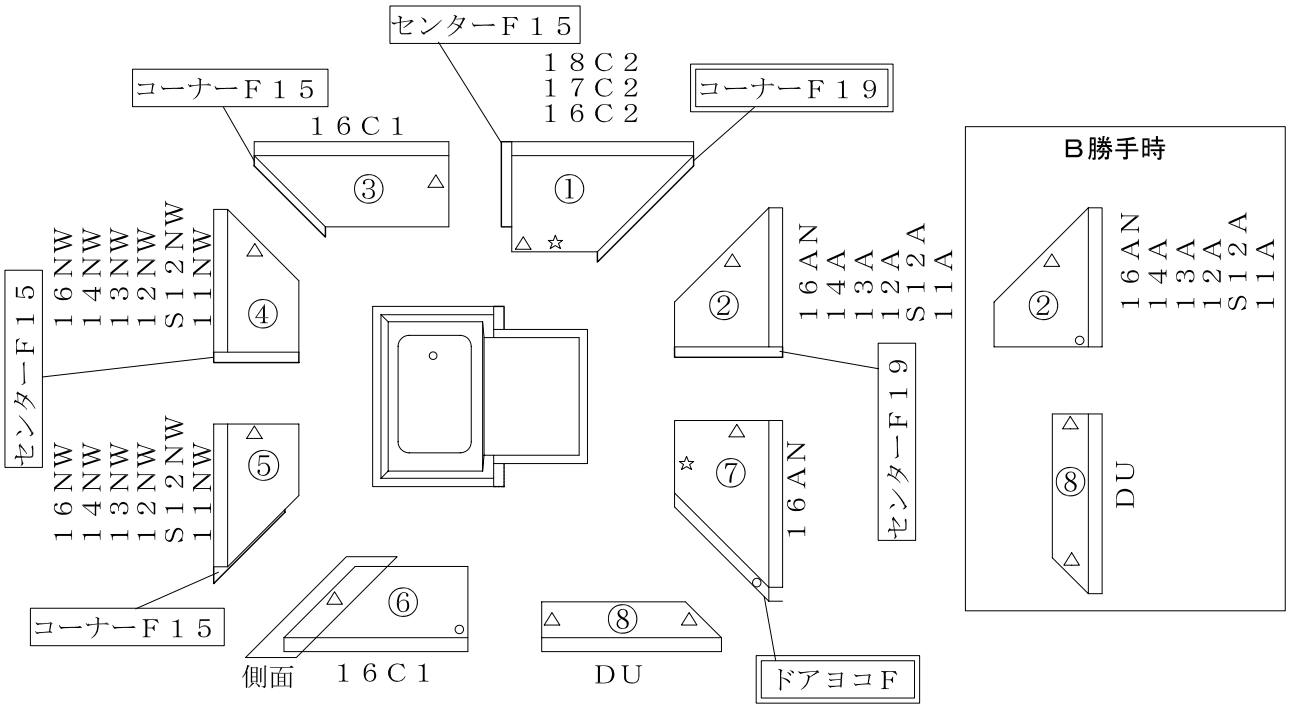
１３・１４・１６１８・２０
Ｋタイプ Ａ勝手 カウンター対面

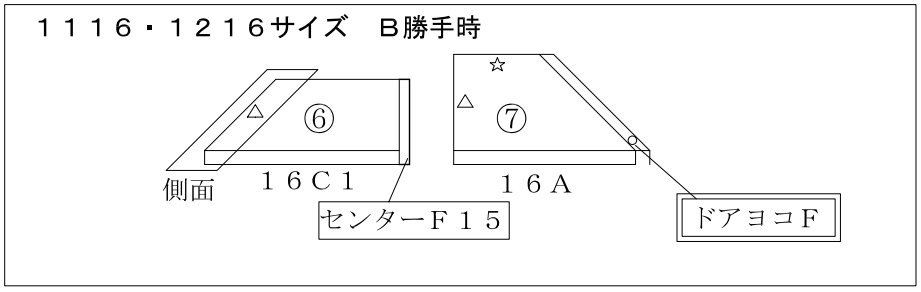
本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

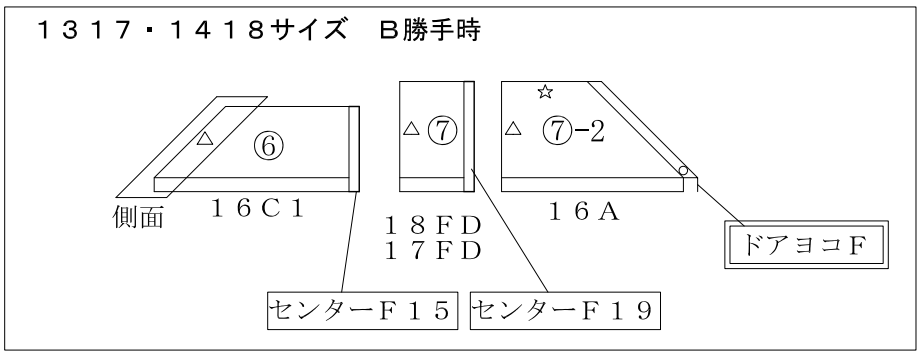




Ｆタイプ（１１・１２・Ｓ１２・１３・１４・１６サイズのみ）

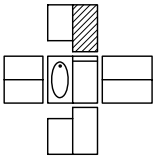




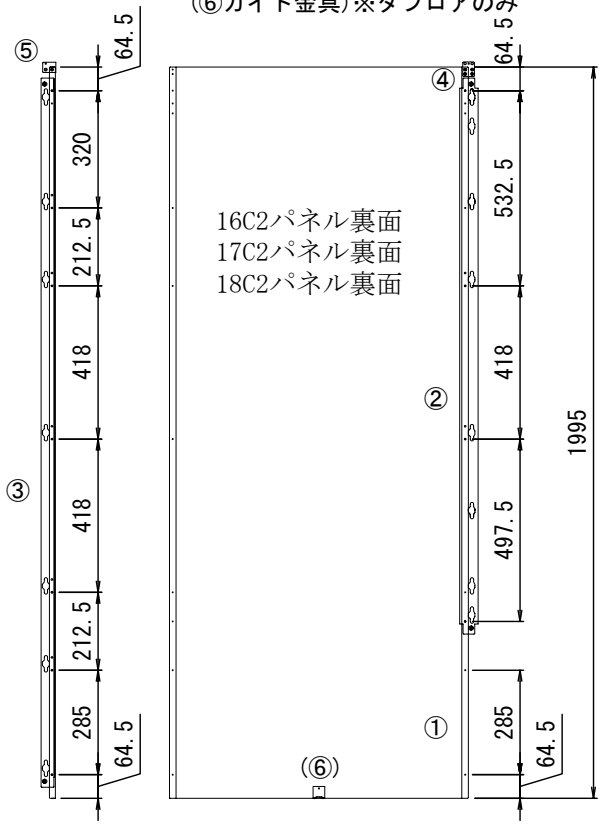


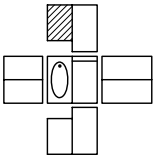
金具取付位置詳細図　１１・Ｓ１２・１２・１３・１４・１６　Ｆタイプ カウンター面・浴槽側面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

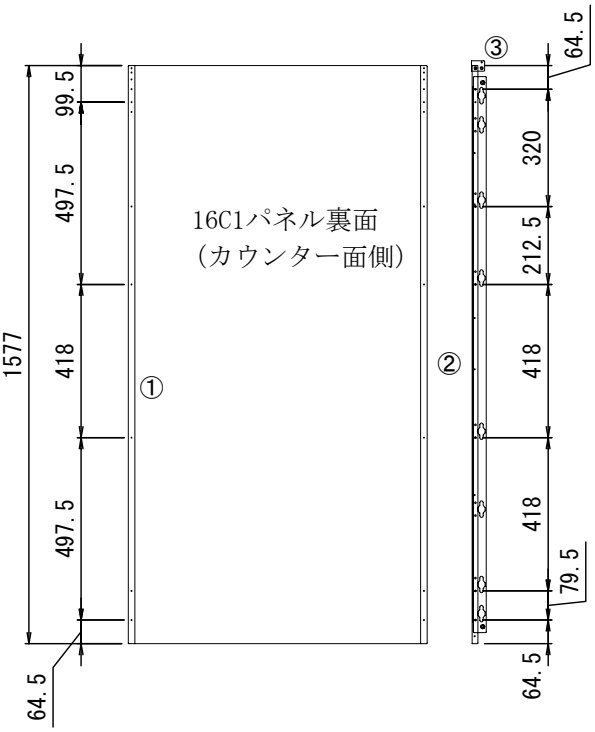


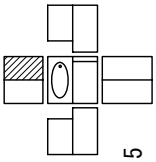
①パネルフックネジＥ：２箇所
②センターチャンネル：４箇所
③コーナーチャンネル：７箇所
④テンワク固定金具Ａ
⑤テンワク固定金具Ｂ
(⑥ガイド金具)※タフロアのみ



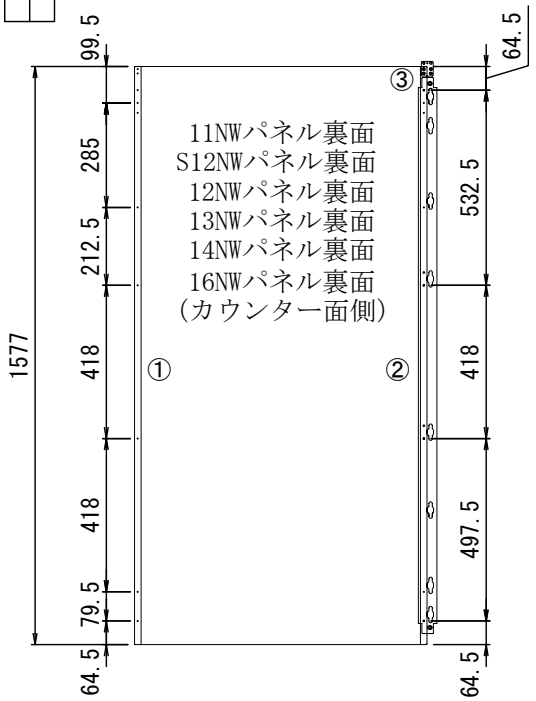


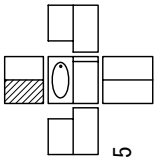
①パネルフックネジＥ：４箇所
②コーナーチャンネル：６箇所
③テンワク固定金具Ｂ



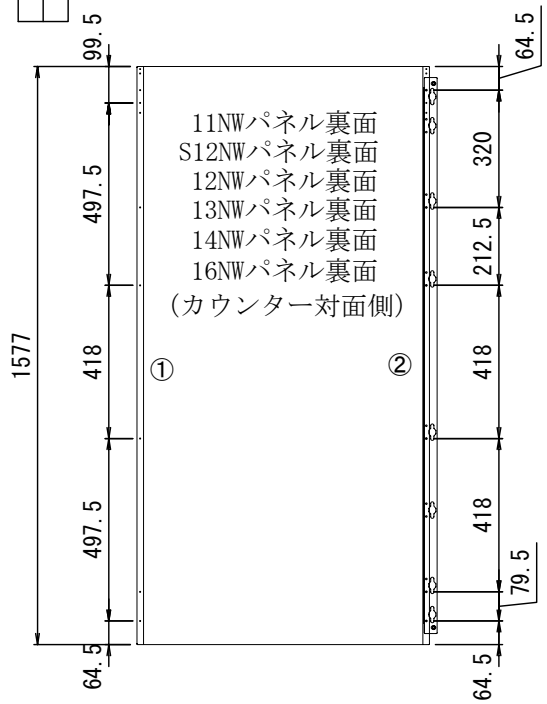


①パネルフックネジＥ：６箇所
②センターチャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ａ





①パネルフックネジＥ：４箇所
②コーナーチャンネル：６箇所

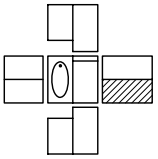


金具取付位置詳細図

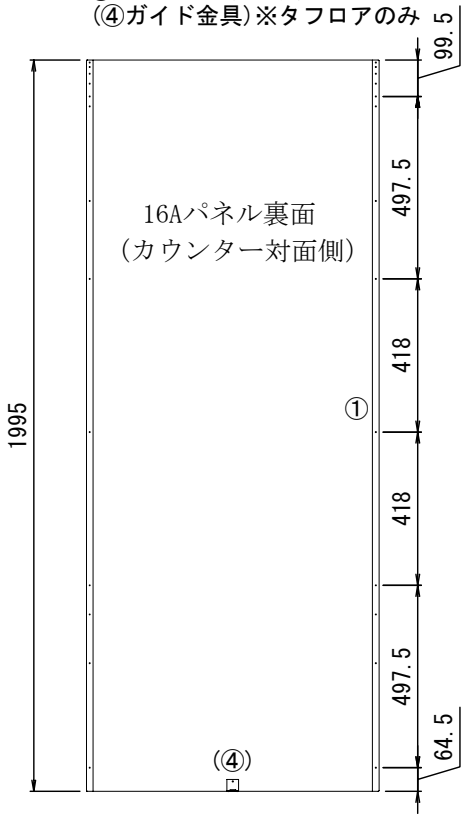
１１・Ｓ１２・１２・１３・１４・１６
Ｆタイプ Ａ勝手洗場側面・カウンター対面

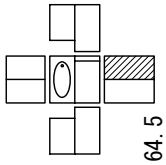
13･14カウンター対面はP.126参照のこと

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

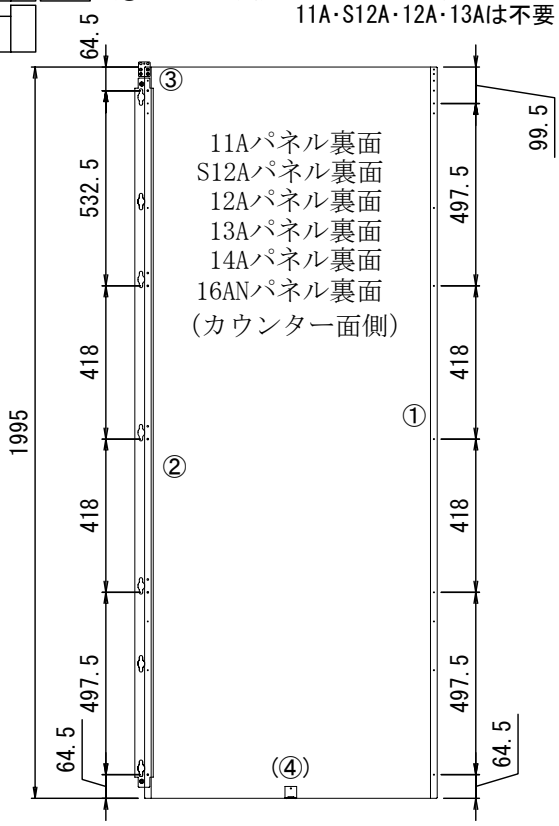


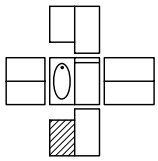
①パネルフックネジＥ：５箇所
②ドア横チャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
(④ガイド金具)※タフロアのみ





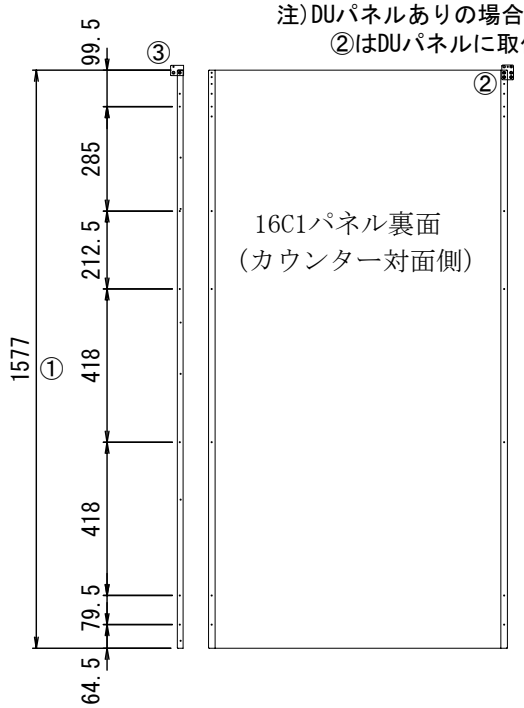
①パネルフックネジＥ：７箇所
②センターチャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ａ
(④ガイド金具)※タフロアのみ、
11A･S12A･12A･13Aは不要





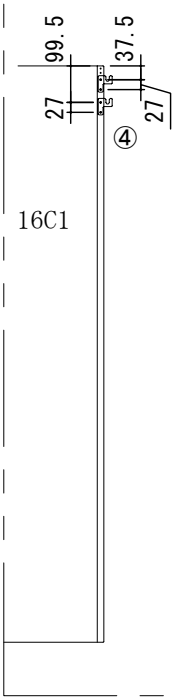
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③テンワク固定金具Ｂ

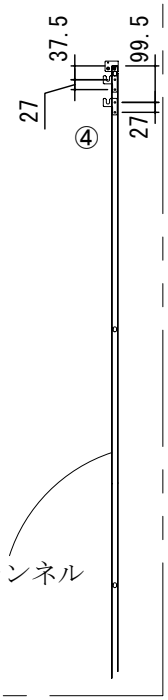
注)DUパネルありの場合、
②はDUパネルに取付



ＤＵパネルありの場合

①パネルフックネジＥ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所
④ＤＵ固定金具Ａ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所





金具取付位置詳細図

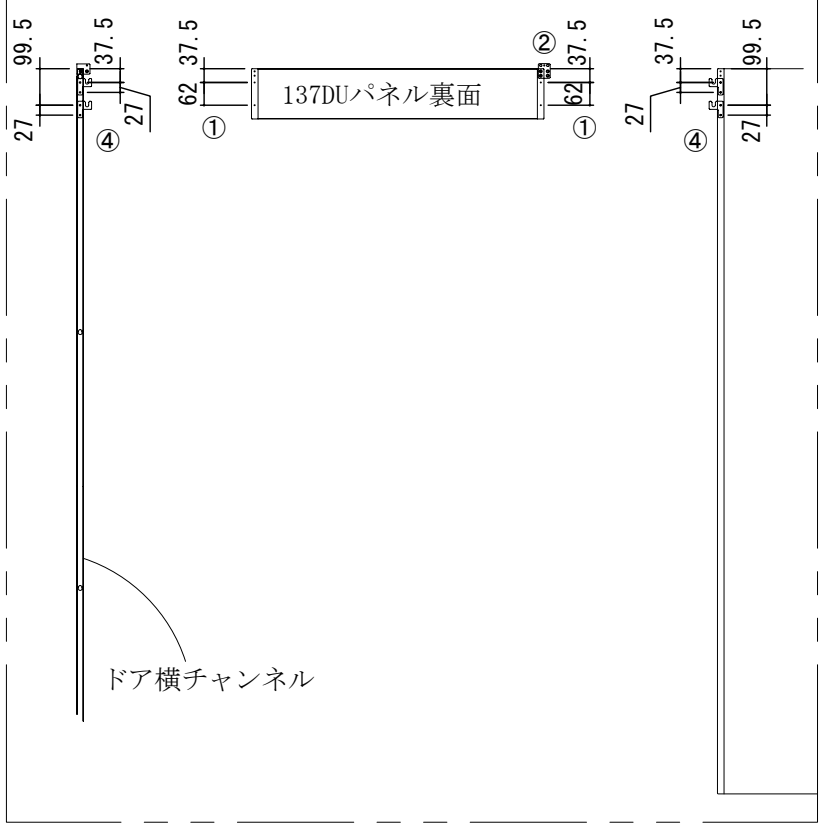
１１・Ｓ１２・１２・１３・１４・１６
Ｆタイプ Ｂ勝手 洗場側面・カウンター対面

13･14カウンター対面も同様に金具を付け替えのこと

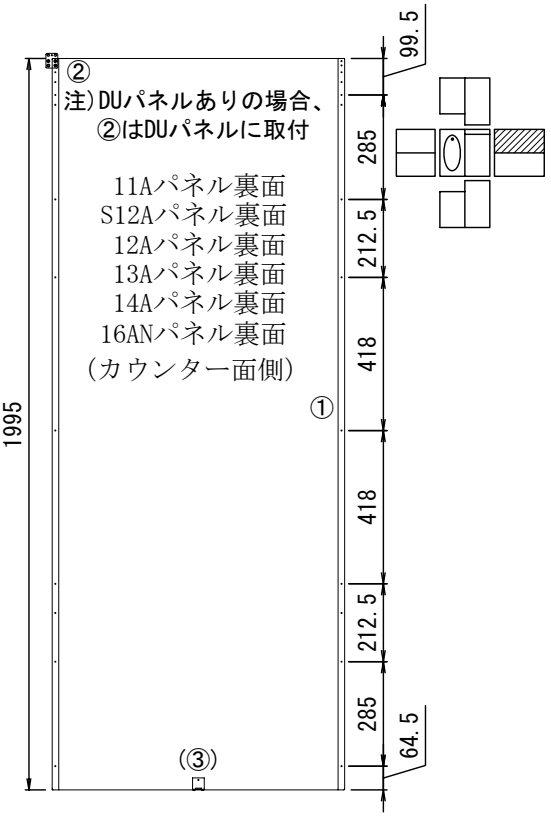
本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

ＤＵパネルありの場合

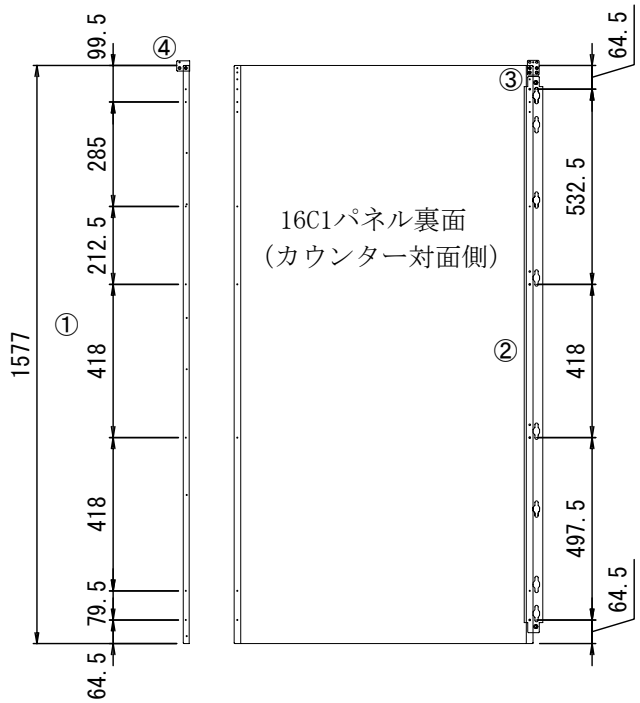
①パネルフックネジＥ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所
④ＤＵ固定金具Ａ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所



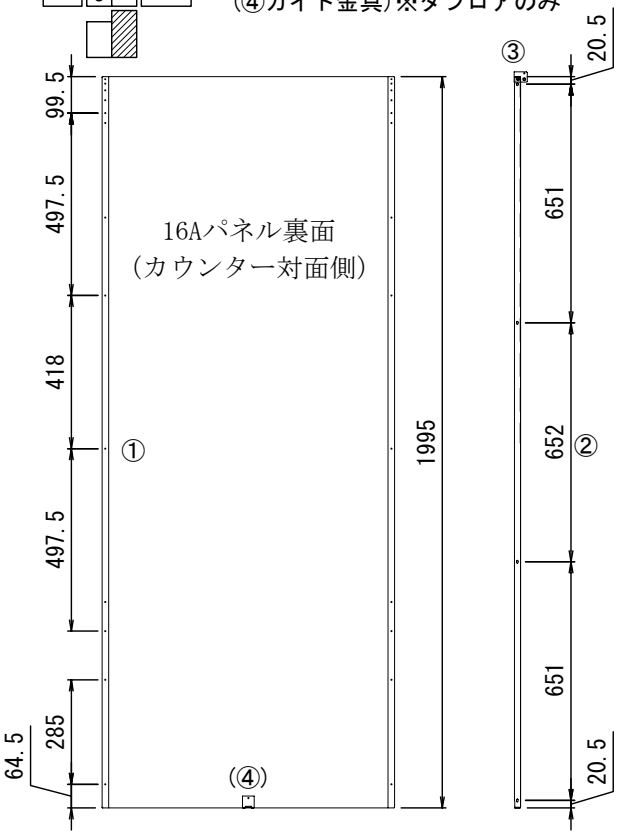
①パネルフックネジＥ:７箇所
②テンワク固定金具Ａ
(③ガイド金具)※タフロアのみ、12A/18FDは不要



①パネルフックネジＥ:６箇所
②センターチャンネル:４箇所
③テンワク固定金具Ａ
④テンワク固定金具Ｂ

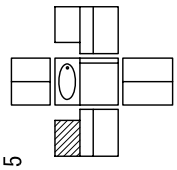


①パネルフックネジＥ:６箇所
②ドア横チャンネル:４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
(④ガイド金具)※タフロアのみ

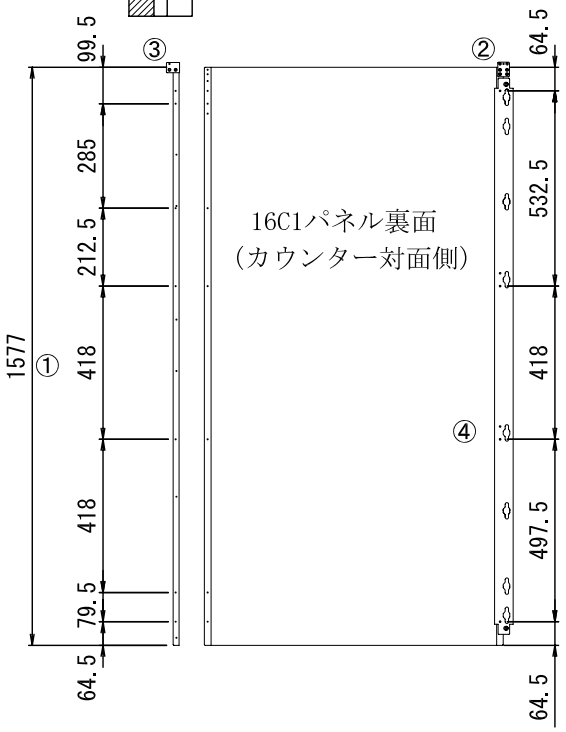


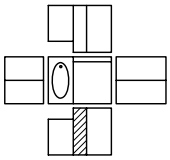
金具取付位置詳細図	１３・１４ Ｆタイプ Ａ勝手 カウンター対面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。



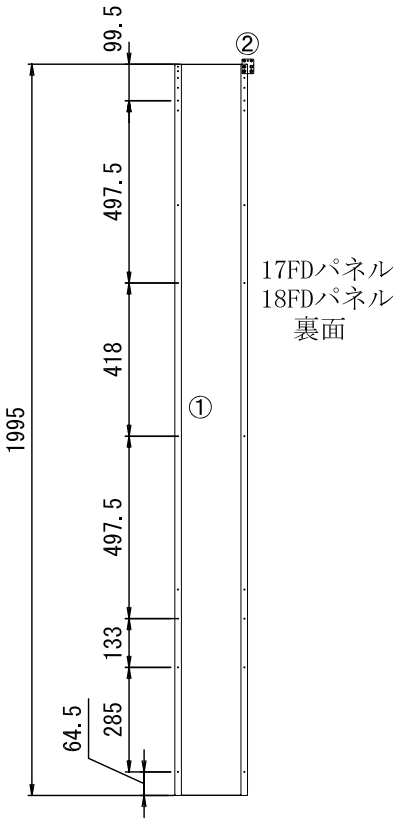
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③テンワク固定金具Ｂ
④センターチャンネル：４箇所





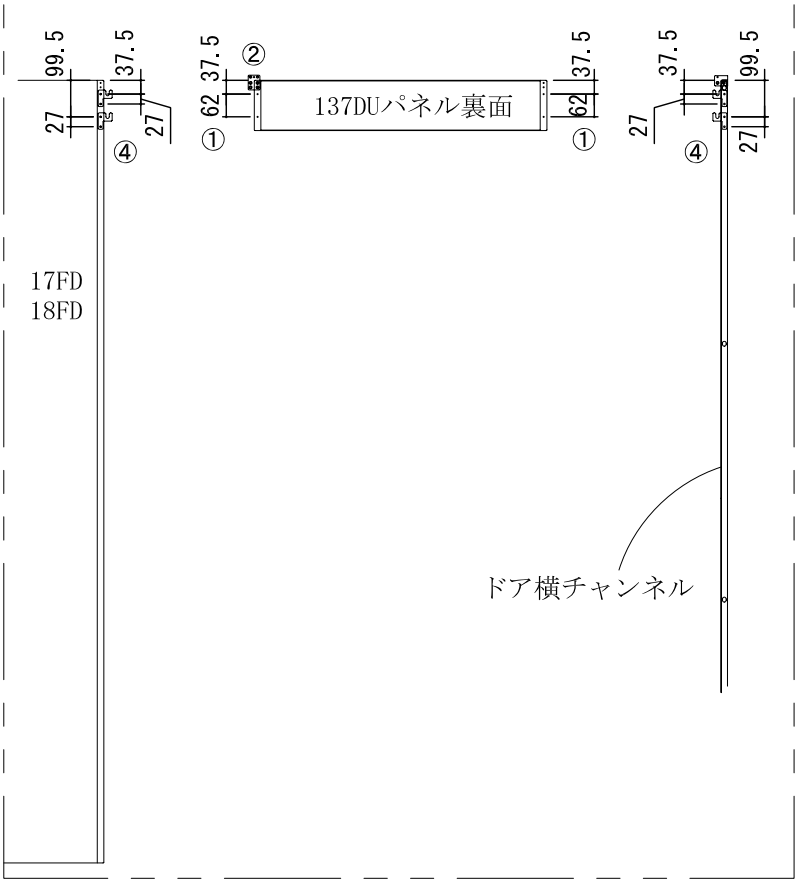
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ

注）DUパネルありの場合、
②はDUパネルに取付



ＤＵパネルありの場合

①パネルフックネジＥ：137/190DU ４箇所、50DU ２箇所
④ＤＵ固定金具Ａ：137/190DU ４箇所、50DU ２箇所



(5) 壁面取り付け部材等の下穴加工（及び一部取付）

各指定Φの穴をあける。

※穴加工時はホーロー欠けを防止するため、加工部をマスキングテープ等で養生する。

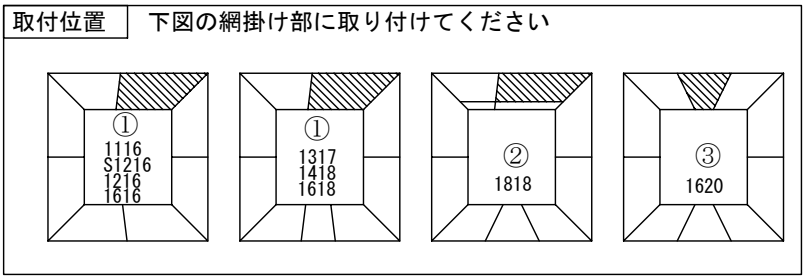
※穴あけ、カット加工後は、防錆剤を塗布する。

※ネジ取付の前には、穴にシリコンを塗布する。

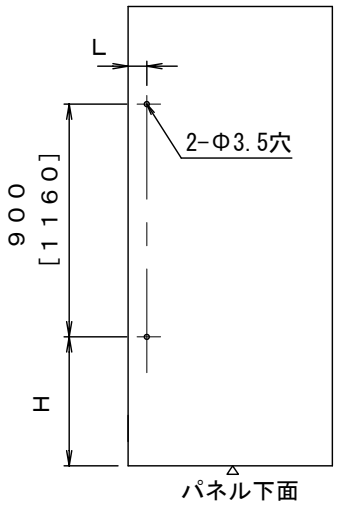
注） 図はＡＲＢＬタイプを示します。ＡＬＢＲタイプは対称です。

①シャワーフック・スライドバー取付穴位置

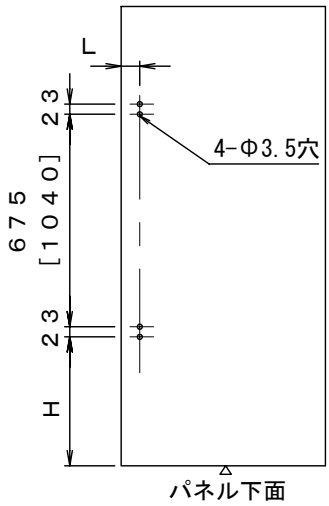
ホーロー裏面に合板が
あることを確認する。



スライドバー取付位置



シャワーフック



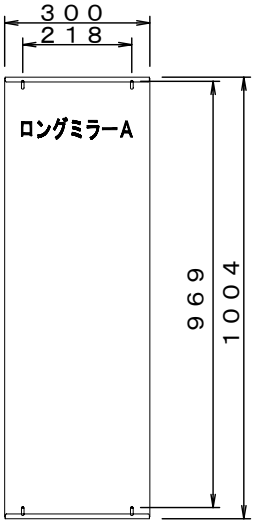
ｽﾗｲﾄﾞﾊﾞｰ 取付位置	H寸法	L寸法
①	８８０ [６２０]	８０
②	１８５ [１０５]	８０
③	８８０ [６２０]	C.L.※
ｼｬﾜｰﾌｯｸ 取付位置	H寸法	L寸法
①	９８０ [６１０]	８０
②	２８５	８０
③	９８０ [６１０]	C.L.※

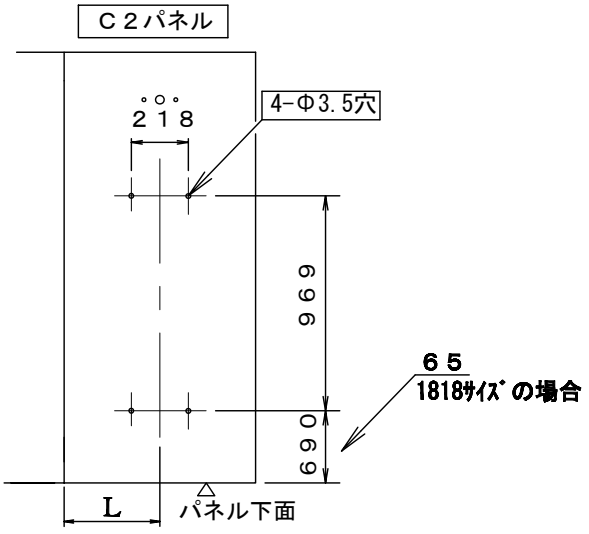
※スライドバー手すりタイプ、ワイド（クリア）ミラー取付時の場合、[ ]内寸法になります。
※C.L.はパネルセンター

②ミラー取付推奨穴位置

下記以外のミラーはコモノセット同梱の取付位置一覧を参照。
取付位置は水栓位置・柄位置・棚など他部材との干渉を考慮し、
お客様と相談の上変更する事は可能です。

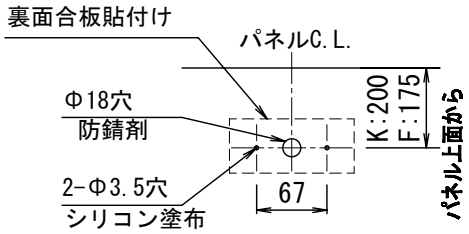
サイズ	L寸法
1116・S1216 1216・1616	４０８
1317	４５８
1418	５０８
1618	４９５
1818	４８７
1620	２００





③照明取付穴位置

現場加工の場合は図に示す位置に穴をあけ、コモノセット同梱の合板を貼り付ける。
裏面に合板を貼り付ける時はパネル裏面の保温材をカットし合板をシリコン等で接着する。



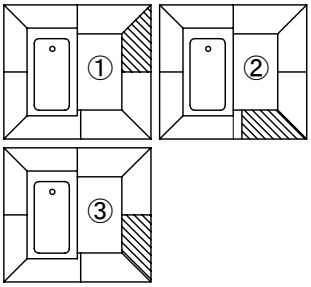
④タオル掛け取付穴位置

下表を参照し、図１または図２に示す位置にφ3.5穴をあける。

※折戸の場合は取付位置が２枚にまたがる場合あり。（折戸開放時干渉するため）
※取付位置が２枚にまたがる場合や任意に取付位置を変更する場合は、
t12x□50以上の合板を現地手配する。
※合板貼付位置はパネル裏面の保温材をカットし、くりぬいた部分に合板を
シリコン等で接着する。

以下の場合は図１参照　※パネルに下地合板あり

ドア	ユニットサイズ	ドア勝手	取付位置
引き戸 開き戸 折戸	1616・1618 1818・1620	A・B	①
3枚引戸		B	②
引き戸 開き戸	1116・S1216・1216 1317・1418	A	③
		B	②



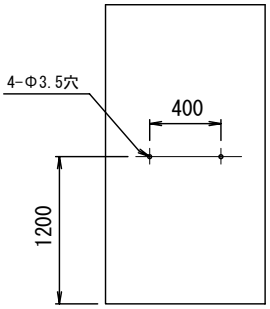
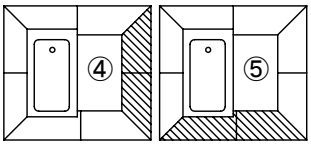


図１

以下の場合は図２参照　※パネルに下地合板なし（現地手配）

ドア	ユニットサイズ	ドア勝手	取付位置
折戸	1116・S1216・1216 1317・1418	A	④
		B	⑤



注）タイプによっては、図と対称になる場合があります。

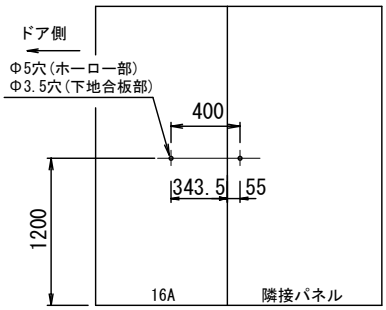
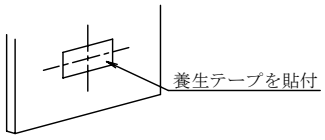


図２

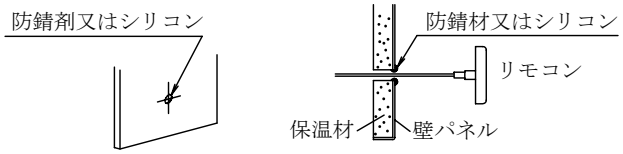
⑤リモコンの取付について

ホーロー壁パネルにリモコンを取付ける場合は、
下記の要領で加工及び、取り付けをおこなう。

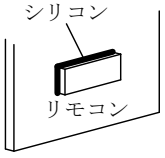
1.リモコンを取付ける位置に、取付け穴径より
大きめのテープを貼付け、ホルソーで
取付け穴をあける。



2.穴の端面に防錆剤又はシリコンを十分塗布した後、
リモコンを取付ける。



3.取付完了後、リモコンの全周に
シリコンを塗布する。

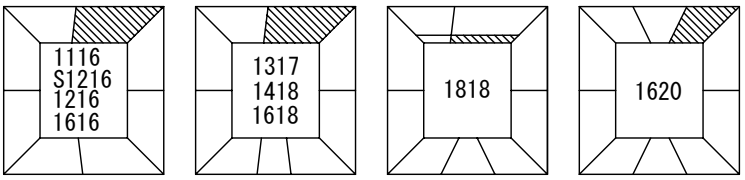


(6) 壁裏配管取付用穴あけ加工

下図はARBLの場合です。
ALBRの場合は対称です。

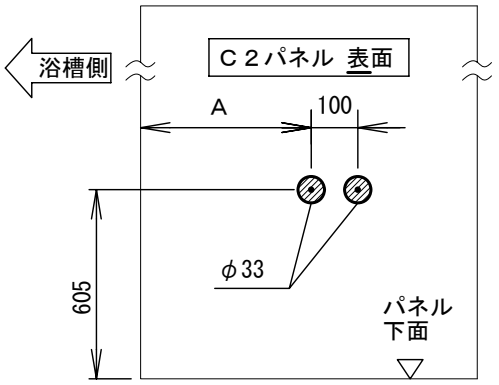
①壁パネルの下記位置に穴が無い場合、φ33穴を2箇所あける。
②壁パネル裏面の保温材をカットする。

カウンター有 仕様の場合



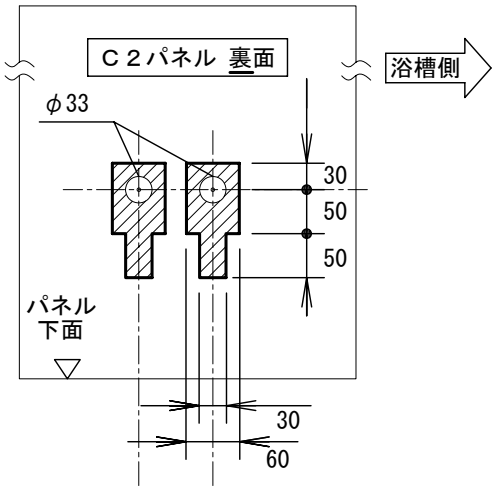
下記位置に穴があいていることを確認し、
保温材をカットしてください。

①φ33穴位置

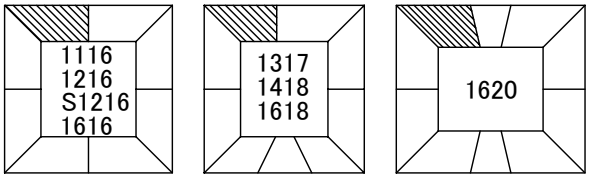


1216、S1216、1616の場合： A=357
1317の場合： A=407
1418の場合： A=457
1618、1818の場合： A=445
1620の場合： A=149

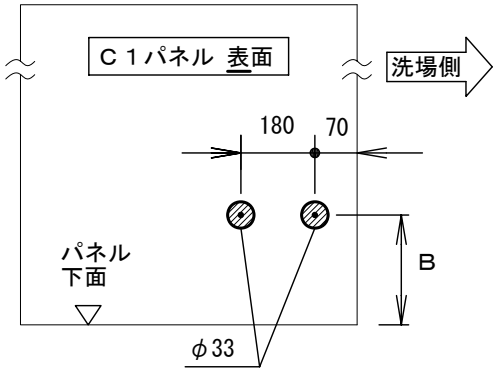
②保温材カット寸法



カウンター有 [浴槽側 壁付水栓]の場合

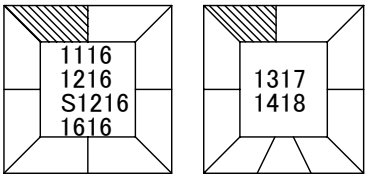


①φ33穴位置

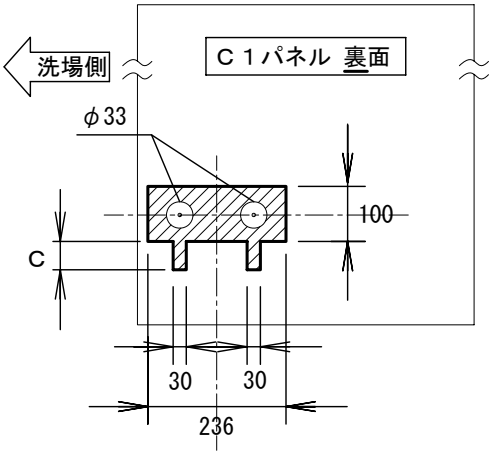


半身浴浴槽の場合： B=300
全身浴浴槽の場合： B=140

カウンター無 [兼用水栓]の場合

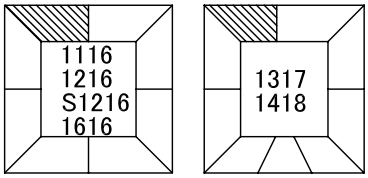


②保温材カット寸法

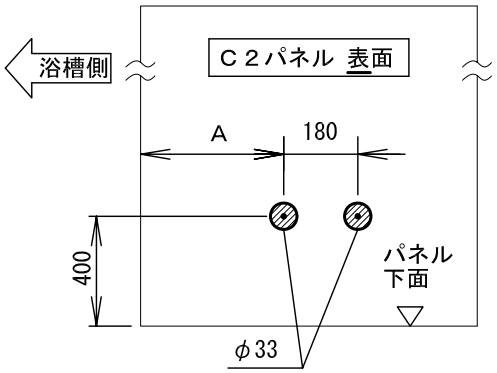


半身浴浴槽の場合： C=210
全身浴浴槽の場合： C=50

カウンター無 [洗場1水栓]の場合

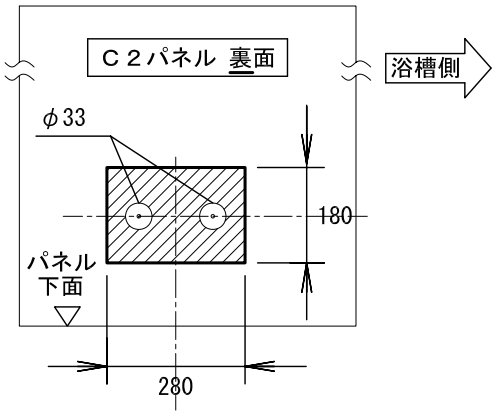


①φ33穴位置

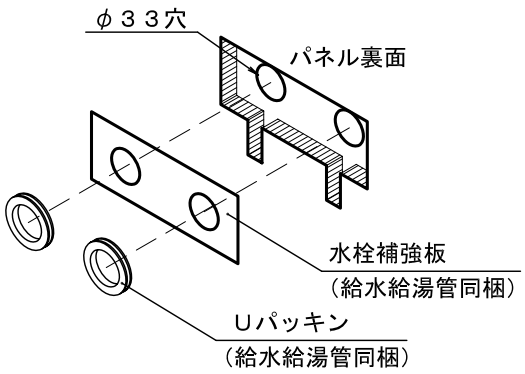


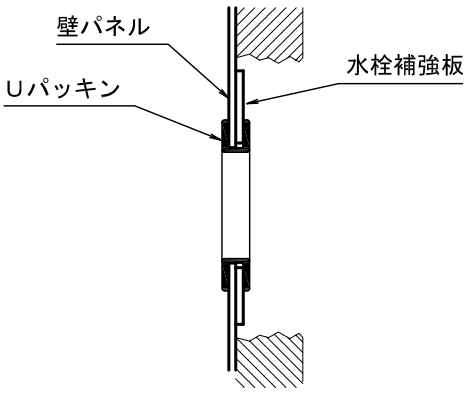
1216、S1216、1616の場合：A=317
1317の場合：A=367
1418の場合：A=417

②保温材カット寸法

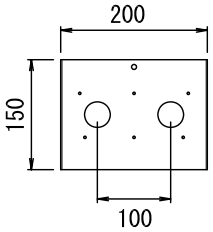


③ ①で壁パネルにあけたφ33穴と水栓補強板の穴を合わせ、2枚の板を巻き込むようにUパッキンを取り付ける。



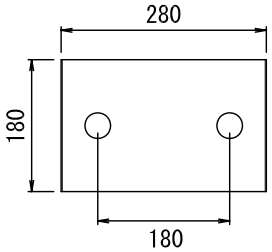


カウンター有 仕様の場合



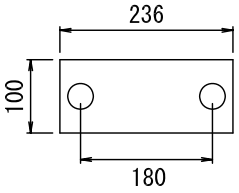
壁パネルにあらかじめ上図の水栓
補強板が組み込まれていますので、
Uパッキンの取り付けのみ行ってください。

カウンター無 [兼用水栓]の場合
カウンター有 [浴槽側 壁付水栓]の場合



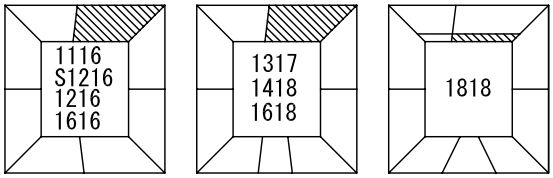
水栓座板FLXU

カウンター無 [洗場1水栓]の場合

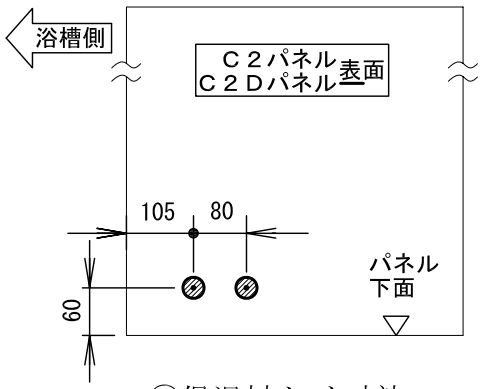


水栓補強板PKU

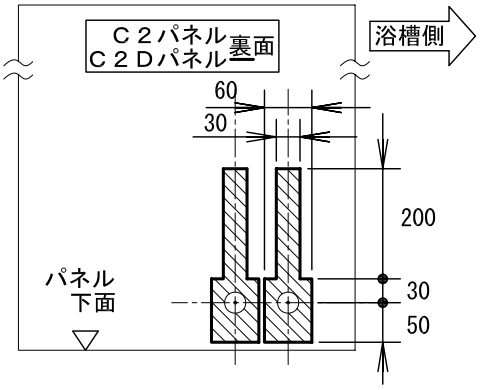
[上横給水仕様(北海道仕様)の場合のみ]
④壁パネルの下記位置にφ22～23穴を2箇所あける。
⑤壁パネル裏面の保温材をカットする。

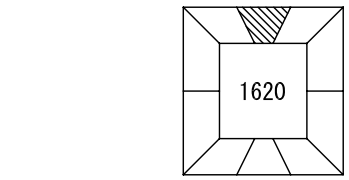


④φ22～23穴位置

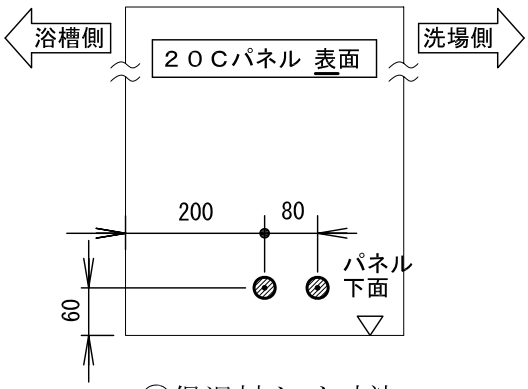


⑤保温材カット寸法

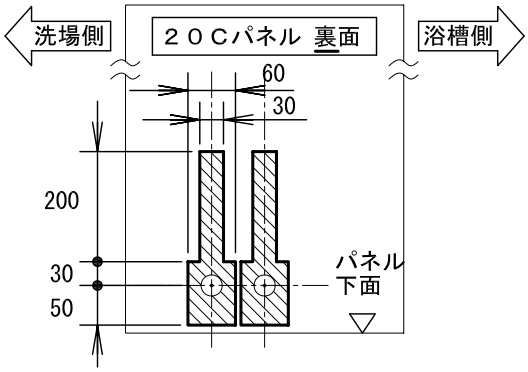




④φ22～23穴位置



⑤保温材カット寸法



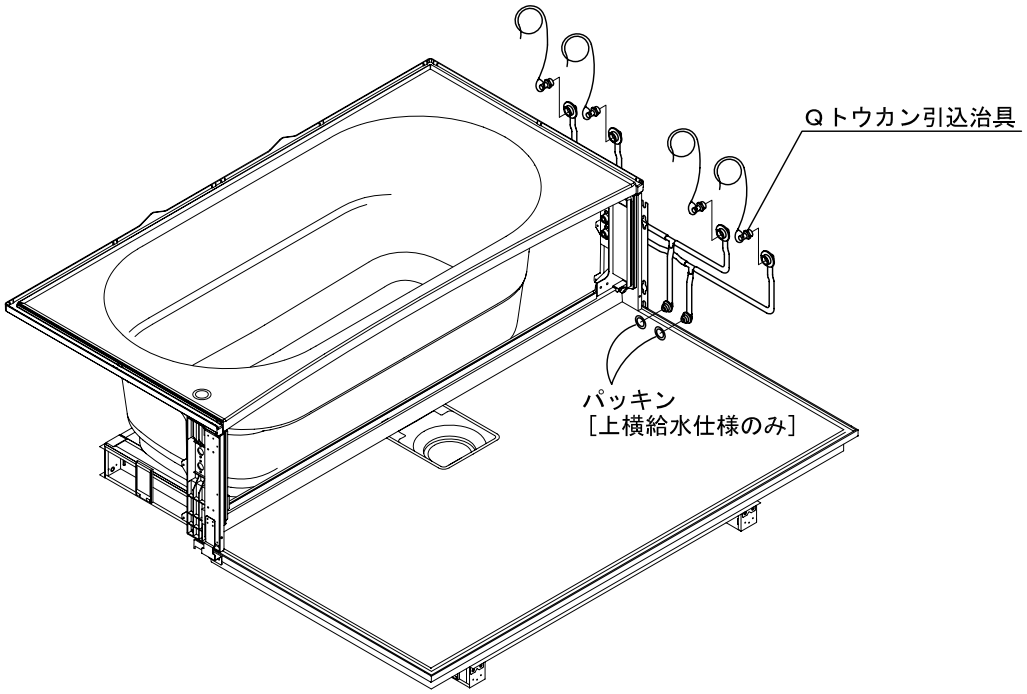
2. 壁パネルの組付手順

1616サイズ	… (1)～(8)の手順で組み付け
1620サイズ	… カウンター面およびカウンター対面を(9)(10)の手順で組み付け 上記以外1616サイズと同様
1116･S1216･1216サイズ	… 1616サイズと同様のパネル組み付け
1317･1418･1618サイズ	
(カウンター対面	… 1620サイズと同様のパネル組み付け
カウンター対面以外	… 1616サイズと同様のパネル組み付け

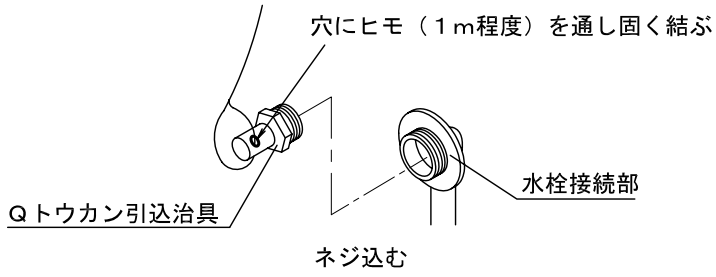
※タフロア仕様時の場合は(11)および(12)も合わせて組み付けしてください。

(1) 16C2パネルの組付

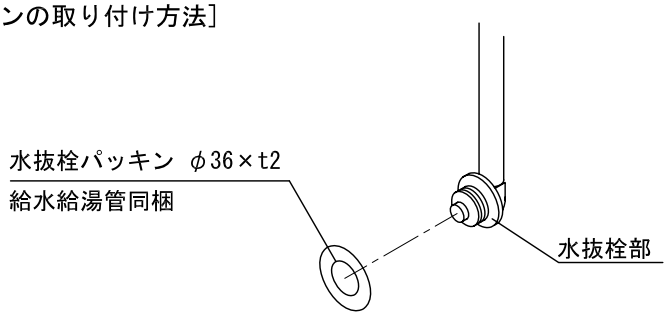
・給水給湯管の水栓接続部にQトウカン引込治具を取り付ける。
・[上横給水仕様（北海道仕様）の場合]水抜栓部にパッキンをつける。



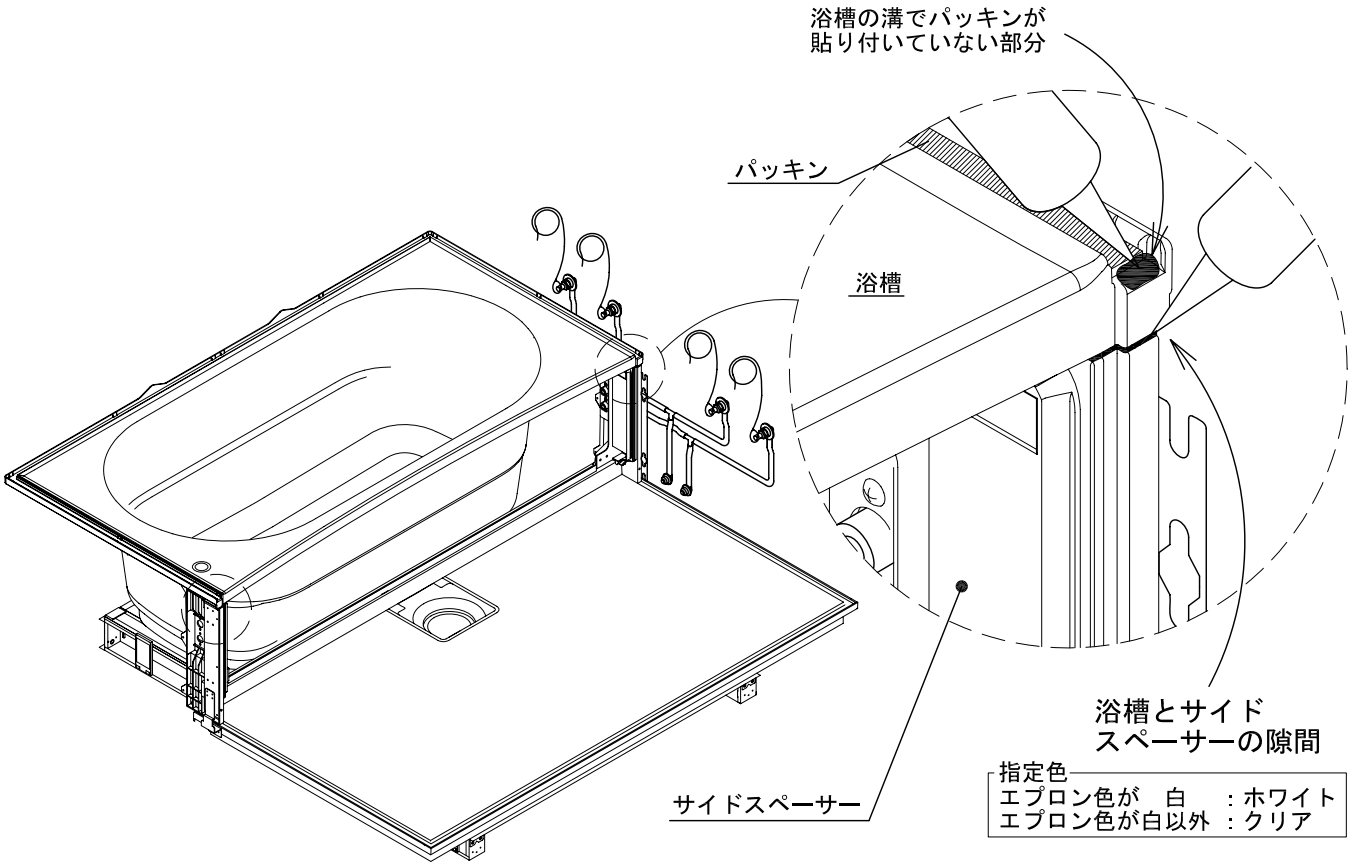
[Qトウカン引込治具の取り付け方法]



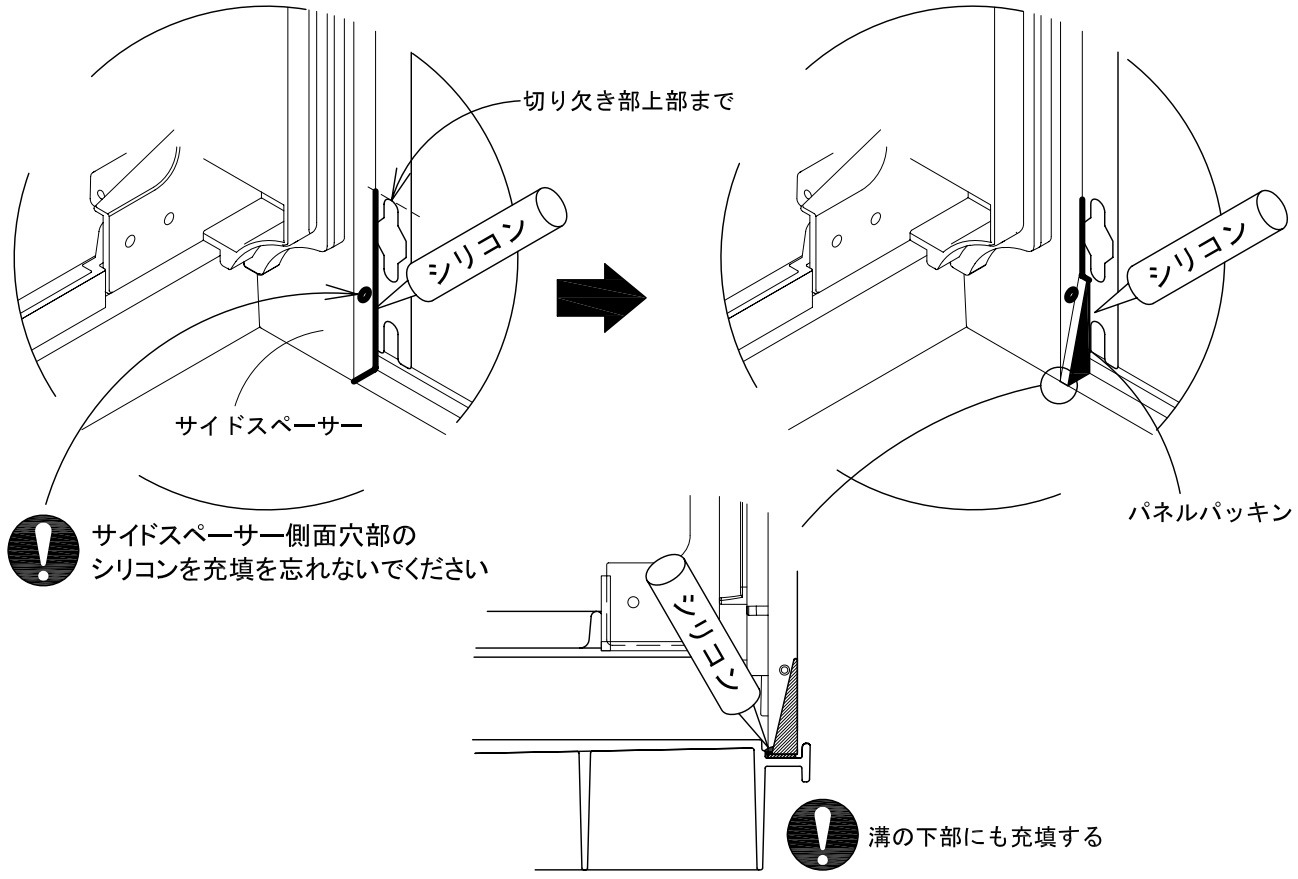
[パッキンの取り付け方法]



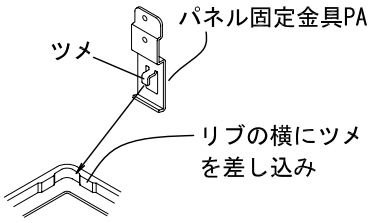
・浴槽およびサイドスペーサーとの隙間にシリコンを塗布する。

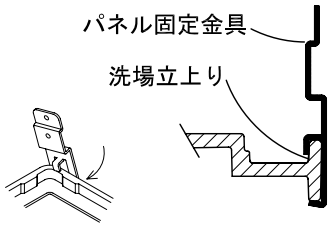


・Ｃ２パネル設置前にサイドスペーサーにシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）

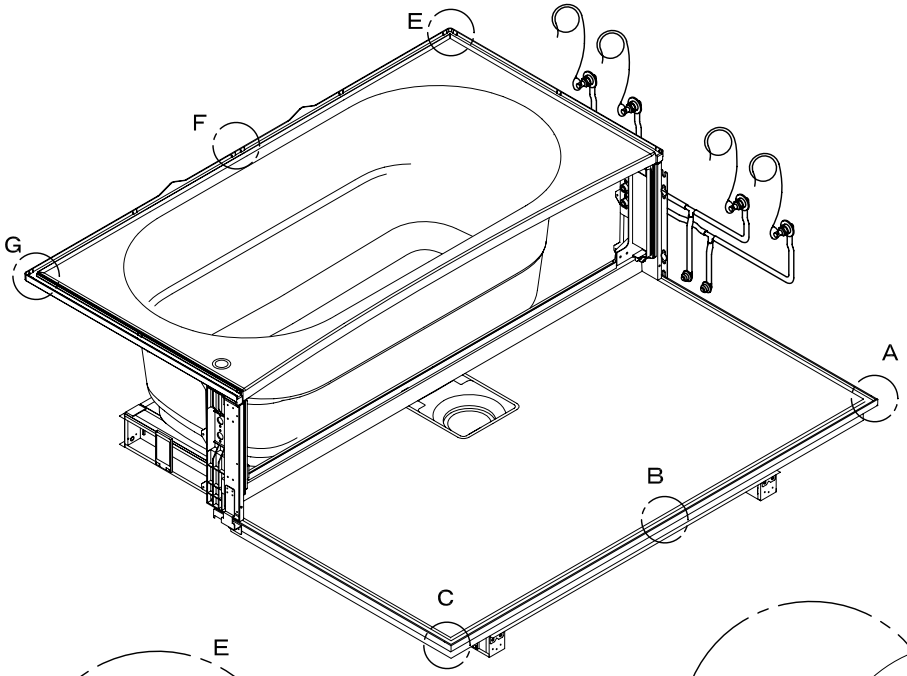


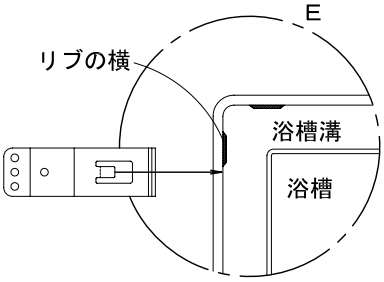
・壁パネル設置前に洗場・浴槽立ち上がり部にパネル固定金具を取り付ける。

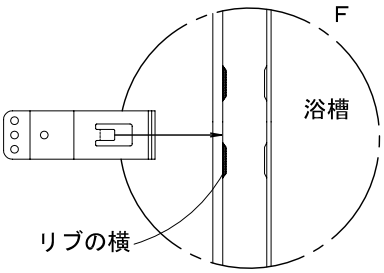


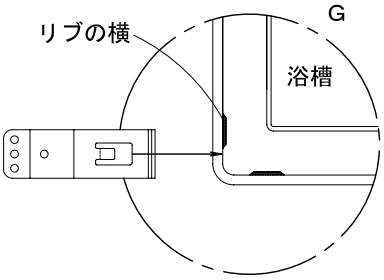


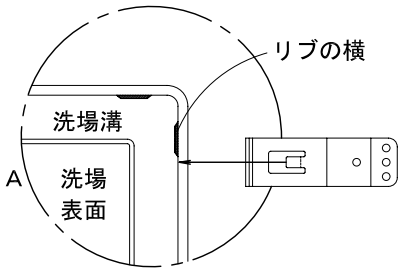
躯体とのクリアランスが狭い場合は、洗場・浴槽設置前の金具取り付けも可能

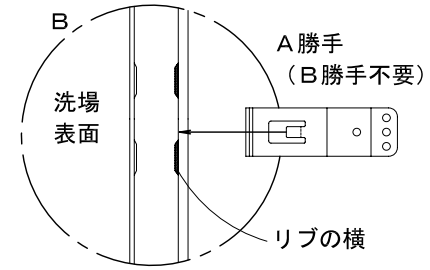


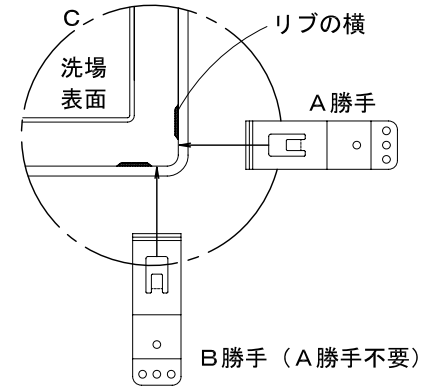




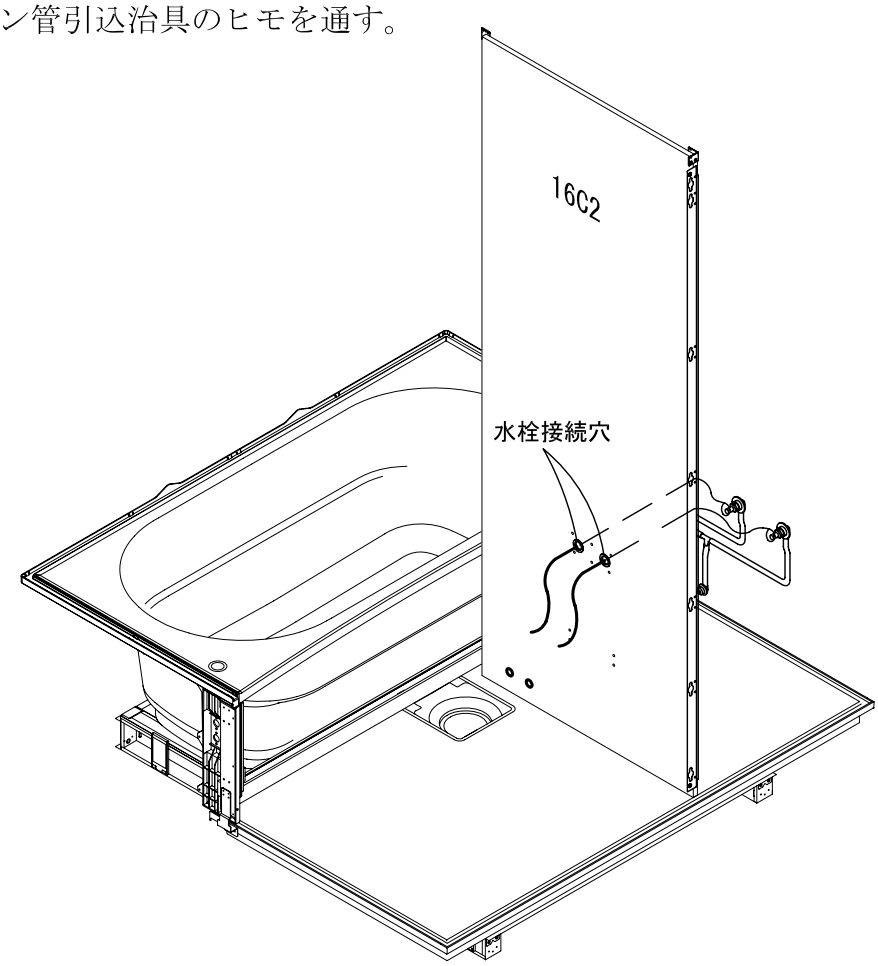




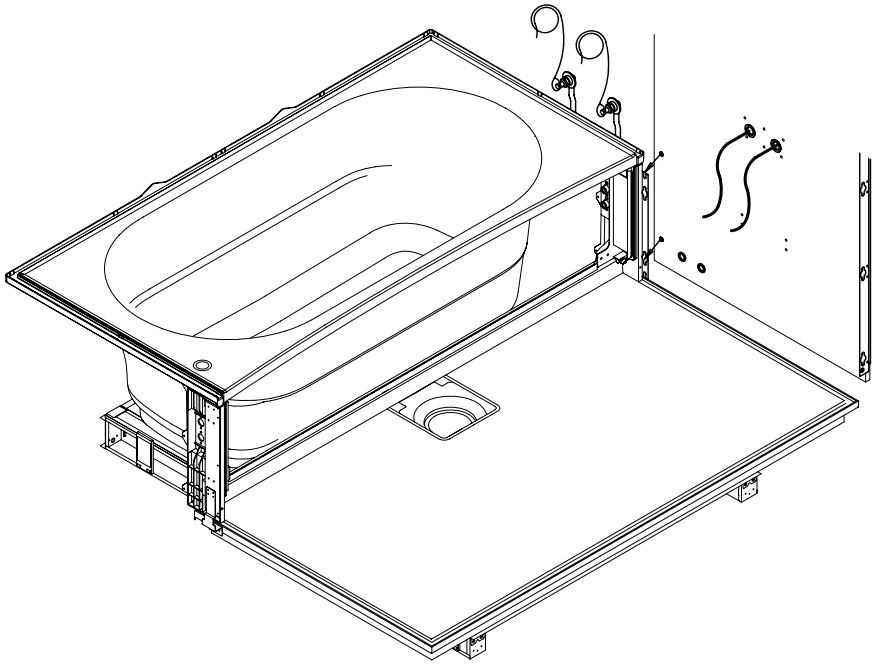


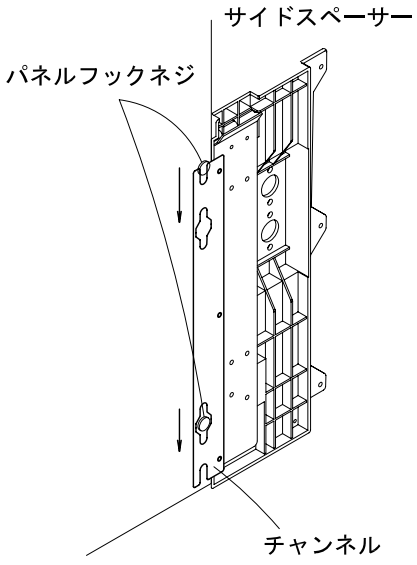


・壁パネルの水栓接続穴に
Qトウカン管引込治具のヒモを通す。

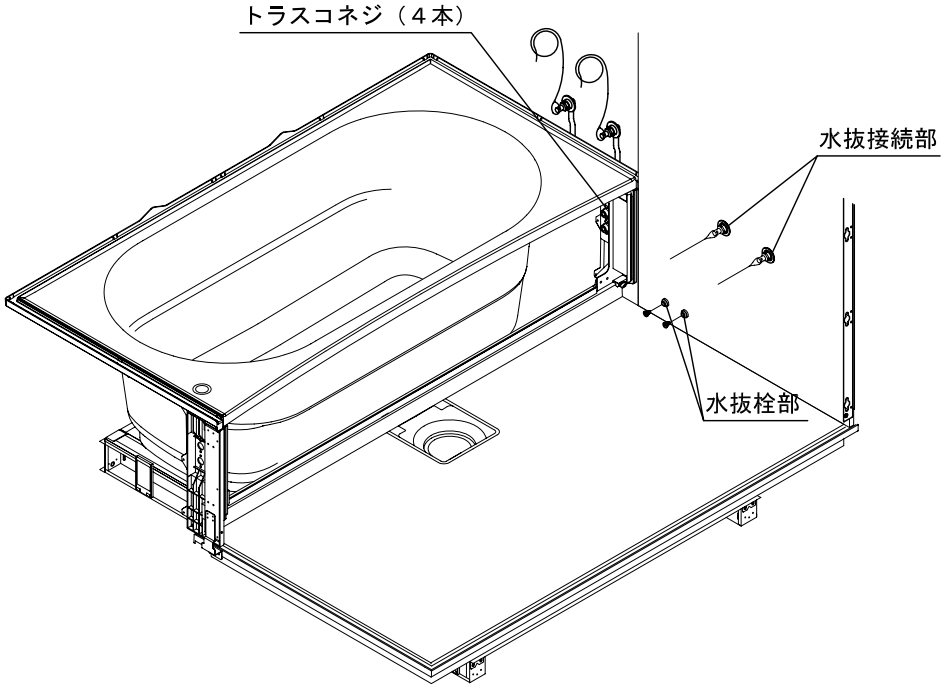


・壁パネルのパネルフックネジをサイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に
引っ掛ける。

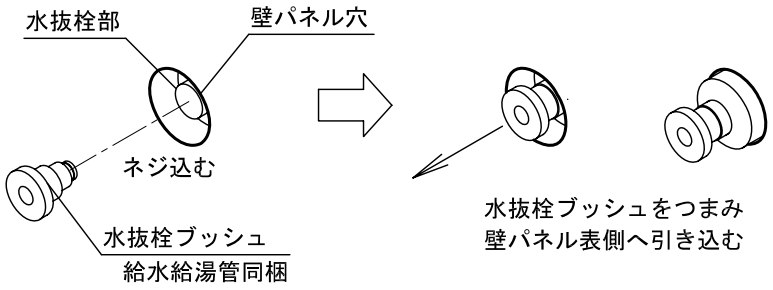




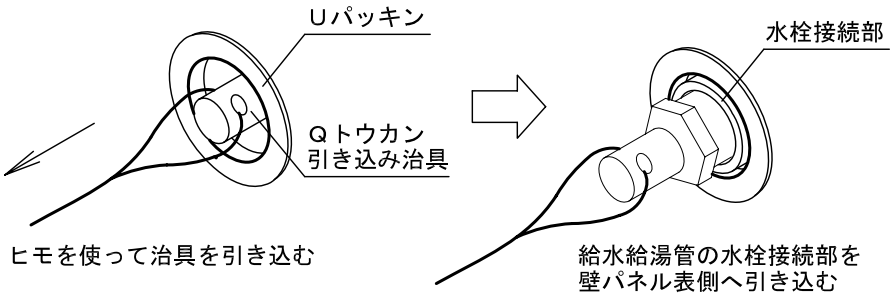
・給水給湯管を固定しているトラスコネジ（４本）を緩める。
・[上横給水仕様（北海道仕様）の場合]水抜栓部を壁パネル穴より引き込む。
・Qトウカン引込治具を引き込み、水栓接続部を壁パネルの水栓接続穴に合わる。



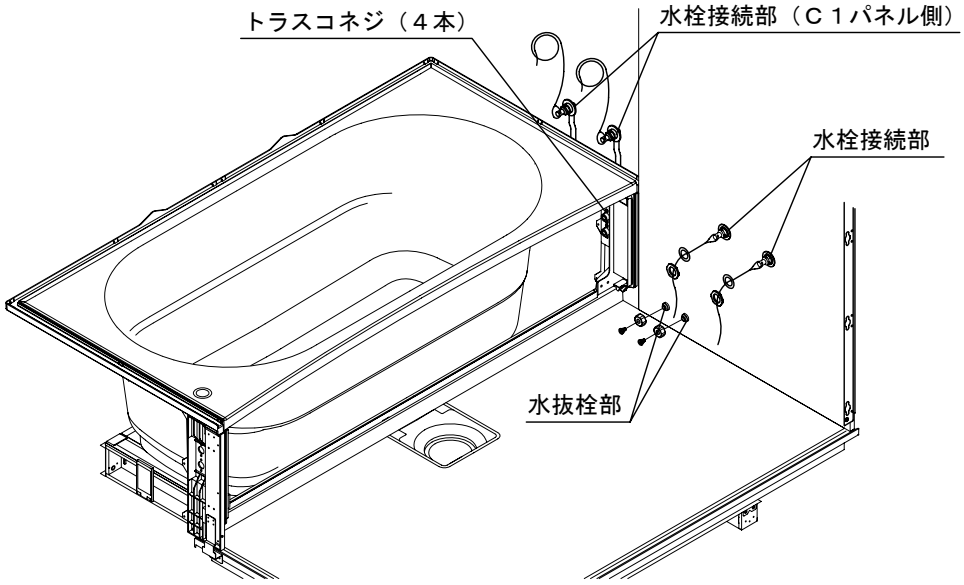
水抜栓部の引き込み方法



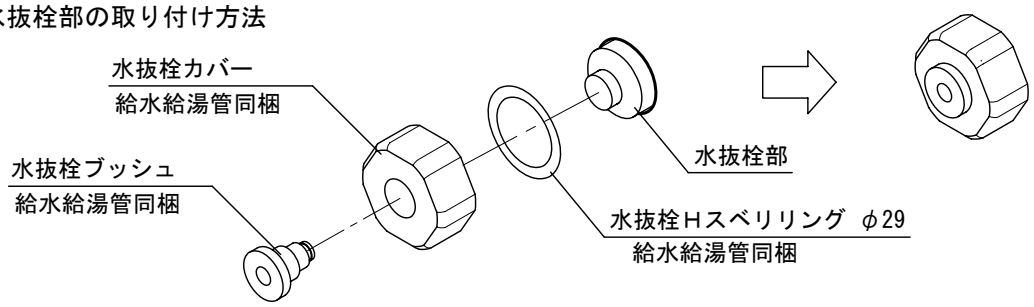
水栓接続部の引き込み方法



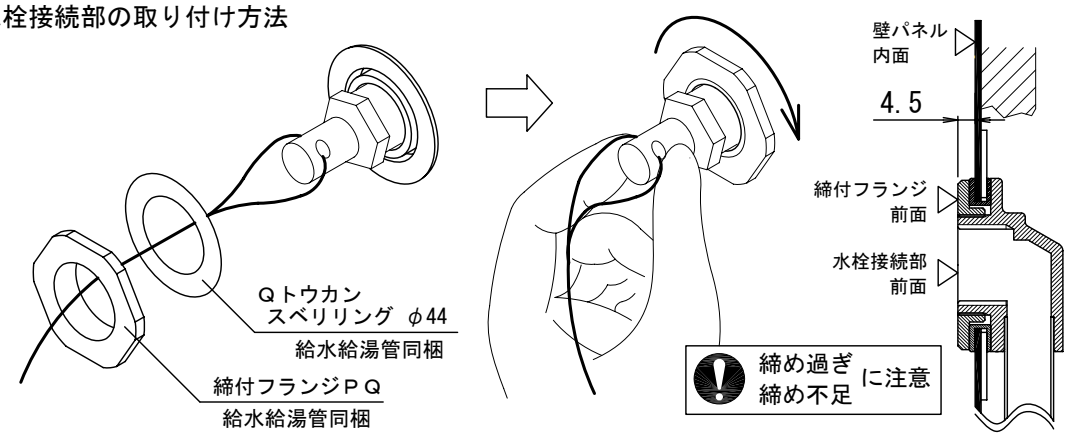
・[上横給水仕様（北海道仕様）の場合]水抜栓部に水抜栓Ｈスベリリング、
　水抜栓カバー、水抜栓ブッシュを取り付ける。
・水栓接続部にＱトウカンスベリリング、締め付けフランジを取り付ける。
・Ｑトウカン引き込み治具を取りはずす。
・Ｃ１パネル側に水栓接続部がある場合、Ｃ１パネル組み付け時に同様の手順で
　Ｑトウカンスベリリングと締付フランジを取り付ける。
・給水給湯管を固定しているトラスコネジ（４本）を本締めする。



水抜栓部の取り付け方法



水栓接続部の取り付け方法



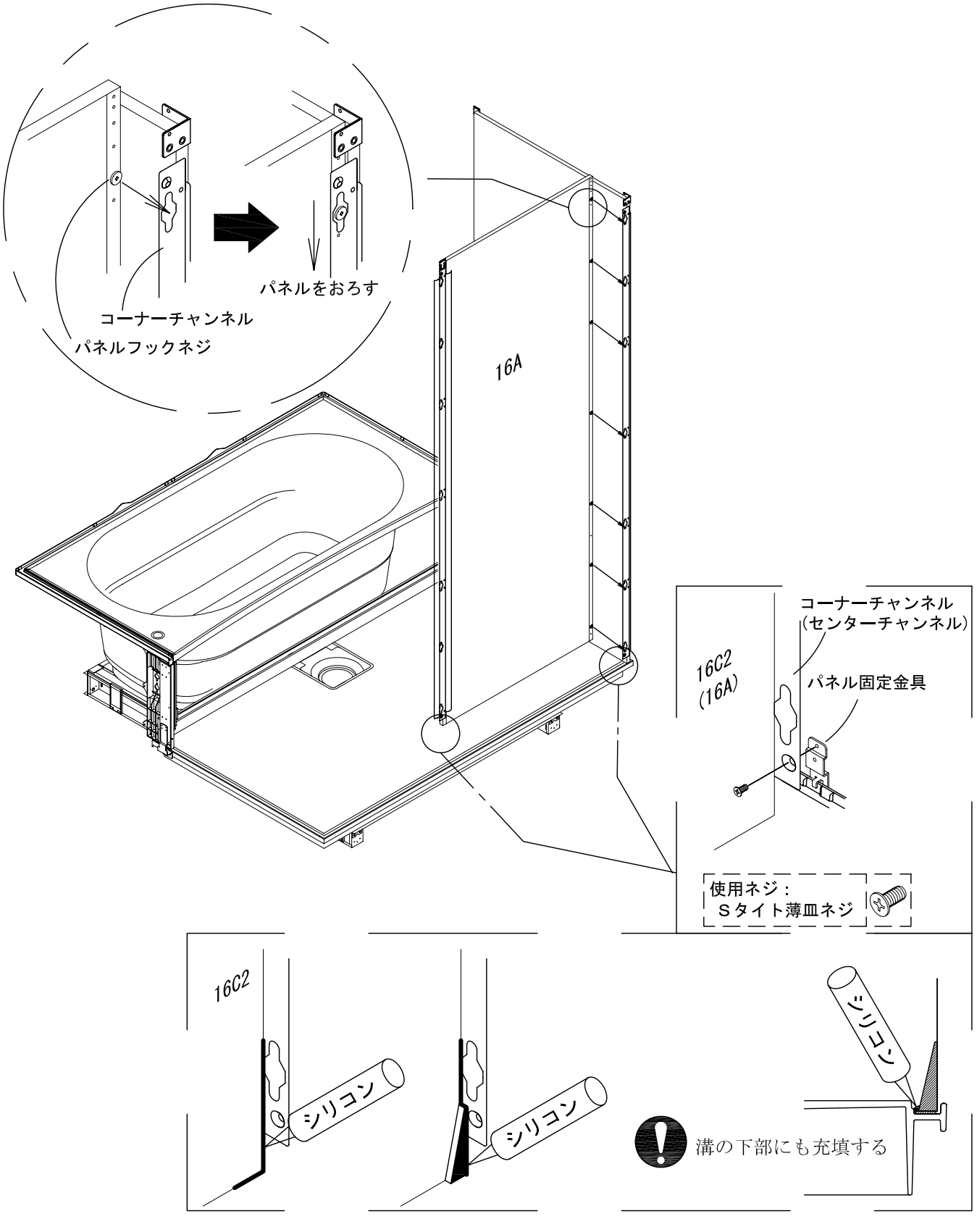
Ｑトウカンスベリリング、
締付フランジＰＱの順にヒモを通す。

引き込み治具をつかみ、水栓
接続部の位置を調整しながら
締付フランジを取り付ける。
取り付け後、治具をはずす。

締付フランジは上図
の寸法になるまで
締め付ける。

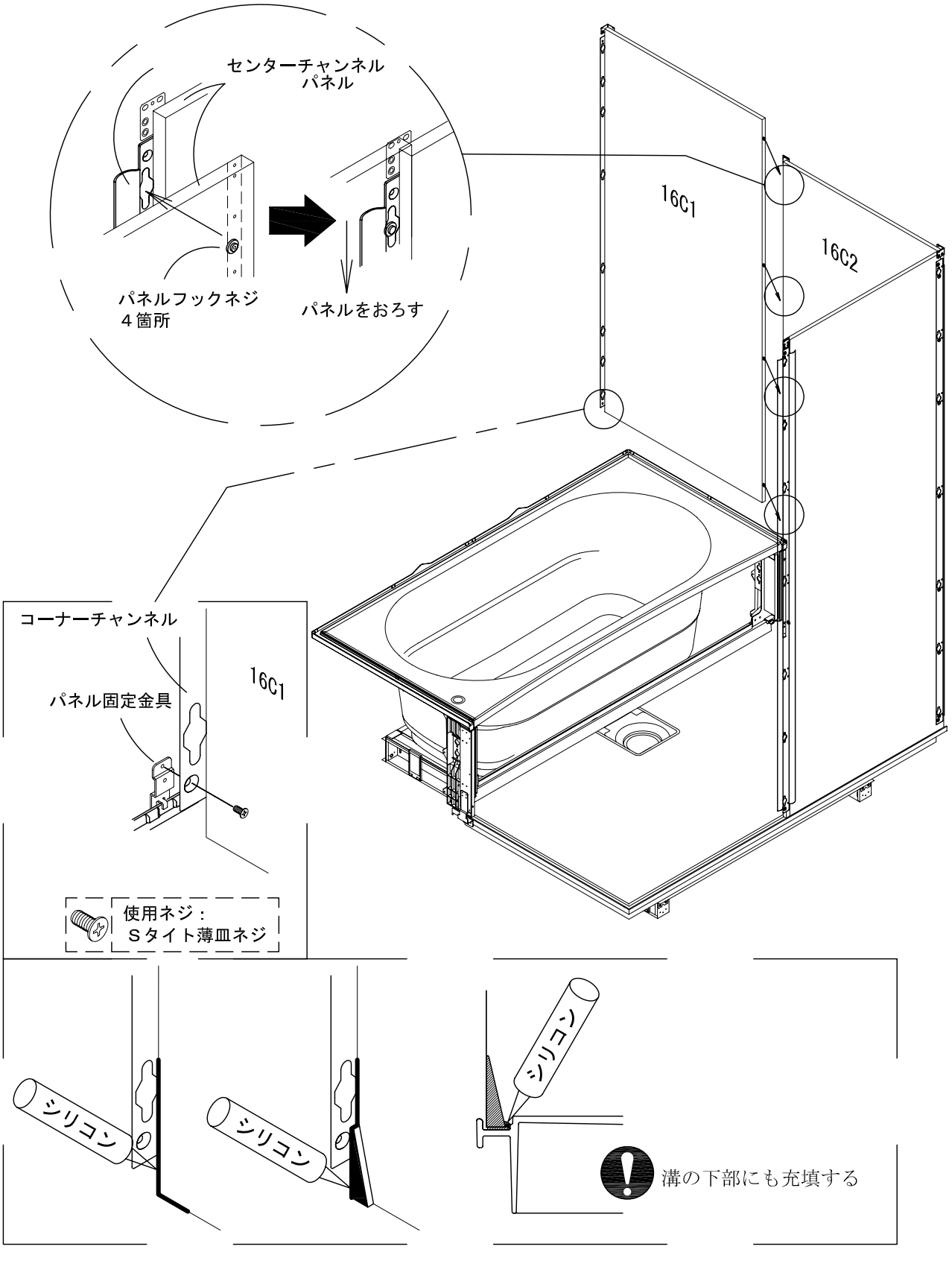
(2) Aパネルの組付

・１６Ｃ２パネルのコーナーチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）
・１６Ａのパネルフックネジを１６Ｃ２パネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１６Ａパネルのセンターチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・先程と同様に１６Ａパネル側面にパネルパッキンを貼り、シリコンを塗布する。



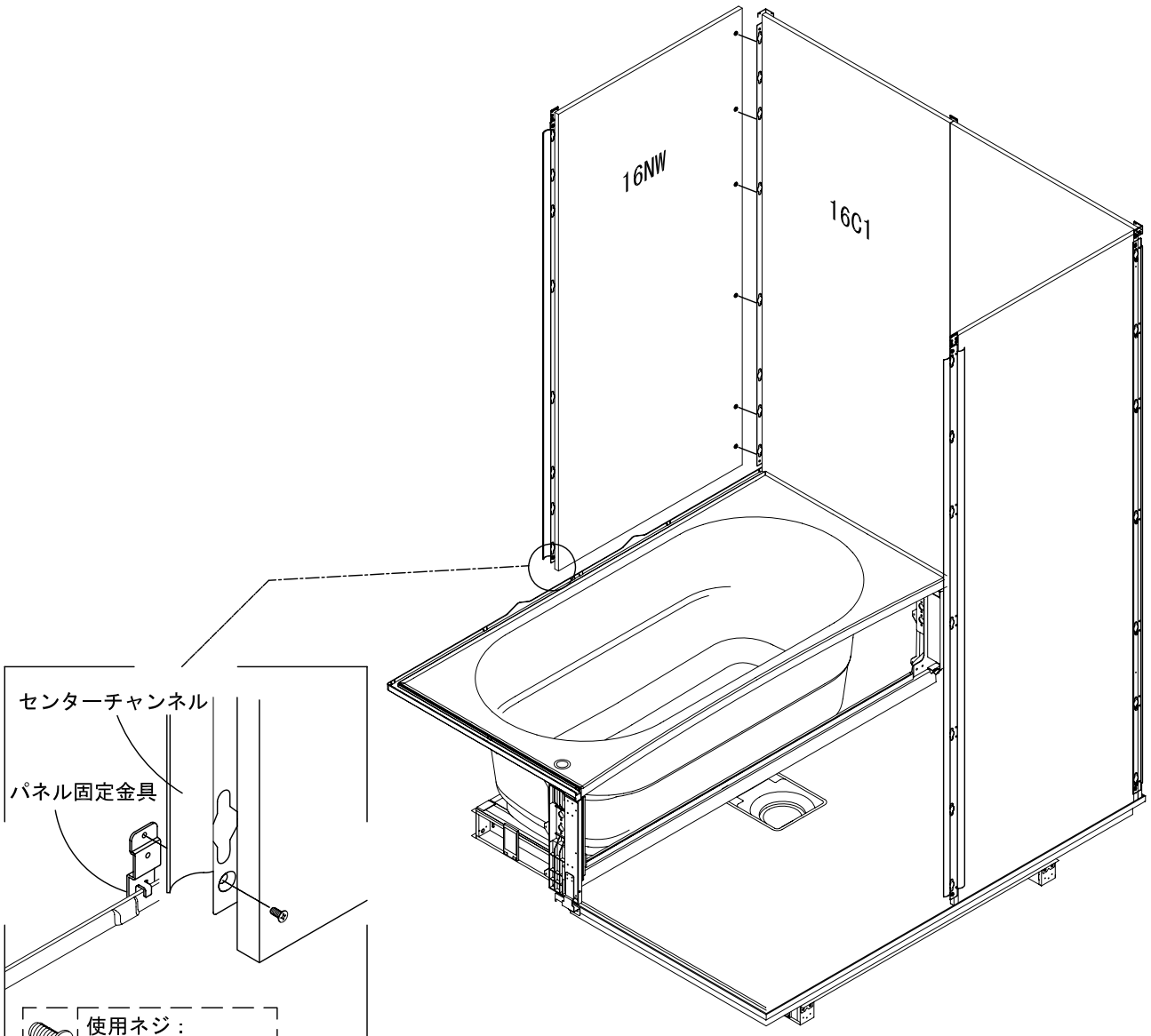
(3) 16C1パネルの組付～カウンター面

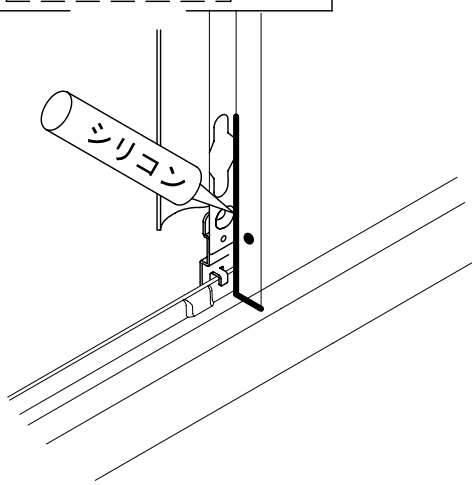
・１６Ｃ１のパネルフックネジを１６Ｃ２パネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１６Ｃ１パネルのコーナーチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）

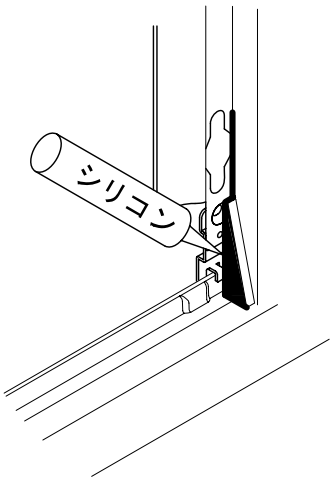


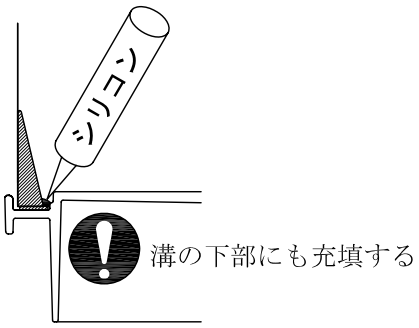
(4) 16NWパネルの組付

・１６ＮＷのパネルフックネジを１６Ｃ１パネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１６ＮＷパネルのセンターチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）



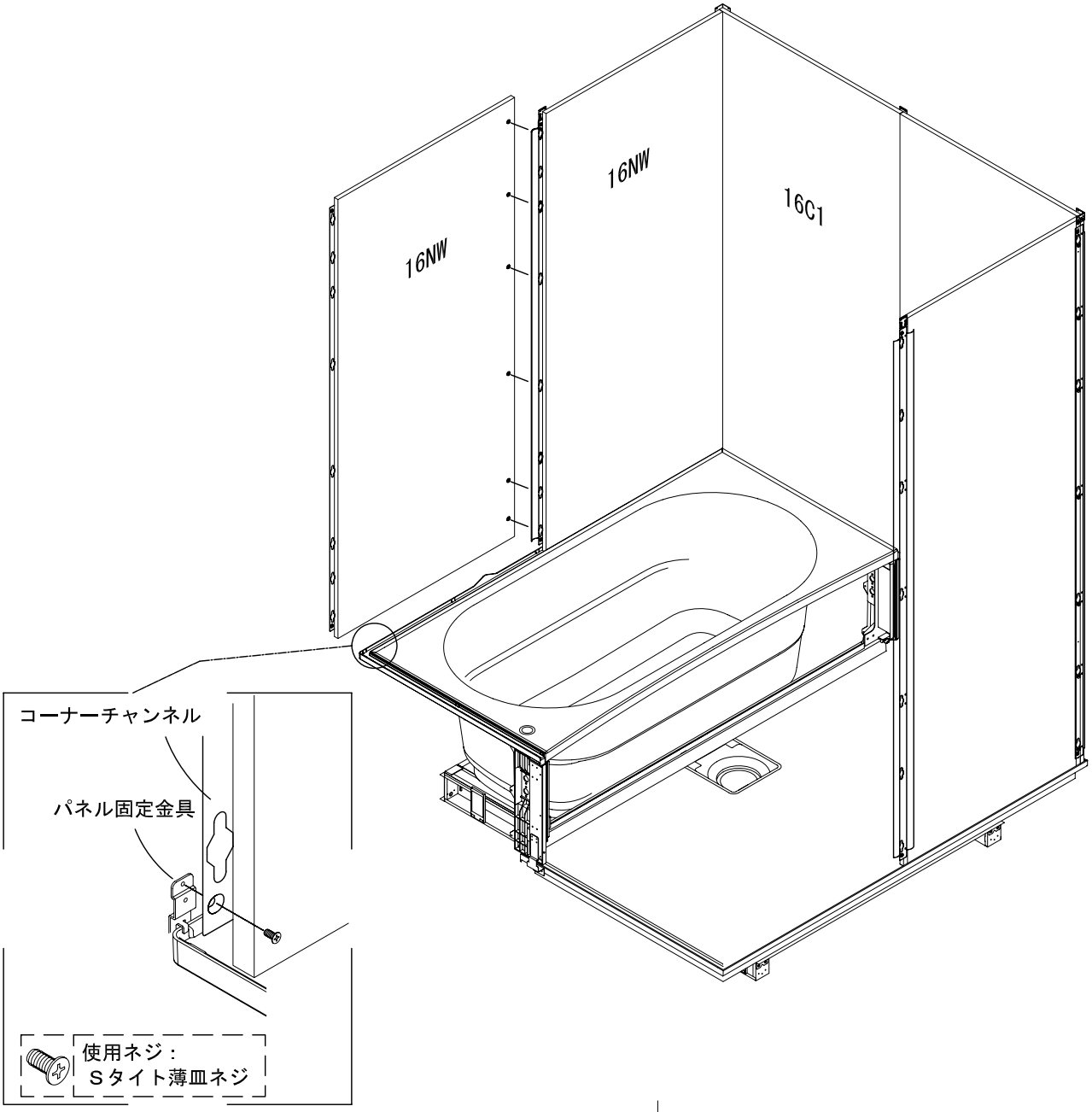


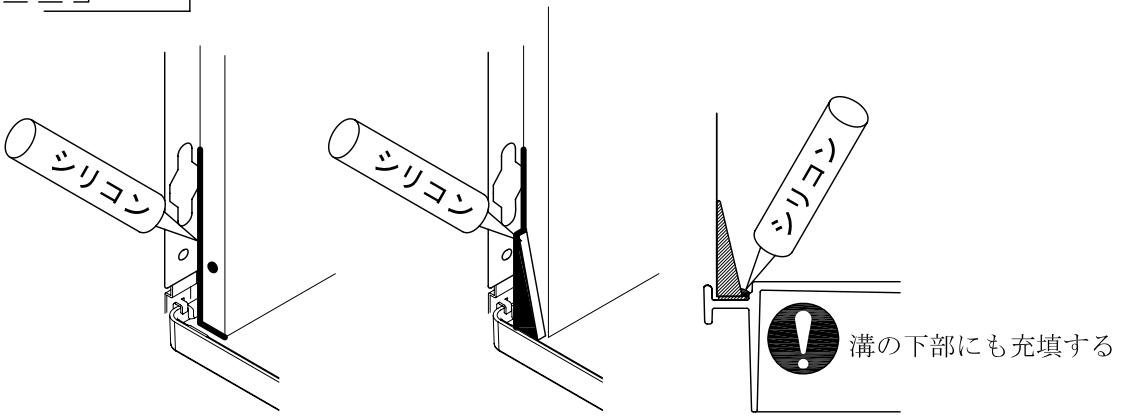




(5) 16NWパネルの組付

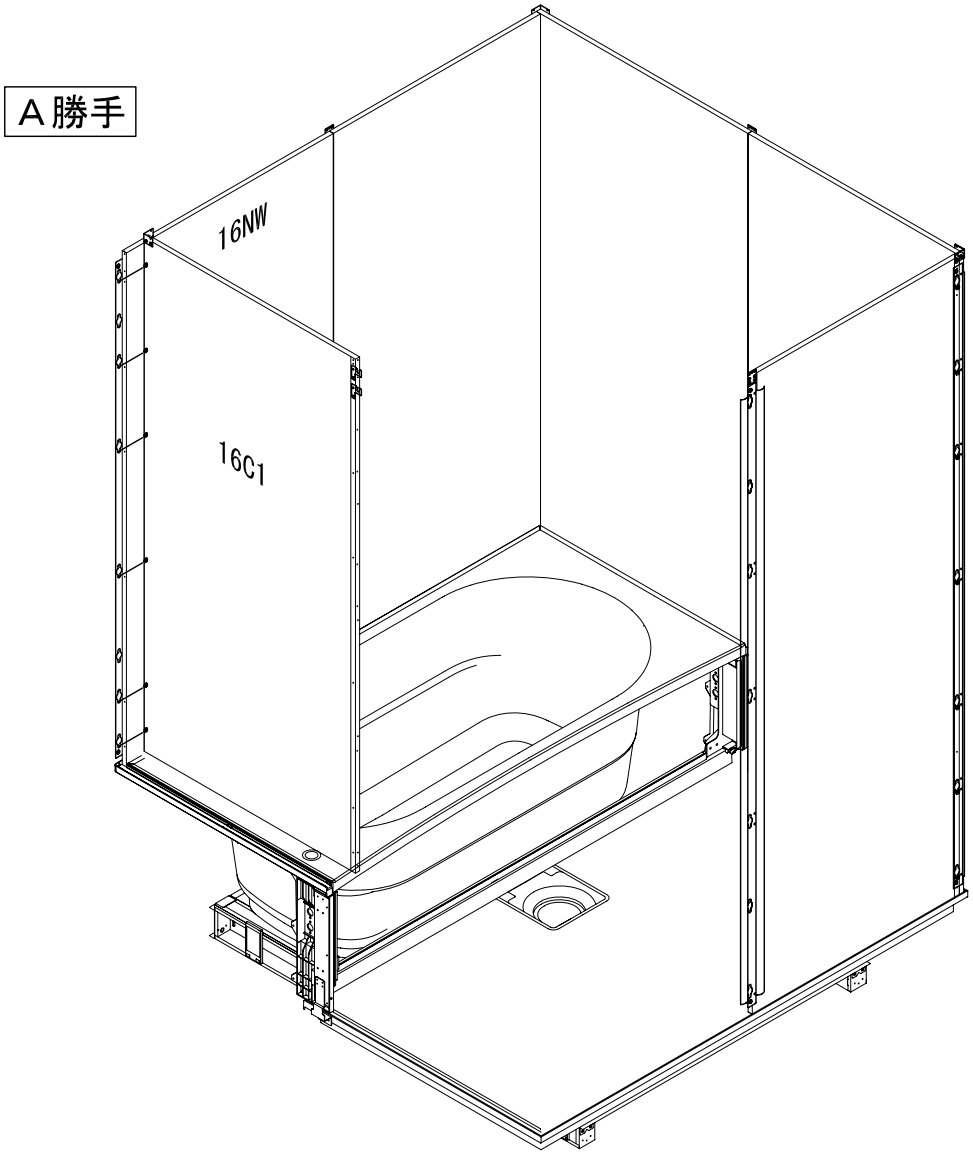
・１６NWのパネルフックネジを隣の１６NWパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１６NWパネルのコーナーチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）





（6　A勝手）16C1パネルの組付～カウンター対面

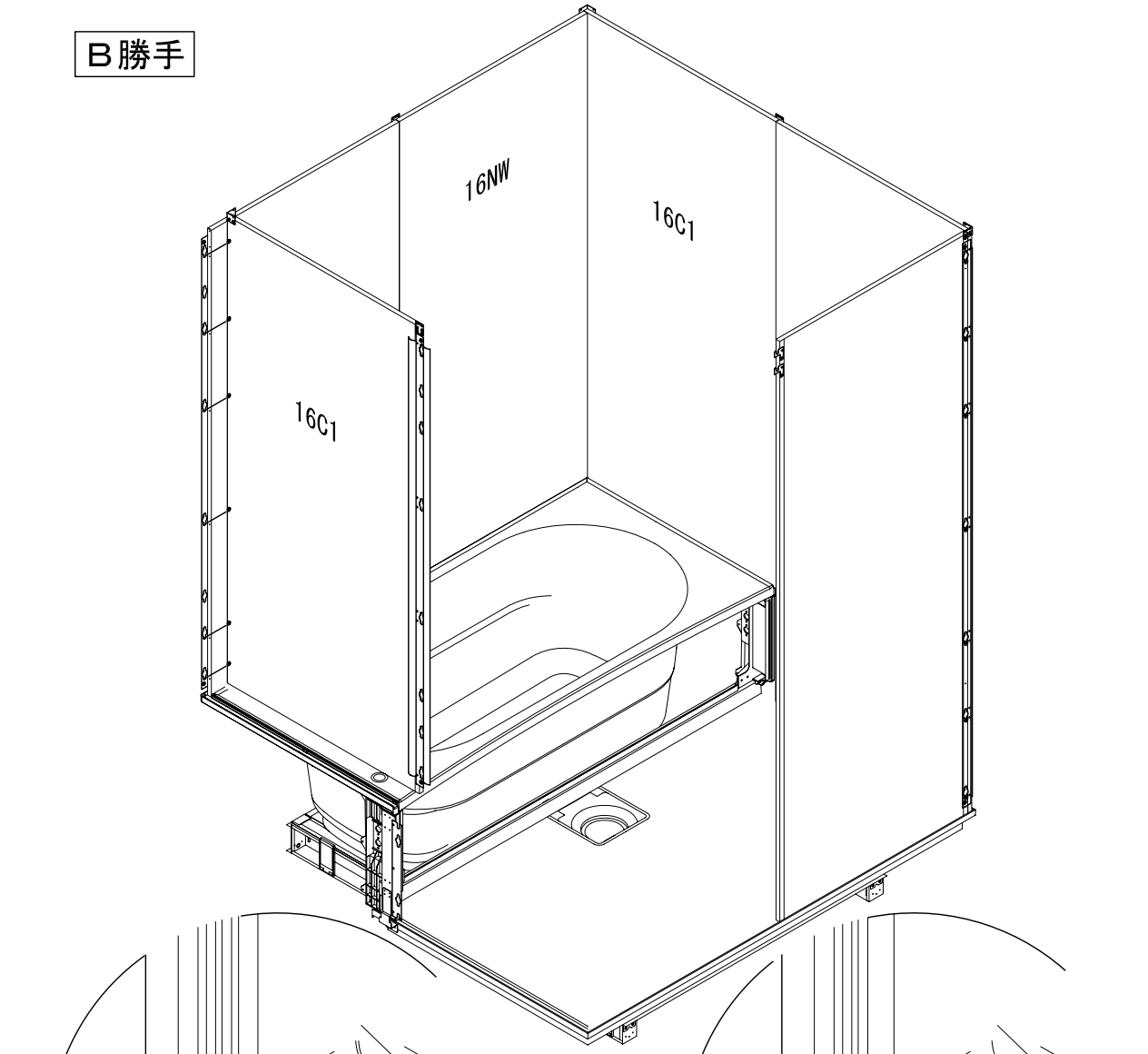
・１６Ｃ１のパネルフックネジを１６NWパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。

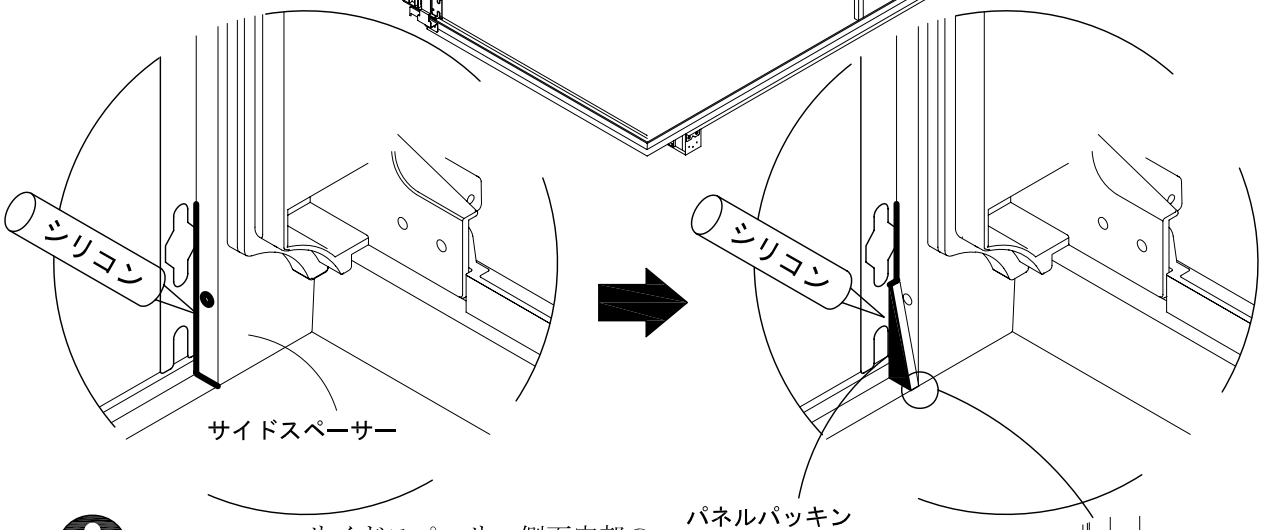


（6 B勝手）16C1パネルの組付～カウンター対面

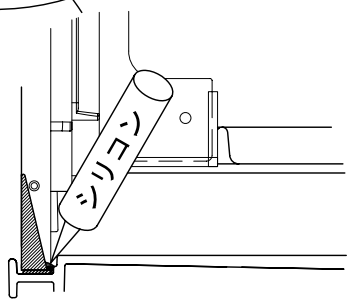
・１６Ｃ１のパネルフックネジを１６NWパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・サイドスペーサーにシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）

B勝手





サイドスペーサー側面穴部の
シリコンを充填を忘れないでください

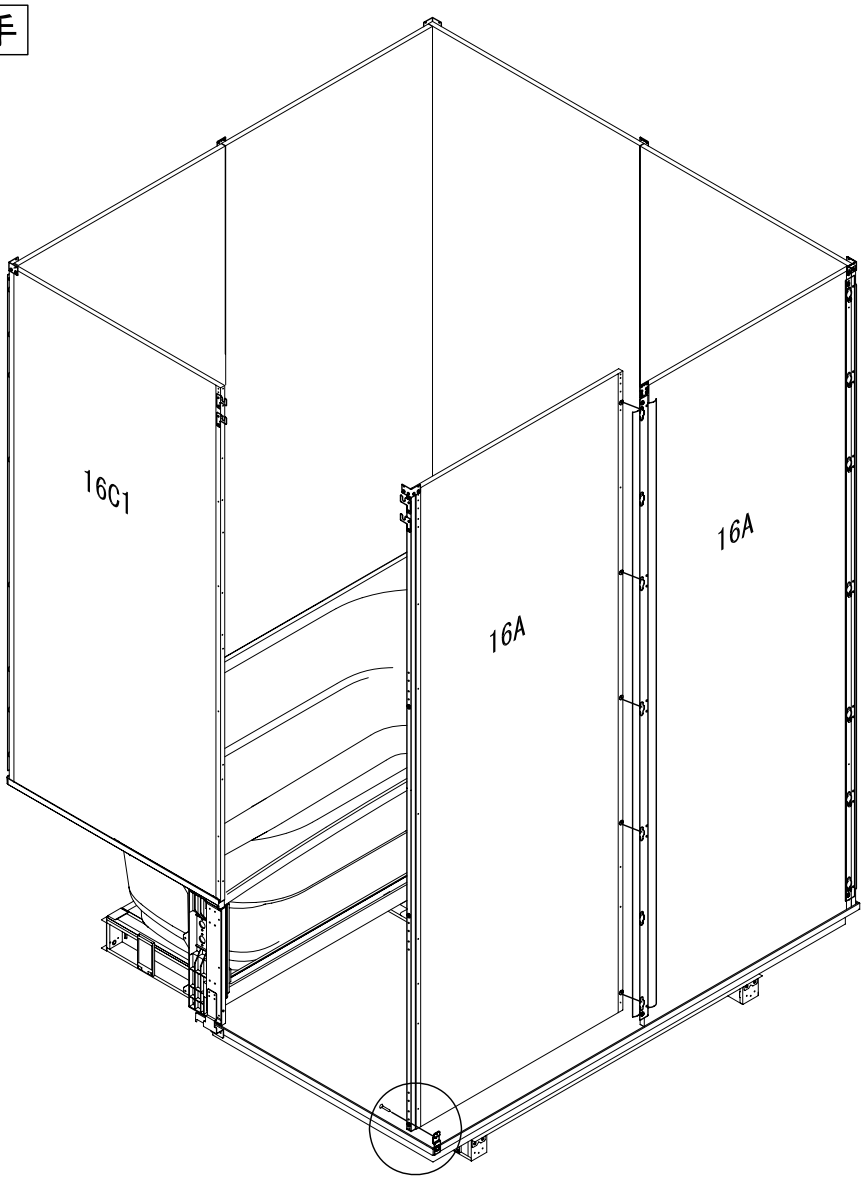


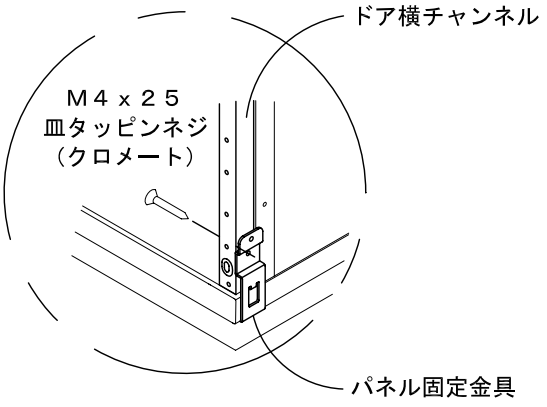
溝の下部にも充填する

（7　A勝手）16Aパネルの組付

・１６Ａのパネルフックネジを隣の１６Ａパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１６Ａパネルのドア横チャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。

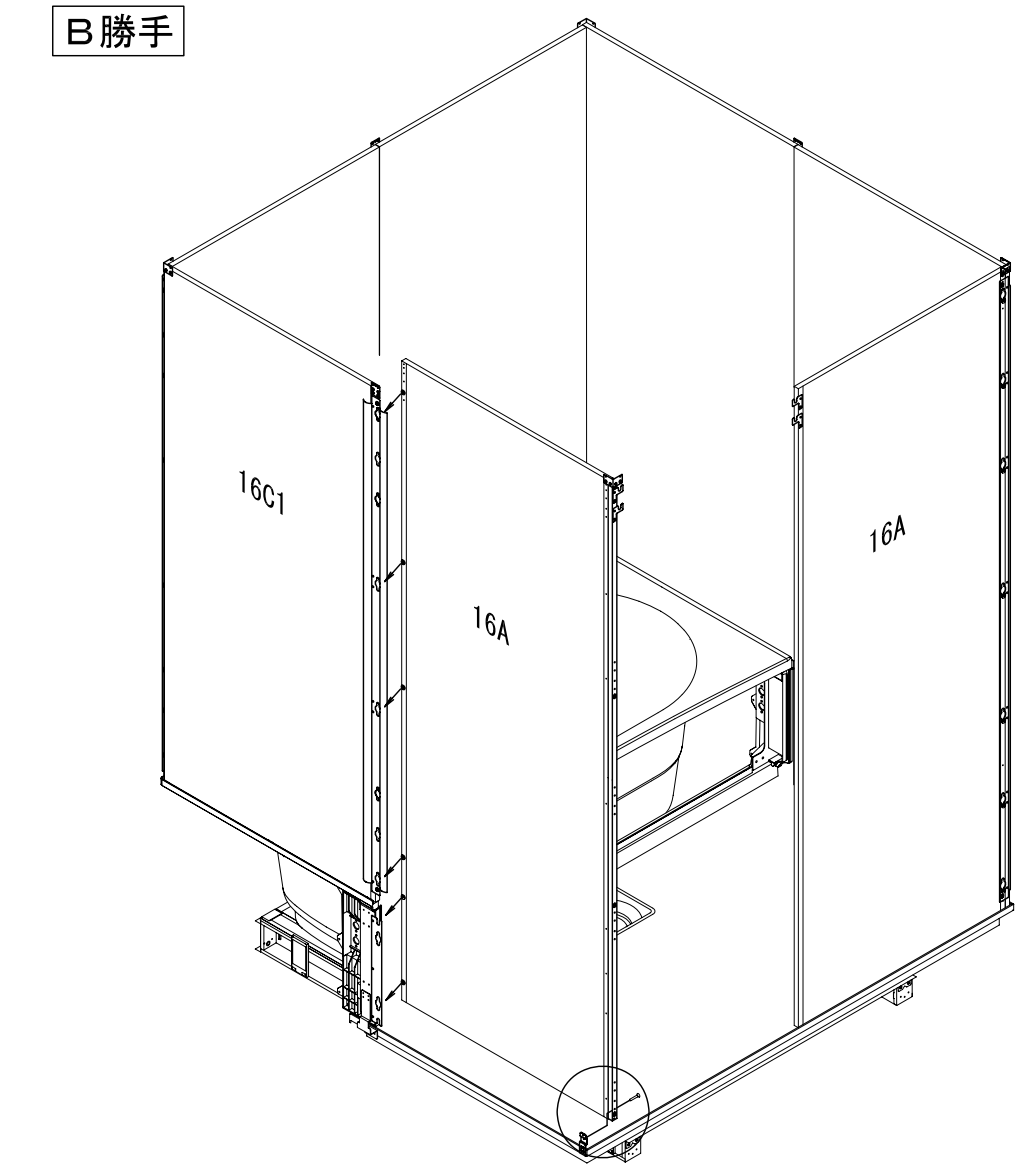
Ａ勝手

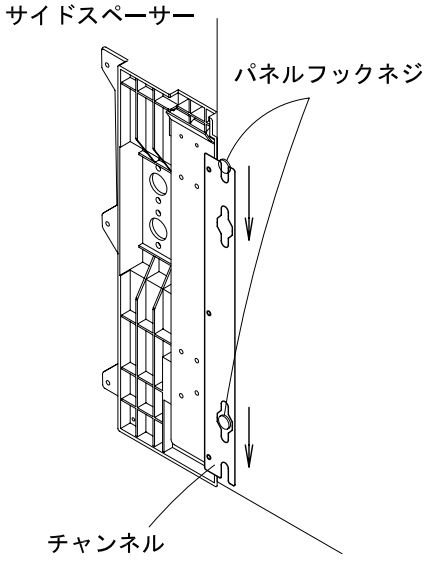


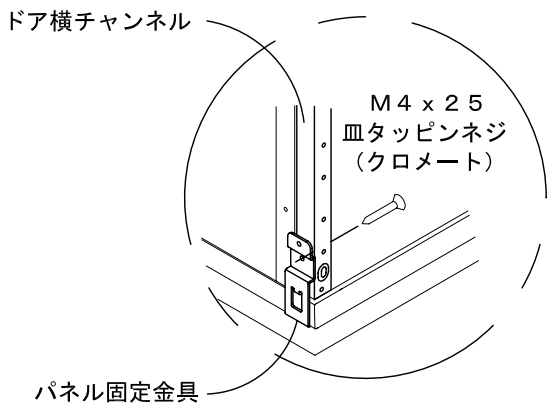


（7　B勝手）16Aパネルの組付

・１６Ａのパネルフックネジを隣の１６Ａパネルのチャンネル切り欠き部と
サイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に全て引っ掛ける。
・１６Ａパネルのドア横チャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。



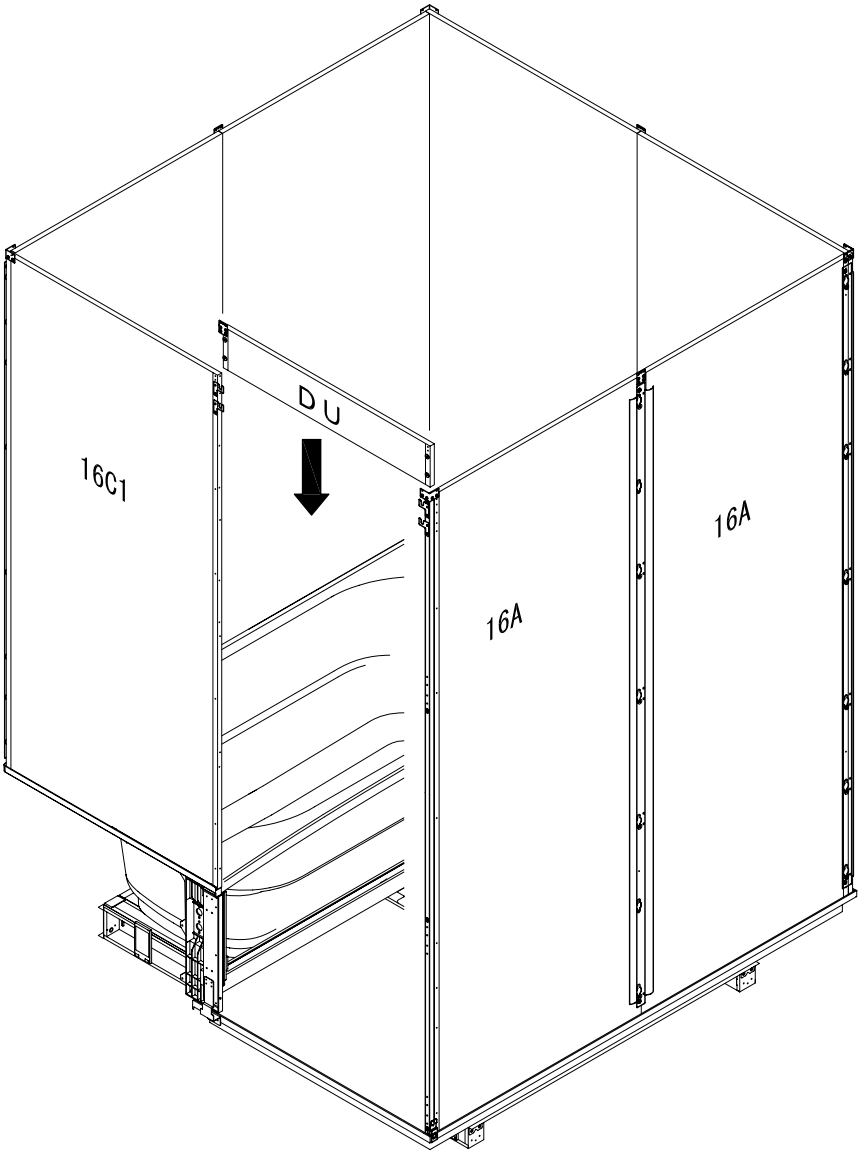


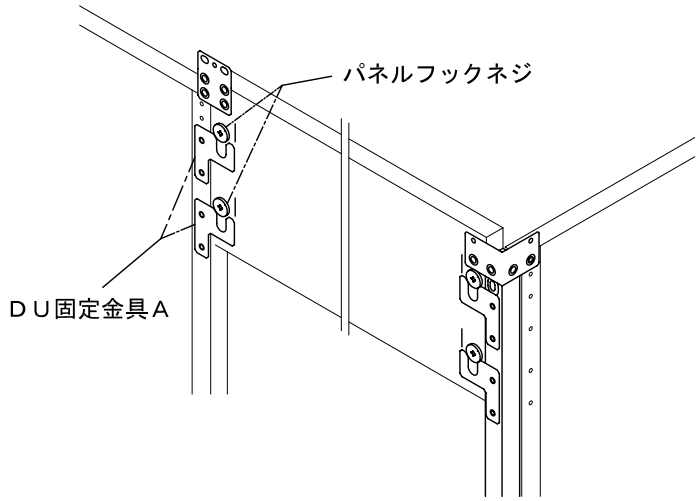


（8　A勝手）DUパネルの組付

・ＤＵのパネルフックネジをＤＵ固定金具切り欠き部すべてに引っ掛ける。

Ａ勝手

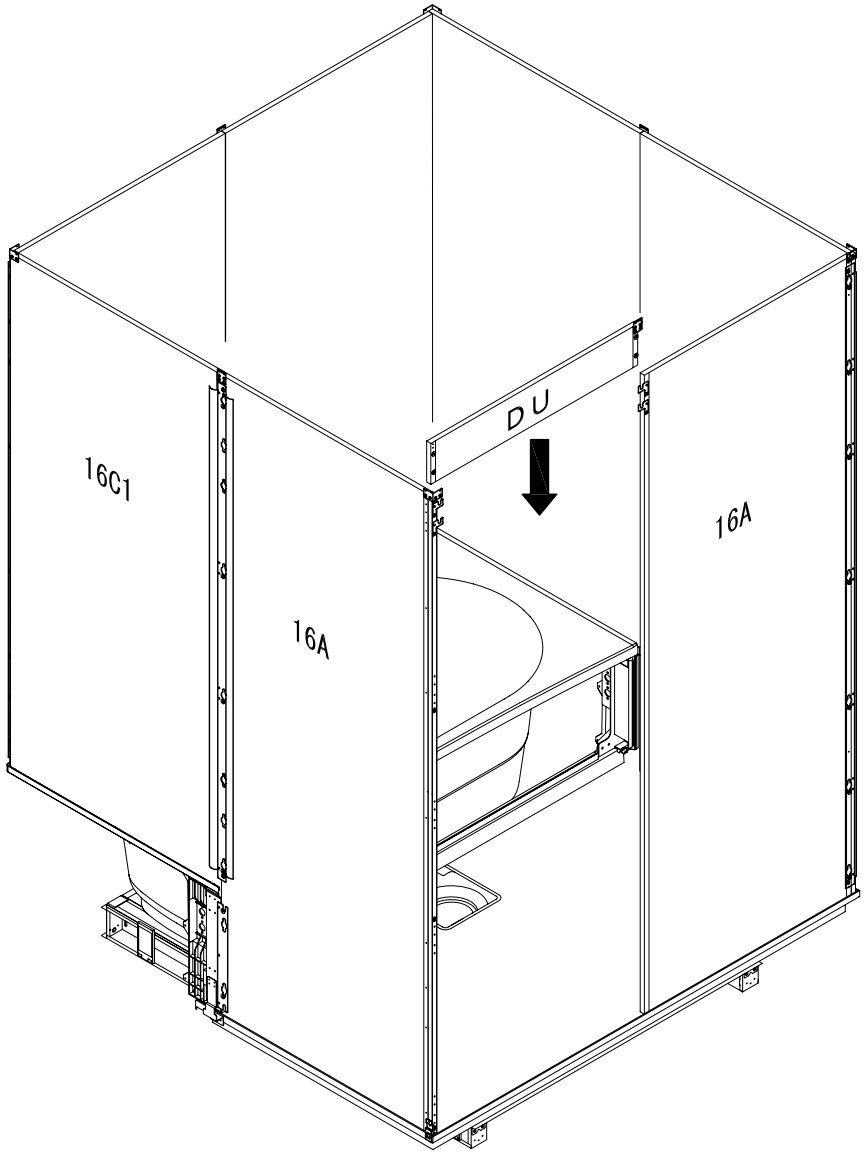


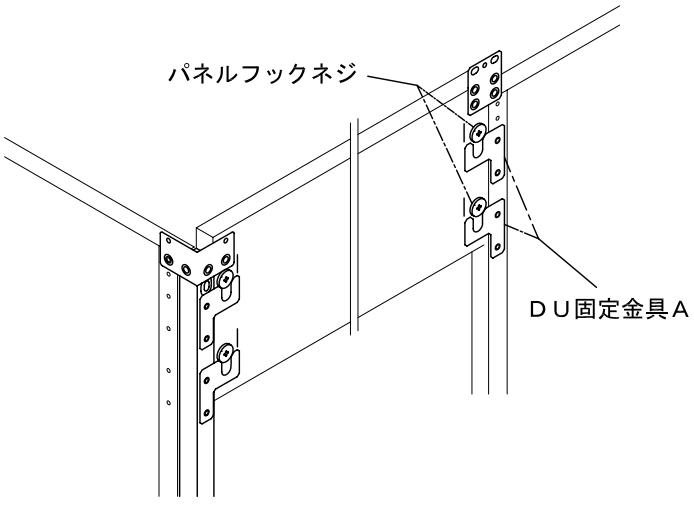


(8 B勝手) DUパネルの組付

・ＤＵのパネルフックネジをＤＵ固定金具切り欠き部すべてに引っ掛ける。

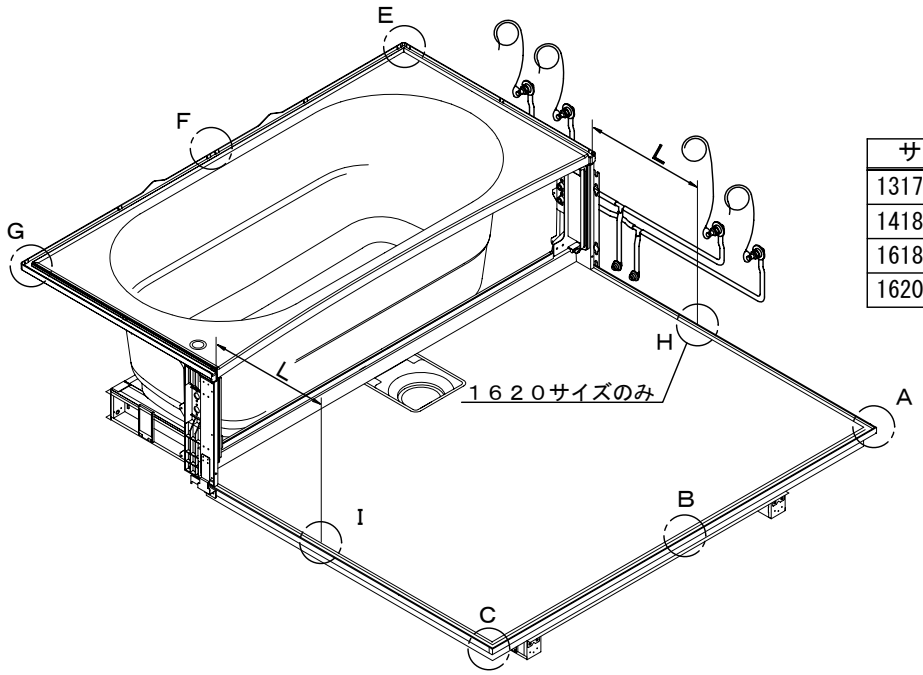
Ｂ勝手



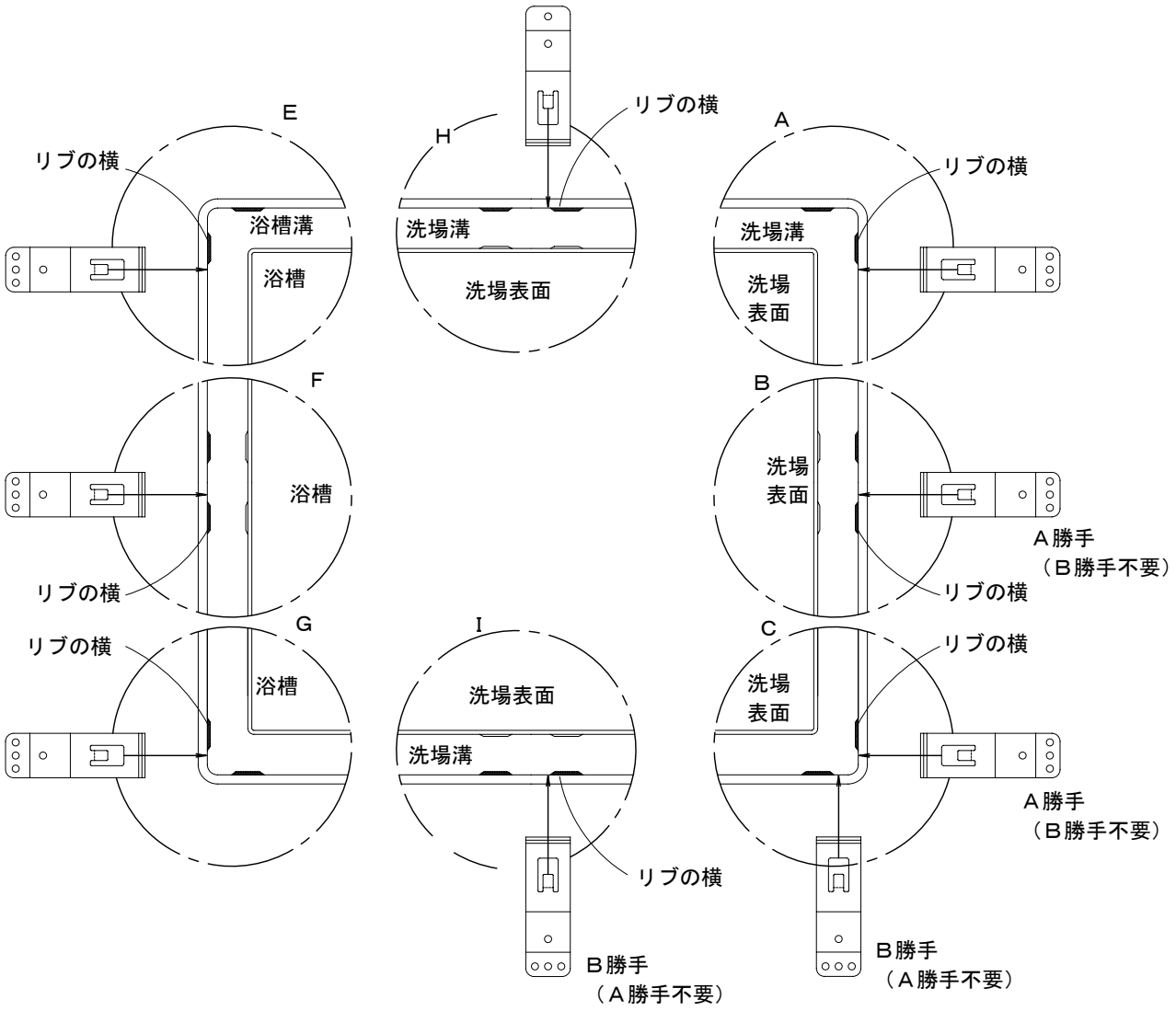


(9)20Cパネルの組付～カウンター面　（カウンター対面以外は、１６１６サイズを参照）

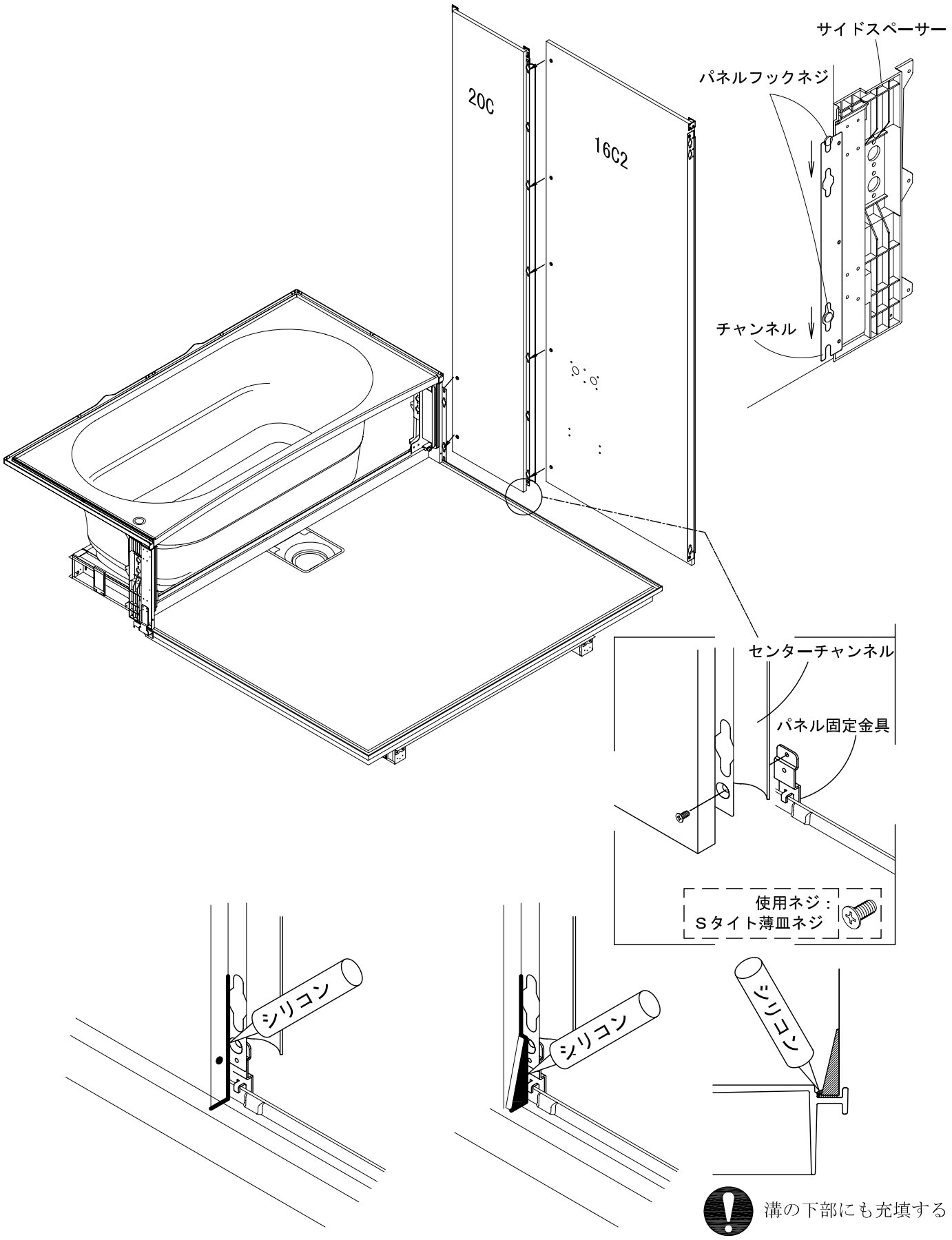
・給水給湯管の水栓接続部にQトウカン引込治具を取り付ける。(P.132参照)
・[上横給水仕様（北海道仕様）の場合]水抜栓部にパッキンをつける。(P.132参照)
・浴槽およびサイドスペーサーとの隙間にシリコンを塗布する。(P.133参照)
・壁パネル設置前に洗場・浴槽立ち上がり部にパネル固定金具を取り付ける。



サイズ	L寸法
1317	１００
1418	２００
1618	１７５
1620	４００

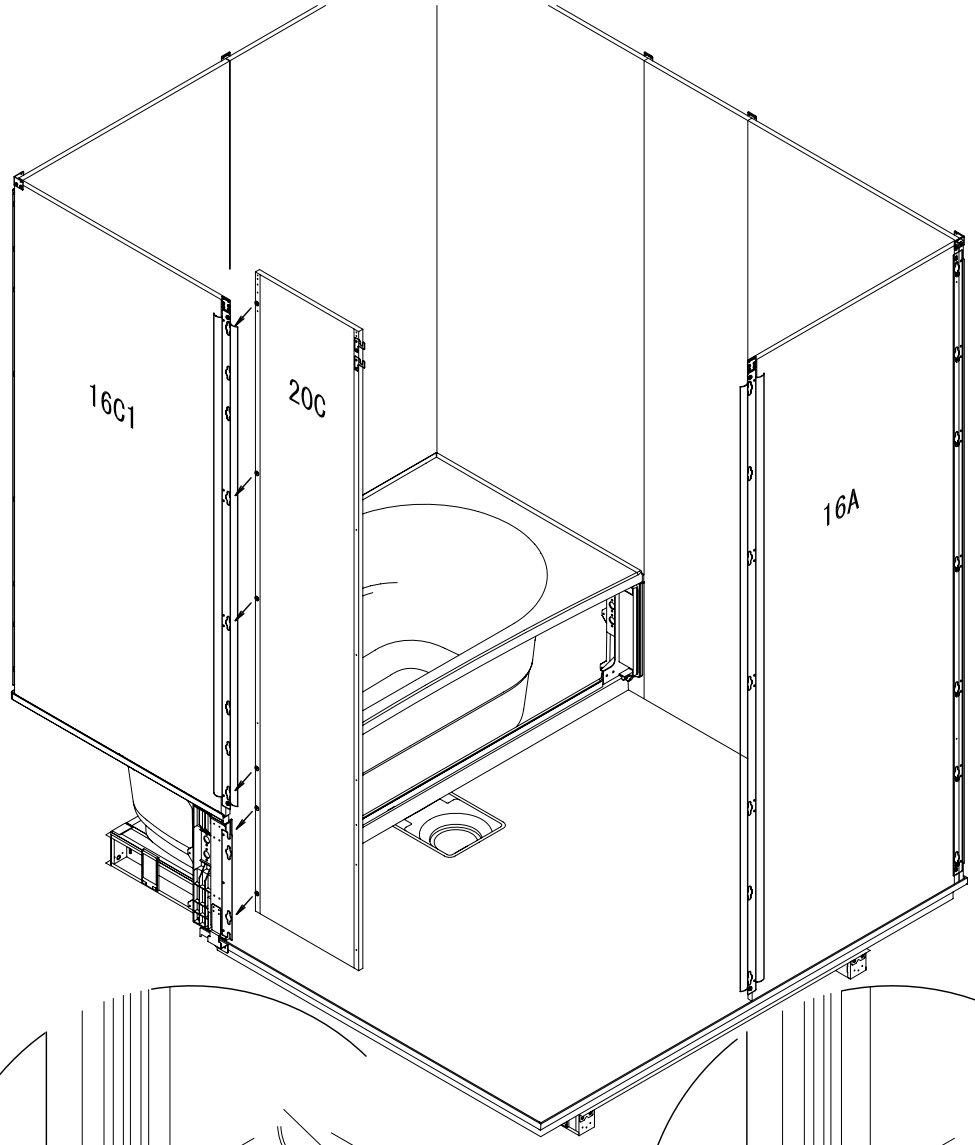


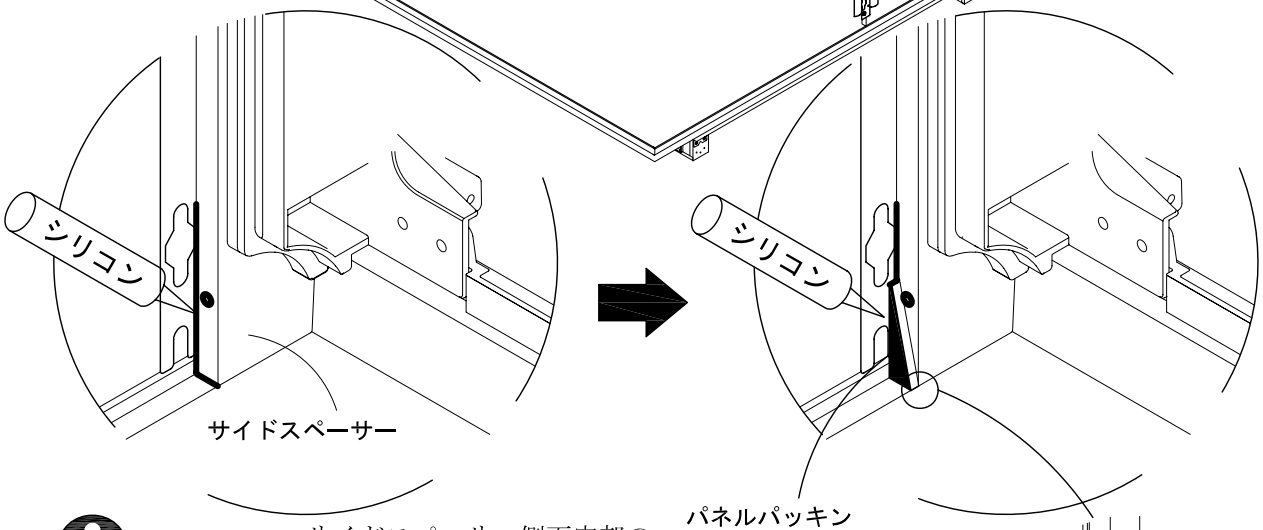
・２０Ｃパネルのパネルフックネジをサイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に引っ掛ける。
・２０Ｃパネルのセンターチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布し、パネルパッキンを貼り付ける。



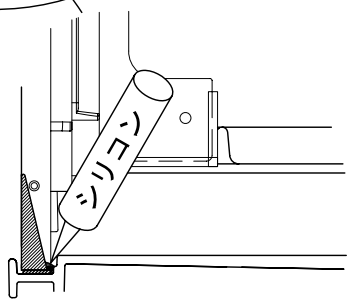
(10)20Cパネルの組付～背もたれ面

・サイドスペーサーにシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）
・２０Ｃのパネルフックネジを１６Ｃ１パネルのチャンネル切り欠き部と
サイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に全て引っ掛ける。





サイドスペーサー側面穴部の
シリコンを充填を忘れないでください

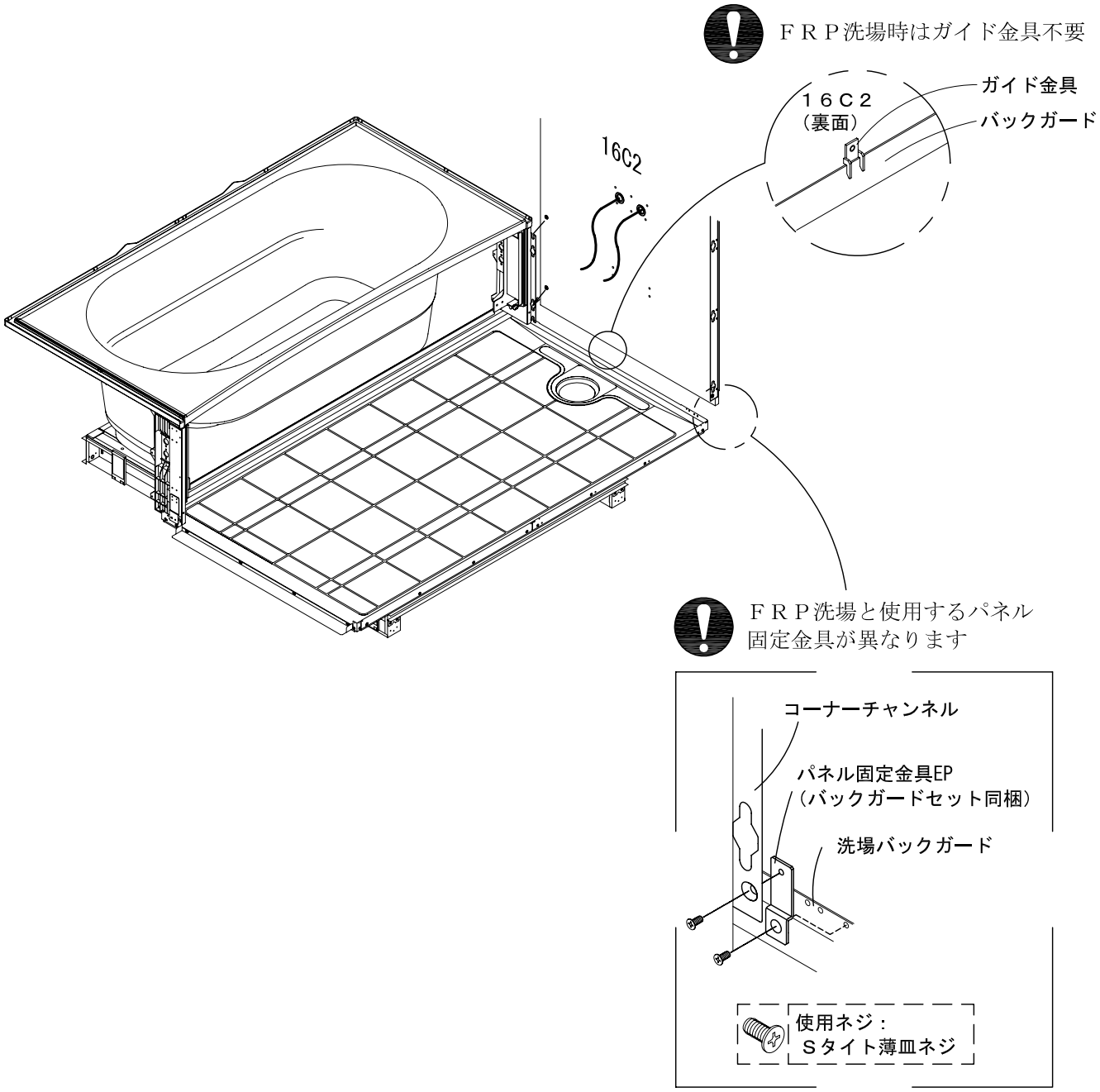


溝の下部にも充填する

(11)タフロア洗場時のC2パネルの組付

・壁パネルのパネルフックネジをサイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に引っ掛ける。（ＦＲＰ洗場と同じ）
・パネル裏面のガイド金具が洗場のバックガードに引っかけるように下ろす。（タフロア洗場のみ）

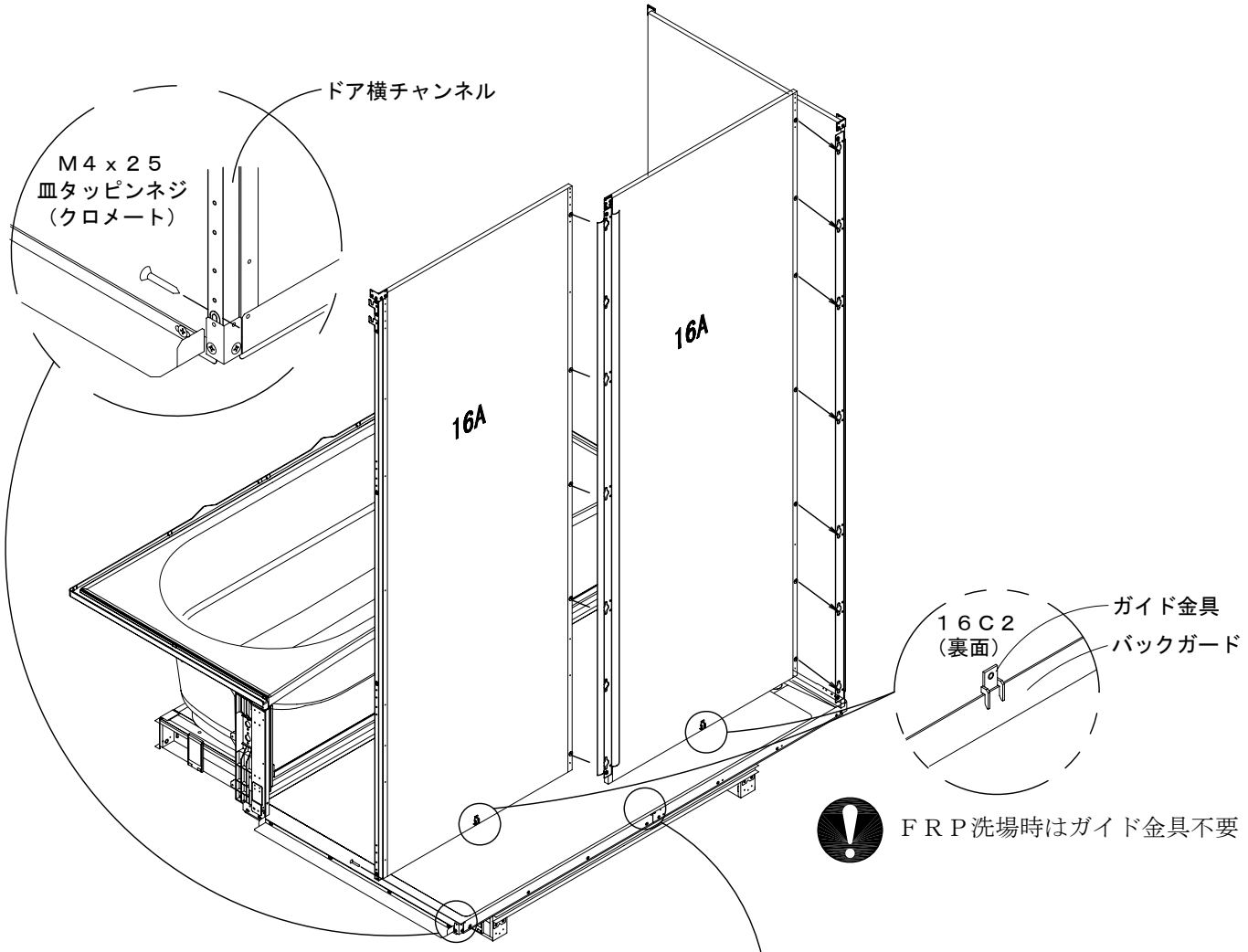
ＦＲＰ洗場との相違点のみ記載しております。
その他の組付けはＦＲＰ洗場と同じです。



(12)タフロア洗場時の16Aパネルの組付

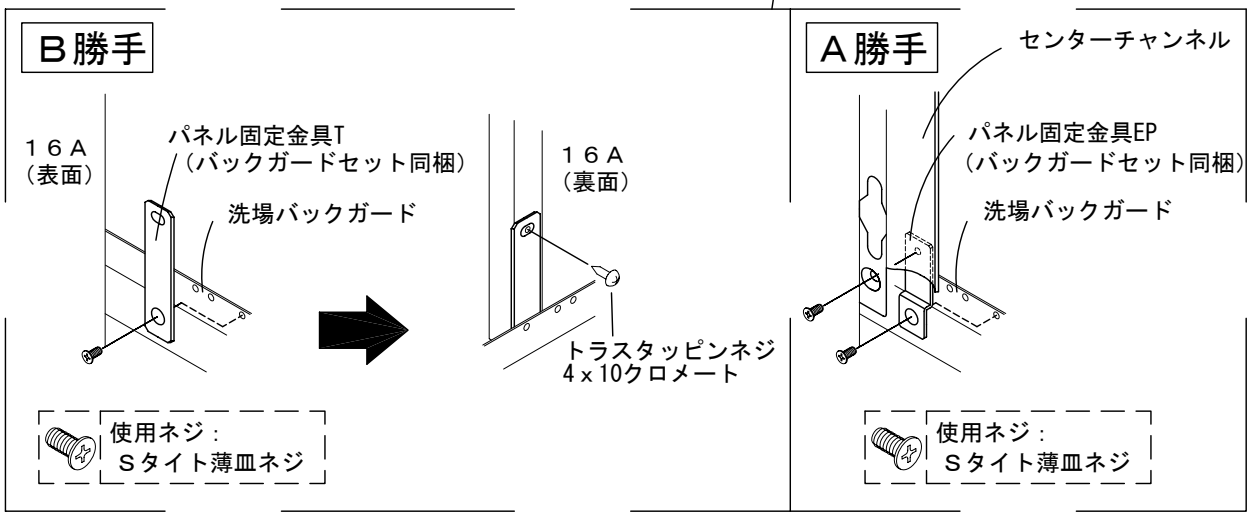
・１６Ａのパネルフックネジを隣のパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
（ＦＲＰ洗場と同じ）
・パネル裏面のガイド金具が洗場のバックガードに引っかけるように下ろす。
（タフロア洗場のみ）
・ドア横チャンネル下部の皿押し穴からネジにて洗場のバックガードに固定する。

ＦＲＰ洗場との相違点のみ記載しております。
その他の組付けはＦＲＰ洗場と同じです。



ＦＲＰ洗場時はガイド金具不要

ＦＲＰ洗場と使用するパネル固定金具が異なります



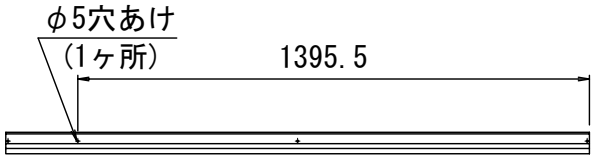
3．天枠の組付

(1)ドア枠の取付　　（ドア上パネル無し仕様の場合）

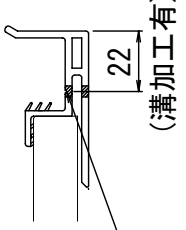
・天枠の組付前にドア枠を取付。
　ドアに同梱の設置説明書をよく読んで正しく取付ること。

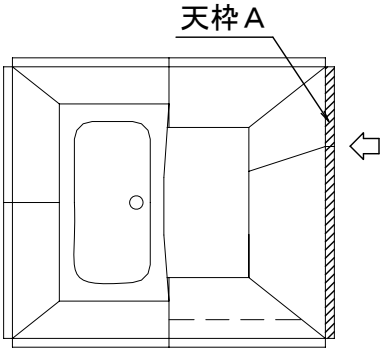
(2) 天枠の穴加工 （3枚引戸仕様の場合）

・右図で示す天枠(天枠A) の指定位置に穴あけ加工を行う。
（右図はBLタイプ。BRタイプは対称。）



⇦ （カウンター側）



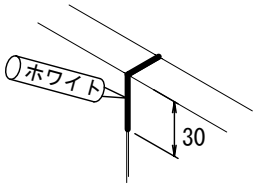


天枠Ａ　φ5貫通穴

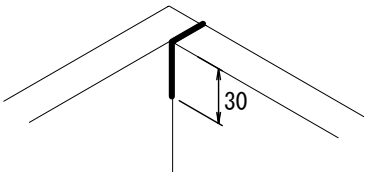
(3) 天枠の組付

・壁パネルと壁パネルの接合部上部にシリコンを塗布する。
・壁パネル上面から「天枠Ａ」「天枠Ｎ」をかぶせる。
　※天枠に貼付けの保護シートは剥がすこと。
・天枠の穴から壁パネルに取り付けた天枠固定金具にネジ止めする。
・天枠Ｎに天井固定板を取り付ける。
・天枠組付け後、コーナー部・天枠の天井載せ面にシリコン（ホワイト色）を
　塗布する。

センター目地部

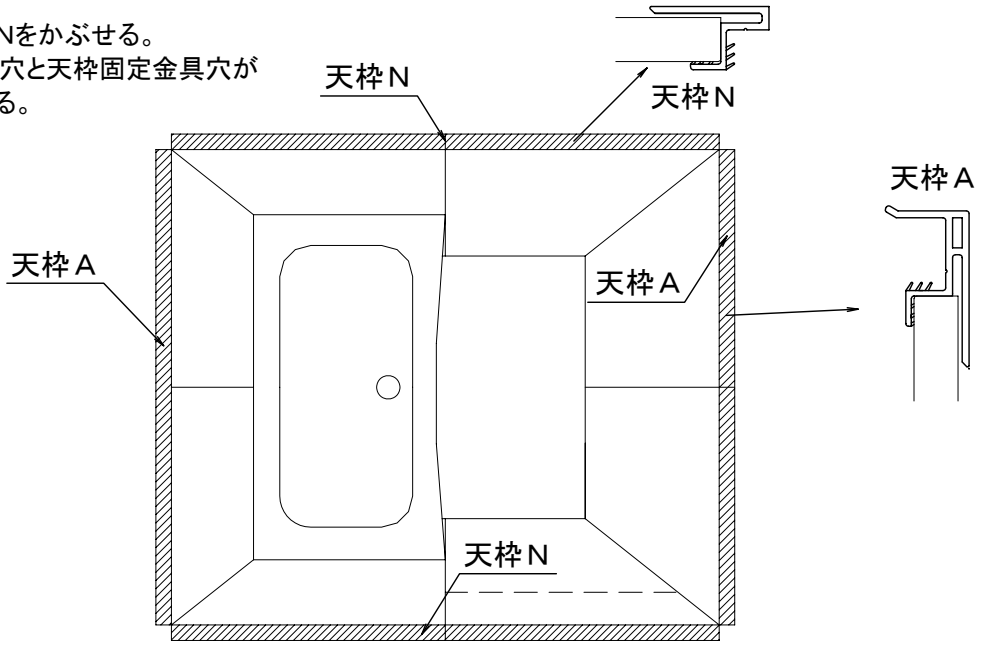


コーナー目地部

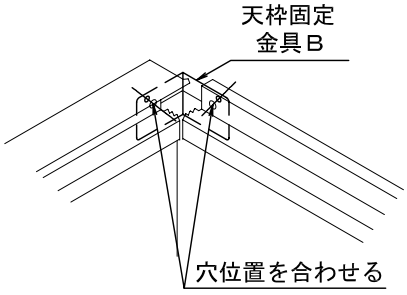


パネル上面

・下図の位置に天枠A・Nをかぶせる。
　かぶせる際は、天枠の穴と天枠固定金具穴が
　合っている事を確認する。

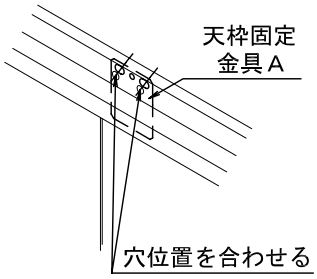


コーナー目地部

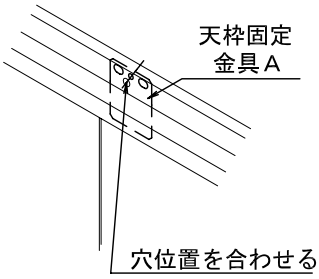


センター目地部

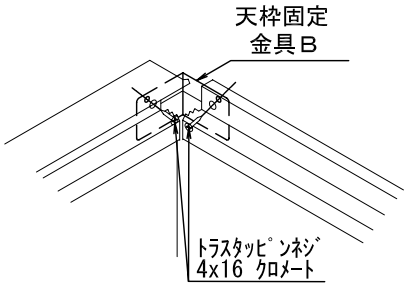
①天枠に穴が2箇所の場合



②天枠に穴が1箇所の場合

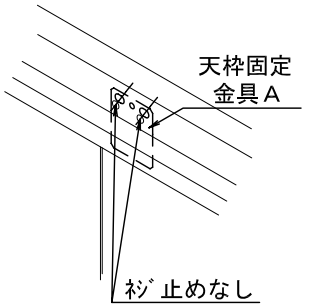


コーナー目地部

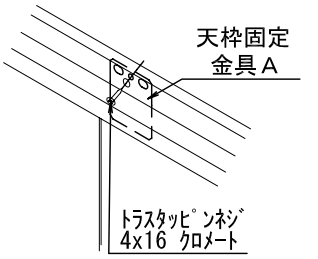


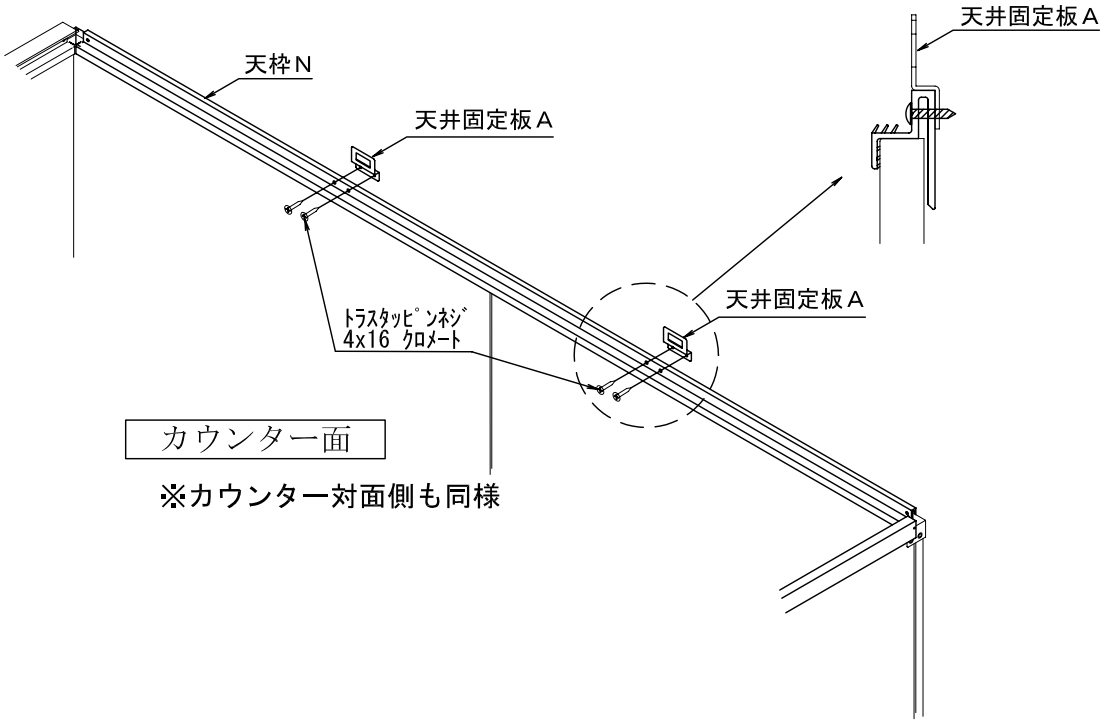
センター目地部

①天枠に穴が2箇所の場合



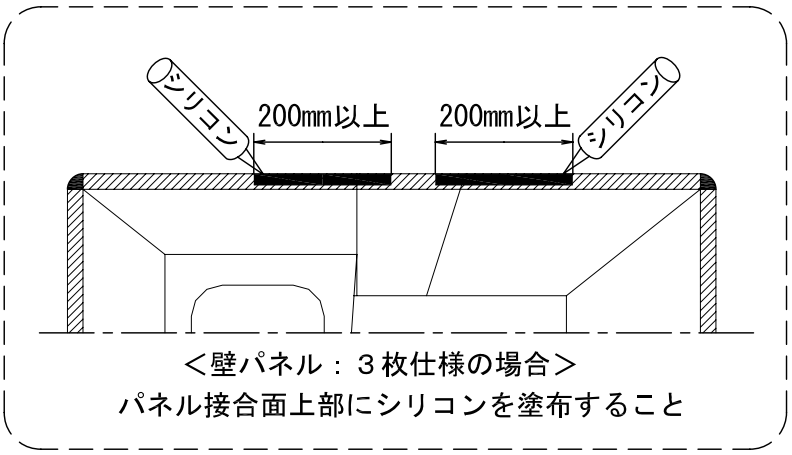
②天枠に穴が1箇所の場合





※カウンター対面側も同様

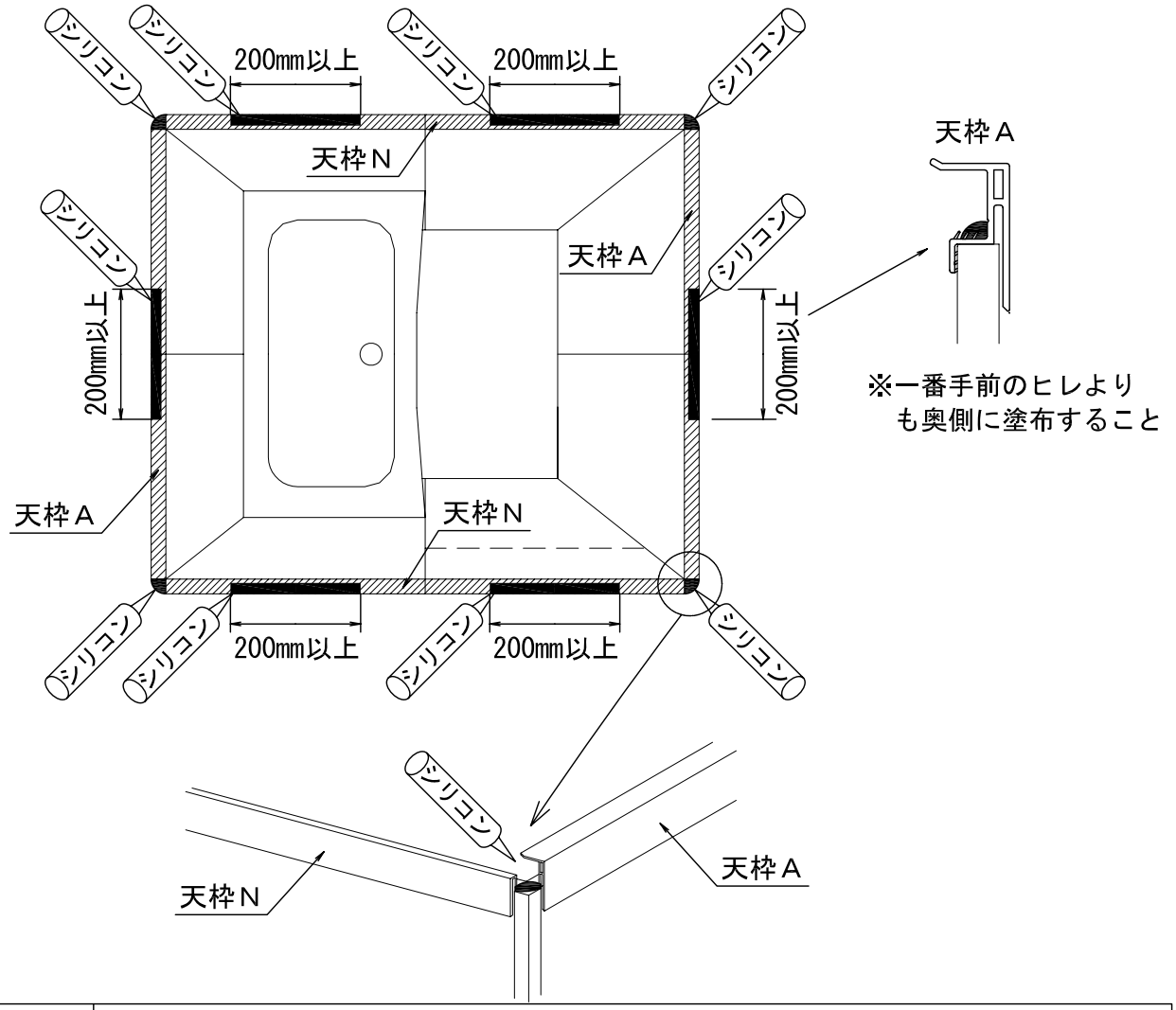
!	天井固定板Ａのネジ固定は締めすぎないこと。 ネジを締めすぎると、天枠が破損する恐れがある。



＜壁パネル：３枚仕様の場合＞
パネル接合面上部にシリコンを塗布すること

パネル上面

下図の指示箇所にシリコンを
塗布すること。



※一番手前のヒレより
も奥側に塗布すること

❗	<u>コーナー部のシリコン塗布は隙間なく十分に塗布すること。</u> シリコン塗布が不十分の場合、天枠継ぎ目から 漏水するおそれがある。

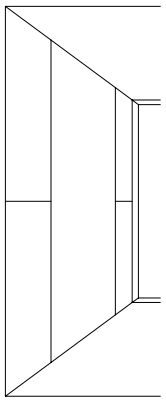
（4）ドア枠の取付　　（ドア上パネル有り仕様の場合）

・天枠の組付後にドア枠を取付。
　ドアに同梱の設置説明書をよく読んで正しく取付けること。

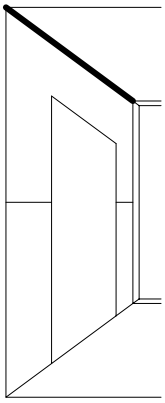
４．壁パネル打ち込み目地設置手順

(1)打ち込み目地設置範囲

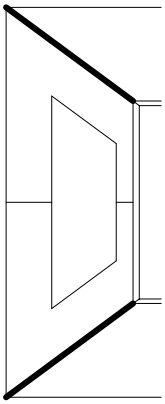
・下図に示す太線部に指定色の目地を打ち込む。



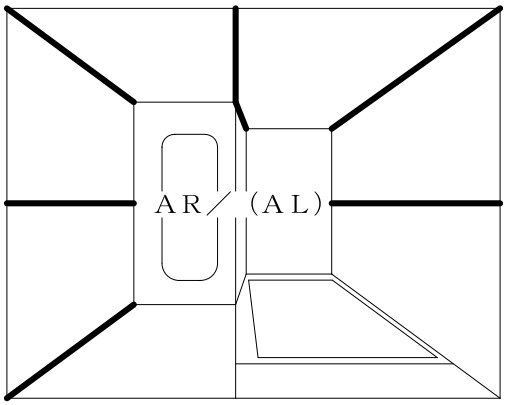
全幅開口

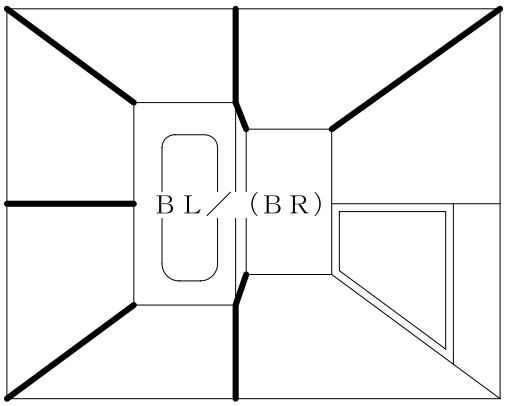


片寄せ開口



中抜き開口



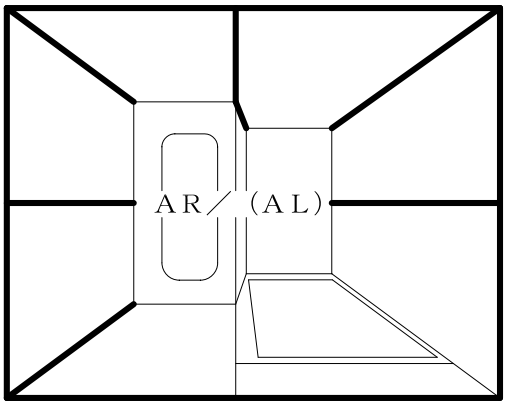


(2)打ち込み目地及びテンワク色

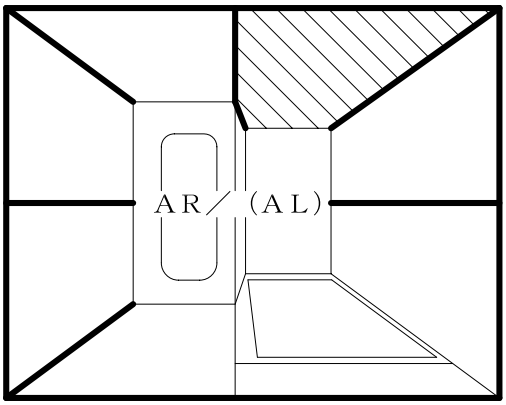
線種と目地色

——— : 白
— — — : クリアorブラックorベージュ

パネルベース色がホワイト

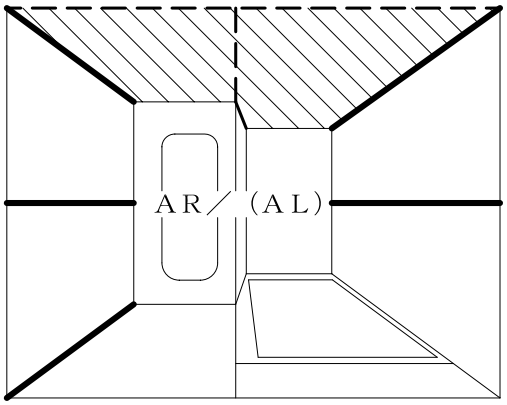


アクセントデザイン

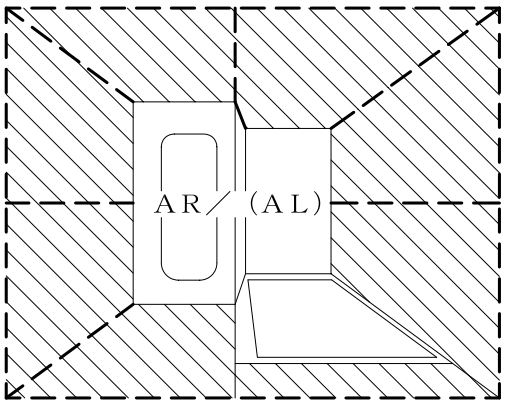


パネルベース色がホワイト以外

濃色パネル、ロッシュパネル
1面デザインの場合



濃色パネル全面デザインの場合



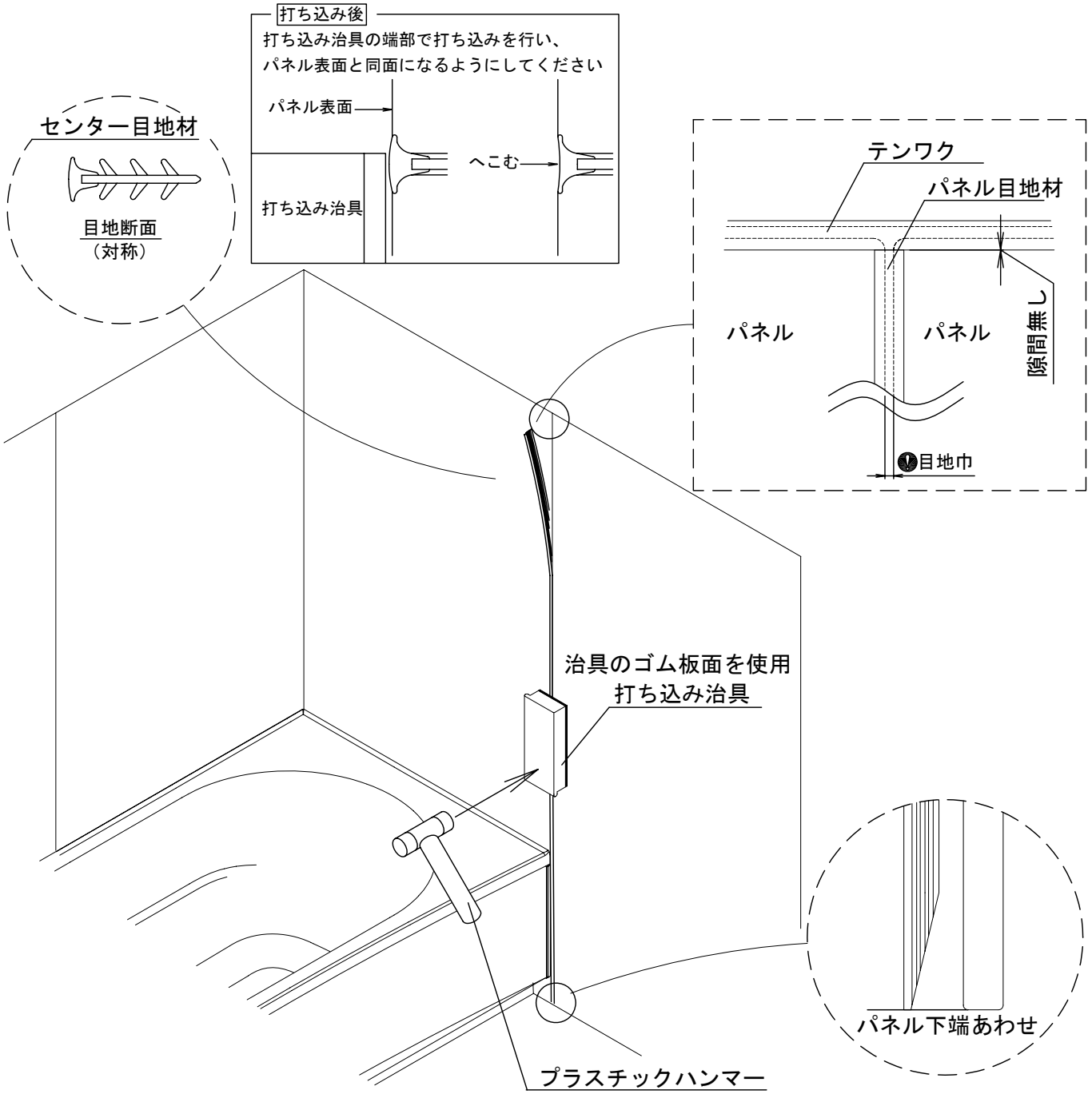
クリア目地のパネルベース色 ：ベージュ、ピンク、グリーン ブラック目地のパネルベース色 ：ブラック、ブラウン	ベージュテンワクのパネルベース色 ：ベージュ ブラックテンワクのパネルベース色 ：ブラック、ダークブラウン

ロッシュピンク、ロッシュグリーン柄のテンワク色はホワイトになります

(3)打ち込み目地設置作業(センター目地)

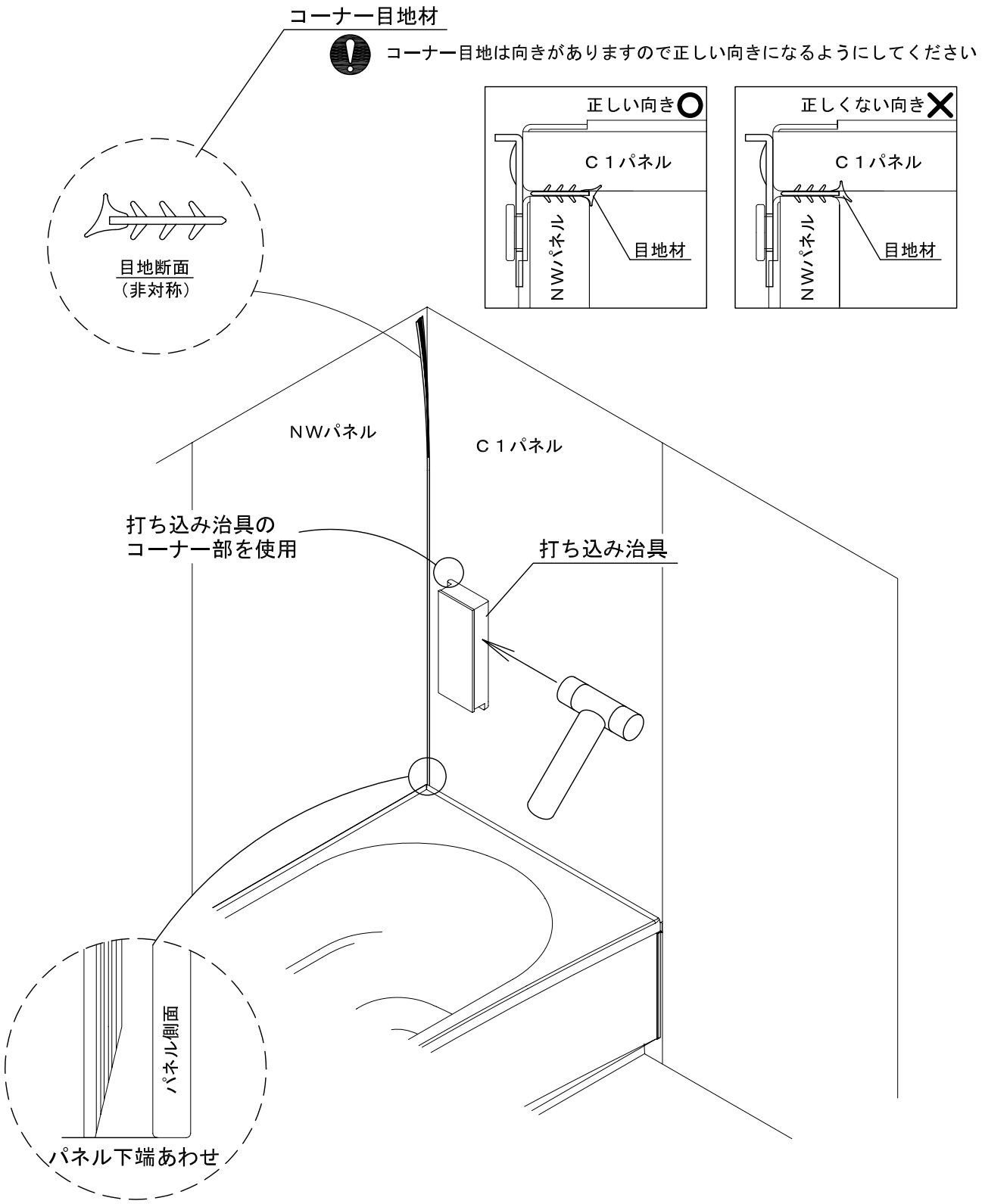
・パネルメジの下端とパネルの下端が揃うように位置を決める。
・目地が外れないように軽く手で押し込んで位置決めをする。
・目地が入りやすい箇所から打ち込み冶具を使用してプラスチックハンマーで打ち込む。
注）目地は一箇所を集中的に打ち込まず、全体が均等に入るように打ち込む。
・天井目地と重ならないように目地上部をカットする。

・目地材の中央部がへこむ程度まで挿入されていることを確認してください。
挿入が不十分な場合、漏水の危険があります。
・一度打ち込んだ目地材は引き抜かないでください。
引き抜いた目地材は変形するため、打ち込むと漏水の危険があります。
・目地巾が広く３mmスペーサーが入る場合は、全体にコーキングを塗布してから
目地材を打ち込んでください。



(4)打ち込み目地設置作業(コーナー目地)

・コーナー目地は向きがあるため正しい向きで打ち込むように目地の断面を確認する。
・パネルメジの下端とパネルの下端が揃うように位置を決める。
・目地が外れないように軽く手で押し込んで位置決めをする。
・目地が入りやすい箇所から打ち込み冶具を使用してプラスチックハンマーで打ち込む。
注）目地は一箇所を集中的に打ち込まず、全体が均等に入るように打ち込む。
・センター目地と同様に天井目地と重ならないように目地上部をカットする。



5. 全高カットの手順

全高カットが必要な場合は、壁パネルやアングル等のカットや穴あけ加工が別途必要。

(1)カット作業における注意事項

①切断には、丸のこ又は、ジグソーを使用すること。
②丸のこ刃は必ず専用刃物（タカラ設定品）を使用すること。
　また、ジグソー刃は、ステンレス用（厚み：1ｍｍ）を使用すること。
③切断の際は、パネルを安定した作業台の上にのせ、直角に切断すること。

	消耗した刃を使うとホーローに大きなダメージが発生するおそれがある。 ジグソー刃は1現場に一枚、丸のこは20mを目安に刃物を交換すること。

	切粉が洗場などに付着して、もらい錆が発生するおそれがあるため、 カット作業は、システムバス室内では絶対におこなわない。 万一、システムバス室内に切粉が付着した場合は、きれいに取り除くこと。

(2)カット寸法の決定方法

パネルをカットする寸法は、以下の事項に注意すること。

Ⅰ:機種および照明器具による制限

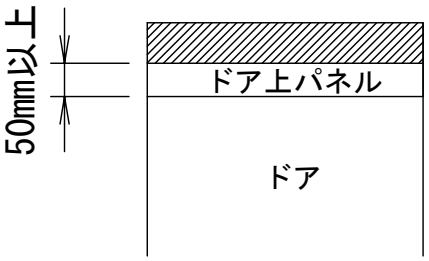
パネルをカットする寸法は、以下の制限に注意すること。
※穴なしパネルについては、「Ⅲ」を参照。

照明	システムバスの種類	カット可能寸法(Y)
ＵＤＸ照明	既存照明穴使用時	２５㎜以下
	照明取付穴再加工時:既存穴より最大40㎜下げ	６５㎜以下
	照明移動キット使用時:既存穴より最大82㎜下げ	１０７㎜以下
ＵＥＨ照明	既存照明穴使用時	４０㎜以下
	照明取付穴再加工時:既存穴より最大40㎜下げ	８０㎜以下
	照明移動キット使用時:既存穴より最大82㎜下げ	１２２㎜以下
W照明	既存照明穴使用時	７０㎜以下
	照明取付穴再加工時:既存穴より最大20㎜下げ	９０㎜以下
	照明移動キット使用時:既存穴より最大82㎜下げ	１５２㎜以下

	浴室暖房乾燥機の吹き出し口から照明までは、100㎜以上離すこと。

Ⅱ:ドア上パネルによる制限

ドア上パネルは必ず必要。
ドア上パネル下部を50㎜以上残すこと。

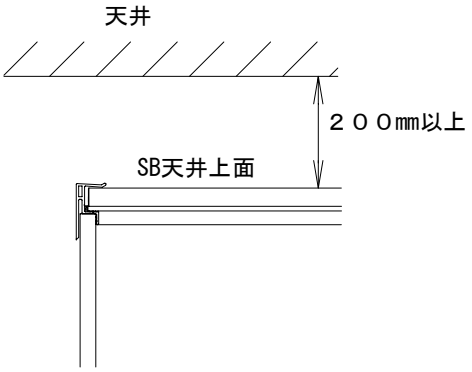


Ⅲ:照明器具取付パネルに「穴無しパネル」を用いる場合

照明器具を取り付けるパネルに「穴無しパネル」を用いることにより、あらかじめ設定されている照明器具取付穴にとらわれることなく、照明器具位置を設定することが可能となる。（ただし、棚・シャワーフック等の取付板(t12合板)を別途準備する必要がある。）
※1620サイズ・Ｆタイプは照明穴無しパネル

Ⅳ:建屋の天井とのクリアランスによる制限

ＳＢ天井上面と建屋天井面とのクリアランスは、200㎜以上必要。



Ⅴ:その他

収納ケース・シャワーフック・窓などの干渉について確認すること。

（3）設置に必要なもの

①使用工具

●電動ドリル　●ドリル刃（φ3．5、φ6）
●ホールソー（φ20）・・・照明器具用の穴をあける必要がある場合のみ
●ジグソー　●ジグソー刃（ステンレス用:厚み1㎜）
●丸のこ
●丸のこ刃（タカラ設定品）　●保護メガネ　●防塵マスク

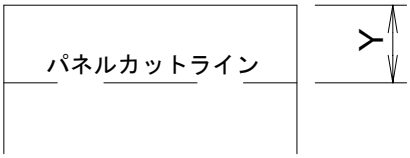
②使用材料

下記の材料を調達。
●防錆剤（品番:タカラ設定品）　●養生テープ（カット時の養生用）

(4)壁パネルのカット作業

Ⅰ:カット寸法の決定

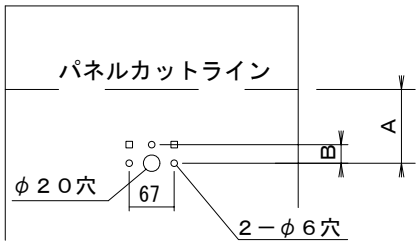
(2)項の制限事項を確認の上、パネルカット寸法(Y)を決める。



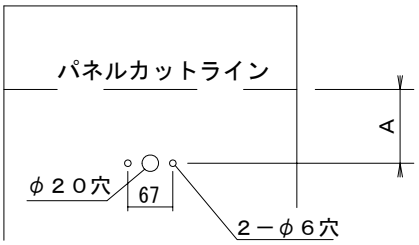
Ⅱ:照明取付穴のケガキ(必要な場合のみ)

照明取付穴位置を変える必要がある場合は、取付穴をけがくこと。

①照明取付穴位置を
あらたに開け直す場合



②照明取付パネルに
穴無しパネルを用いる場合



システムバスの種類	Ａ寸法	Ｂ寸法
UDX照明	１７５㎜以上	４０㎜以下
UEH照明	１６０㎜以上	４０㎜以下
W照明	１３０㎜以上	２０㎜以下

照明取付位置を変える場合の取付方法

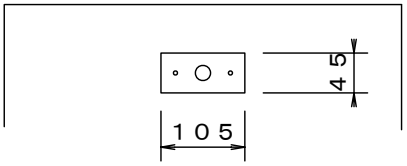
※照明器具は、パネルの組付け前に取付けること。

①パネル裏側の保温材を切り取る。

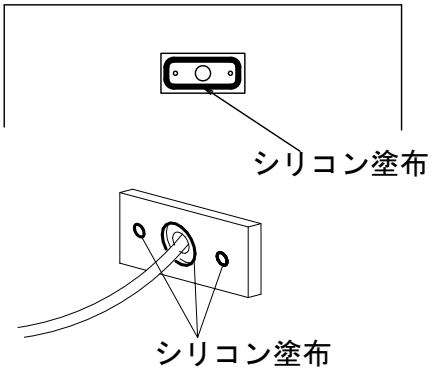
②新たに開け直した取付穴の切り口に、防錆剤を塗布する。

③保温材を切り取った部分にシリコンを塗布し(脱落防止のため)小物セットに同梱の照明取付板を貼り付ける。

④あらかじめ照明器具のコードを取付穴に通してから、取付穴(φ20穴、φ6穴)の周囲にシリコンを塗布し、照明を取り付ける。

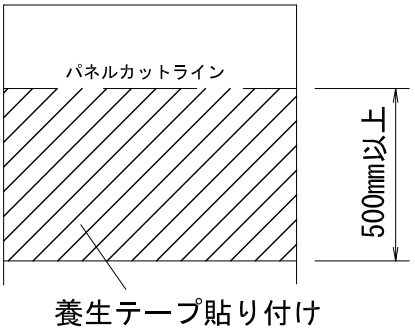


照明取付板の大きさは40x100



Ⅲ:養生テープの貼付け・パネルのカット

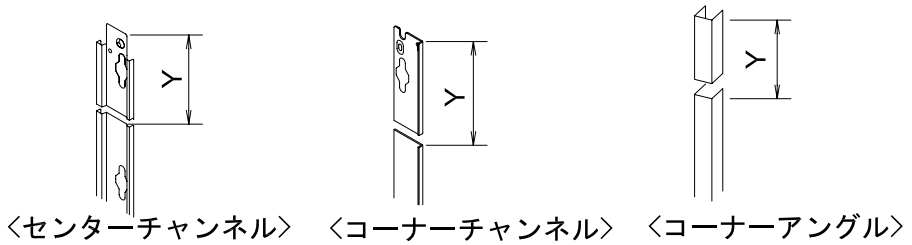
カットラインの上およびカットライン周囲500㎜以上に養生テープを貼った後、パネルをカットする。
パネルカットは丸のこ又は、ジグソーを使用すること。



Ⅳ:コーナーチャンネル・センターチャンネルのカット

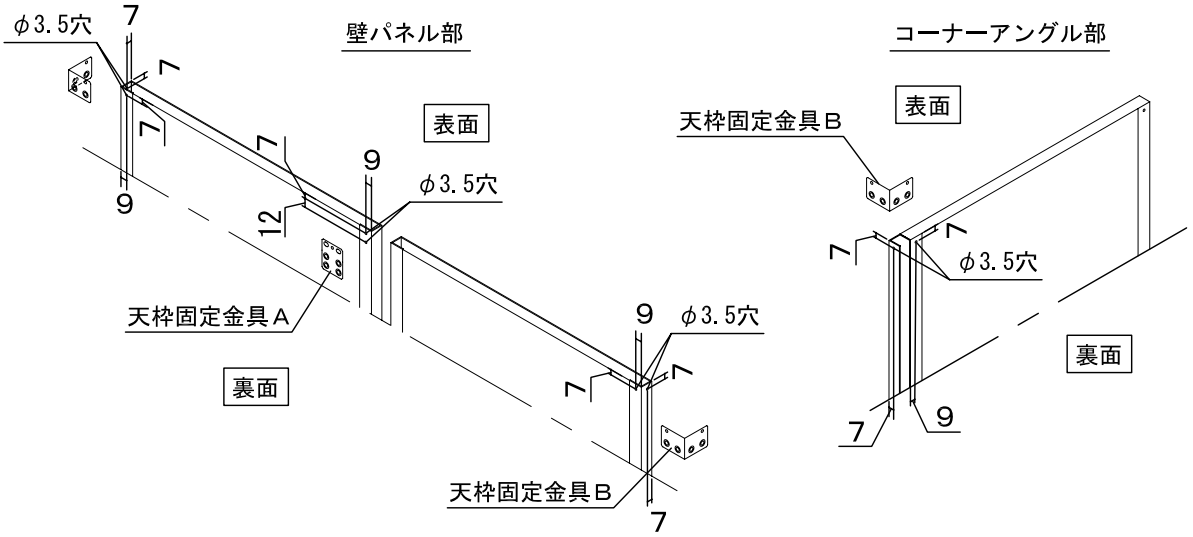
コーナーチャンネル（またはアングル）・センターチャンネルをカットする。

※パネル面によってチャンネルの上下が異なるのでカット方向には十分注意すること。

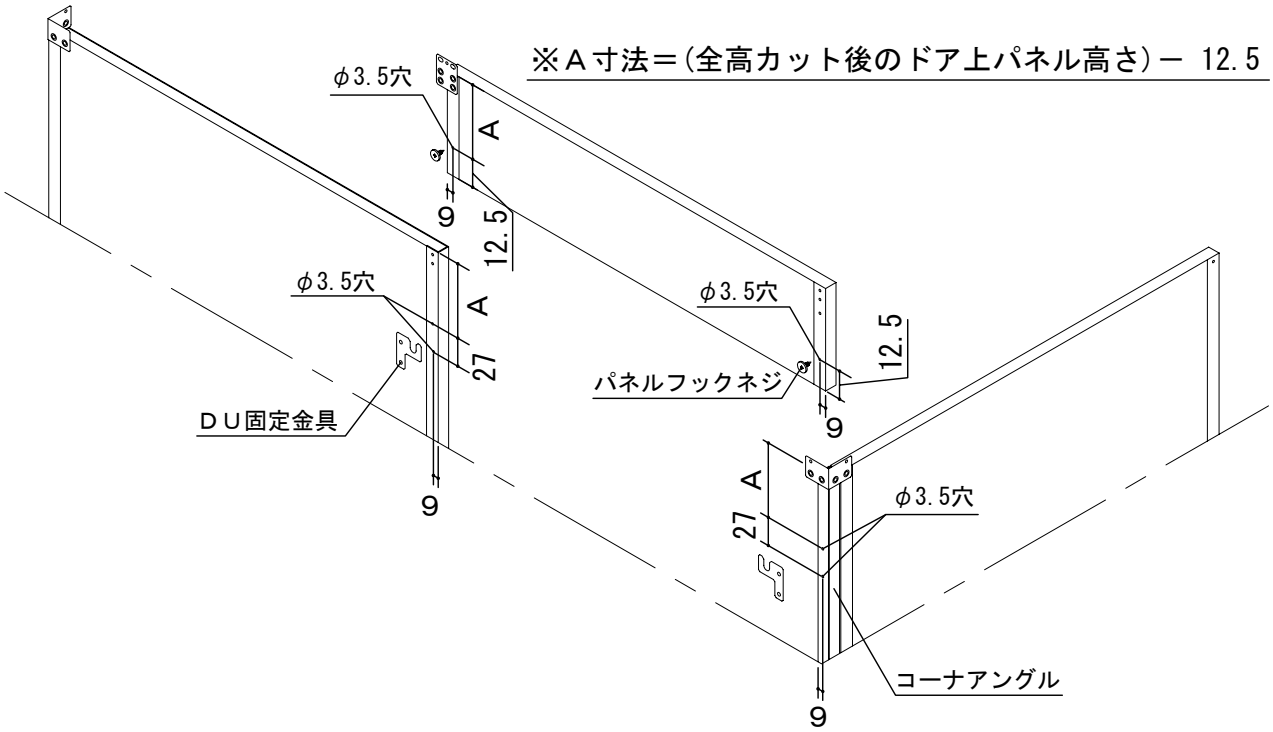


Ⅴ:パネルの固定金具・ネジ取付用穴あけ

①下図の位置に天枠固定金具取付用穴（φ3.5）をあける。
※天枠固定金具の取付箇所は、設置説明書P151～155を参照。



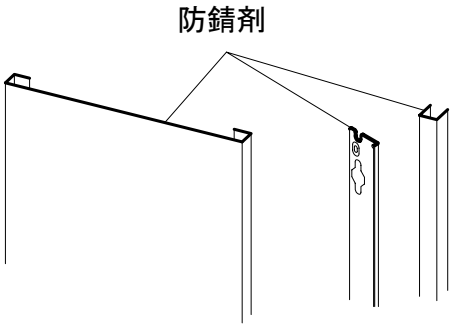
②下図の位置にＤＵ固定金具取付用穴・パネルフックネジ取付用穴（φ3.5）をあける。



Ⅵ:カット面・穴あけ部への防錆剤の塗布

養生テープをはがし、バリを落として、パネル表面の汚れを取り除いてからパネル・コーナーアングル・センター/コーナーチャンネルの切り口及び、穴あけ部に防錆剤を塗布する。

※切粉が付着したまま設置すると錆の発生の原因になるので、きれいに取り除くこと。
※防錆剤は塗り残しがないように十分塗布する こと。



(5)壁パネル・天枠・天井の設置

全高カットをしない場合と同様に設置する。（設置方法は各項参照のこと）
金具類を壁パネルに取付けた後、壁パネル・天枠・天井をハーフユニットに設置。

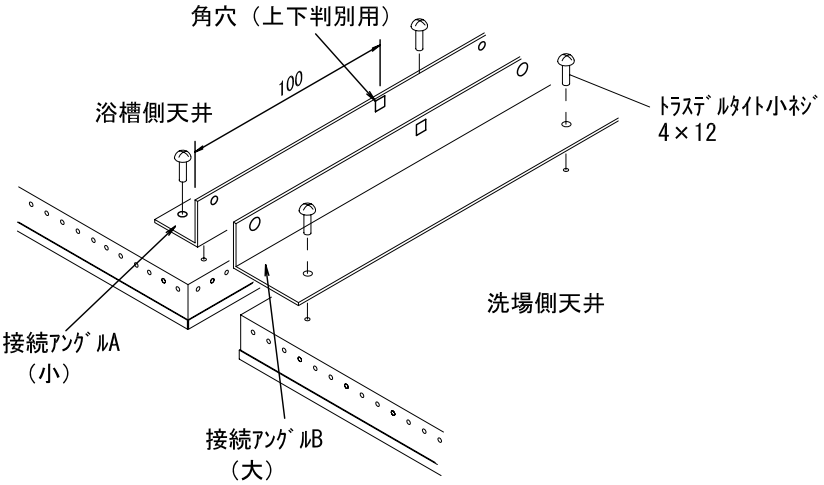
(6)「全高＋梁欠きカット」の設置について（応用編）

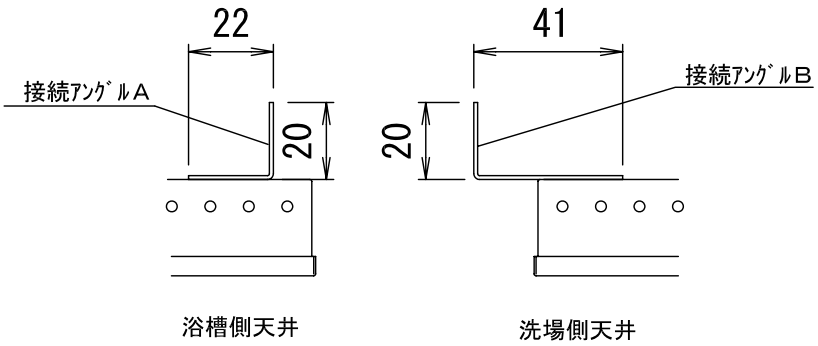
全高カット及び梁欠きカットの両方が必要な場合には、ＵＺＡハリカキセットの手配が必要となる。
設置手順は、「全高カット」を行った後、「梁欠きカット」を行う。
※詳しくは、それぞれの設置説明書を参照のこと。

6. 天井・ドア・窓の組付手順

(1)天井接続アングルの取付

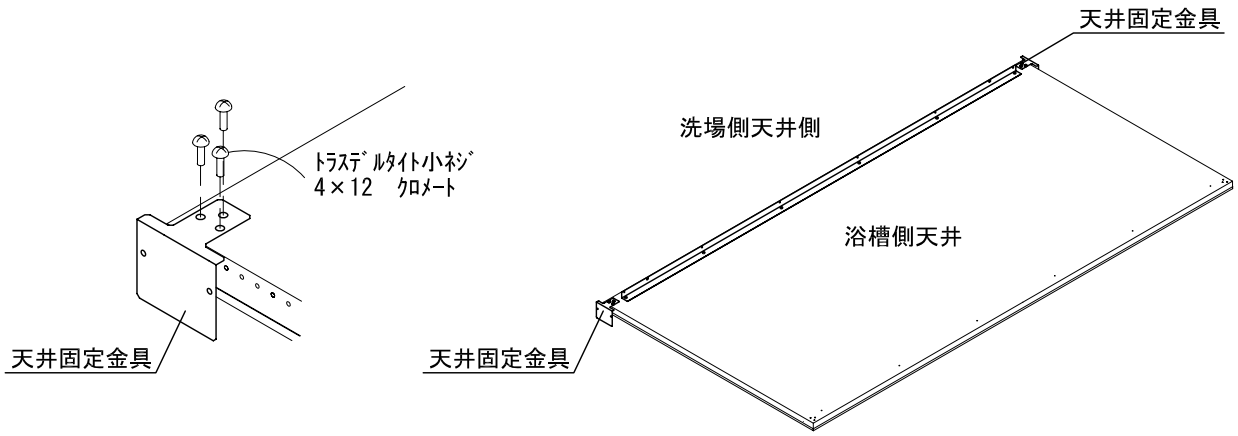
・天井接続アングルを、天井裏面の長辺側の穴に対して、下図のように取付ける。
・天井接続アングルには上下の判別用の角穴が端から100mmの箇所にあいているので、
角穴があいている方を、下図のように向かいあうように取り付ける。





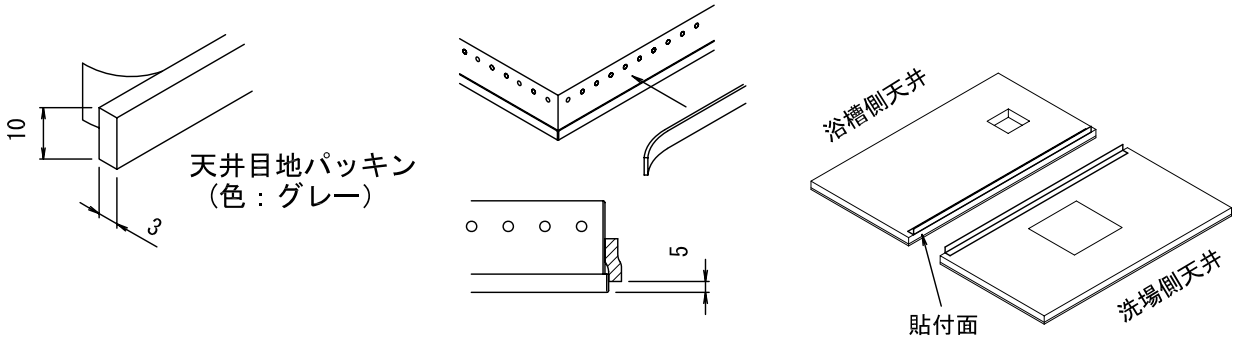
(2)天井固定金具の取付

・浴槽側天井の天井裏面の穴に対して、天井固定金具を取り付ける。



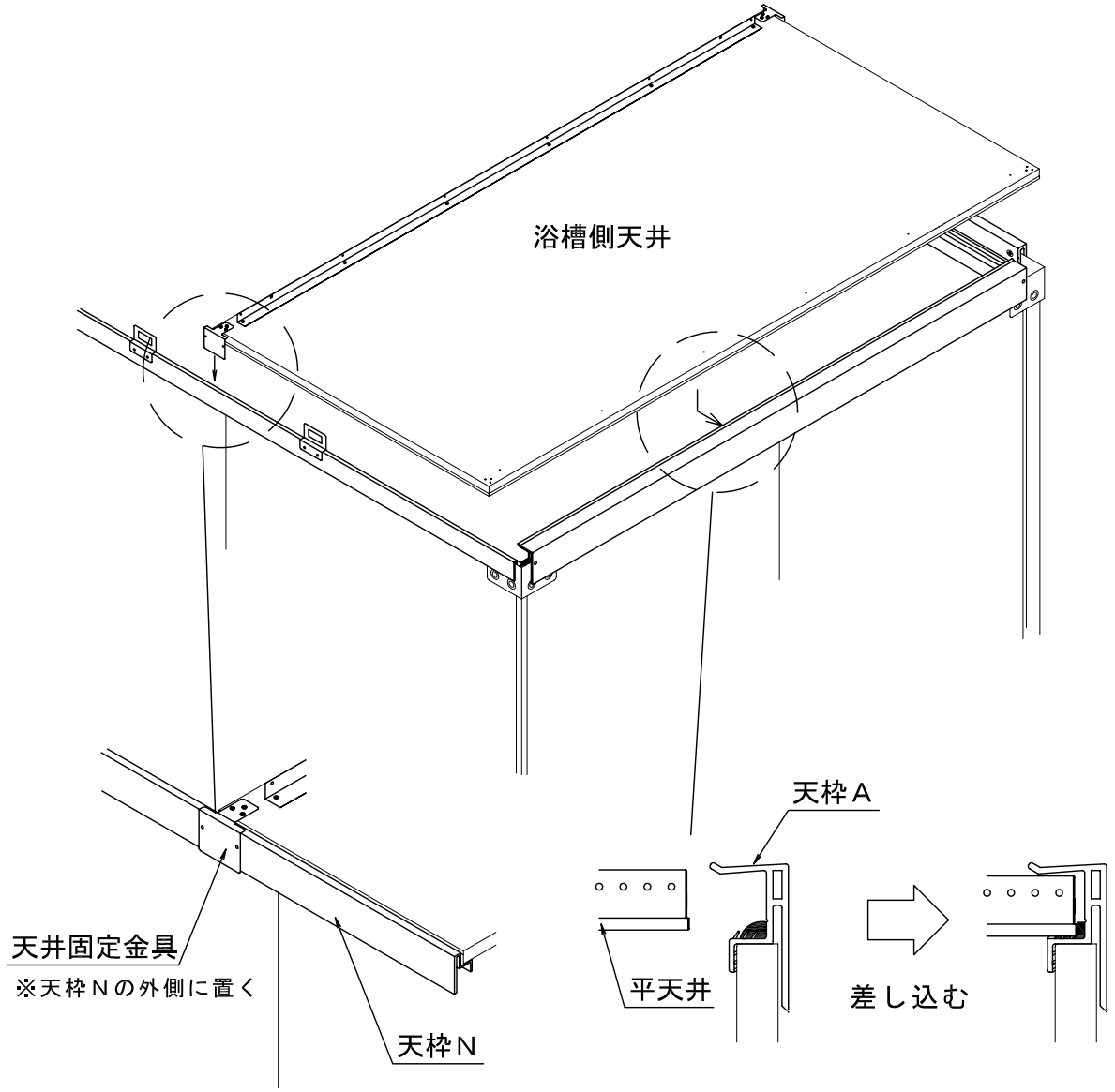
(3)天井目地パッキンの貼付

・下図の要領で、天井パネル側面に「天井目地パッキン」を貼り付ける。

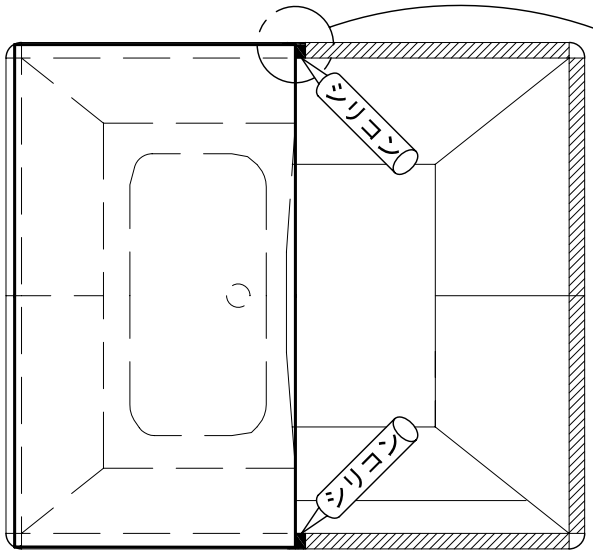


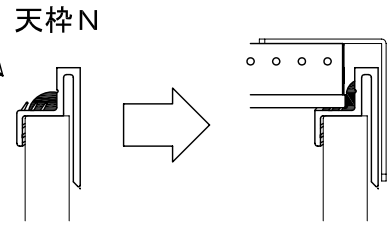
(4)天井の組付

①下図の要領で、浴槽側天井側面部を天枠Ｎ上部にのせ、天枠Ａに差し込む。



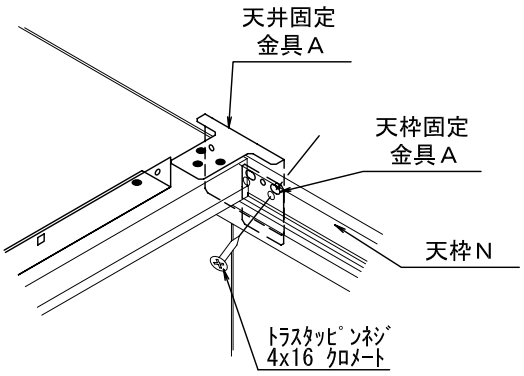
②浴槽側天井を設置した段階で、浴槽側天井の端にシリコンを塗布する。





※一番手前のヒレより
も奥側に塗布すること

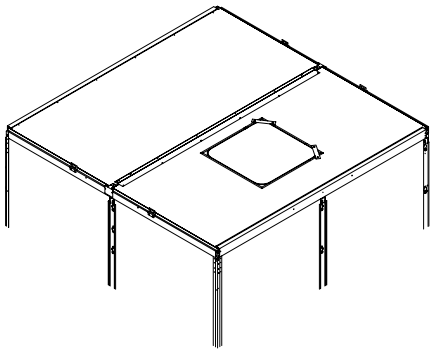
③天枠の穴から天枠固定金具を通し
天井固定金具を固定する。



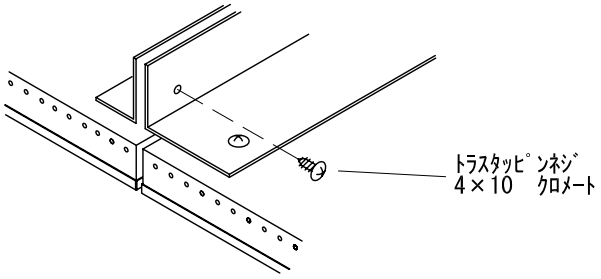
天井固定金具Aのネジ固定は締めすぎないこと。

ネジを締めすぎると、天枠が破損する恐れがある。

④洗場側天井を浴槽側天井と同じ手順で設置する。
※洗場側天井の場合、天井固定金具の取付は不要。

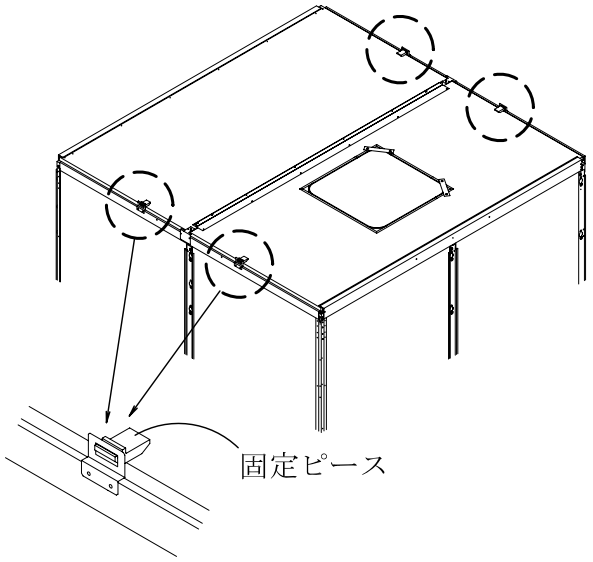


⑤接続アングル同士をタッピングネジで接続する。

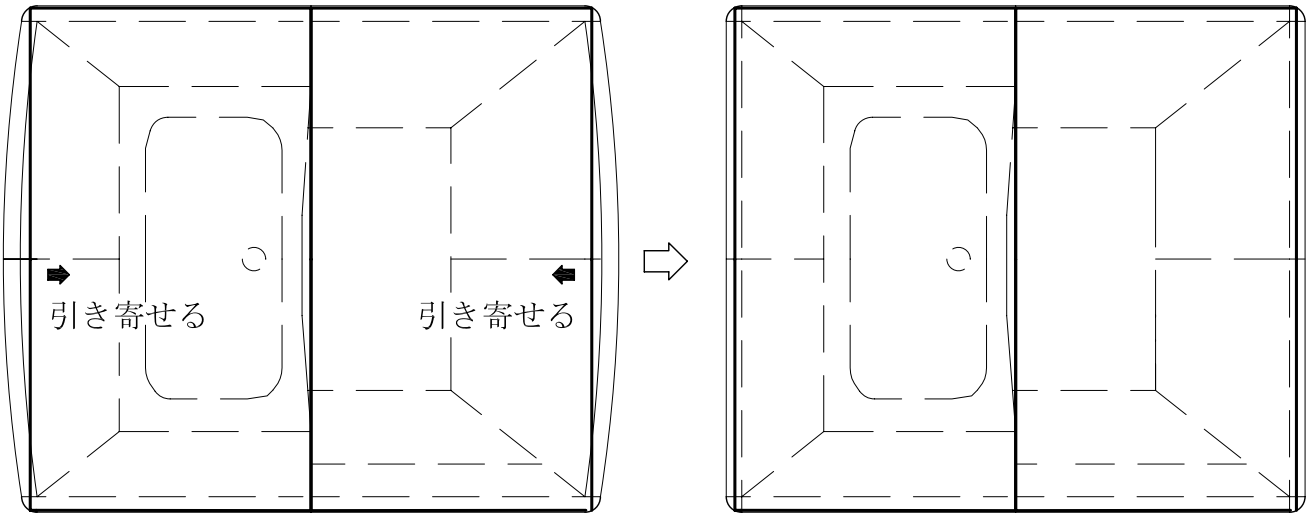


接続後、天井の目地が浴室内から見て
巾がほぼないことを確認すること。
ネジを締め付けた状態でも、目地巾が
広い(1mmより大きい)場合は、目地部
にシリコンを塗布すること。

⑥点検口から、天井固定板の開口部に固定ピースを差し込む。



⑦天井設置後、天枠Ａに差し込まれているパネルを吸盤で引張り壁パネル面のふくらみを矯正する。



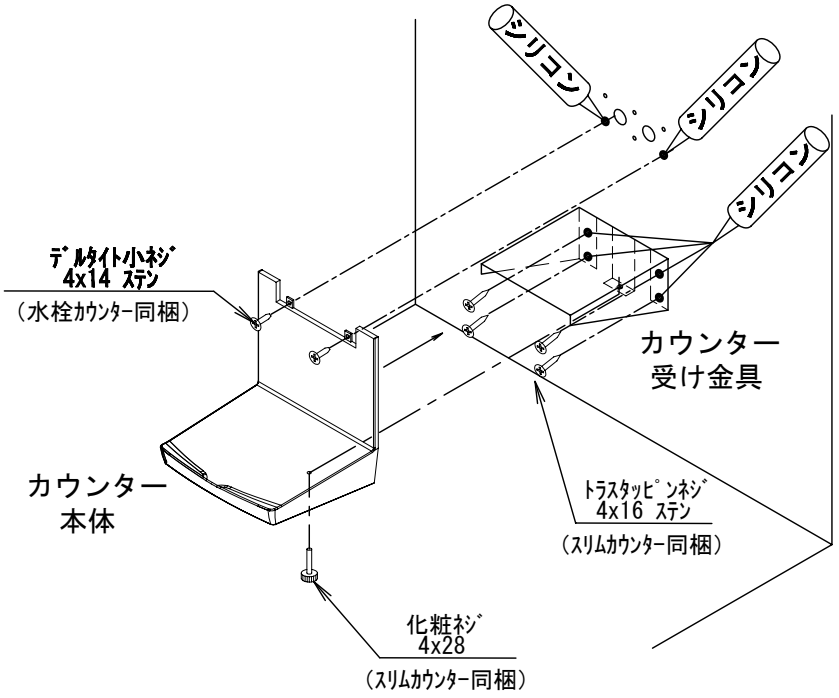
(5)窓の取付

・窓に同梱の取付説明書を参照のこと。

7. スリムカウンターの取付

スリムカウンター

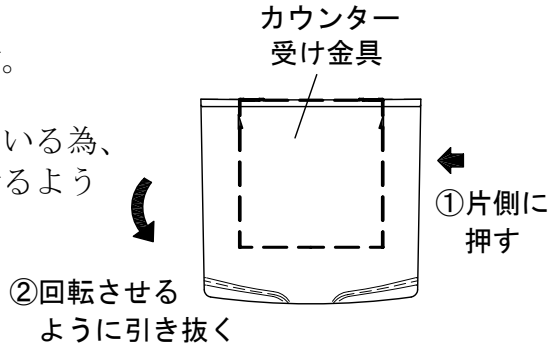
・壁パネルにカウンター受け金具を取付ける。
・カウンター本体をカウンター受け金具を前面から差し込む。
・カウンター本体上部（2箇所）とカウンター本体下部（1箇所）を指定の
ネジで固定する。



	ネジ取付穴にはシリコンを塗布すること。 特に、カウンター受け金具の取付穴は、金具からはみ出る くらいたっぷり塗布すること。

【備考:カウンター本体の取り外し方(スリム・ワイド共通)】

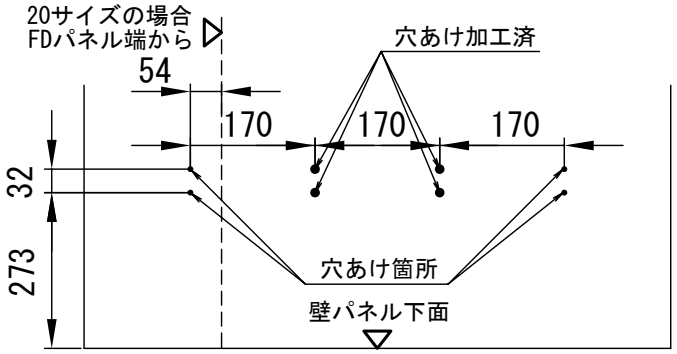
・カウンター本体に固定されているネジを取り外す。
・カウンター本体を引き抜く。
（カウンター本体と受け金具は、凸部で勘合されている為、
右図のように片側ずつ押しあてながら、回転させるよう
に引き抜くと取り外しが行いやすい。）



ワイドカウンター

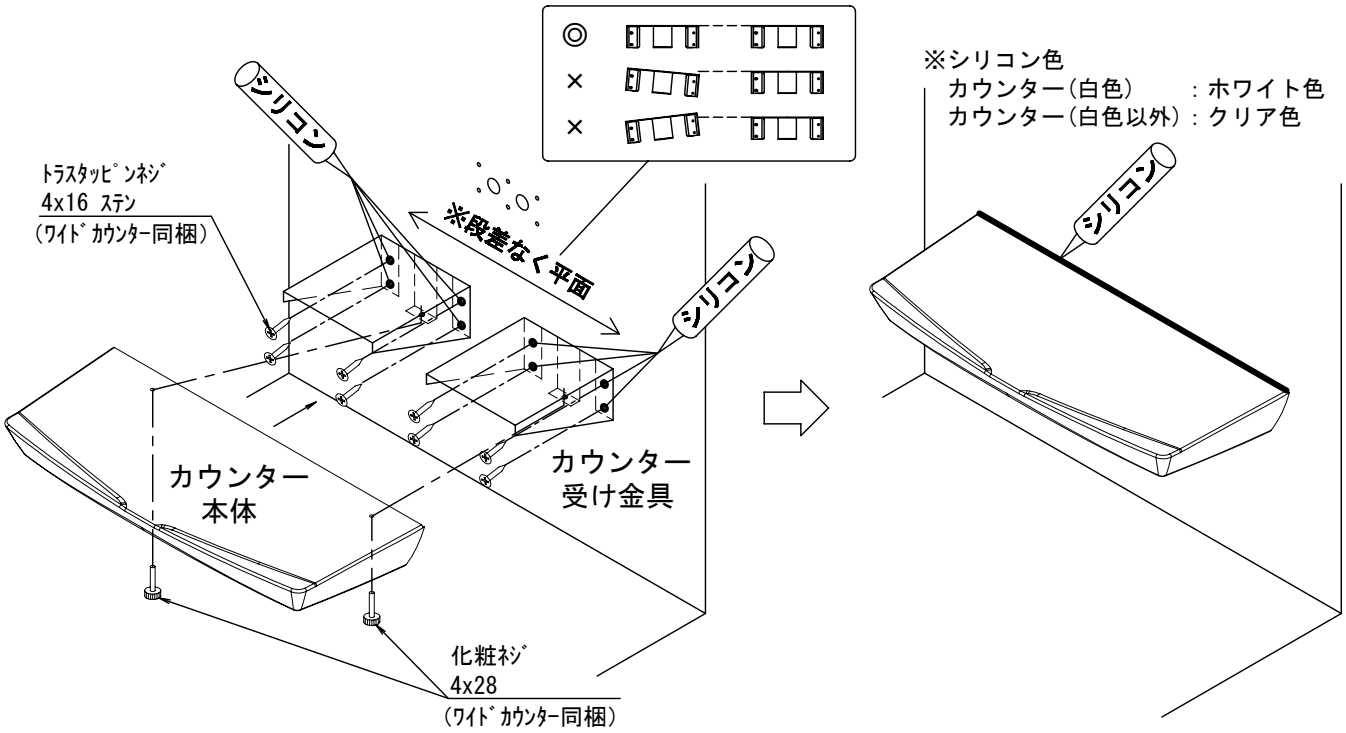
(1)カウンター取付前の準備

・カウンター同梱のケガキプレートを使用し、壁パネルに穴(φ3.5:4箇所)
をあける。



(2) カウンターの取付

・壁パネルにカウンター受け金具(2個)を取付ける。
※2個のカウンター受け金具は、段差なく平面になるように取付けること。
・カウンター本体をカウンター受け金具に対し前面から差し込む。
・カウンター本体下部（2箇所）を指定のネジで固定する。
・カウンター上面奥側（図中太線部）にシリコンを塗布する。

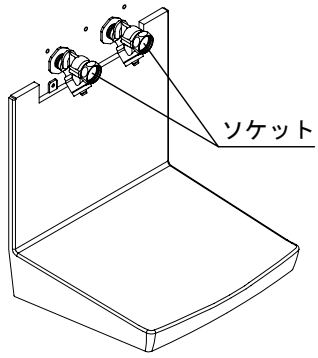


	ネジ取付穴にはシリコンを塗布すること。 特に、カウンター受け金具の取付穴は、金具からはみ出る くらいたっぷり塗布すること。

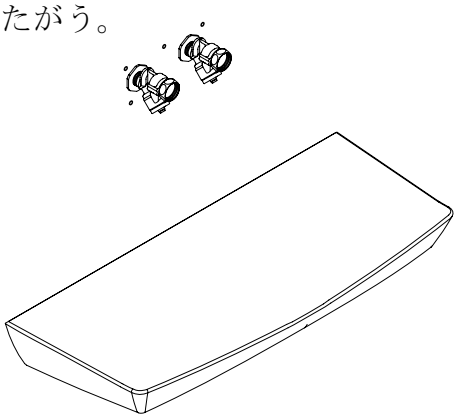
8. 水栓の取付

(1) 水栓カウンター取付前の準備

・取付ソケットのネジ部にシールテープを巻き、
水栓に同梱の設置説明書にしたがって水栓を取り付ける。
・シールテープの巻き方については下記手順にしたがう。



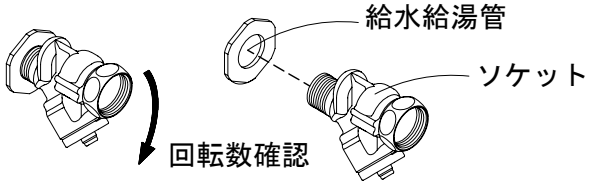
スリムカウンター仕様の場合



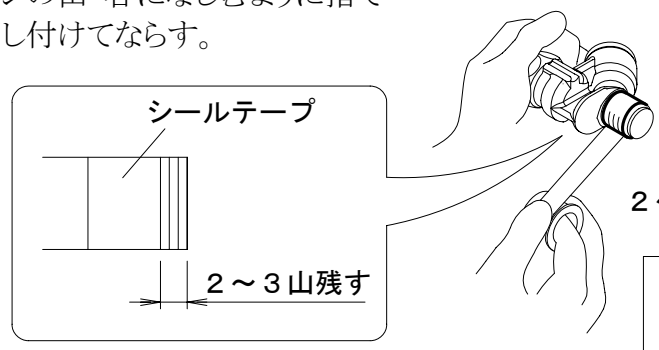
ワイドカウンター仕様の場合

シールテープの巻き方　　巻き方が不十分ですと漏水の原因となります。

①ソケットを給水給湯管に接続し、何回転で止まるか回転数を確認する。



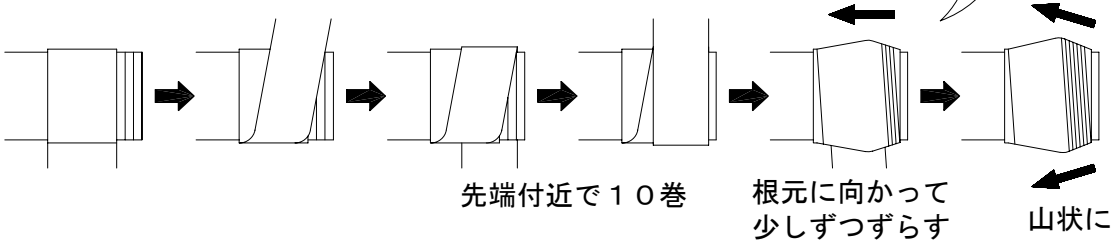
②ソケットのネジ部を2～3山残した位置から
矢印の方向にシールテープを巻き始め、
2～3巻 きつく巻きつけた後、シールテープが
ネジの山・谷になじむように指で
押し付けてならす。



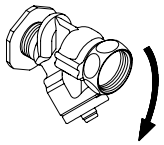
巻く向きに注意してください。
逆に巻くと、シールテープが
ゆるみ、漏水の原因となります。

③ネジ部の先端付近で10巻程度 巻きつけた後、
根元に向かって少しずつ位置をずらし、
シールテープが山状になるように巻きつける。
なお、シールテープはたびたび指で押し付け、
ネジの山・谷になじませながら巻く。

山状になるようになじませることで、
ねじ込みの際にシールテープがほどけ
にくくなり、ネジの奥までシールする
ことができます。



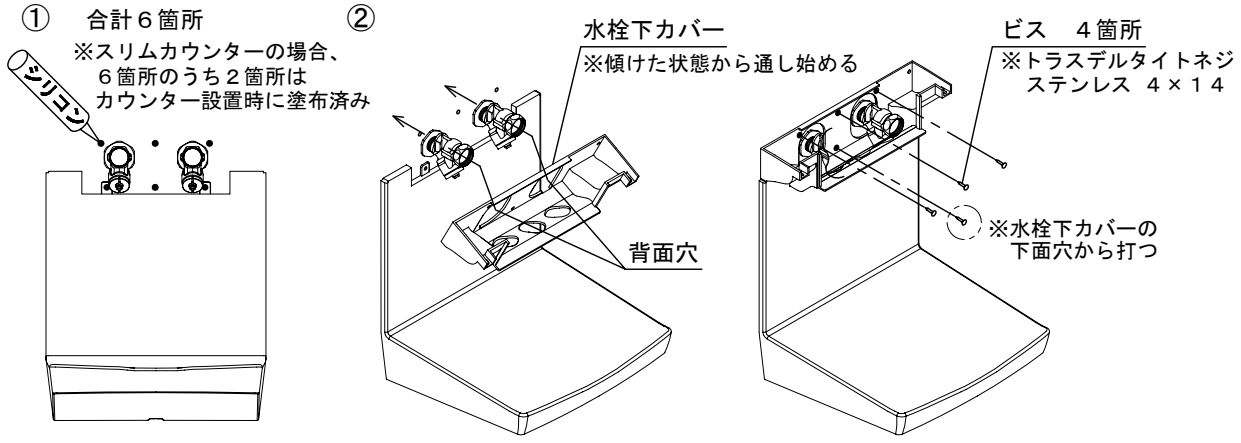
④ソケットを給水給湯管に接続してください。
まず①で確認した回転数より1回転少ない位置まで回した後、ソケットの角度を調整する。



**１度 締め込んだソケットを
ゆるめないでください。
テープが切れて水漏れの原因になります。**

(2) 水栓下カバーの取付

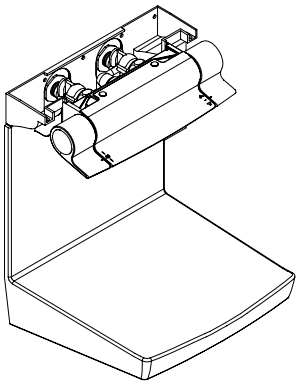
①壁パネルにあいている穴にシリコンを塗布する。
②水栓下カバーの背面穴をソケットに通し、壁パネルにビスで固定する。



※図はスリムカウンター仕様の場合を示す。

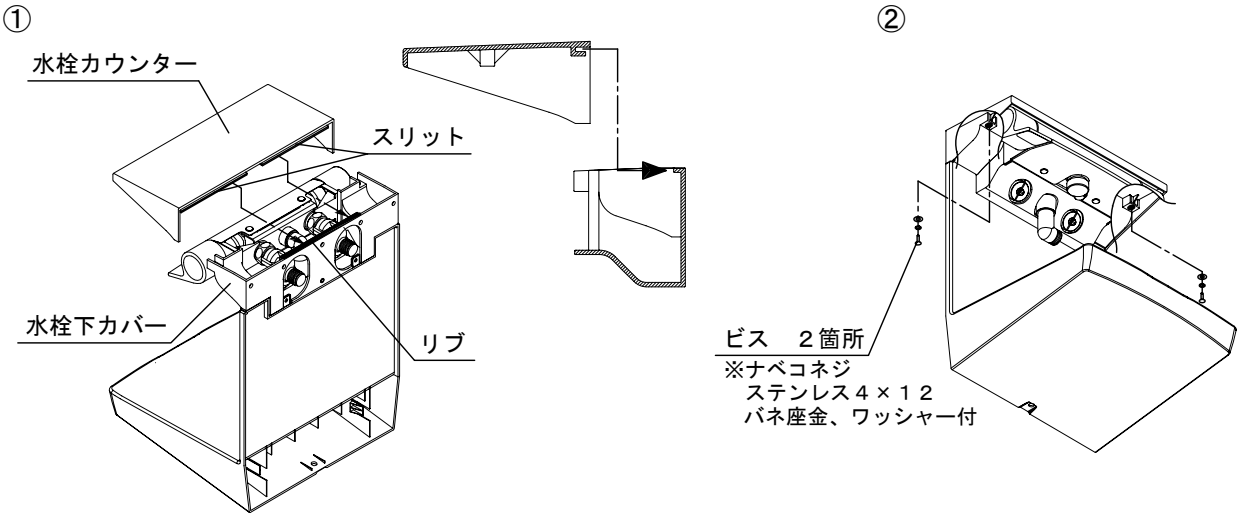
(3) 水栓の取付

・水栓の設置説明書にもとづいて水栓を設置する。



9. 水栓カウンター取付

①水栓カウンターのスリット部が水栓下カバーのリブに入り込むように挿入する。
②水栓カウンターと水栓下カバーをビスで固定する。

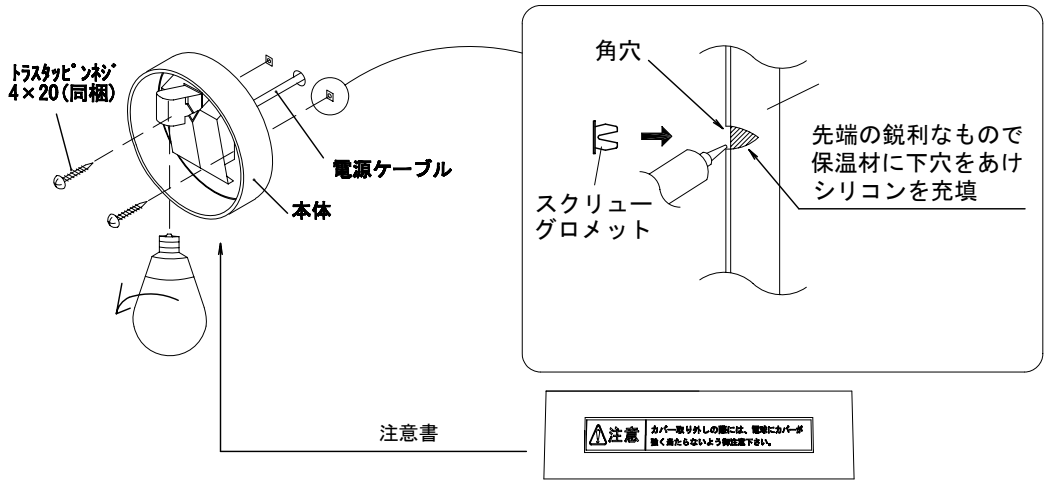


10.周辺部材の取付

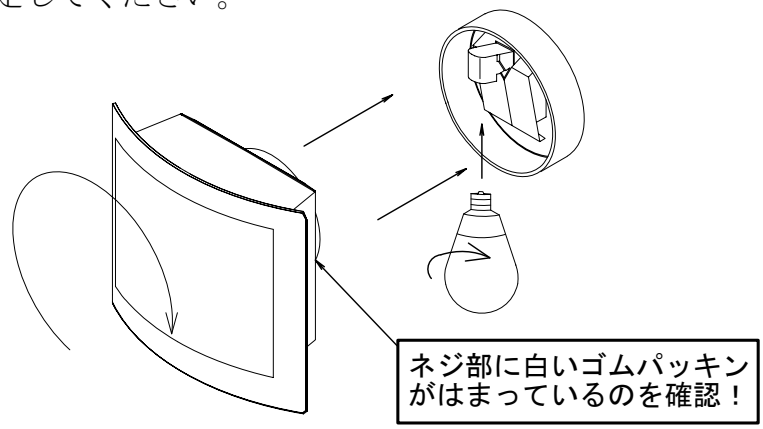
(1). 照明(電球、グローブ)の取付

① 照明を箱から取り出し、本体からグローブと電球を取り外してください。
又、電源ケーブルに貼り付けてあるネジを取り外しておいてください。

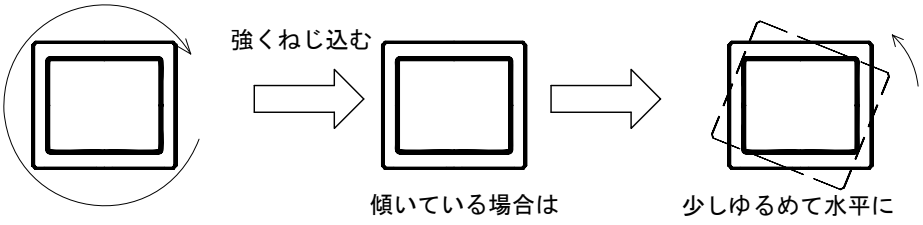
② 電源ケーブルを壁パネルの穴に通し、「上」矢印が上に向く様にして、
本体を付属のネジで固定してください。
固定の際、あらかじめ下図の要領で角穴にスクリューグロメットを取付けてください。



③ グローブのネジ部にゴムパッキンが有るのを確認した上で、電球・グローブを
ネジ込み固定してください。



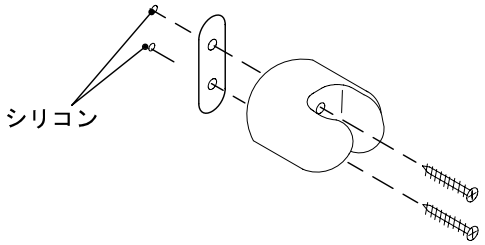
④ グローブは、それ以上回らなくなるまで、強くネジ込んでください。
この時、グローブが傾いている場合は、少し戻して水平になるようにしてください。



本図はスタイリッシュ照明の取付方法を示しますが、
その他の照明の場合も同様の作業となります。

(2). シャワーフックの取付

・シャワーフック本体にパッキンを貼付け、付属のビスにて取付けてください。

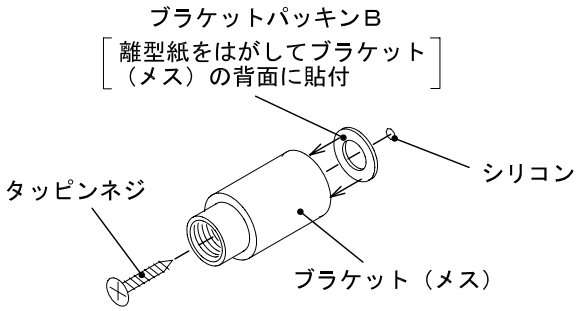


(3). 換気扇の取付

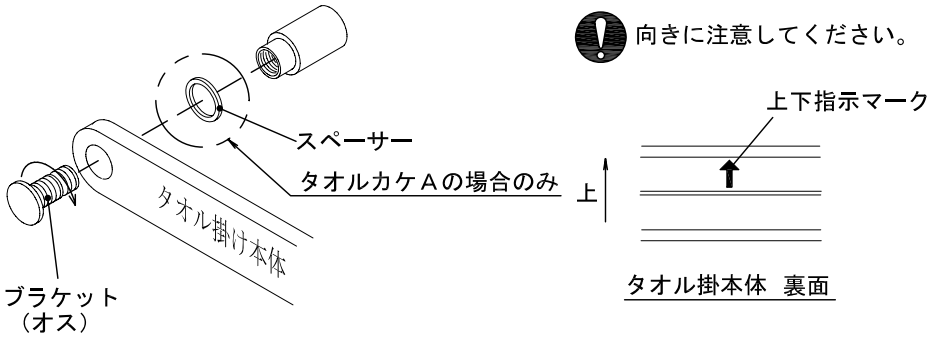
・換気扇に同梱の設置説明書を参照してください。

(4). タオル掛けの取付

① ブラケット(メス)の背面にブラケットパッキンBを貼付け、付属のタッピンネジで
ブラケットを取付けてください。



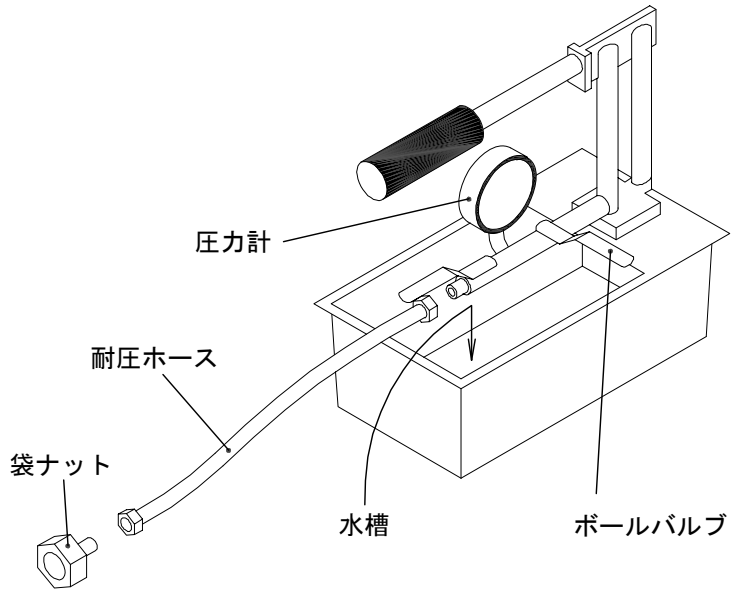
② タオル掛け本体をブラケット(オス)で固定してください。



11.給水給湯管の漏水検査

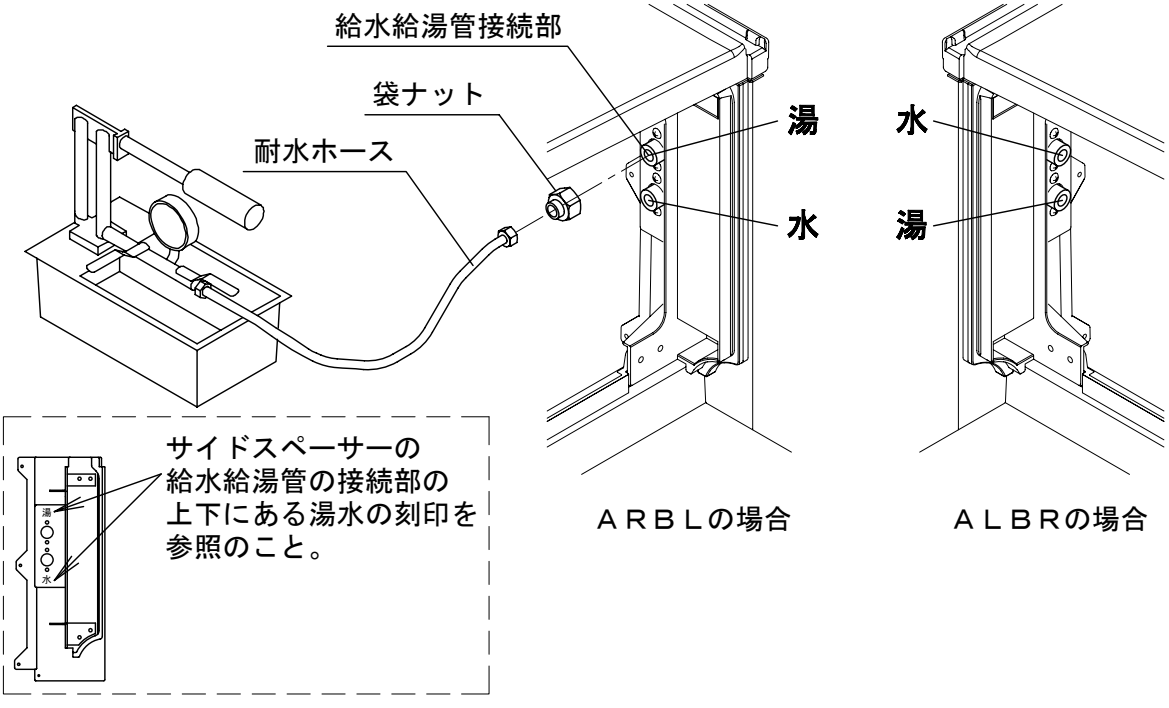
・給水給湯管の一次管との接続部にテストポンプつないで漏水検査を行ってください。

必要部材一覧

水圧テストポンプ （手配につきましては最寄りの事業所へお問い合わせください。）	水圧検査済証 （事業所にて手配）
	〈例〉 水圧試験済証 タカラスタンダード㈱ 年　月　日 工事店名

[漏水検査手順]

(1) SB給水給湯管の一次管接続部に、袋ナットを取付け、耐圧ホースを接続する。
(2) SB水栓のハンドルを『止める』にする。
(3) テストポンプの水槽に水を入れ、ボールバルブを開き加圧する。
(4) テストポンプの圧力計が『1.75MPa』まで上昇したら、ボールバルブを閉じる。
(5) 『２分間』そのまま放置し、圧力降下がなければ正常と判断する。
(6) 同様の手順で、もう一方のSB給水給湯管を検査する。
(7) 圧力降下が発生した場合、接続部のいずれかに漏れがあるため、修理し再度検査を行う。
(8) 最後に、検査が合格であれば、接続部のナットとネジ部にまたがるように『水圧検査証』を貼り付ける。



12. 最終シリコン仕上げ

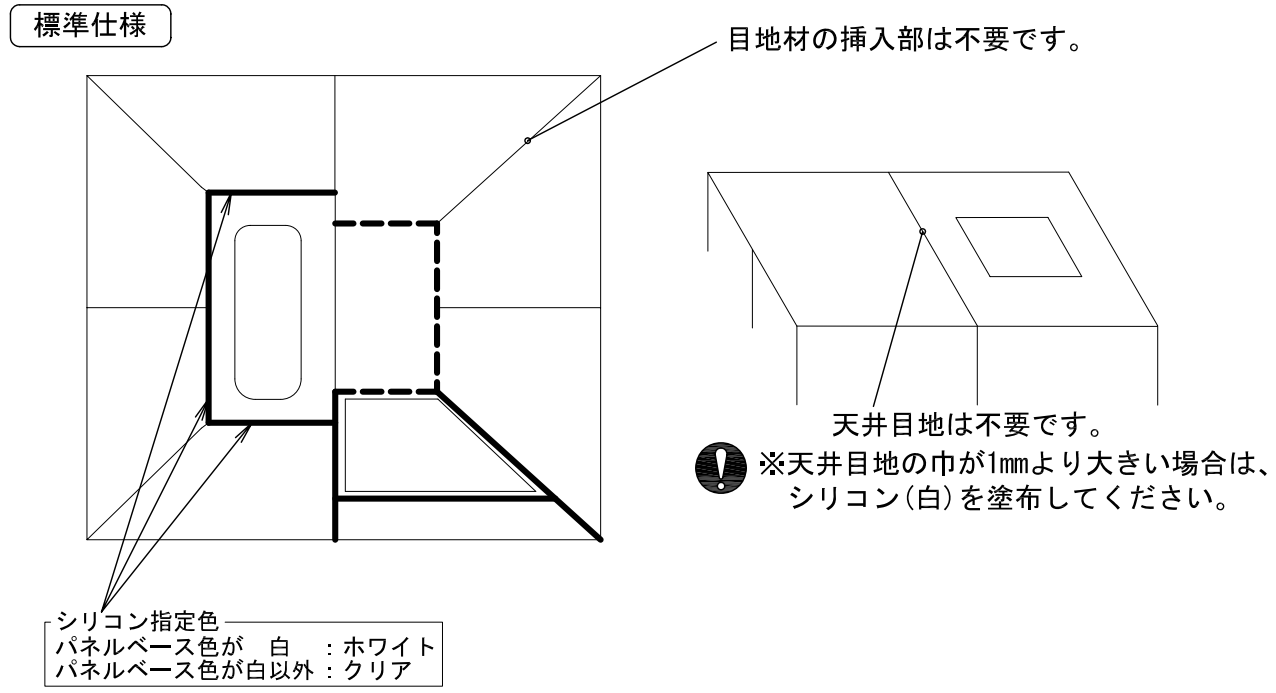
線種とシリコン色

——— : 白
— — — : クリア

・室内を清掃し、ホコリ等を取り除いてください。
・目地から1～2㎜はなれた部分にマスキングテープを貼付けてください。
・下図に示す太線部にシリコンを塗布してください。
・最後にマスキングテープをはがしてください。

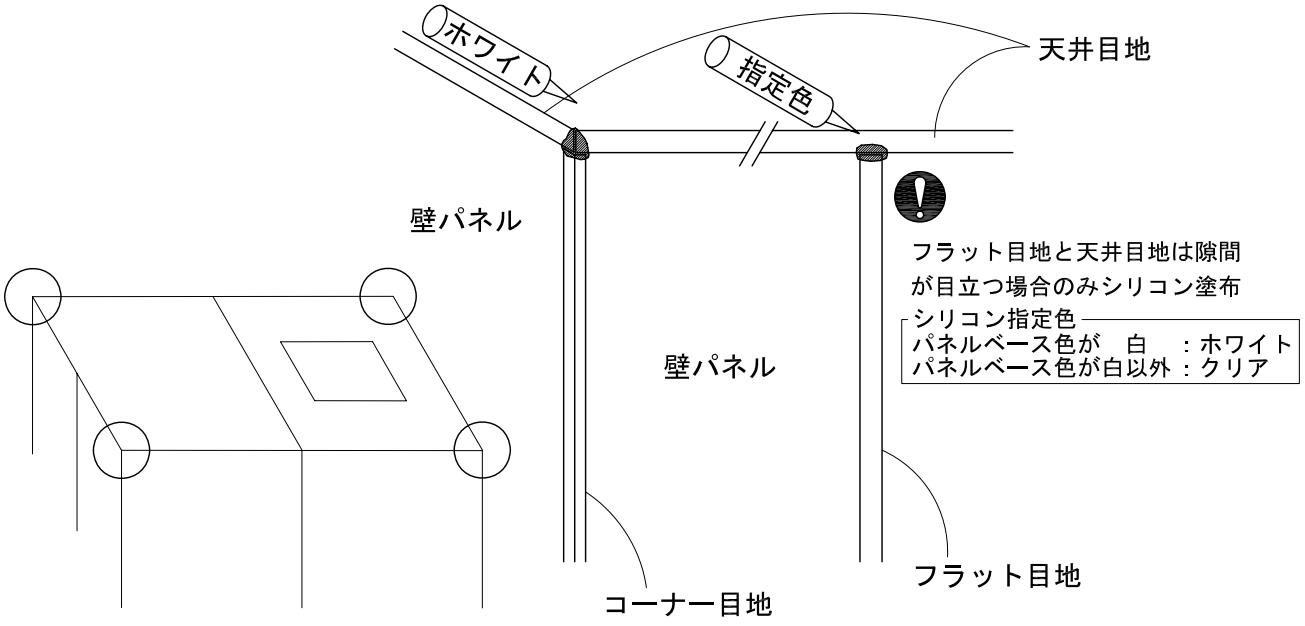
全体図

標準仕様

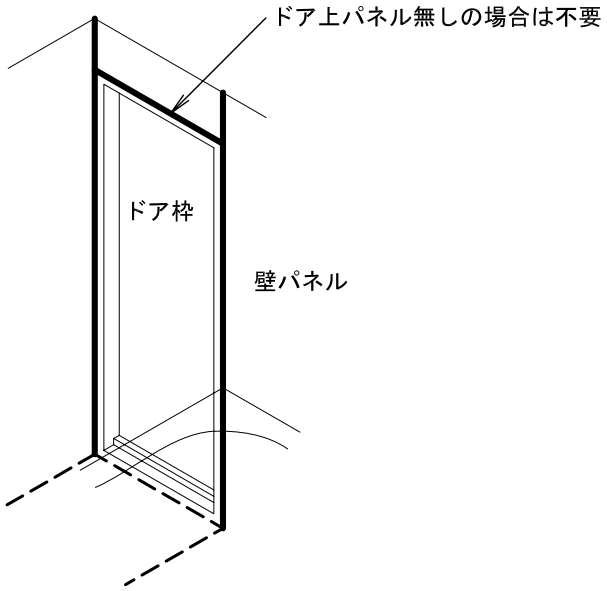


天井

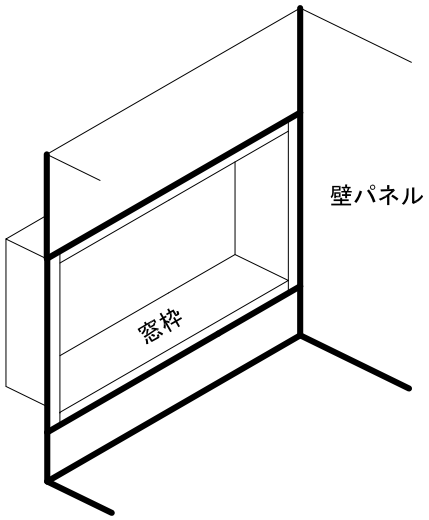
・コーナー４箇所の目地の隙間にシリコンを塗布してください。



ドア周り

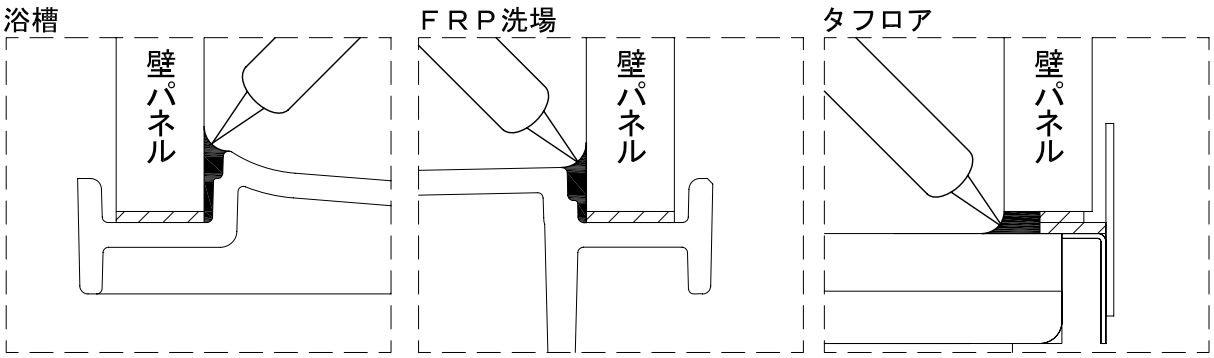


窓周り

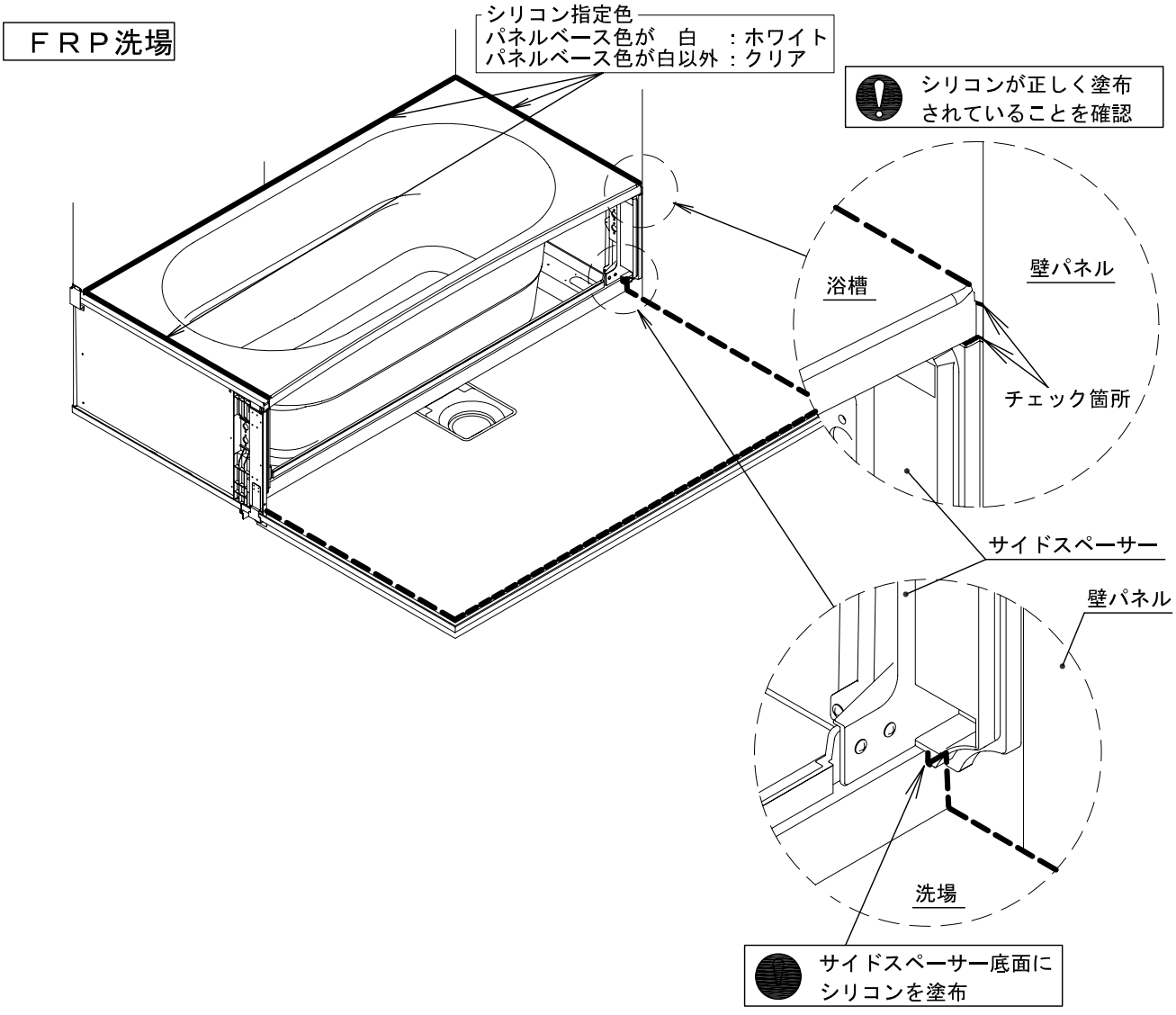


下台

壁パネル下部 ※奥までしっかり充てんする。



ＦＲＰ洗場



13.浴槽エプロンの取付

(1)部材の取付

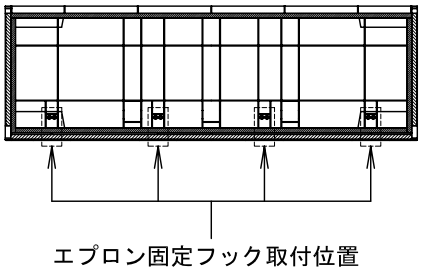
エプロン固定フックを取り付ける。

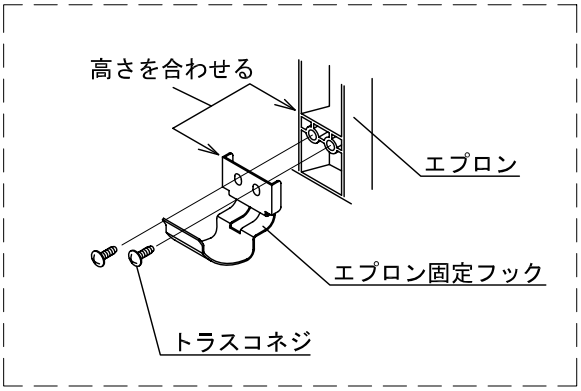
※使用する部材

エプロン固定フック
4個（浴槽エプロン同梱）

トラスコネジ4×14SUS
8本（浴槽エプロン同梱）

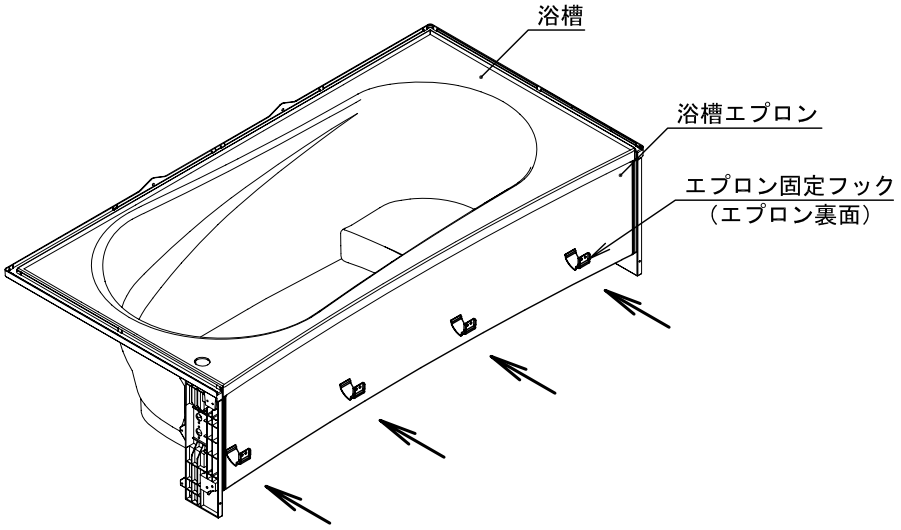
浴槽エプロン裏面

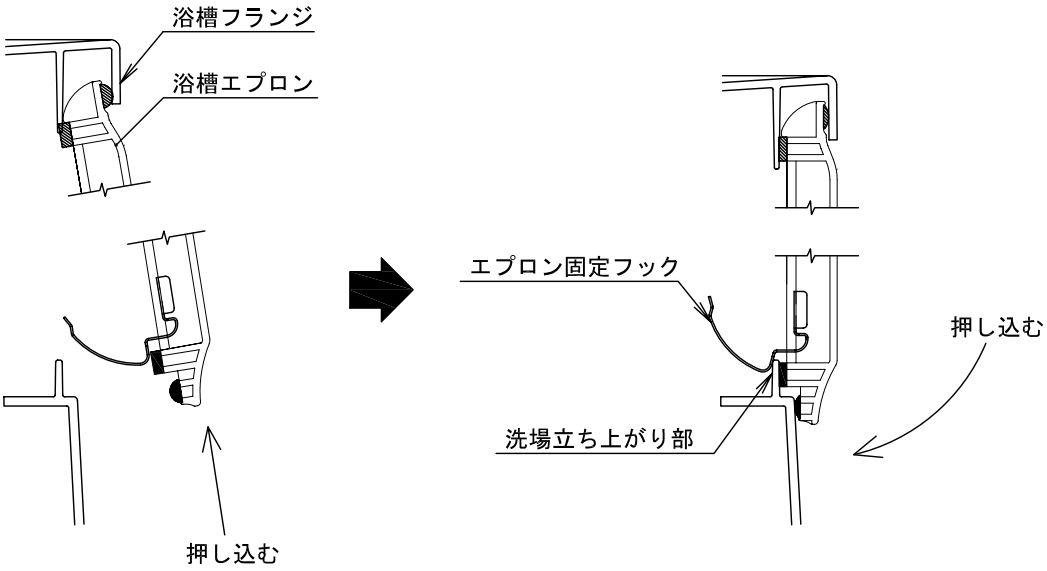




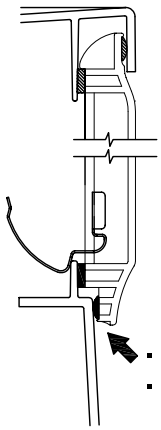
(2)浴槽エプロンの取付

浴槽エプロン上部を浴槽フランジ裏にしっかりと差込みつつ、
エプロン固定フックを洗場（樹脂桟）立ち上がり部に引掛ける。
※エプロン固定フックを引掛ける際は、各フックの箇所を強めに押し込む。
※浴槽エプロンの両サイドの隙間が均一になるようにする。





［浴槽エプロンの取付確認］



・手前に引いて、簡単に外れないか
・洗場と浴槽エプロンの間に大きな隙間がないか

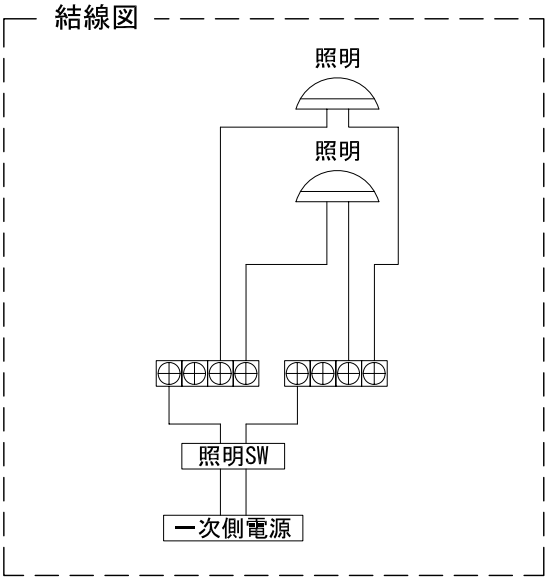
14 .配線の固定　及び　結線

※電気設備に関する技術基準及び内線規定に基づき、指定工事業者による施工が必要です。

・照明器具及び換気扇のリード線を下図のようにコネクターで結線する。

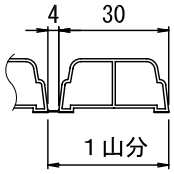
・配線は、天井点検口の上を通らないように、天井に固定する。

結線図



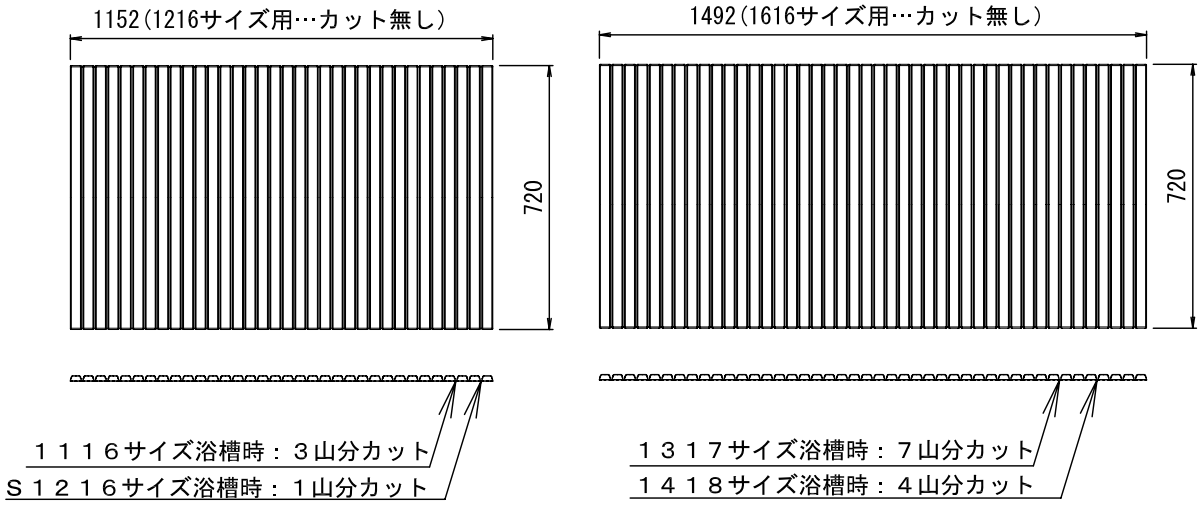
15. シャッター式フロフタのカット

１１１６・Ｓ１２１６・１２１６・１３１７・１４１８サイズ浴槽において、
シャッター式フロフタをカットする必要な場合があります。
下記を確認の上、浴槽サイズに合わせて不要山分をカットしてください。



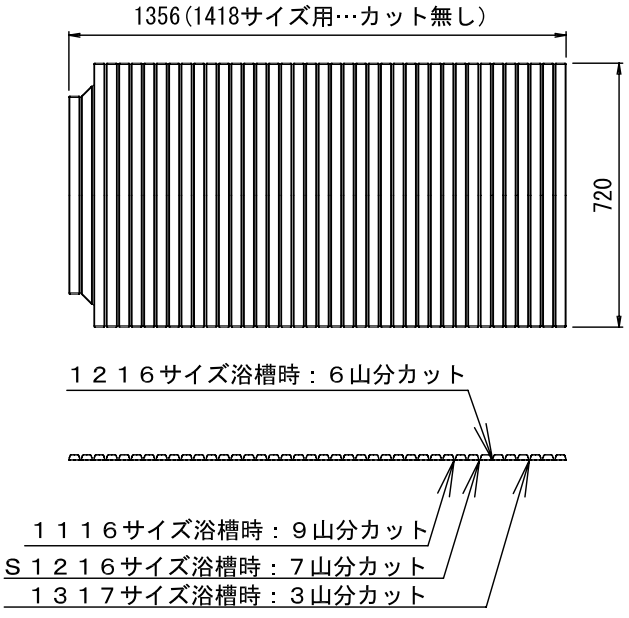
シングルレバー浴槽水栓無しの場合

1116・S1216サイズは1216サイズ用のフロフタをカット、
1317・1418サイズは1616サイズ用のフロフタをカット。



シングルレバー浴槽水栓有りの場合

1418サイズ用のフロフタをカット。



16. 設置完了

最後に、天井点検口フタ/洗場排水口フタをはめる。

設備業者が給水給湯を接続を行うために、下記のような注意書が浴槽エプロンに貼り付けてありますので、はがさないでください。

浴槽エプロンZA 取扱注意書

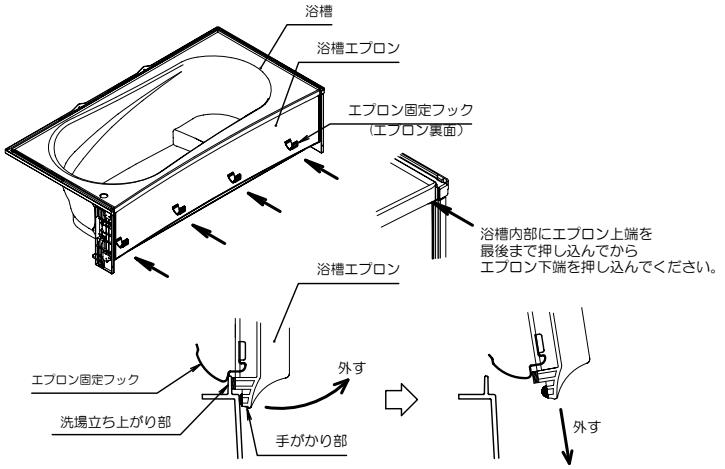
この注意書は、給水・給湯配管の接続が完了するまで外さないでください。

給水・給湯配管を接続される方へ

給水・給湯一次側配管とシステムバスに取り付けられている二次側配管を接続する際、
下記のように浴槽エプロンを外して、接続を行ってください。

［作業手順］

1. 浴槽エプロン底部の手がかり部に指をかけて、下部を手前に引っ張り、
   洗場立ち上がり部に引っ掛かっているエプロン固定フックを外す。
   ※エプロン固定フックは矢印の４ヶ所です。
   注）２箇所以上を同時に取り外すことは困難ですので、
   端部から手がかり部を両手で引っ張り、外してください。
2. 浴槽エプロンを下げ、浴槽フランジからささり込み部から外す。
3. 給水給湯管の繋ぎ込みを行う。
3. この注意書を剥がす。
4. 浴槽エプロン上部を浴槽フランジ裏にしっかりと差し込みつつ、１と逆の手順で
   エプロン固定フックを洗場立ち上がり部に引っ掛ける。
   ※エプロン固定フックを引っ掛ける際は、各フックの箇所を強めに押し込んでください。
   ※取り外したときよりも、弱い力で手前にひき、外れないことを４箇所すべてで
   確認してください。正しく引っ掛かっていない場合、水もれにつながりますので、
   確実に行ってください。



17. 内部清掃（仕上げ）

(1) 清　掃

① 汚れ、ゴミはスポンジ又は柔らかい布で空拭きか、中性洗剤でぬぐい取る。

② 鉄粉は錆の発生原因となるので、完全にぬぐい取る。

特に、トラップや排水管内に入った鉄粉は、掃除機で完全に取除く。

③ シリコン部はきれいに仕上げる。

④ 関連工事業者の出入りがあるので、養生シートは最後まではがさない。

(2)使 用 説 明

システムバス取扱説明書、照明器具説明書、水栓及び器具説明書は同梱の使用説明書袋に入れ、上部のシャワーフックに掛けておく。

(3)扉 の 施 錠

扉は施錠しておく。施錠方法はドアの設置説明書を参照する。

(4)養　生

① 段ボールをドアの外側と窓の外側にテープで貼り付けておく。

② システムバスは雨水などのかからないように養生シートを被せておく。

(5)残 材 の 処 理

(注)システムバスの梱包資材などは現場責任者の指示に従って、適切な処置をお願いします。

18. 検査・引渡し

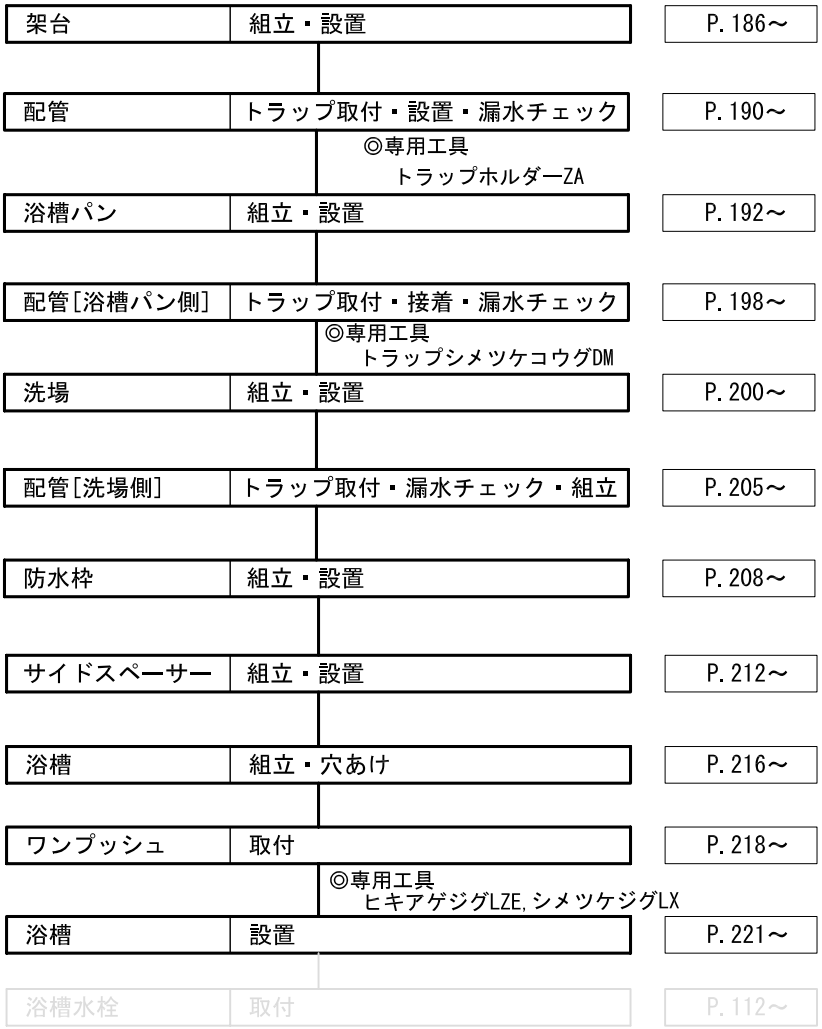
(1)別紙完成検査報告書の点検項目による据付時及び仕上後の自主検査をする。

(2)据付時及び仕上後の自主検査結果を現場責任者に提出し、引渡し時の点検チェックを受けてから引渡す。

(3)完成検査報告書は現場責任者の捺印をもらって提出する。

(注)なお、検査項目のチェックについては通水通電の時期がズレるので、現場責任者の方で実施していただくようお願いしてください。

作業：D　浴槽パン有り 下台組付け基本手順



＜設備側工事＞
＜架台の墨出し＞

作業：A

浴槽パン無し　　浴槽パン有り

＜下台組付け手順＞

作業：B（＋E）　　作業：D（＋E）

＜上台組付け手順＞

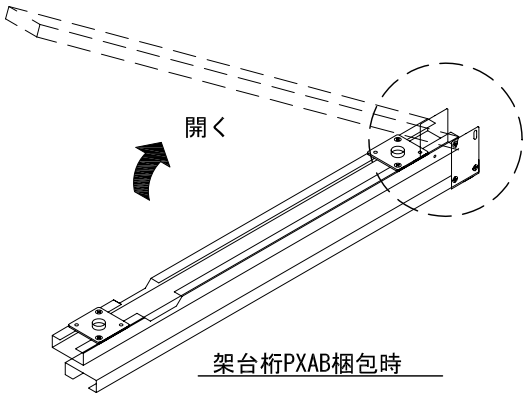
作業：C（＋F）

1. 架台の組立手順

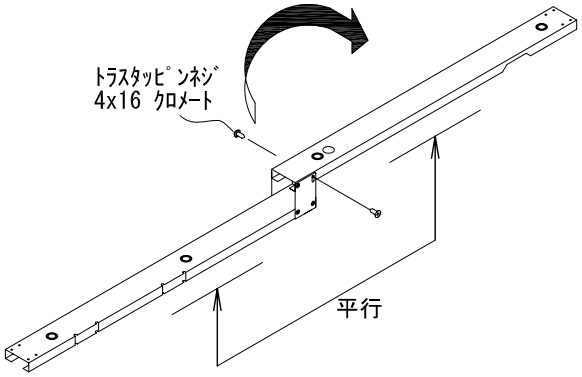
①架台桁PXAを開き、2本の架台桁が平行になる位置で、ネジ止めする。

◇使用ネジ

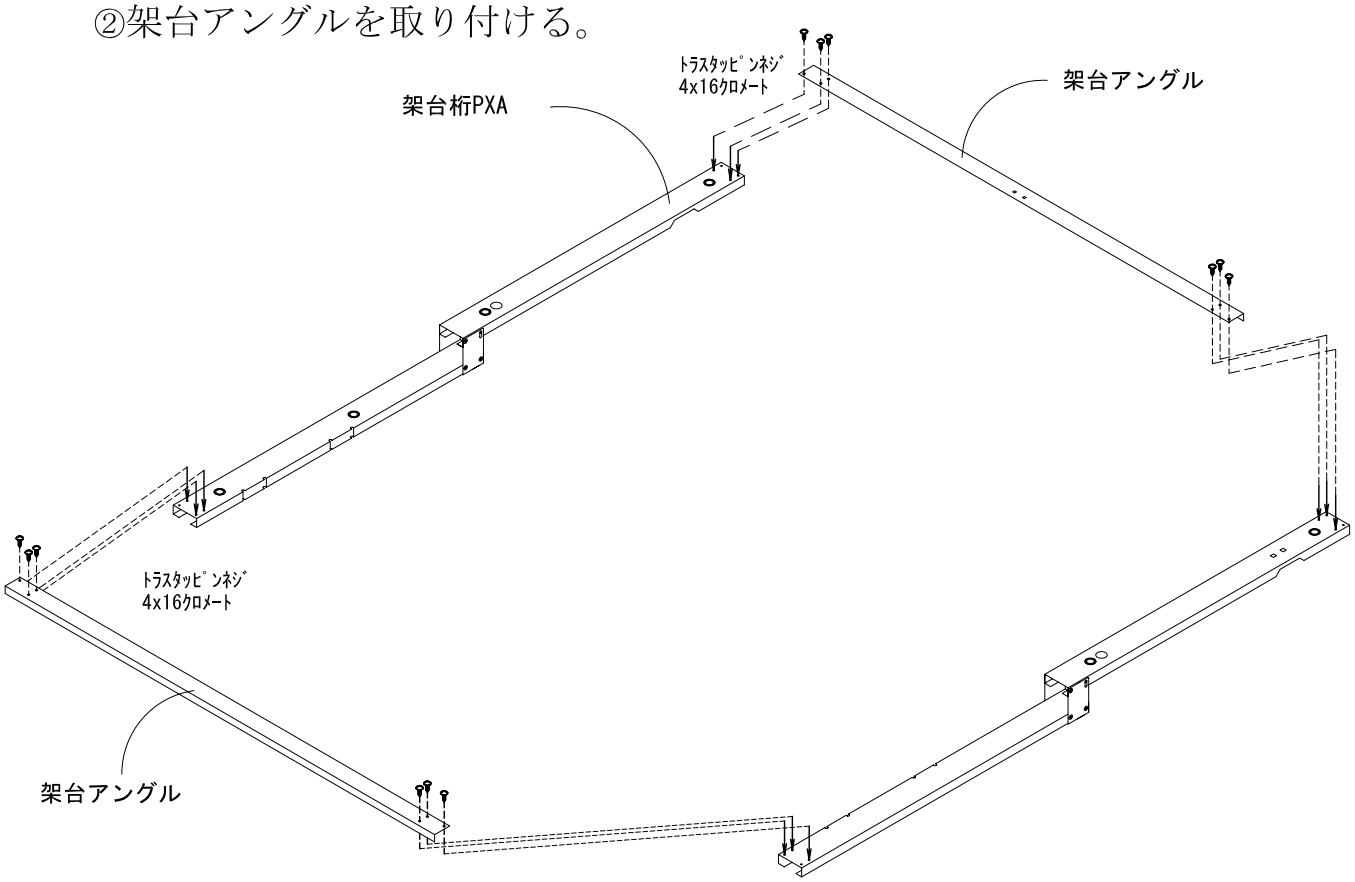
トラスタッピンネジM4x16クロメート 先端形状 ▶ 架台同梱	16本



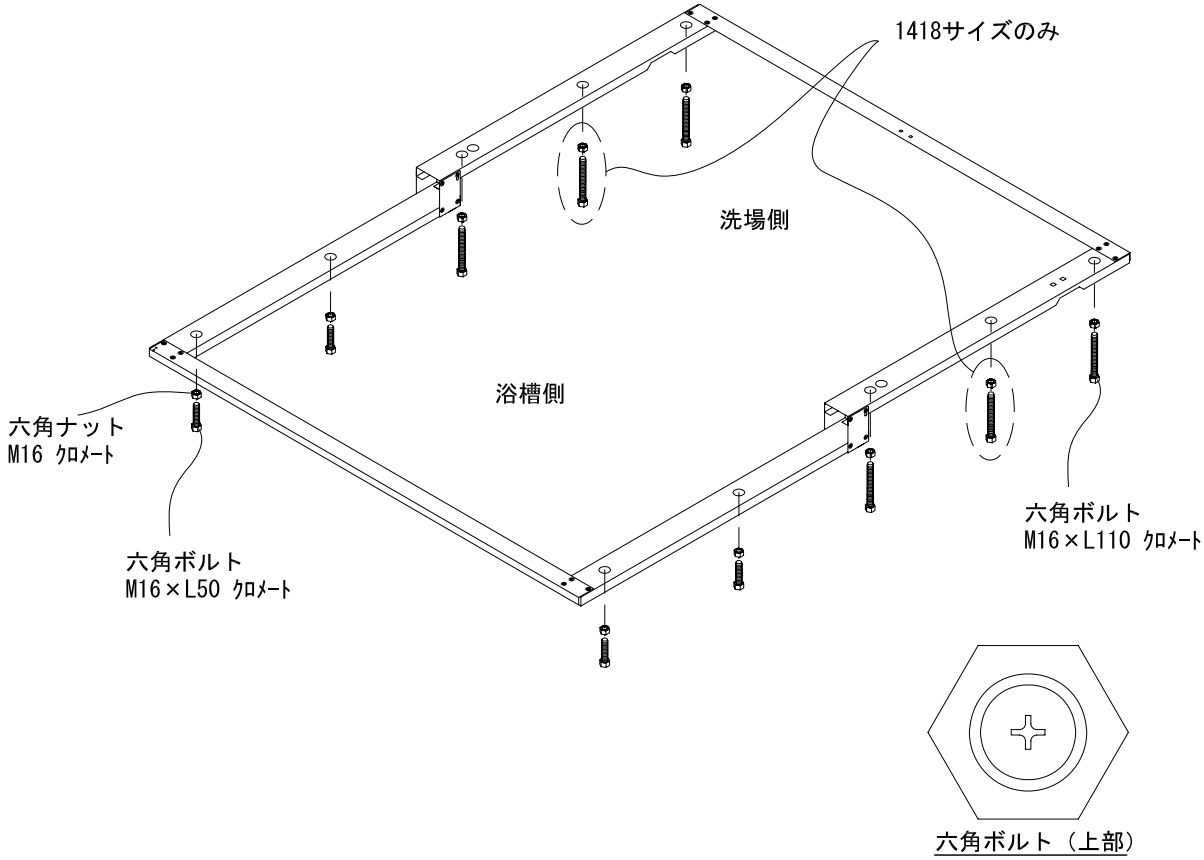
ネジ穴が長穴になっていますので架台桁が平行になるように調整してください。



②架台アングルを取り付ける。



③架台桁のバーリングタップピースに六角ナットを介して、
六角ボルトをねじ込む。洗場側には長い六角ボルトを、
浴槽側には短い六角ボルトを使用する。
※上方から高さを合わせる場合は、プラスドライバーが使用できます。



六角ボルト（上部）

2. 架台の設置手順

[ボルト架台の嵩上げ方法] ※フレーム架台の場合はP.96参照のこと

B寸法の不足分は、下記に従って嵩上げする。

・「架台受け金具」は商品センターに別途手配のこと。（レンガは現地手配）

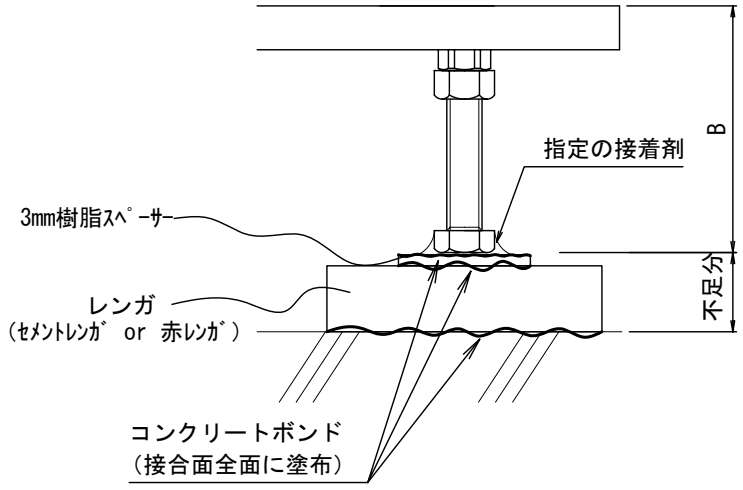
・10㎜樹脂ｽﾍﾟｰｻｰが不足した場合は、5㎜ｽﾍﾟｰｻｰを2枚重ねて使用する。

※ボルト脚と架台受け金具の接合面は指定の接着剤を使用しますが、架台受け金具・樹脂ｽﾍﾟｰｻｰ・レンガの接合面はコンクリートボンドにて接着固定してください。

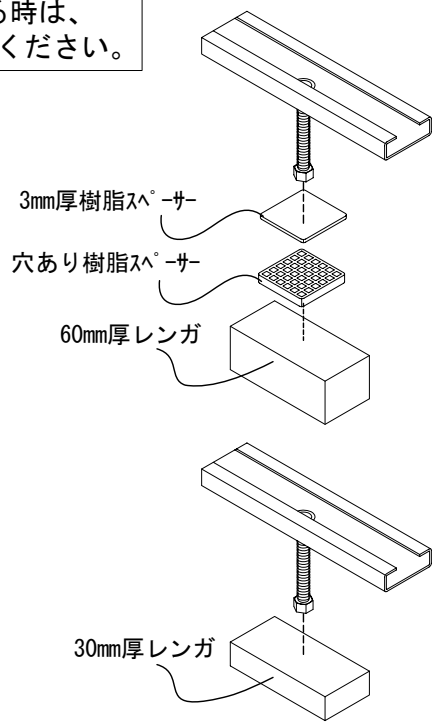
[コンクリートスラブ上に設置する場合]

架台とコンクリートスラブの間に樹脂スペーサーを用いる時は、
ボルト脚の直下は穴のない3㎜樹脂スペーサーを設置してください。

※穴あり樹脂スペーサーを用いると接着材が漏れてしまい、
ボルト脚が接着固定ができません。

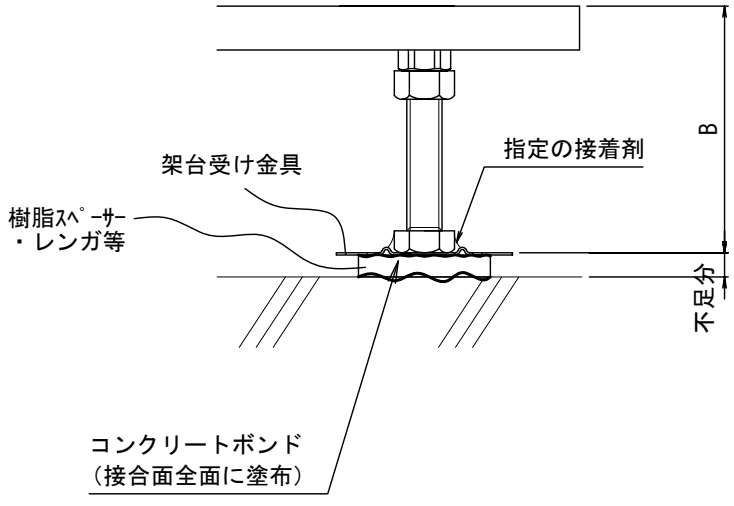


［設置例］

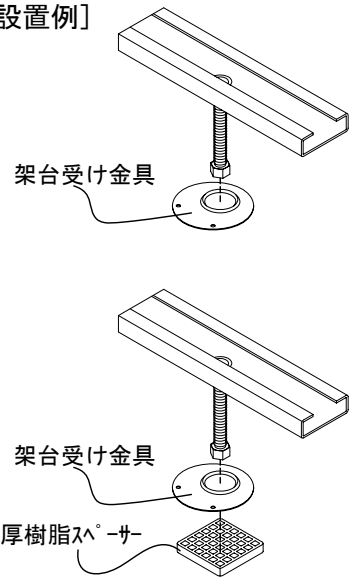


[コンパネ上に設置する場合]

必ず「架台受け金具」を使用してください。



［設置例］

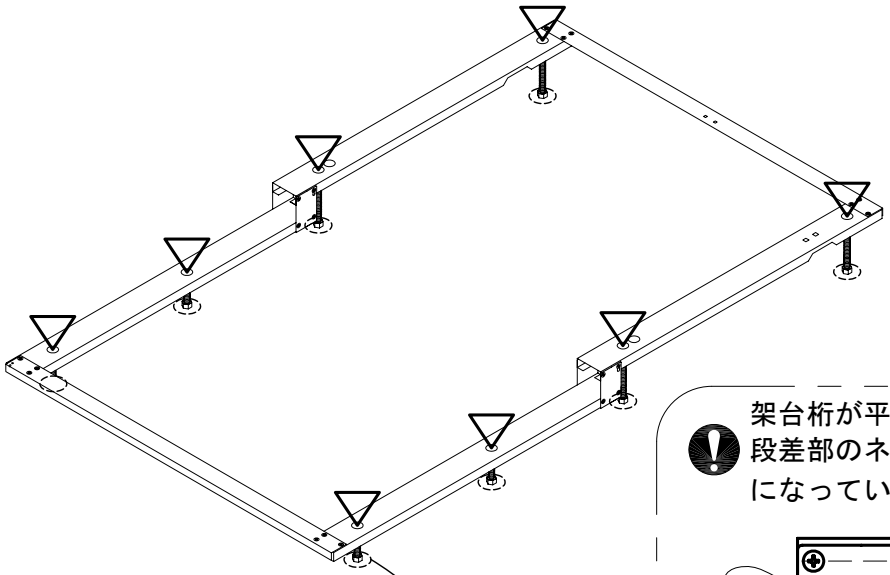


架台　[墨出し 組立 設置]

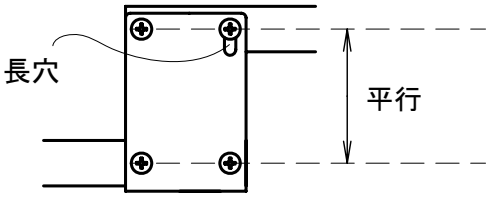
戸建	ﾌﾚｰﾑ	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	ﾎﾞﾙﾄ	無　有

④ボルト脚架台の固定　※フレーム架台の場合はP.96参照のこと

架台の高さ寸法が決まりましたら、架台のレベルをチェックし、六角ナットを締めて六角ボルトを固定する。
また、六角ボルトの頭部と、コンクリートスラブ（又は架台受け金具）を、指定の接着剤にて固定する。

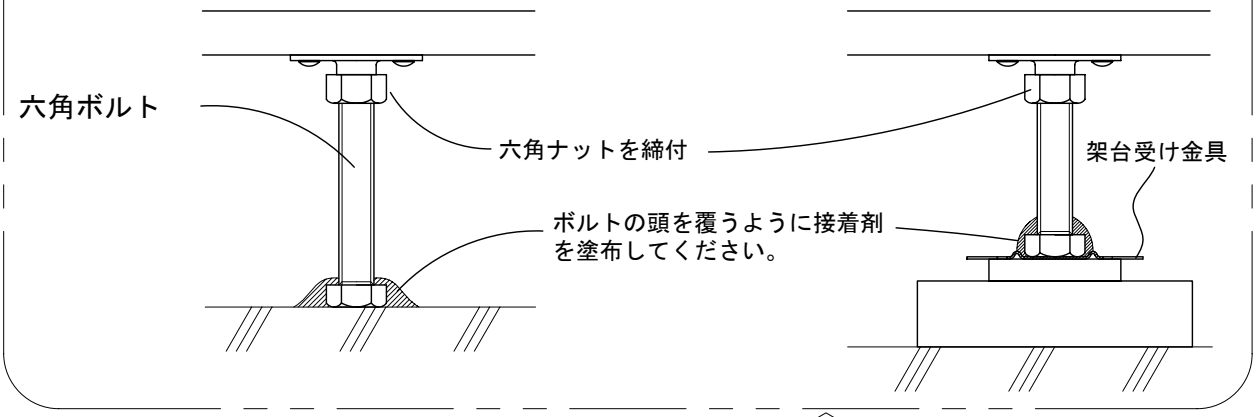


架台桁が平行になっていない場合、段差部のネジ穴が8ヶ所のうち2つ長穴になっていますので調整してください。



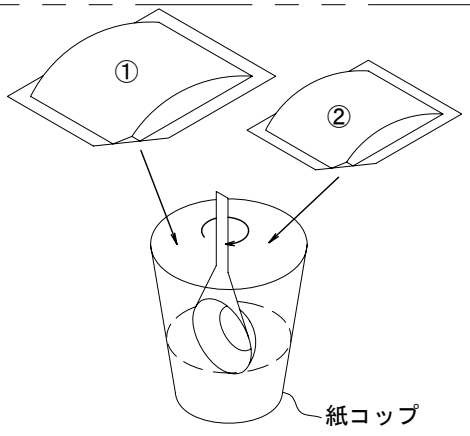
レーザー投光器でレベルをチェック

［嵩上げ無し時］　［嵩上げ時］



［ボルト脚用接着剤の使用方法］

接着剤は2液性のため先に大袋の方を紙コップに全部入れ、次に小袋の方を全部入れてしっかりと混ぜ合わせる。



※その他詳細につきましては
付属の注意書をご覧ください。

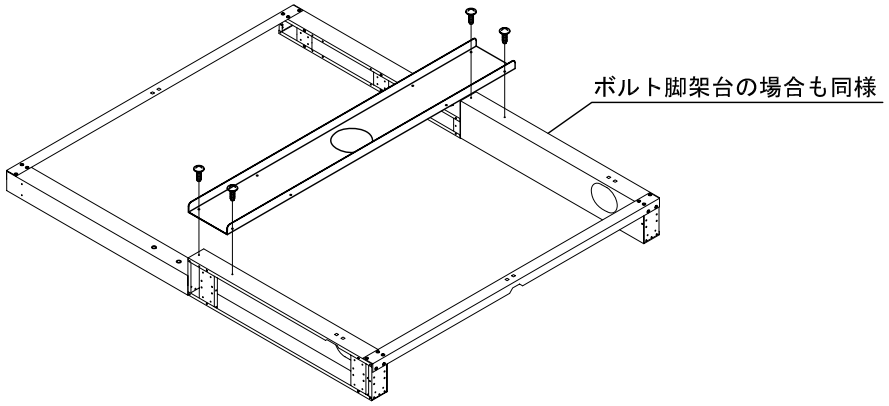
3. 配管の事前準備

①架台にトラップホルダーをトラスデルタイトネジで４ヶ所を固定する。

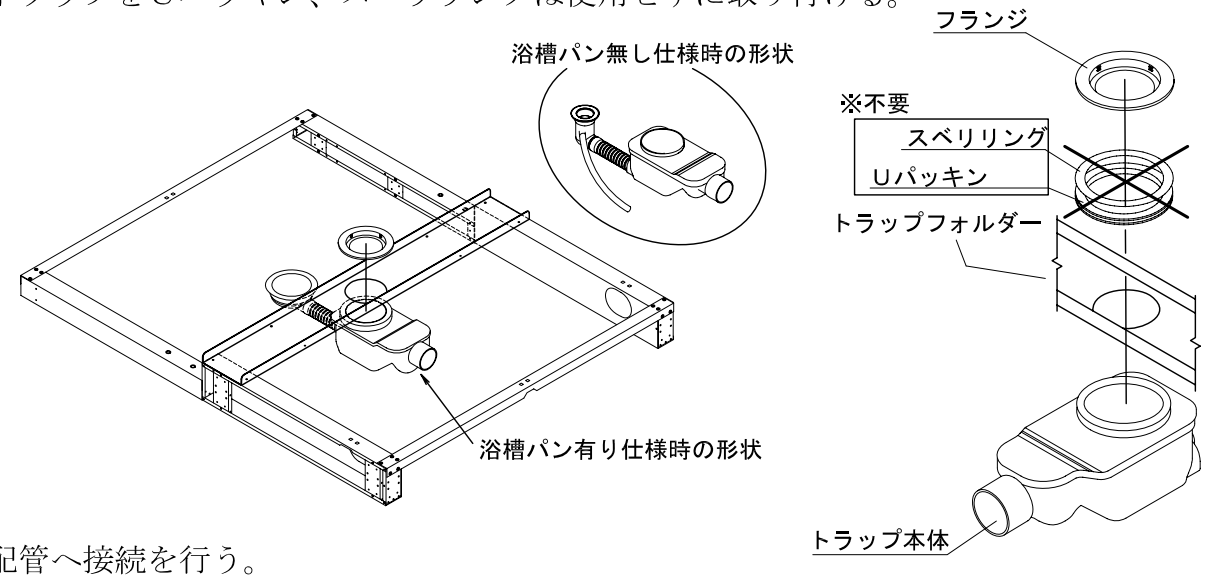
◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 架台同梱	4本

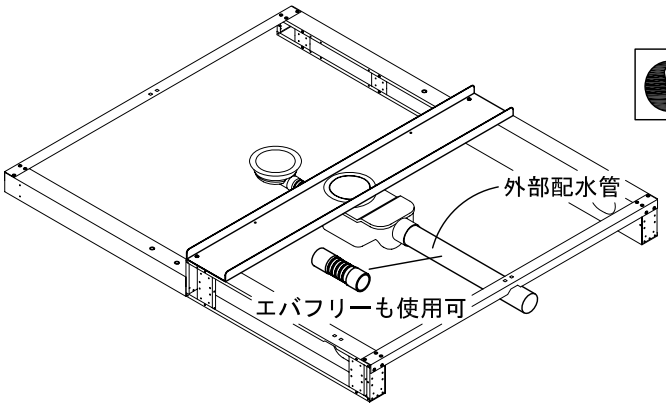
※架台組立用ネジを代用



②洗場トラップをUパッキン、スベリリングは使用せずに取り付ける。



③外部配管へ接続を行う。



配管接着時の注意点は
８ページを参照してください。

配管 [ﾄﾗｯﾌﾟ 取付 設置 漏水ﾁｪｯｸ]

190 ※階上設置のみ、事前に配管設置

戸建	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	無　有

4. 浴槽パンの設置

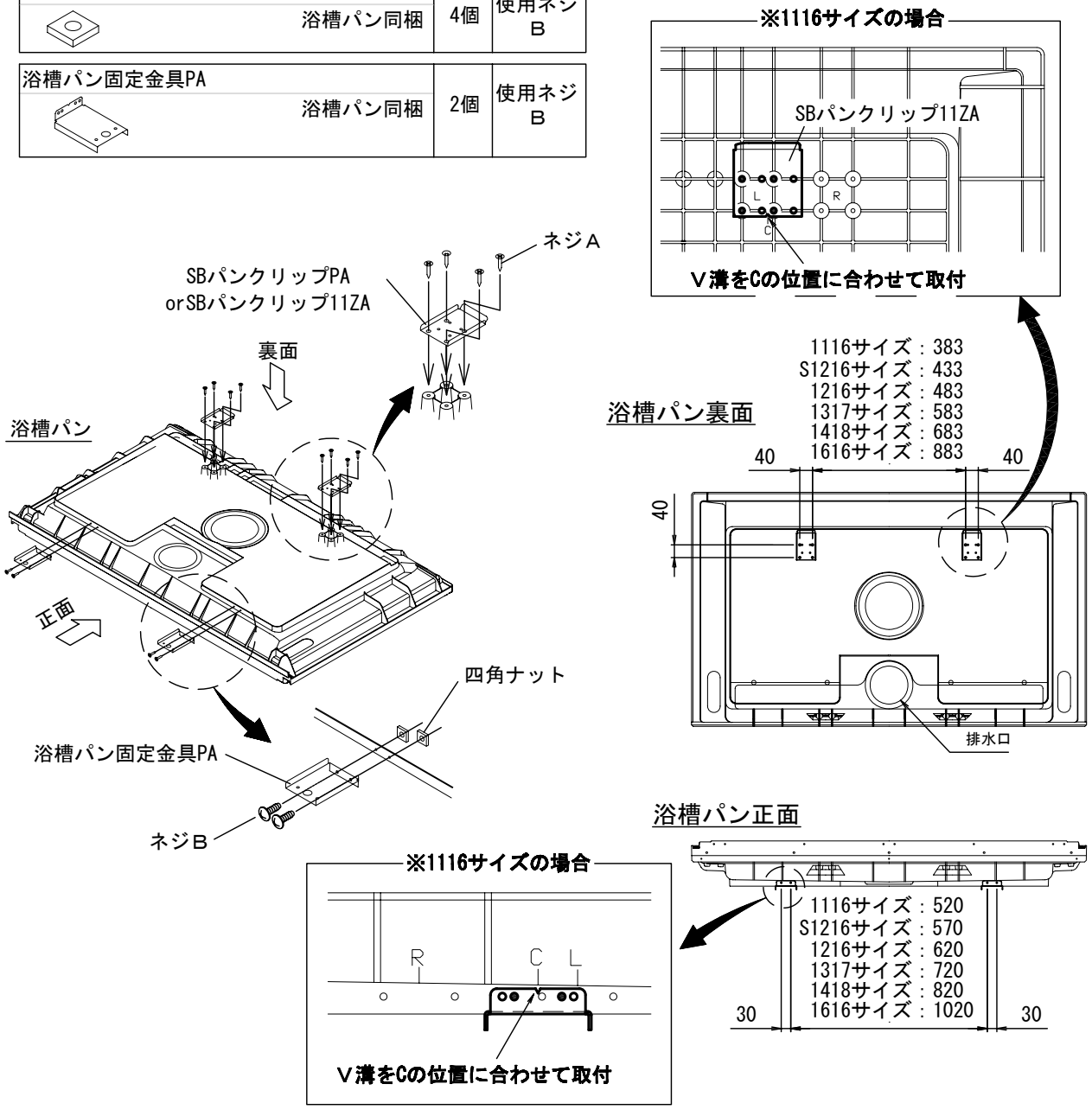
①浴槽パンを架台に設置する前に、浴槽パン裏面の図の位置にＳＢパンクリップＰＡ、浴槽パン正面の図の位置にヨクパン固定金具ＰＡを取付ける。

◇使用ネジ

Ｂ１トラスタッピンネジ6×16クロメート 先端形状 みぞ　浴槽パン同梱	8本	ネジＡ
トラスコネジ4×14クロメート 先端形状　浴槽パン同梱	4本	ネジＢ

◇使用部材

SBパンクリップPA 浴槽パン同梱	2個	使用ネジＡ
SBパンクリップ11ZA　※1116サイズの使用 浴槽パン同梱 ※1116サイズのみ同梱	2個	使用ネジＡ
四角ナット 浴槽パン同梱	4個	使用ネジＢ
浴槽パン固定金具PA 浴槽パン同梱	2個	使用ネジＢ



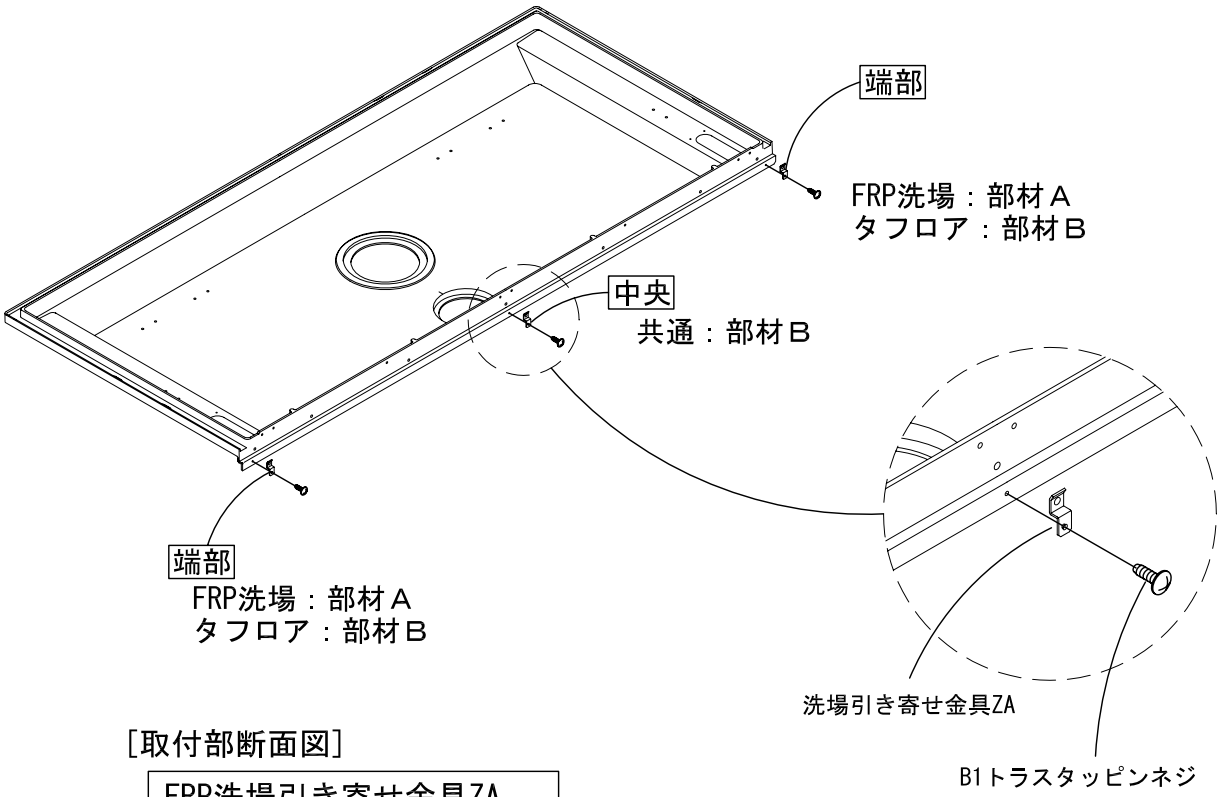
②洗場引き寄せ金具の固定

◇使用ネジ

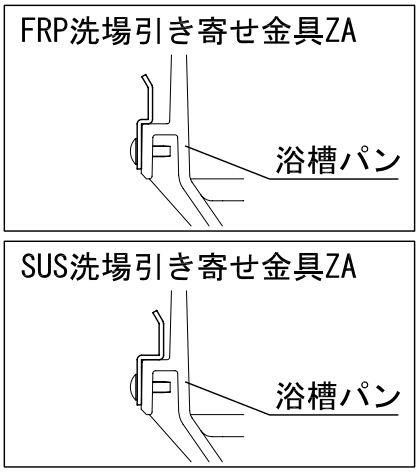
Ｂ１トラスタッピンネジ4×12クロメート 先端形状 みぞ　防水枠同梱	3本	

◇使用部材

FRP洗場引き寄せ金具ZA 防水枠同梱	2個	部材Ａ
SUS洗場引き寄せ金具ZA 防水枠同梱 穴2つ	3個	部材Ｂ



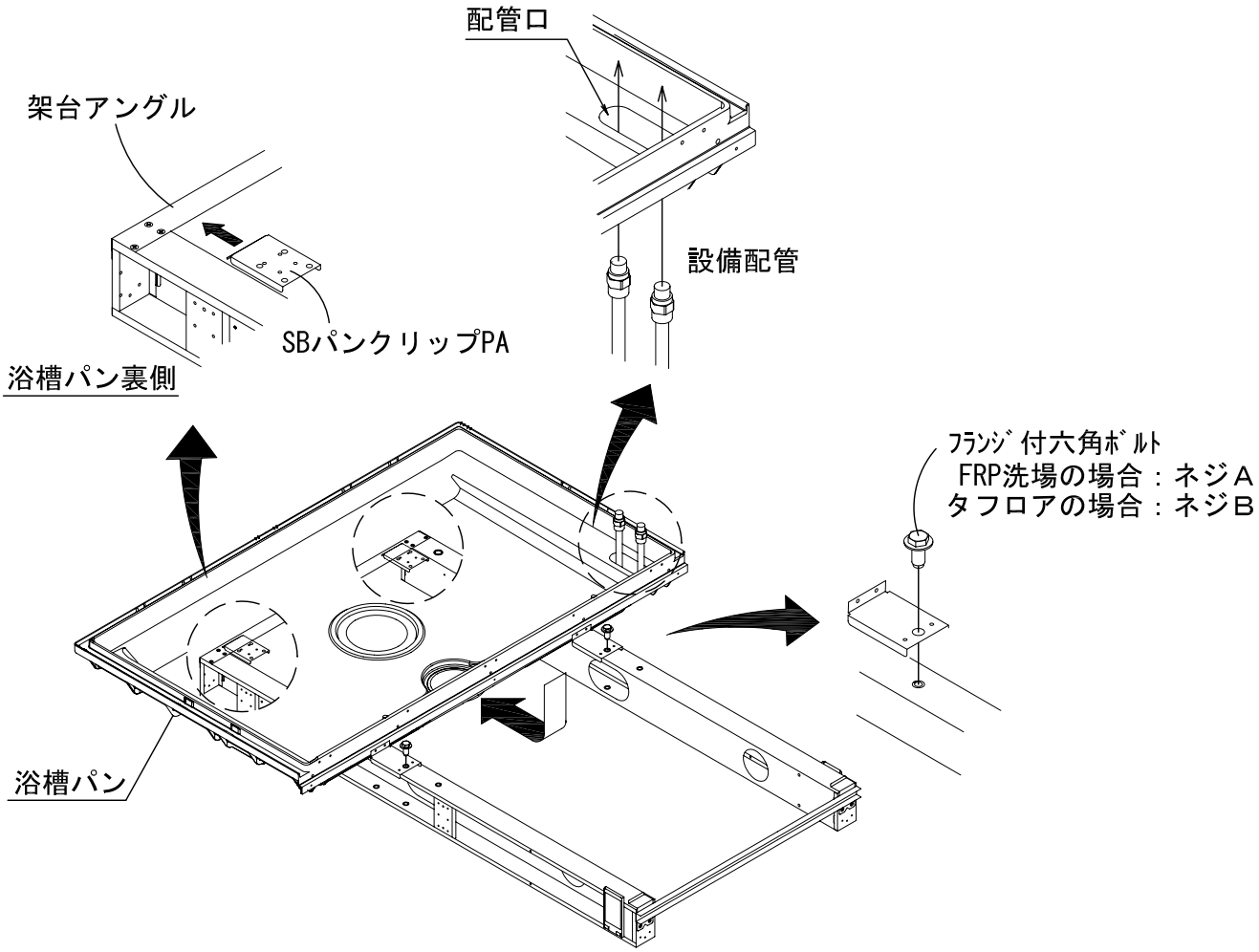
[取付部断面図]



③架台と浴槽パンの固定

◇使用部材

フランジ付き六角ボルトM10×21クロメート 小物セット同梱	2個	ネジA
フランジ付き六角ボルトM10×10クロメート 配管セット同梱	2個	ネジB

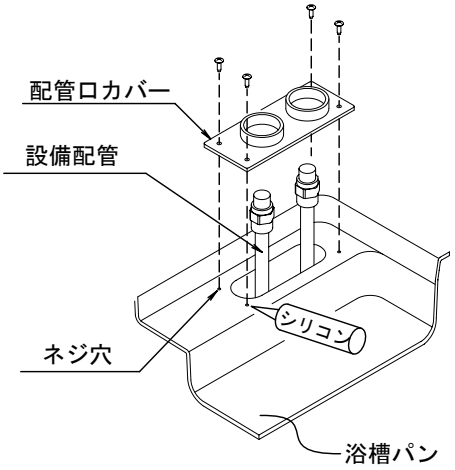


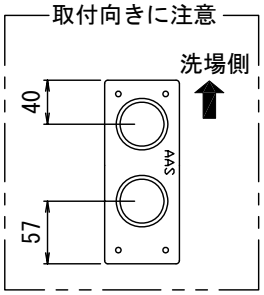
④配管導入口の防水部品の取付

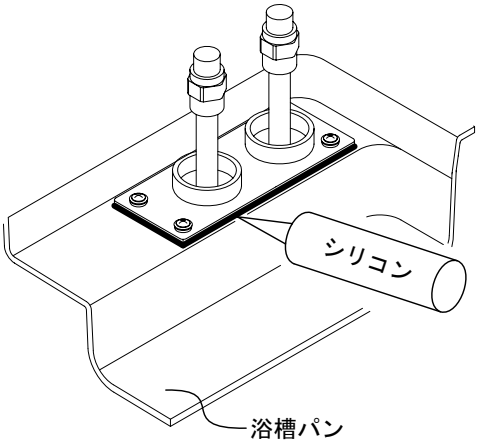
1. 配管口カバーの穴に設備配管を通し、ネジ止めする。
2. 配管口カバーと浴槽パンの接合部全周（下図太線部）にシリコンを塗布する。

◇使用ネジ

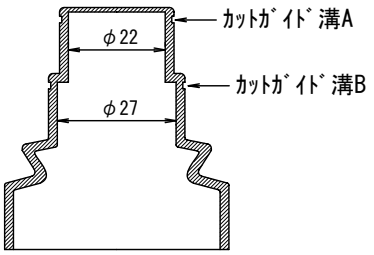
B１トラスタッピンネジ4×12SUS 先端形状 みぞ　浴槽パン同梱	8本





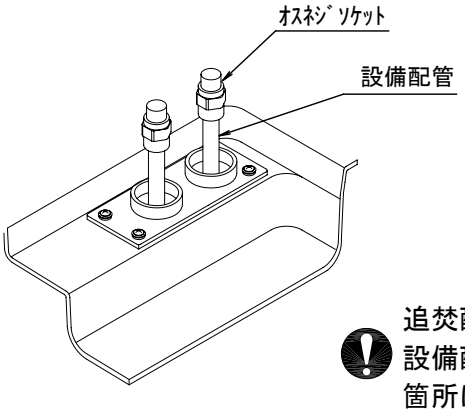


3. 設備配管のオスネジソケットが、配管導入パッキンの内径φ22㎜に通る場合は、
下図のカットガイド溝Aに沿って配管導入パッキンをカットする。
φ22㎜に通らない場合は、カットガイド溝Bに沿ってカットする。



[配管導入ﾊﾟｯｷﾝ断面図]

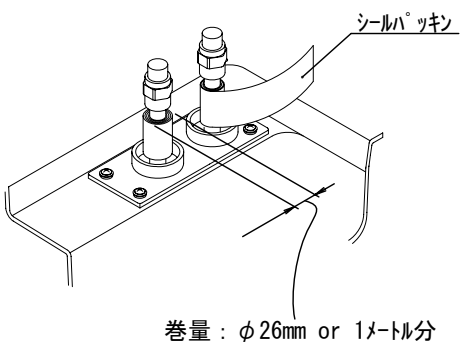
内径は多少伸びて広がります。

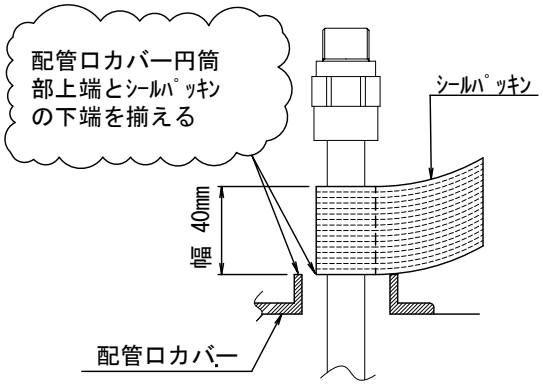


追焚配管がない場合等で、
設備配管が設置されない
箇所は、カットは不要です。

4. 設備配管に、ｼｰﾙﾊﾟｯｷﾝを巻き付ける。
A：配管導入ﾊﾟｯｷﾝの内径φ22㎜を選択した場合 → ｼｰﾙﾊﾟｯｷﾝの巻量は、外径φ26㎜まで
B：配管導入ﾊﾟｯｷﾝの内径φ27㎜を選択した場合 → ｼｰﾙﾊﾟｯｷﾝの巻量は、1本（1m分）

シールパッキンは締付けるように巻付ける。



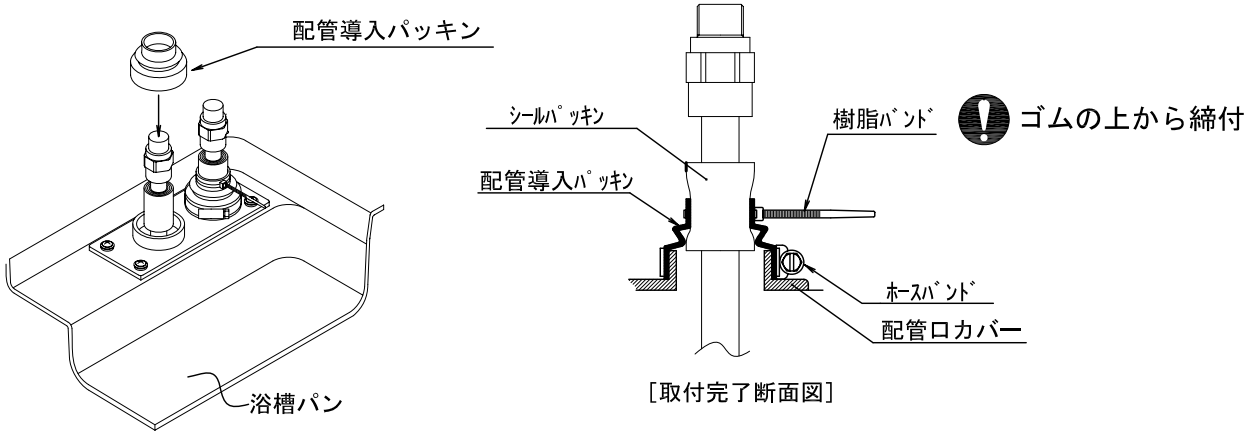


浴槽パン［組立 設置］

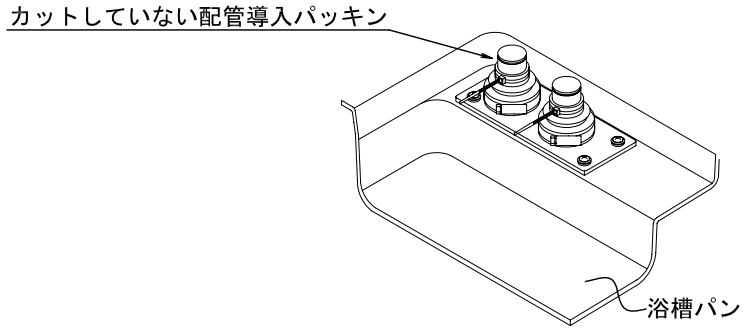
共通

②浴槽パン「有り」の場合

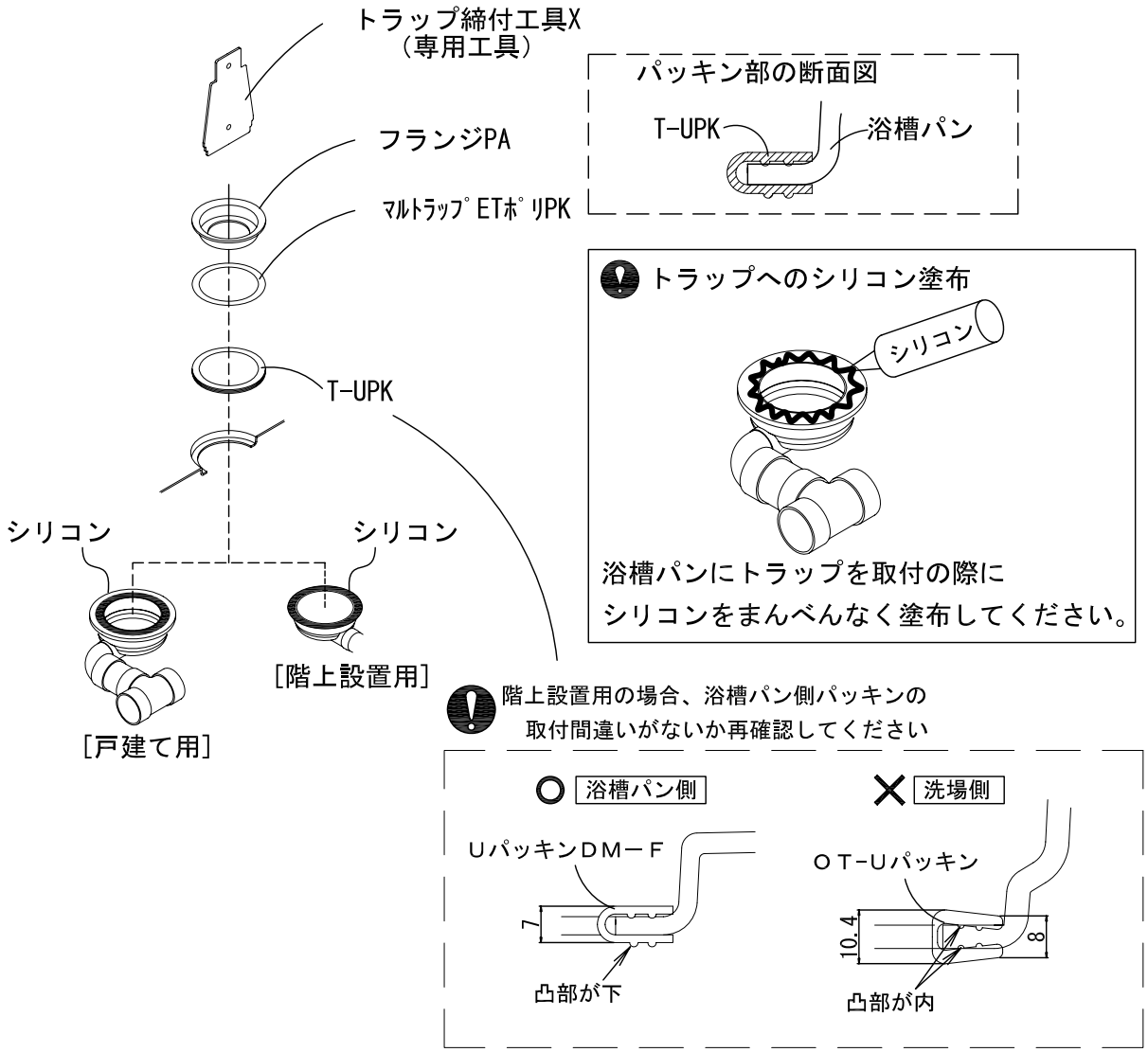
5. 配管導入パッキンを差し込み、下部はホースバンド（SUS製）、上部は樹脂バンドにて締め付ける。



6. 設備配管は、最大4本（給水管、給湯管、追焚往復配管）ユニット内に引込め、現場によっては4本すべて使用しない場合があり、設備配管が設置されない配管口は、カットしていない配管導入パッキンを同様に取付ける。



5. 排水配管の接続


トラップ締付工具X
（専用工具）
フランジPA
ﾏﾙﾄﾗｯﾌﾟETﾎﾟﾘPK
T-UPK
シリコン
シリコン
[戸建て用]
[階上設置用]
パッキン部の断面図
T-UPK
浴槽パン
トラップへのシリコン塗布
シリコン
浴槽パンにトラップを取付の際に
シリコンをまんべんなく塗布してください。
階上設置用の場合、浴槽パン側パッキンの
取付間違いがないか再確認してください
浴槽パン側
洗場側
UパッキンDM－F
7
凸部が下
OT-Uパッキン
10.4
8
凸部が内

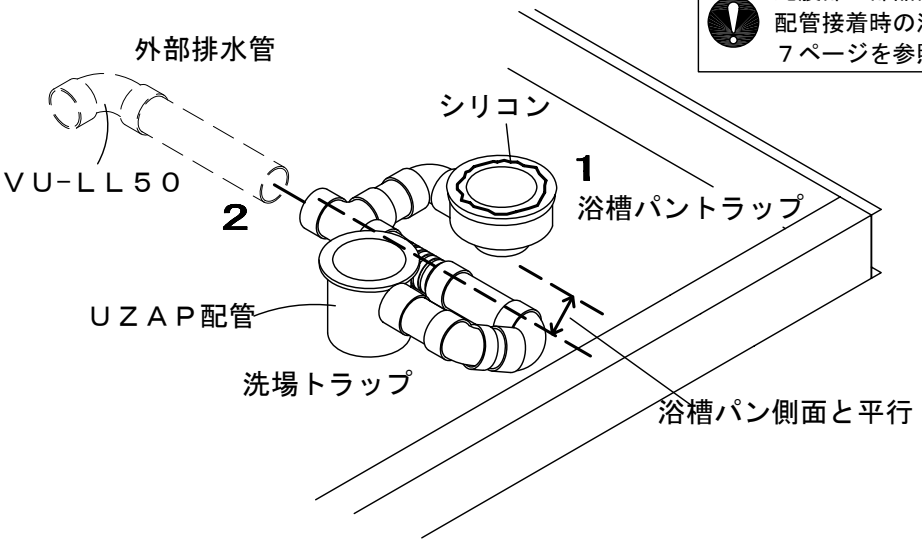
①戸建て用　FPR洗場の場合

・浴槽パンにUパッキンを取付けた後、浴槽パントラップ上面に
シリコンを塗布し、浴槽パントラップを取付ける。
※UZAP配管が浴槽パン側面と平行になるように取付

・排水勾配（1/50～1/100）を確認し、外部排水管を接着する。
※外部排水の最初のエルボはVU-LL50を使用のこと

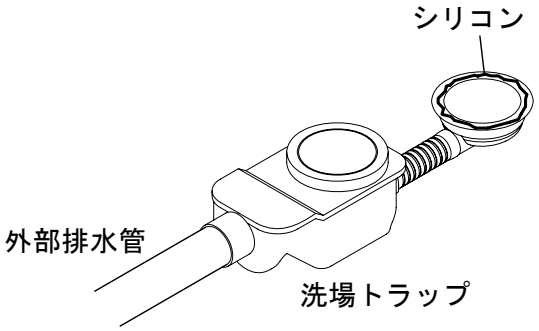
・接着箇所の漏水チェックを行う。
※外部排水管が末端まで接続されていない場合は、
漏水検査ポンプを使用のこと(７ページ参照)

蛇腹部の部品点検、
配管接着時の注意点は
７ページを参照してください。



②階上設置用　FPR洗場の場合

・浴槽パンにUパッキンを取付けた後、浴槽パントラップ上面に
シリコンを塗布し、浴槽パントラップを取付ける。



6. 排水配管の漏水チェック

・接着し１０分ほど待つ（硬化時間）。
・洗場トラップから注水し、接着部や配管からの漏水を検査する。
　この時、配管内部が満水になるよう浴槽側トラップの開口すれすれまで注水する。
・浴槽トラップが水没する程度の水を浴槽パンに注水し、
　浴槽トラップ取付部から漏水していないか検査する。
・（漏水がない場合）トラップに残りの部材を取付ける。
・洗場側トラップの下に洗場設置後の漏水チェックの新聞紙を敷く。

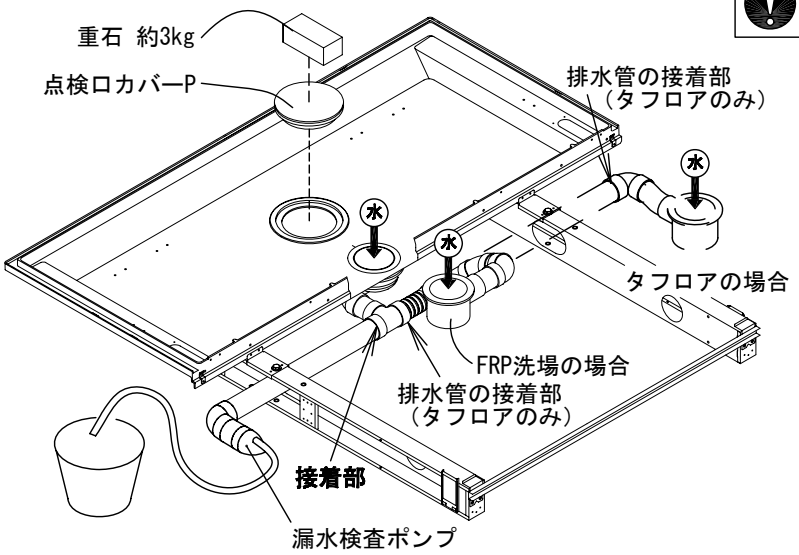
樹脂製浴槽パンの場合、点検口カバーPを浴槽パンの点検口に仮置きし、
点検口カバーPの上に重石［3Kg］を置いてください。
点検口カバーPは、後で一旦取外しますので裏面紙はまだはがさないでください。

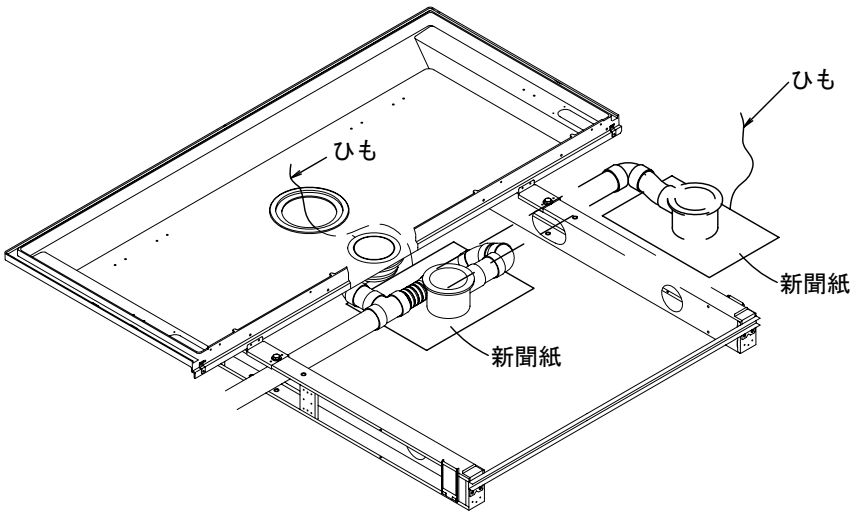
排水配管の漏水チェック時の注意点

満水検査しないと漏水事故につながるので確実に行う。
満水には最低で５リットル以上の水が必要なため、
常に多めの水を準備する。

①戸建て用の場合

配管接着時の注意点は
８ページを参照してください。

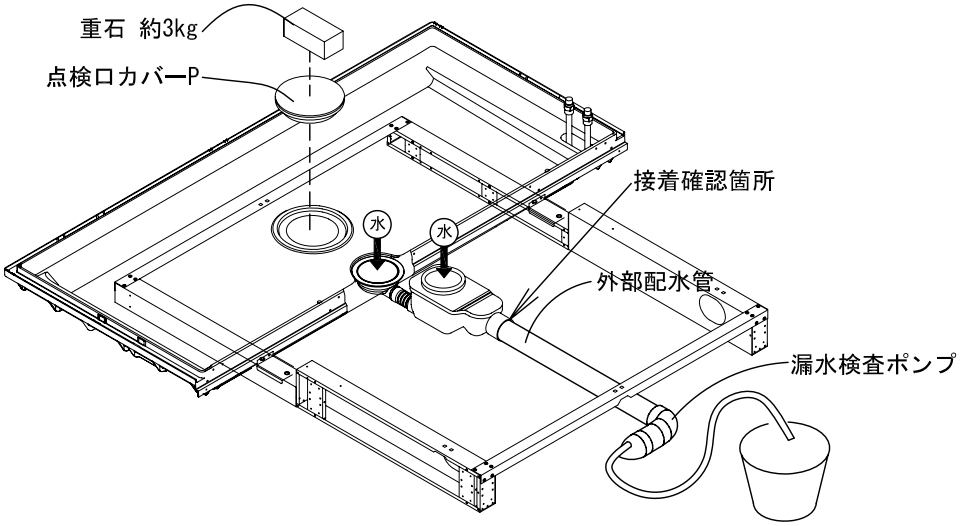


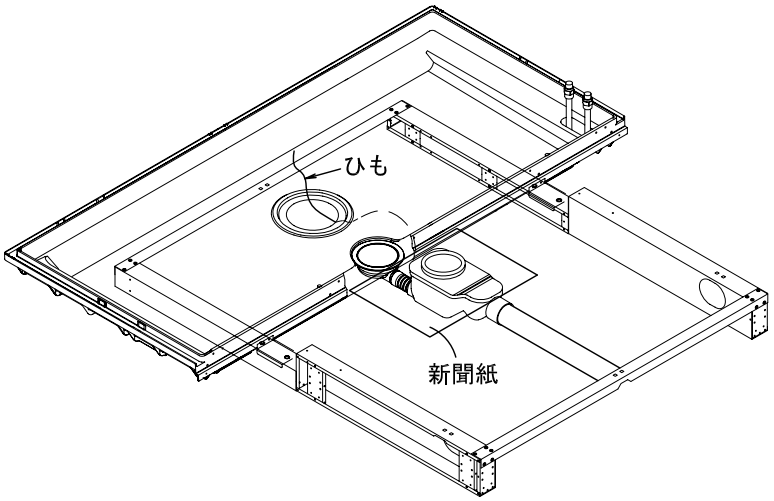


②浴槽パン「有り」の場合

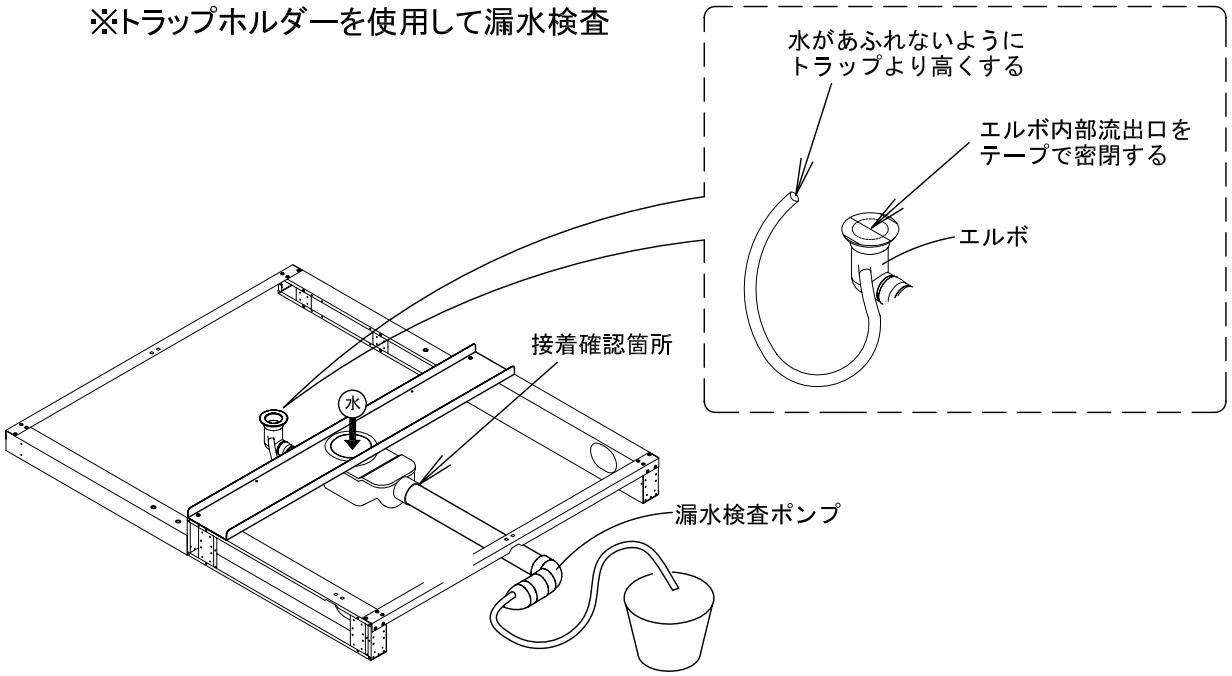
共通

②階上用の場合[浴槽パン有り仕様]





③階上用の場合[浴槽パン無し仕様]
※トラップホルダーを使用して漏水検査



配管 [ﾄﾗｯﾌﾟ 取付 設置 漏水ﾁｪｯｸ]

戸建	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	無 有

7. 洗場の設置

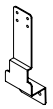
(1)洗場の事前準備・設置

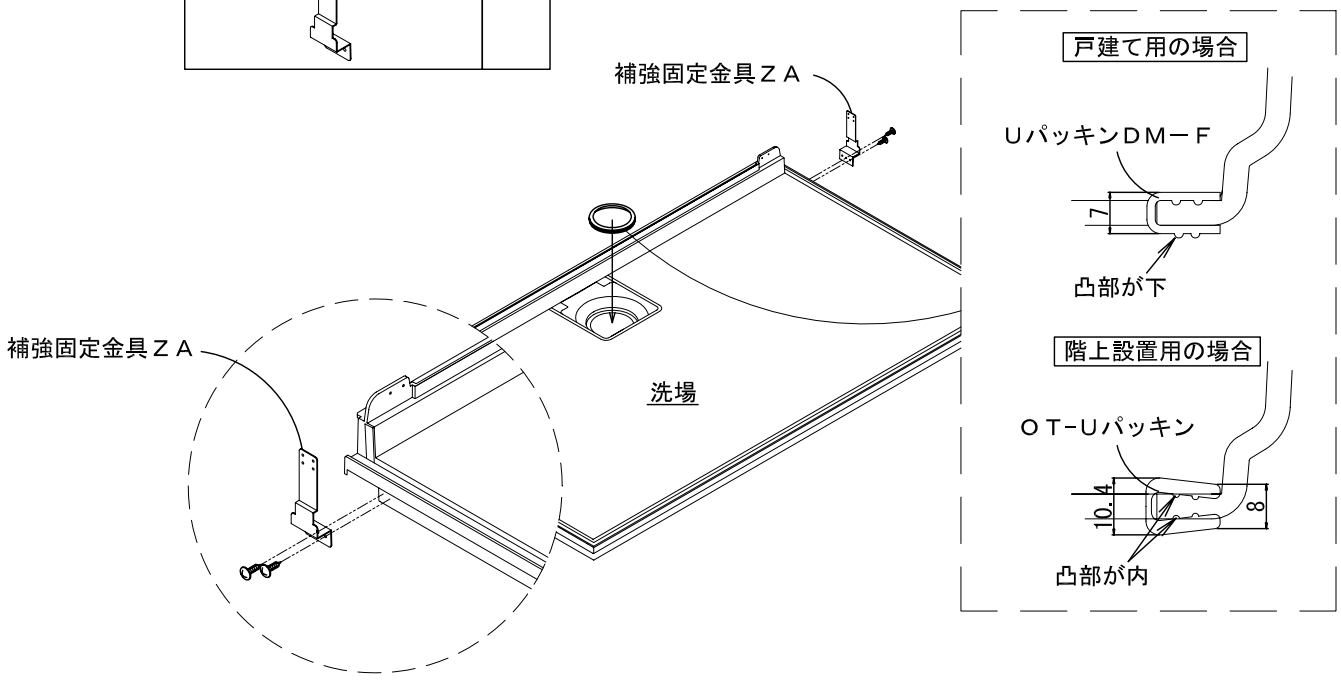
・洗場へ補強固定金具ＺＡをネジ２本（２ヶ所）で固定する。
・洗場へUパッキン（配管セット同梱）を取り付ける。

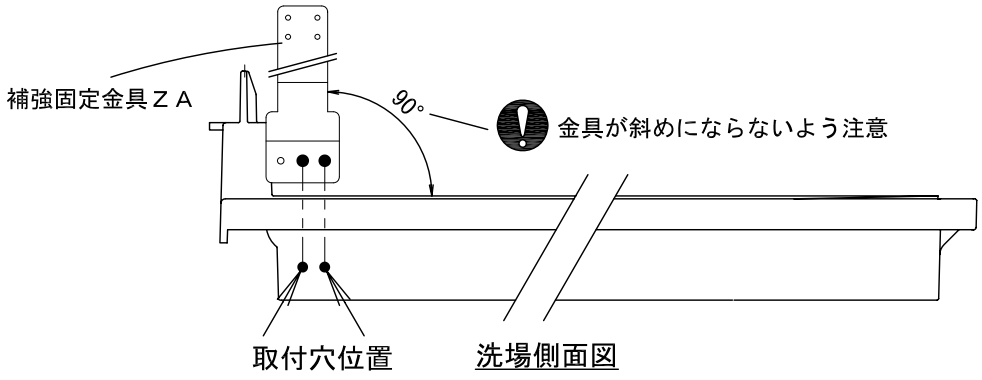
◇使用ネジ

Ｂ１トラスタッピンネジ4×16ＳＵＳ 先端形状 みぞ付　サイドスペーサー同梱	4本

◇使用部材

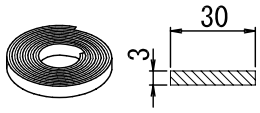
補強固定金具ZA サイドスペーサー同梱 	2個

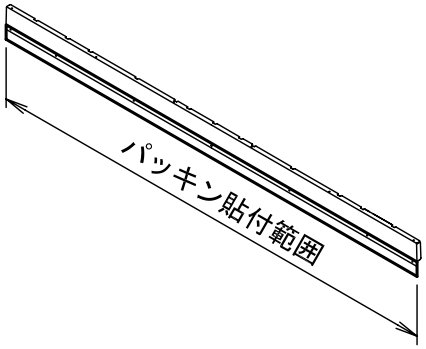


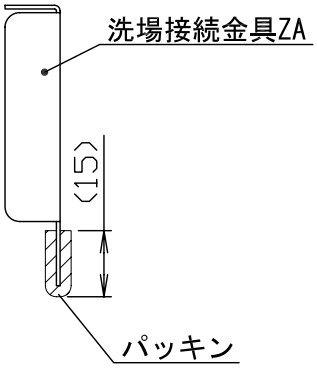


・洗場接続金具ZA（防水枠同梱）にパッキンを貼り付ける。

◇使用部材

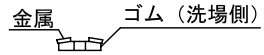
ウレタンパッキンt3×W30×L2000 浴槽パン同梱


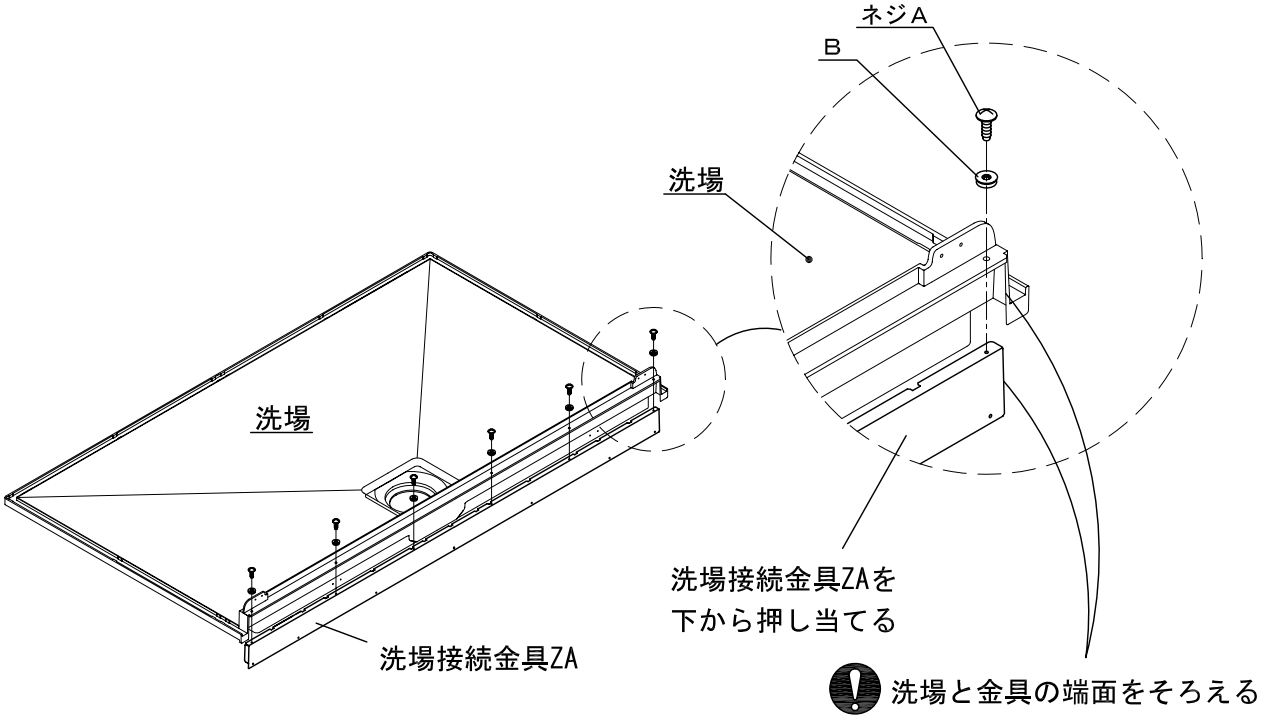




・洗場接続金具ZAを洗場へ固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x14ＳＵＳ 先端形状 防水枠同梱	6本	ネジA
ボンデットワッシャー 形状  防水枠同梱	6個	B



洗場　［組立 設置］
②浴槽パン「有り」の場合

戸建	FRP
階上	ﾀﾌﾛｱ

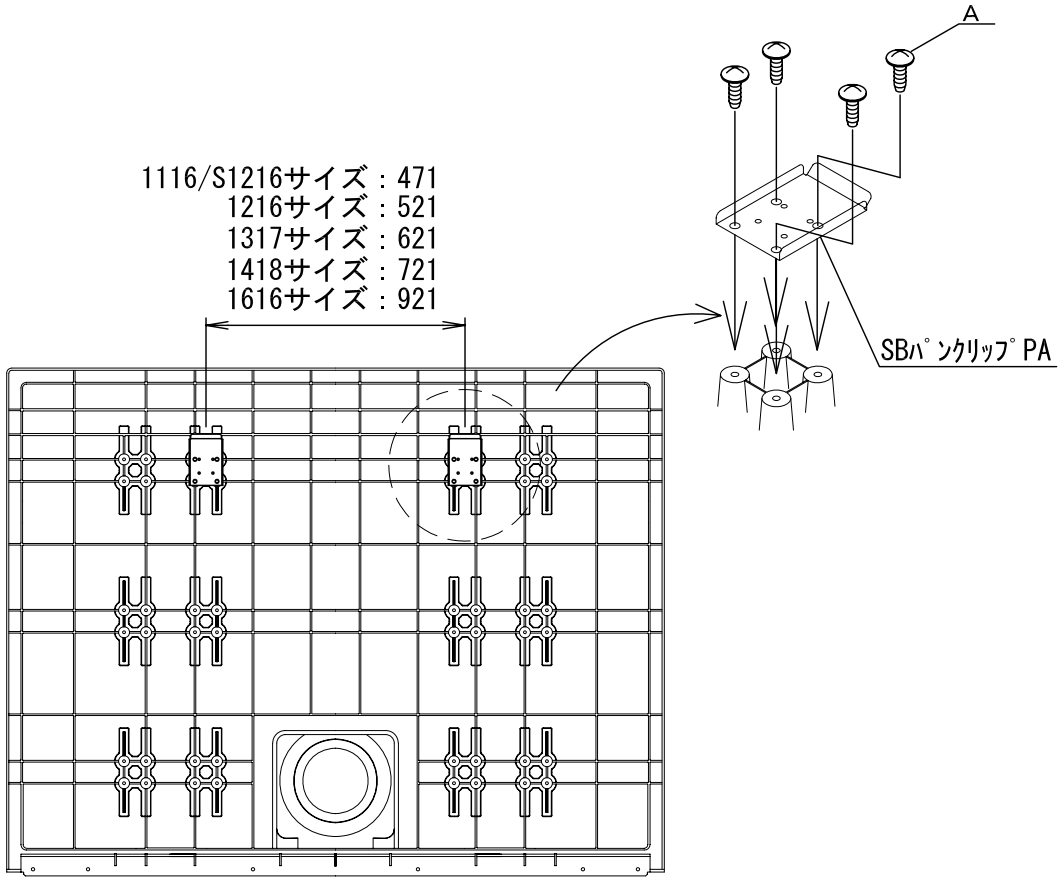
・洗場にSBパンクリップをネジで固定する。

◇使用ネジ

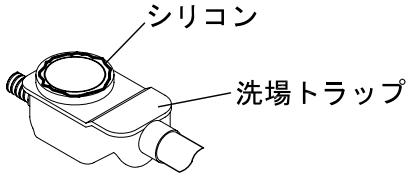
Ｂ１トラスタッピンネジ6x16クロメート 先端形状 みぞ　配管セット同梱	8本	ネジ A

◇使用部材

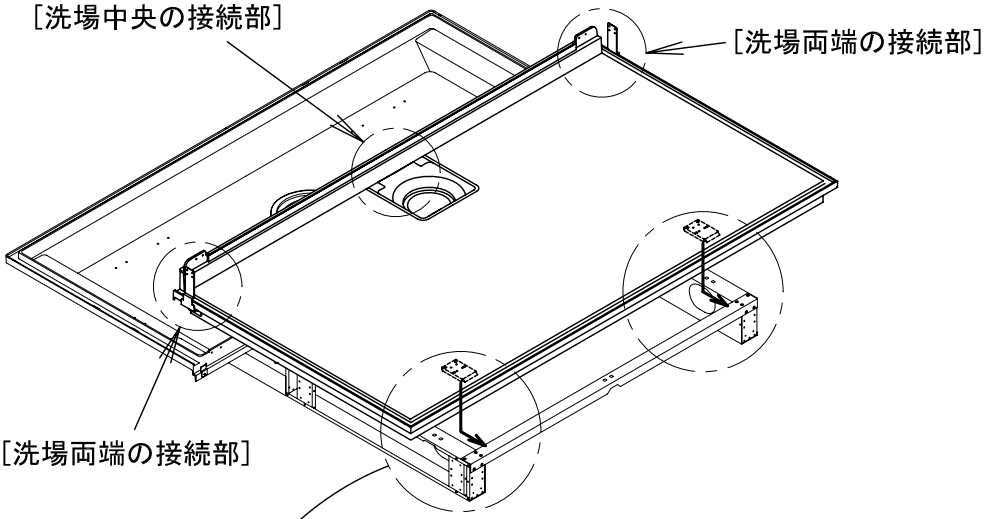
SBパンクリップPA 配管セット同梱	2個	使用ネジ A

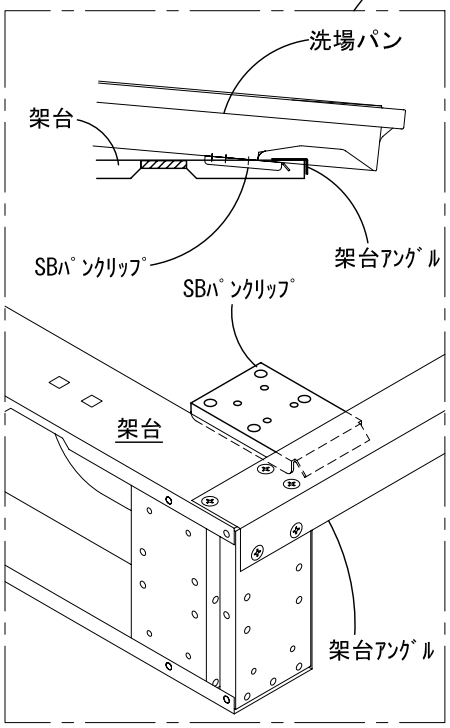


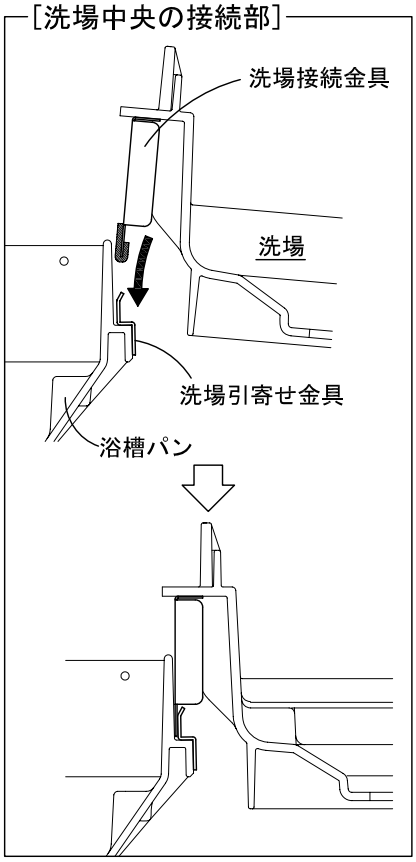
・洗場トラップにシリコンを塗布する。
・洗場脚を架台クリップに差し込み、洗場と洗場接続金具が
洗場引き寄せ金具に引掛けるようにゆっくりと洗場を下ろす。

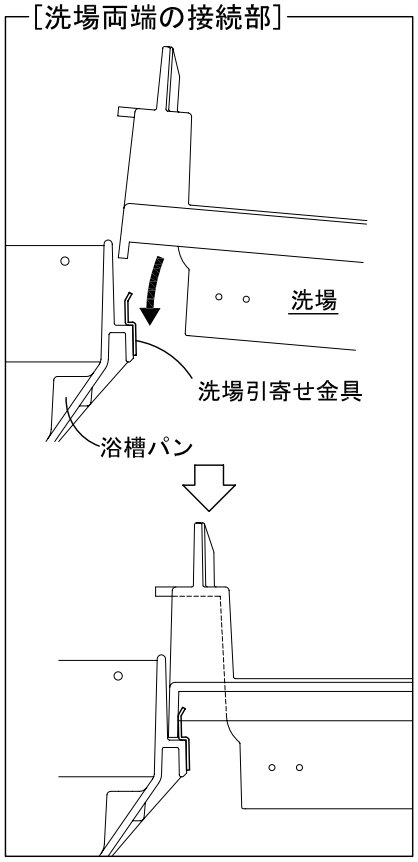


洗場を降ろす際に指をはさまないようにしてください。









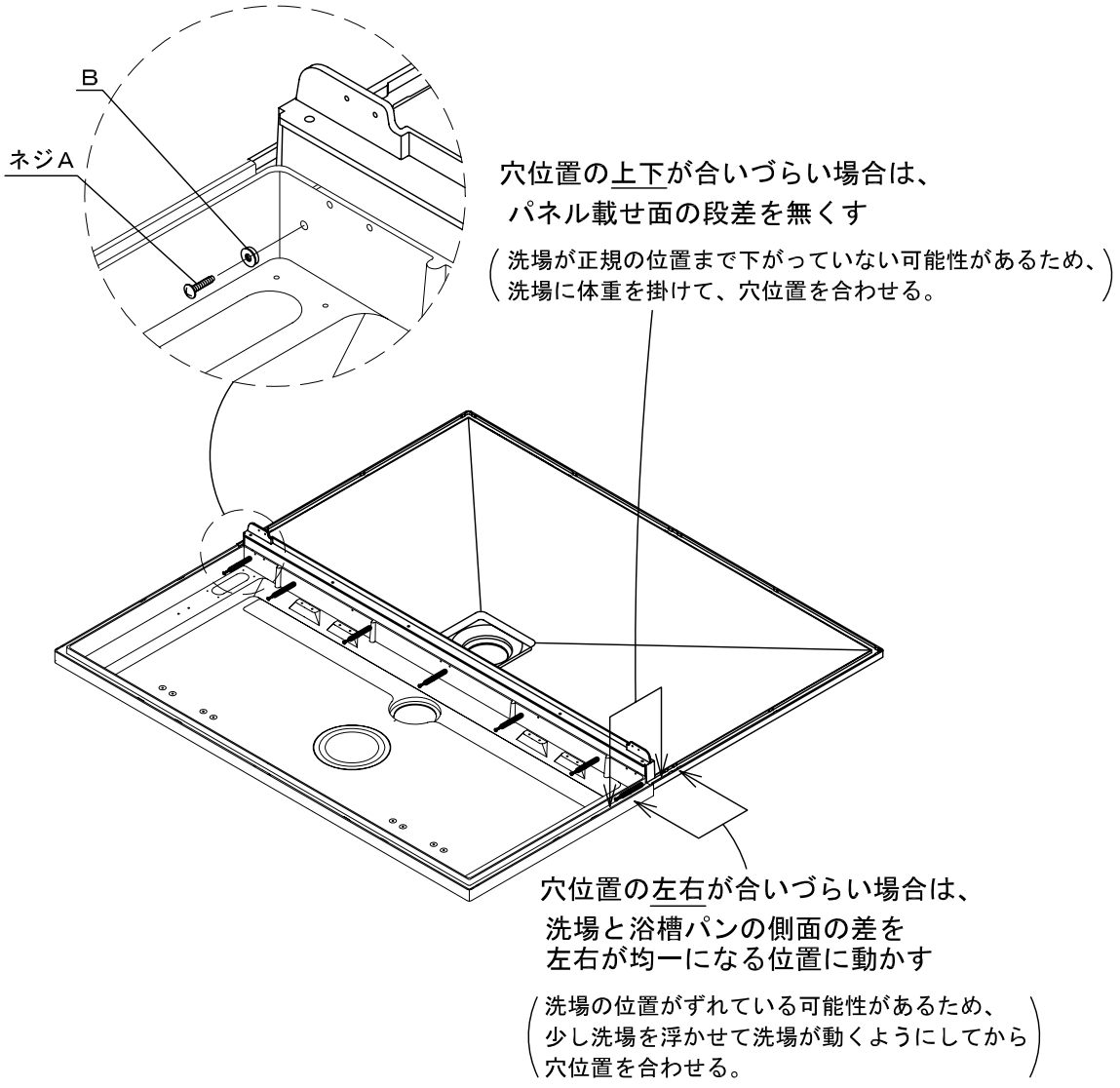
洗場　［組立　設置］
②浴槽パン「有り」の場合

戸建	FRP
階上	ﾀﾌﾛｱ

・浴槽パンと洗場接続金具をトラスデルタイトネジで固定する。

◇使用ネジ

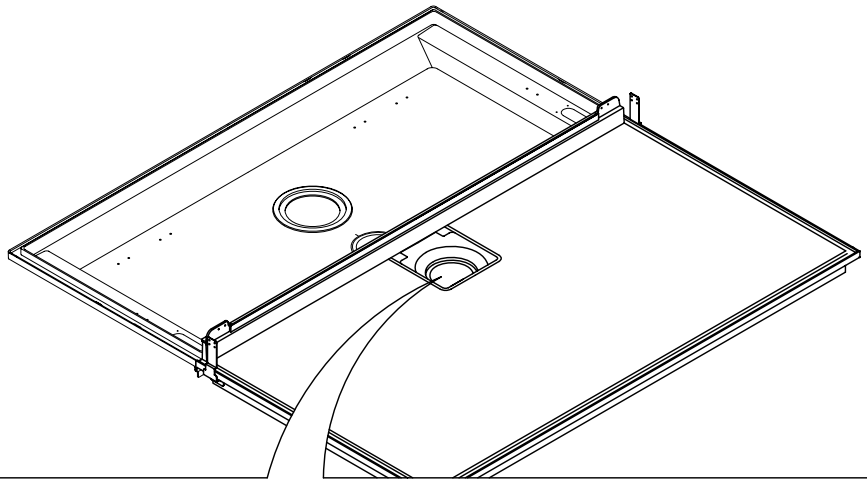
トラスデルタイトネジ4×20SUS 先端形状 防水枠同梱	7本	ネジA
ボンデットワッシャー 形状 防水枠同梱	7本	B

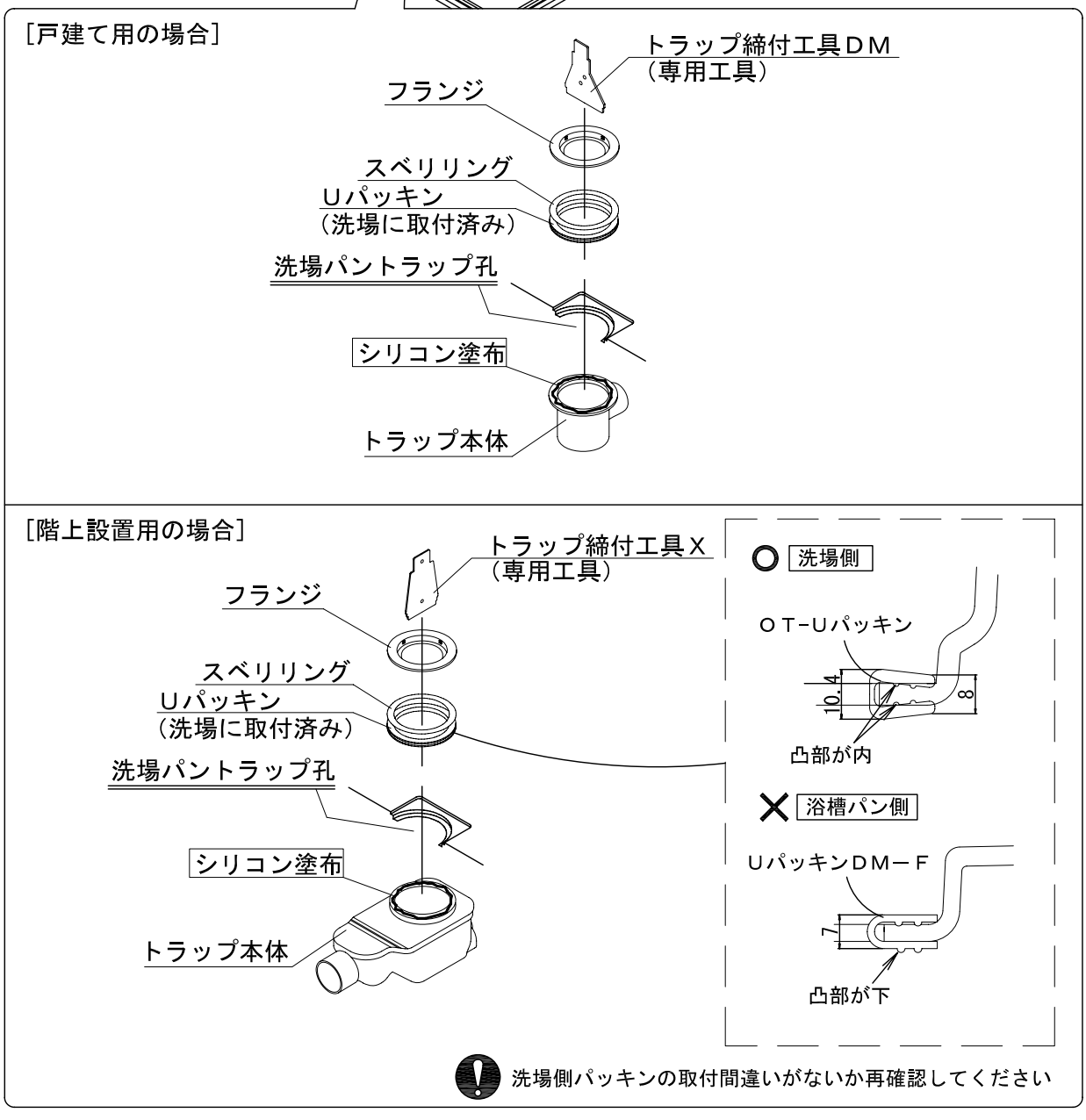


(2)洗場トラップの設置

①FRP洗場の場合

下記の順に洗場トラップを専用工具を使用して、締め付ける。





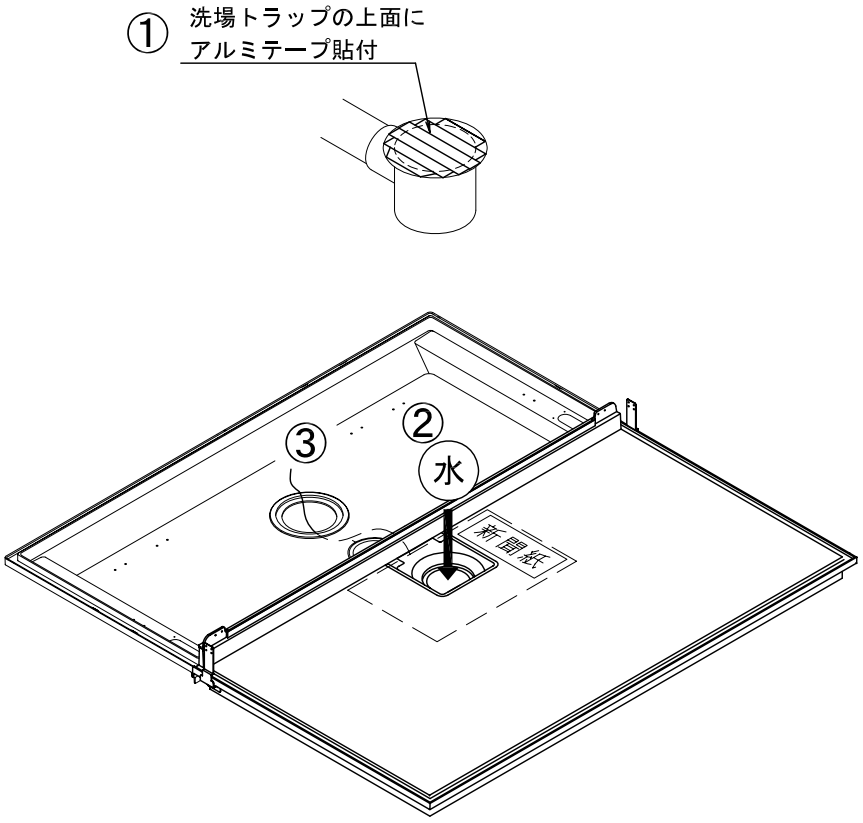
配管［ﾄﾗｯﾌﾟ取付 漏水ﾁｪｯｸ 組立］

②浴槽パン「有り」の場合

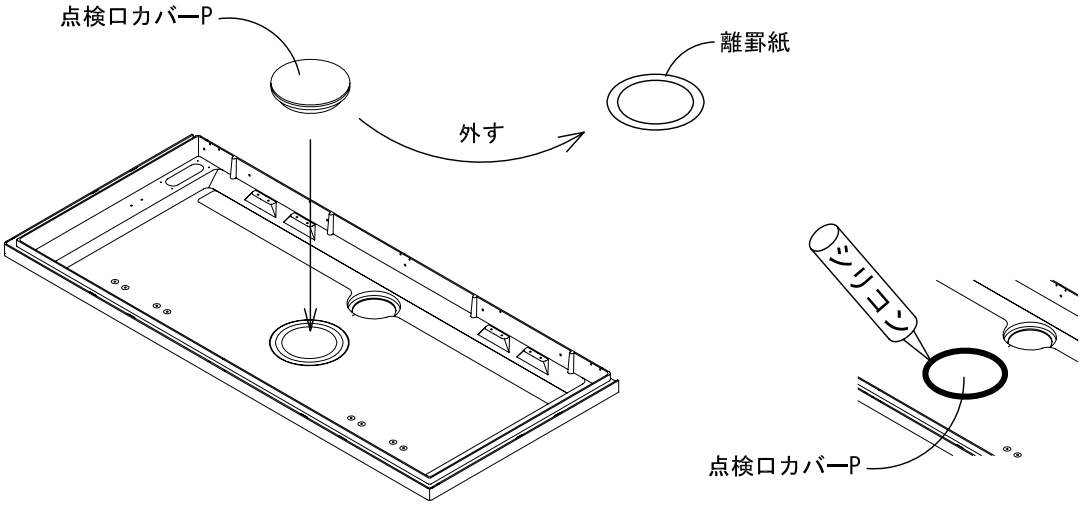
戸建	FRP
階上	ﾀﾌﾛｱ

8. 漏水チェック[その2]

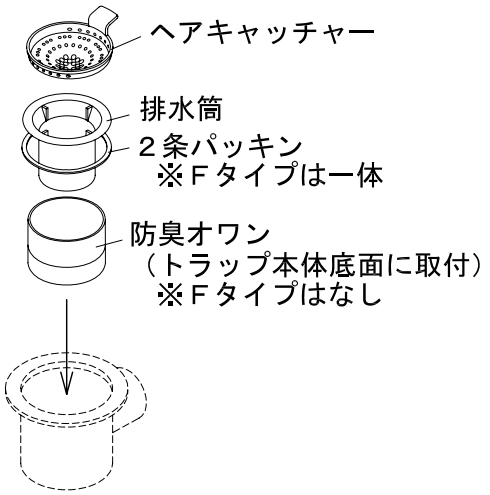
①洗場トラップの上面をアルミテープでふさぐ。
②洗場トラップ上面が水没する程度の水を流す。
③洗場トラップの下にあらかじめ敷いておいた新聞紙を取出し、
水滴が落ちていないか確認する。



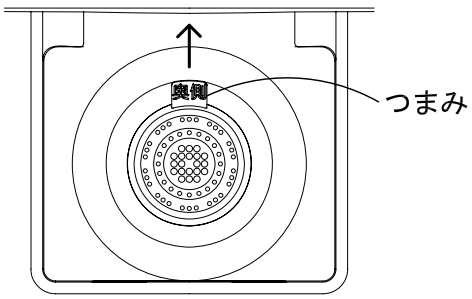
④漏水が無ければ、点検口フタＰ裏面の両面テープの離罫紙を剥がし
浴槽パン底面の点検口に点検口フタＰを取付け、シリコンを塗布する。



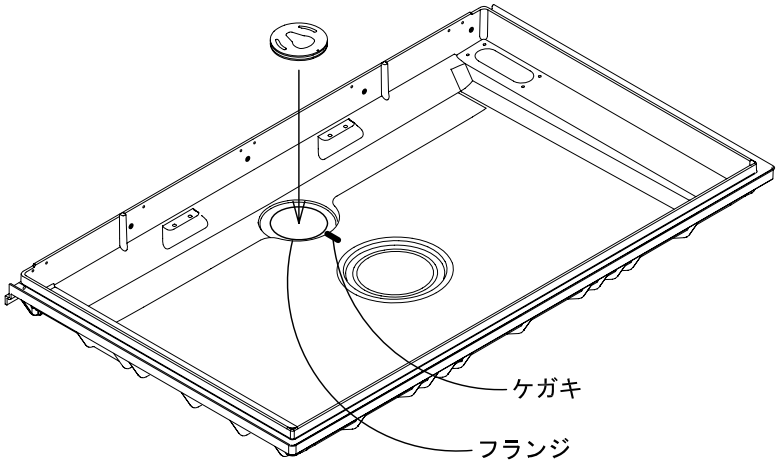
⑤洗場トラップに部品を取付ける。
※ヘアキャッチャーの向きに注意

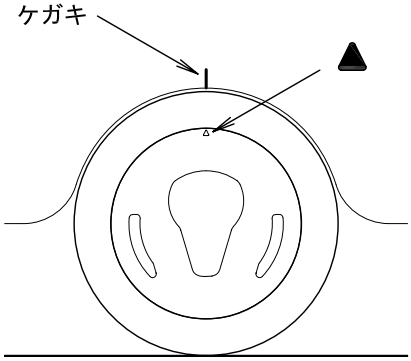


[FRP洗場の場合]
※つまみを奥側（エプロン側）にセット
浴槽エプロン側



⑥フロート目皿を浴槽パン側のトラップ（エルボ）フランジに取り付ける。
※フロート目皿の ▲ 印と、浴槽パンのケガキを合わせる。
※取り付けの際は、強めに押し込む。





取り付け向きがずれると浴槽と水密されなくなりますので、
ケガキと ▲ 印を正しく合わせてください。

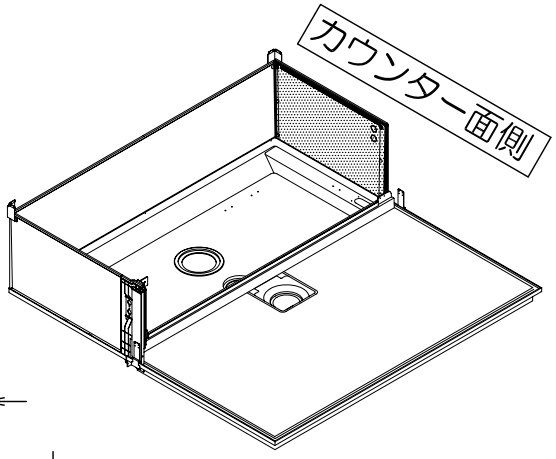
9. 防水枠、サイドスペーサーの設置

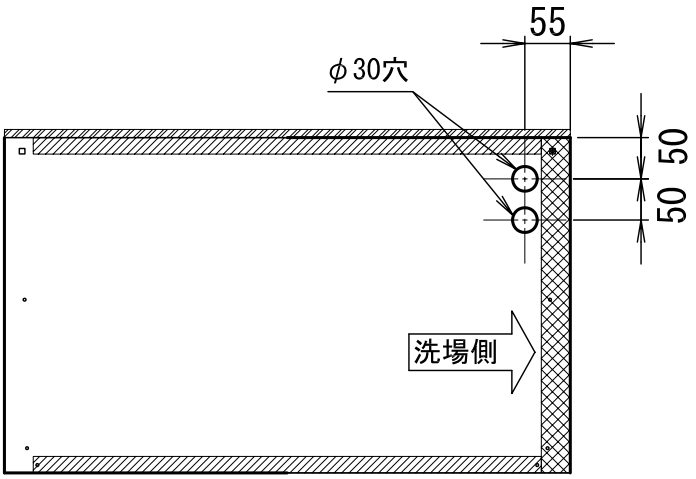
上横給水仕様（北海道仕様）の場合

①防水枠（カウンター面側）の下図に示す場所に30穴を2箇所あける。
②キュウトウカンブッシュ（給水給湯管同梱）の中央部をカットし、①であけたφ30穴にはめ込んだ後、ブッシュ全周にシリコンを塗布する。
③防水枠を組み立てた後、設備配管をブッシュに引き込み、引き込み部にシリコンを塗布する。

◇使用ブッシュ

キュウトウカンブッシュ	
形状 給水給湯管同梱	2個





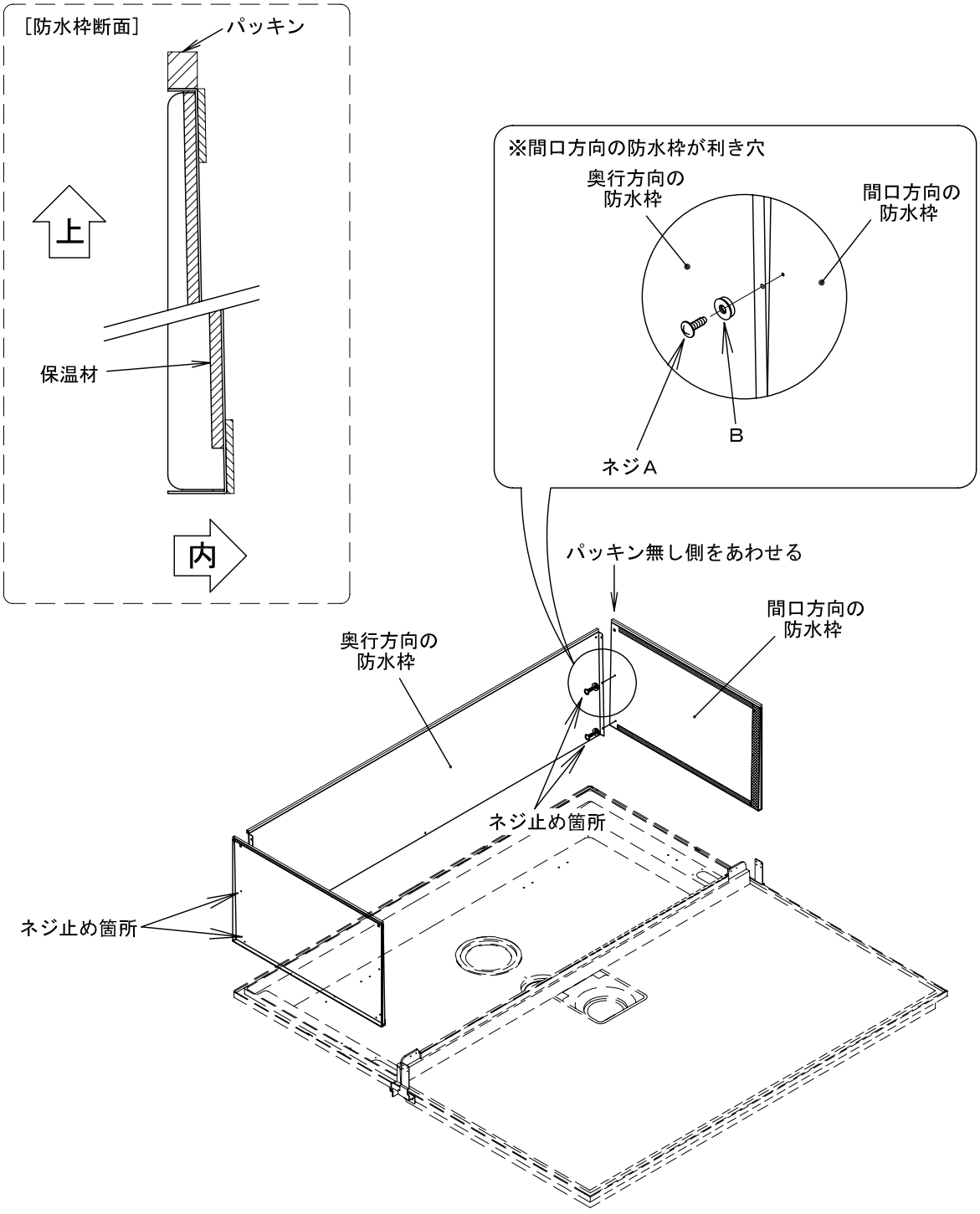
(1)防水枠の組立

防水枠をユニット内で下図のように組み立てる。

※防水枠は折れ曲がりやすいため、取り扱いに注意

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 防水枠同梱	4本	A
ボンデットワッシャー 形状 防水枠同梱	4本	B



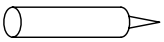
(2)防水枠の設置

浴槽パンのコーナー部にシリコンをコブ状に捨て打ちし、
防水枠を浴槽パンの溝に下図のように固定する。
※ネジ固定位置は、☆ 印の7箇所、捨て打ち箇所は丸点線部の4箇所

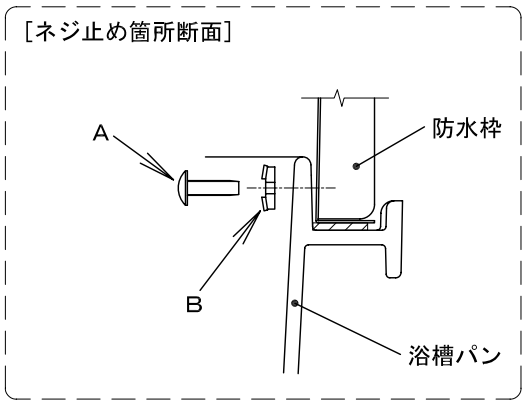
◇使用ネジ

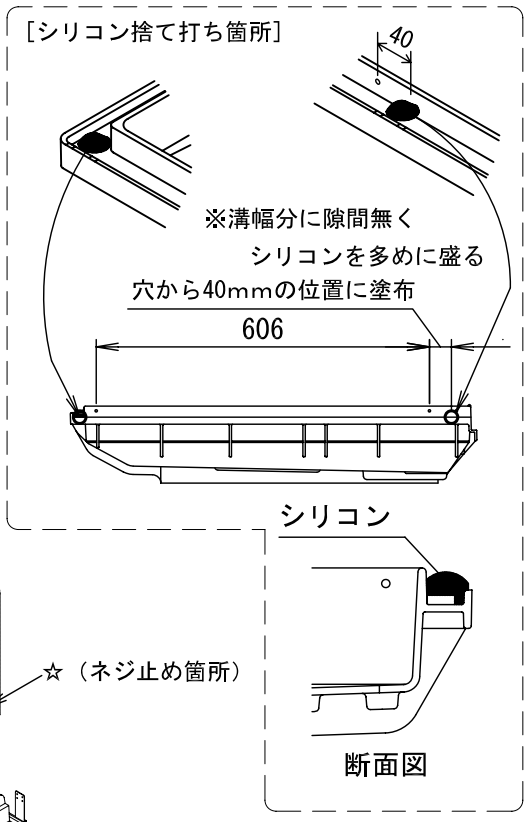
トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 防水枠同梱	7本	A
ボンデットワッシャー 形状 防水枠同梱	7本	B

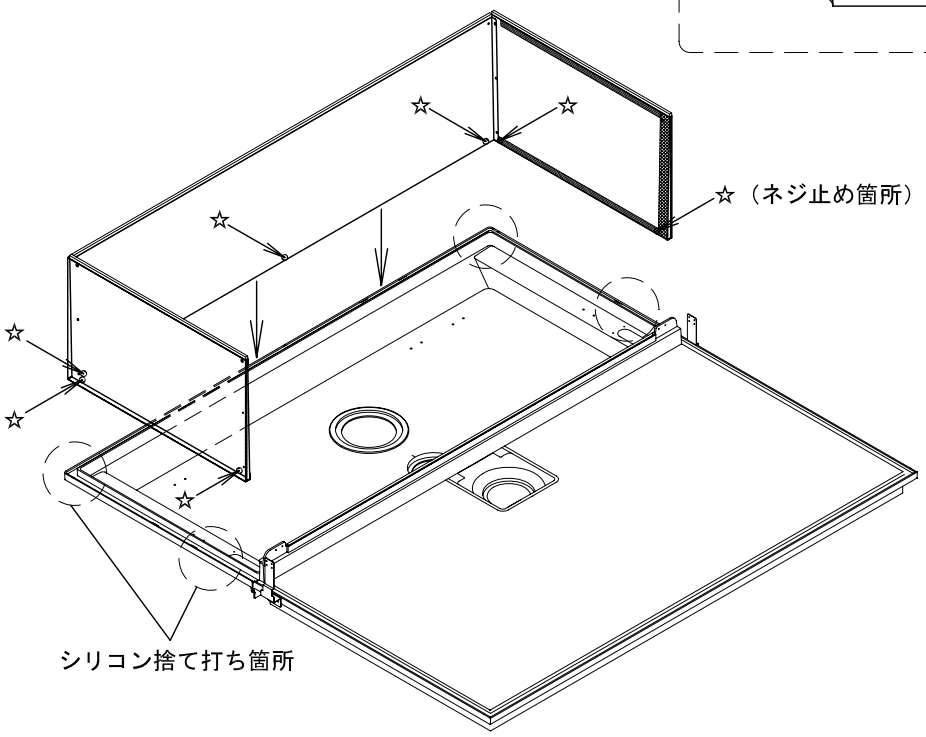
◇使用部材

シリコン 小物セット同梱 

シリコンの塗布量が不十分の場合、漏水の危険性があるため、
浴槽パン側にはみ出す程度になるよう、十分に塗布すること。







防水枠 ［ 組立　　設置 ］

210 ②浴槽パン「有り」の場合

共通

(3)防水枠部材等の組付け

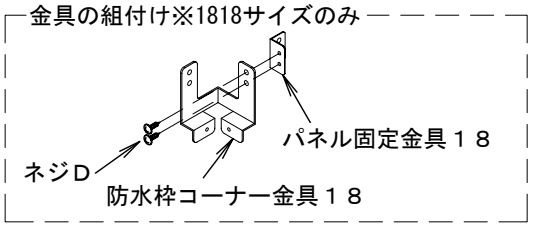
防水枠コーナー金具を防水枠に、浴槽固定材を浴槽パンに下図のように固定する。

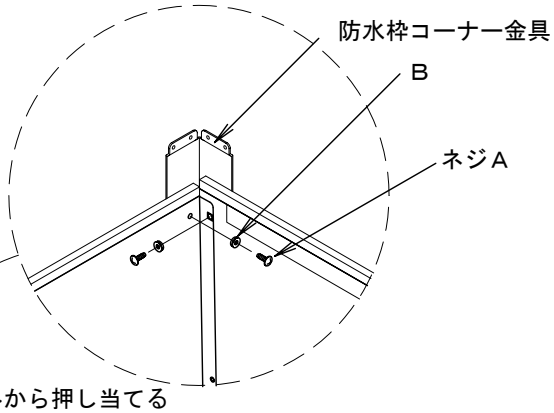
◇使用ネジ

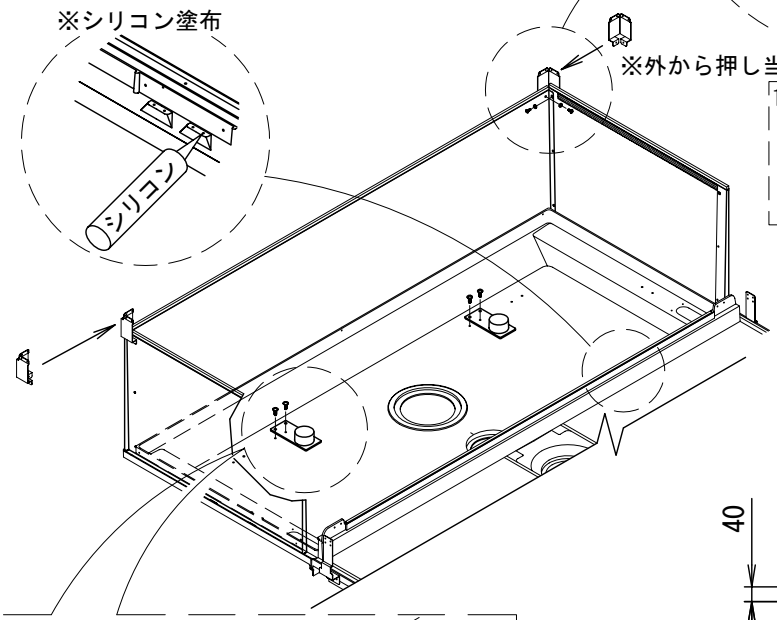
トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 防水枠同梱	4本	A		B１トラスタッピンネジ6×12SUS 先端形状 みぞ 浴槽同梱	全身浴：4本 半身浴：2本	C
ボンデットワッシャー 形状 防水枠同梱	4本	B		トラスタッピンネジ4x10CR 先端形状 コモノセット同梱	2本	D

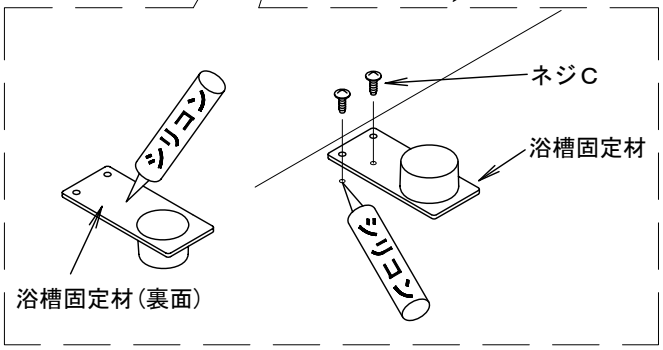
◇使用部材

防水枠コーナー金具 防水枠同梱	2個	使用ネジ A・B
防水枠コーナー金具１８ １８カウンター同梱 ※1818サイズのみ	1個	使用ネジ A・B
パネル固定金具１８ １８カウンター同梱 ※1818サイズのみ	1個	使用ネジ D
浴槽固定材 浴槽同梱	全身浴：2個 半身浴：1個	使用ネジ C
シリコン 小物セット同梱		

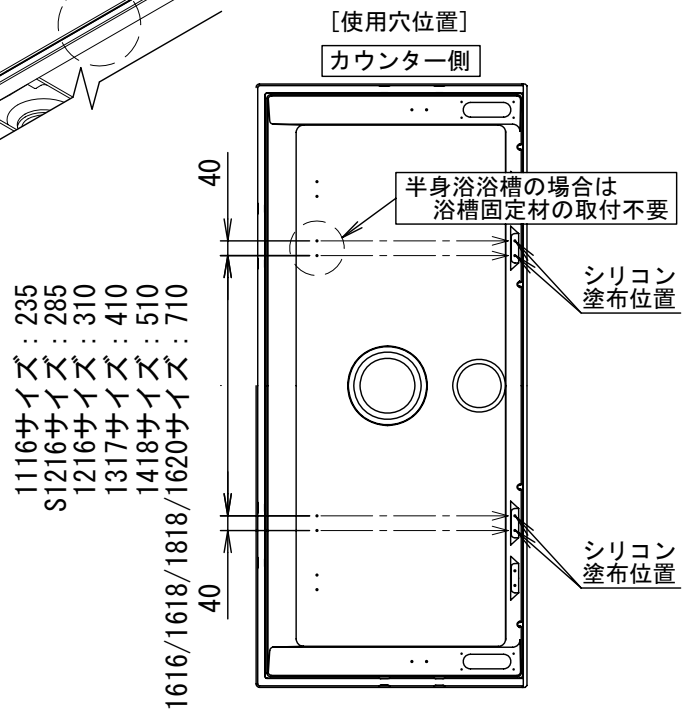








※シリコン塗布は、音鳴り防止用のために必要



防水枠 [組立　設置]
②浴槽パン「有り」の場合

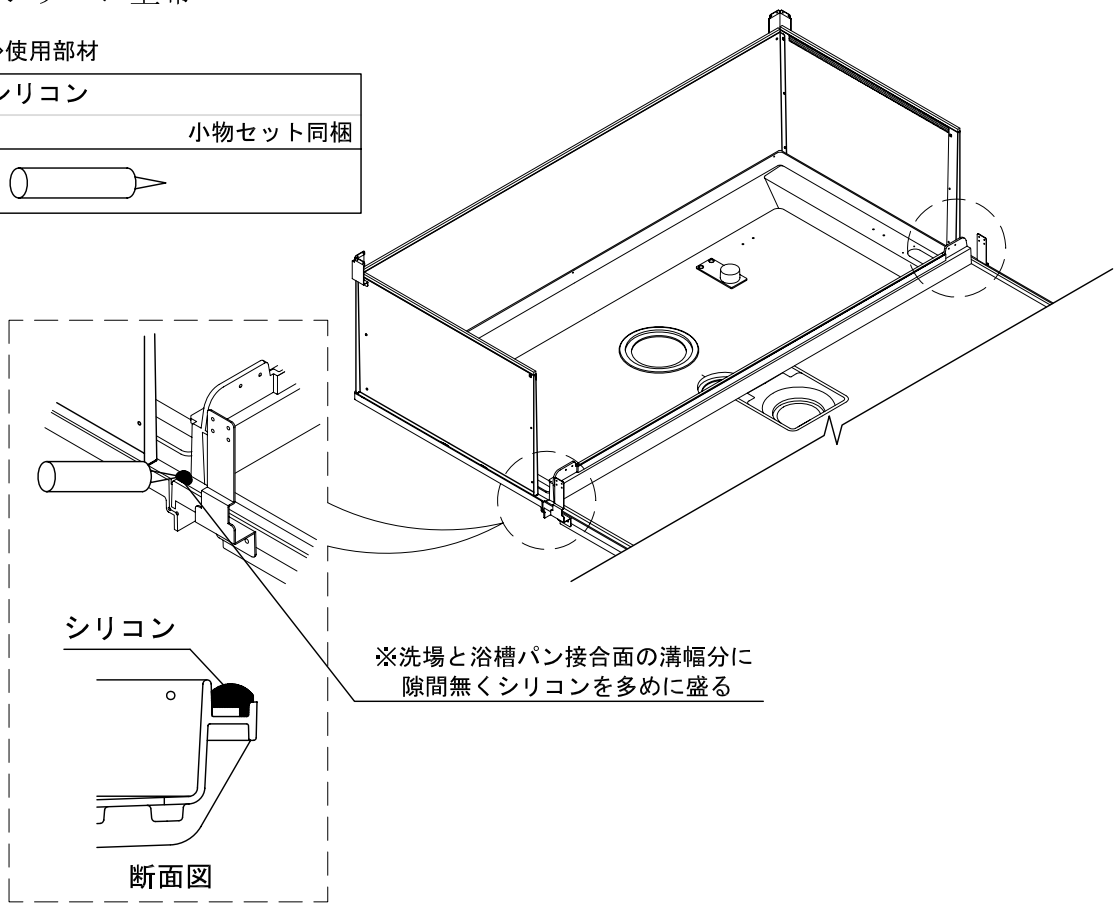
共通

(4)サイドスペーサーの設置準備

①シリコン塗布

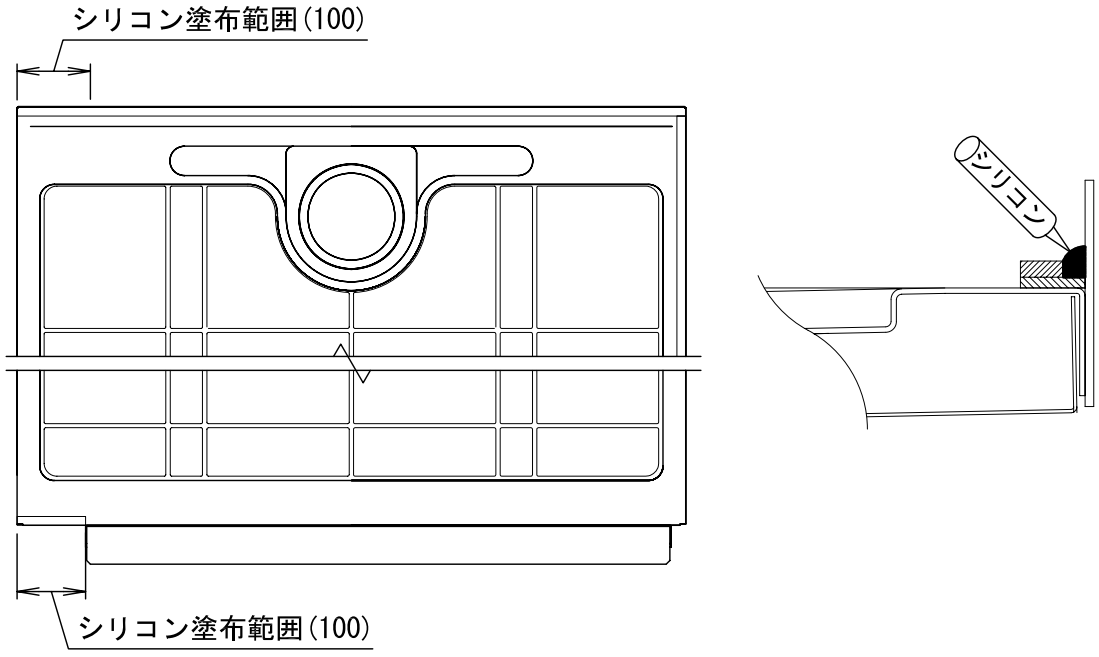
◇使用部材

シリコン
小物セット同梱



(タフロアの場合のみ)

2層パッキンのサイドスペーサー取付部分にシリコンを塗布する。



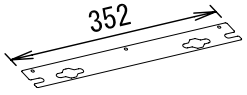
②スペーサーチャンネルK4の取付

サイドスペーサーの裏面にスペーサーチャンネルＫ４をビス固定する。

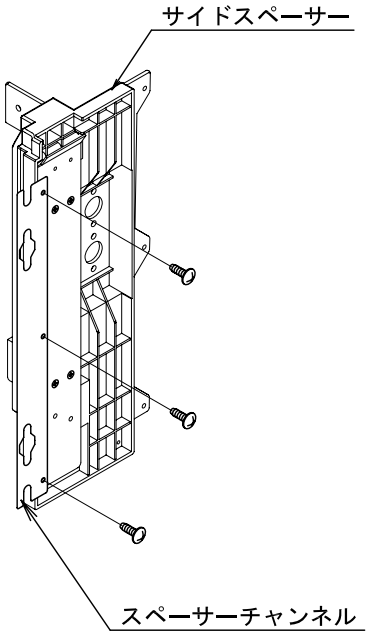
◇使用ネジ

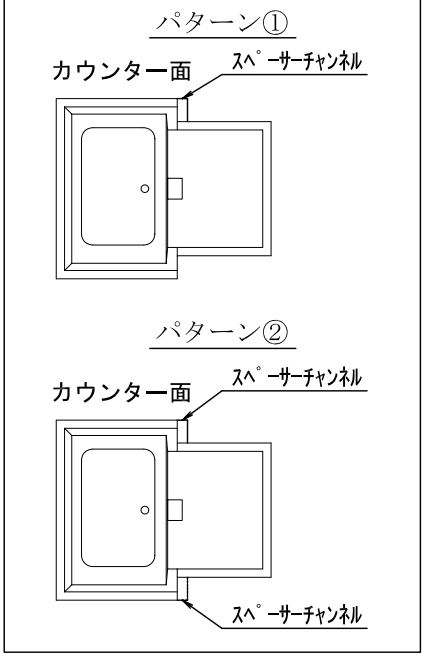
トラスデルタイトM4×12 先端形状 小物セット同梱	6本

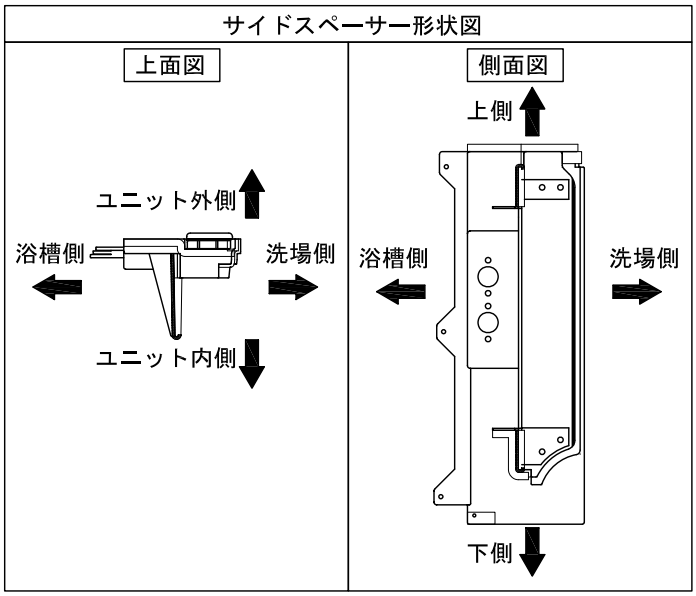
◇使用部材

スペーサーチャンネルＫ４ ＨＰアングルセット同梱 	2個

サイズ	A勝手	B勝手
1116	ﾊﾟﾀｰﾝ①	ﾊﾟﾀｰﾝ②
S1216		
1216		
1317	ﾊﾟﾀｰﾝ②	
1418		
1616	ﾊﾟﾀｰﾝ①	ﾊﾟﾀｰﾝ②
1618	ﾊﾟﾀｰﾝ②	
1818		
1620		





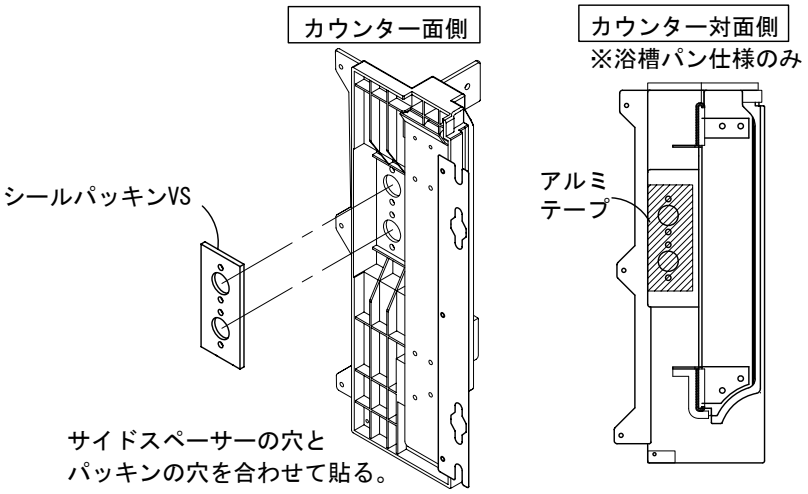


③パッキンの貼り付け

・サイドスペーサー（カウンター面側）の裏面にシールパッキンVSを貼り付ける。
・サイドスペーサー（カウンター対面側）の給湯管取付穴をアルミテープで塞ぐ。
※浴槽パン仕様の場合のみ

◇使用部材

シールパッキンVS 給水給湯管同梱	1枚
アルミテープ 防水枠同梱	1枚

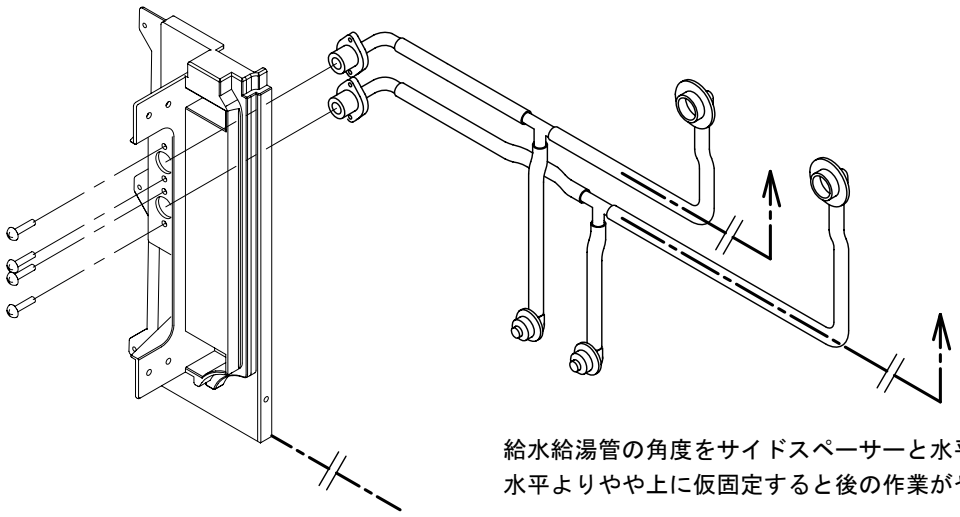


④給水給湯管の取り付け

・(2)でパッキンを取り付けたサイドスペーサー（カウンター面側）に給水給湯管をトラスコネジM4x10にて仮固定する。

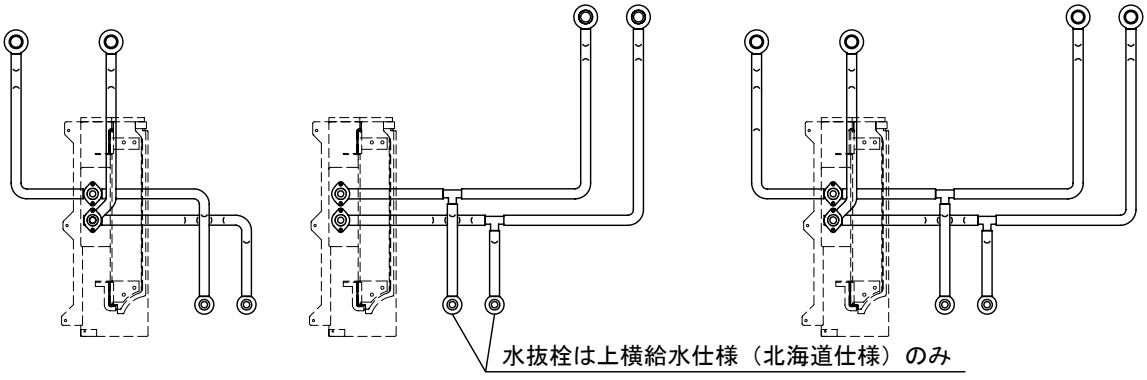
◇使用ネジ

トラスコネジ4×10SUS 先端形状 給水給湯管同梱	4本



給水給湯管の角度をサイドスペーサーと水平または
水平よりやや上に仮固定すると後の作業がやり易くなります。

［兼用水栓仕様の場合］　［１水栓・２水栓仕様の場合］　［２水栓（浴槽側壁付水栓）の場合］



サイドスペーサー［組立　設置］

②浴槽パン「有り」の場合

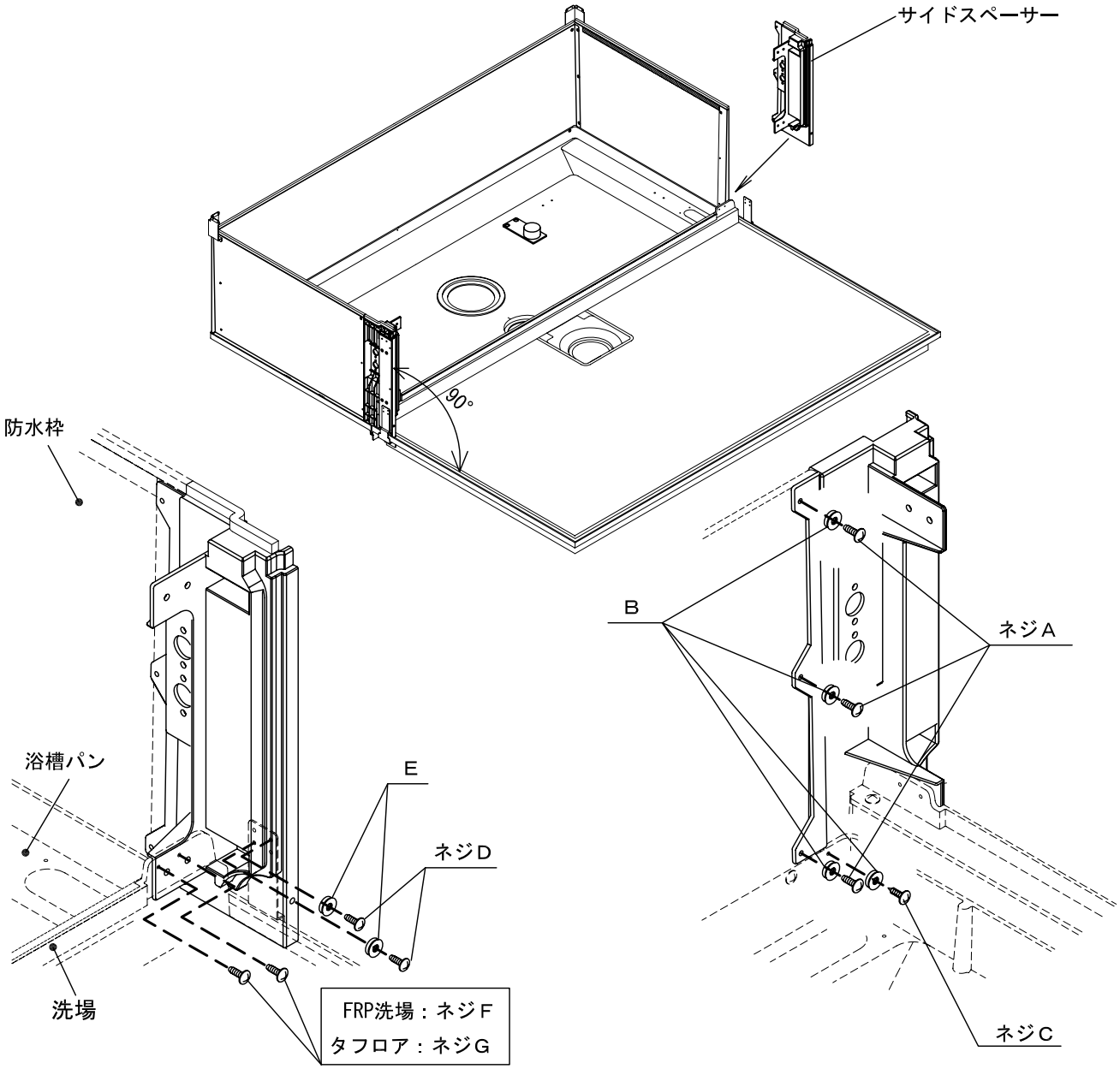
共通

(5)サイドスペーサーの設置

下図を参照し、サイドスペーサーの設置状態を確認し、固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 防水枠同梱	6本	A
ボンデットワッシャー 形状 防水枠同梱	8本	B
B１トラスタッピンネジ4×16SUS 先端形状 みぞ 防水枠同梱	2本	C
トラスデルタイトネジ4×20SUS 先端形状 サイドスペーサー同梱	4本	D
ボンデットワッシャー 形状 サイドスペーサー同梱	4本	E
B１トラスタッピンネジ4×14SUS 先端形状 みぞ サイドスペーサー同梱	4本	F
トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 バックガードセット同梱	4本	G



サイドスペーサー［組立　設置］

②浴槽パン「有り」の場合

共通

10. 浴槽の設置(設置準備・設置・固定)

(1)浴槽の設置準備

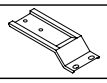
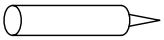
下図を参照し、浴槽に部材を取り付ける。

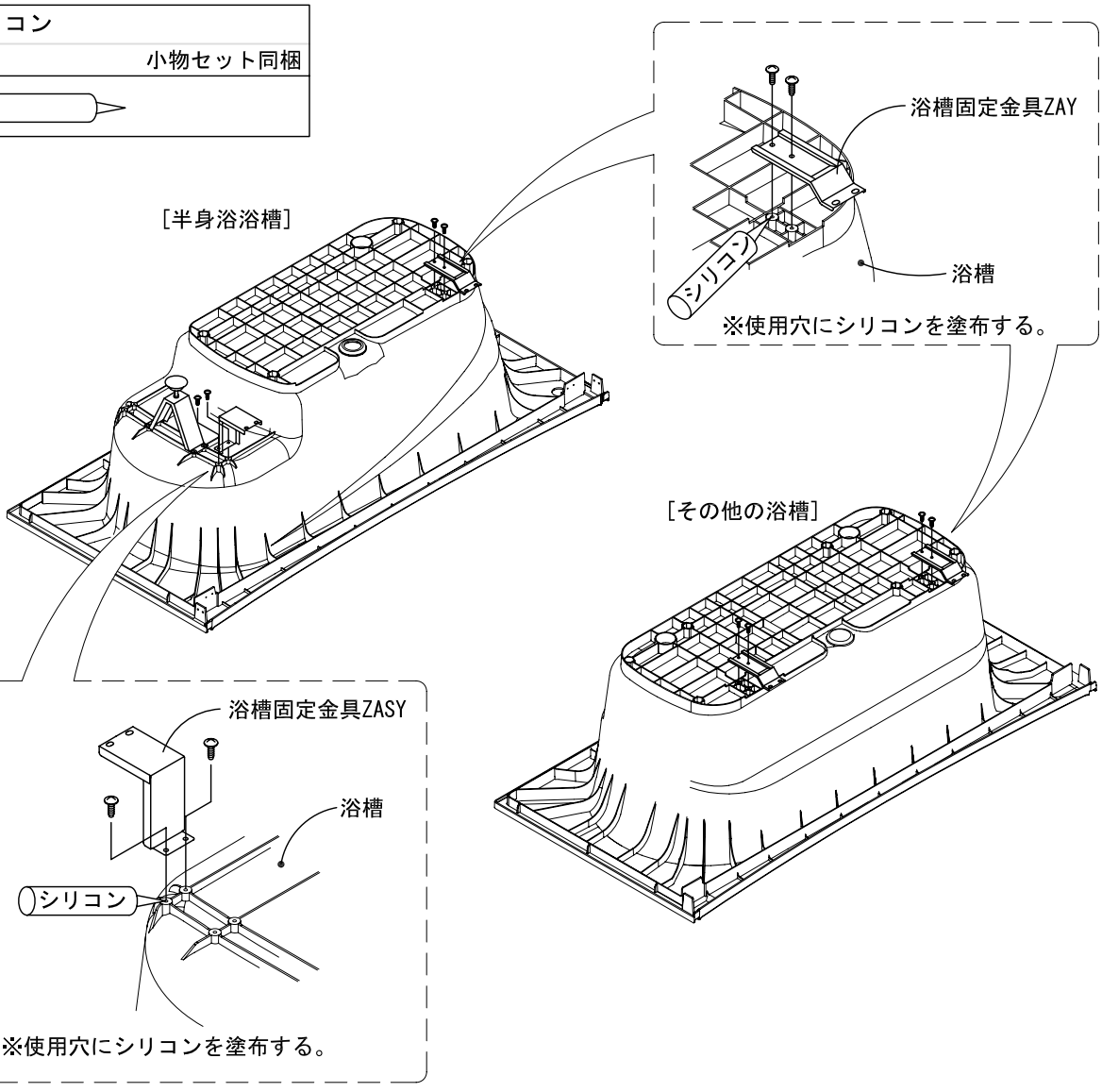
※シリコン塗布は、音鳴り防止のために必要。

◇使用ネジ

Ｂ１トラスタッピンネジ6×16SUS 先端形状 みぞ　浴槽同梱	4本

◇使用部材

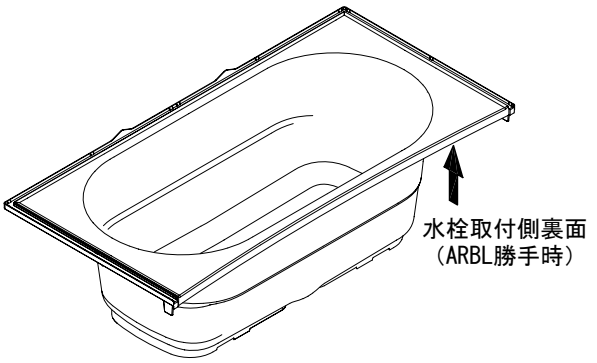
浴槽固定金具ZAY 浴槽同梱 	全身浴：2個 半身浴：1個
浴槽固定金具ZASY 浴槽同梱 	全身浴：なし 半身浴：1個
シリコン 小物セット同梱 	



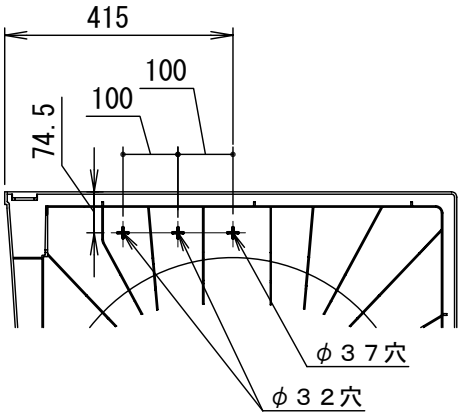
(2)浴槽側水栓・循環金具の取付

1 浴槽側水栓用穴あけ

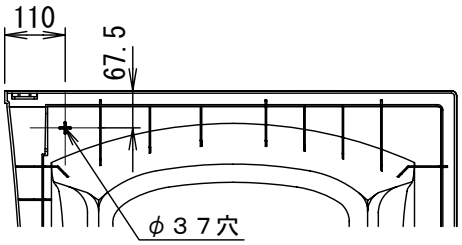
・浴槽裏側のケガキに従って、穴あけを行い、水栓を取り付ける。



[1616/1618/1818/1620サイズ]



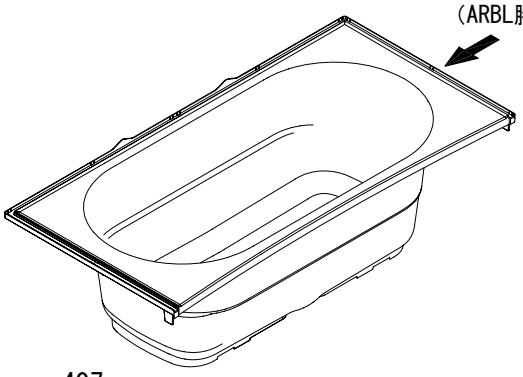
[1116/S1216/1216/1317/1418サイズ]

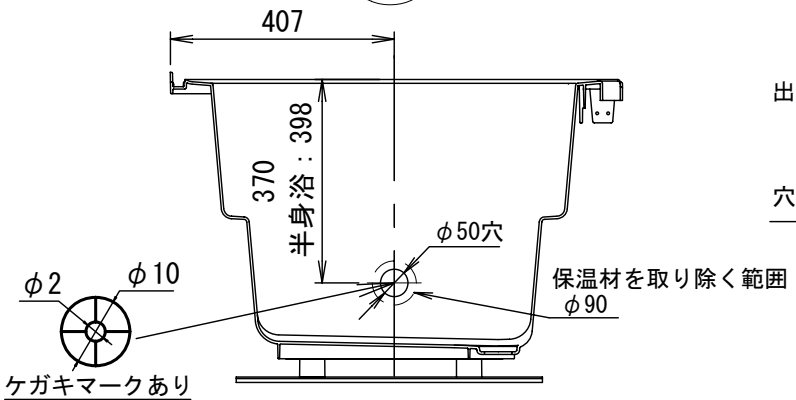


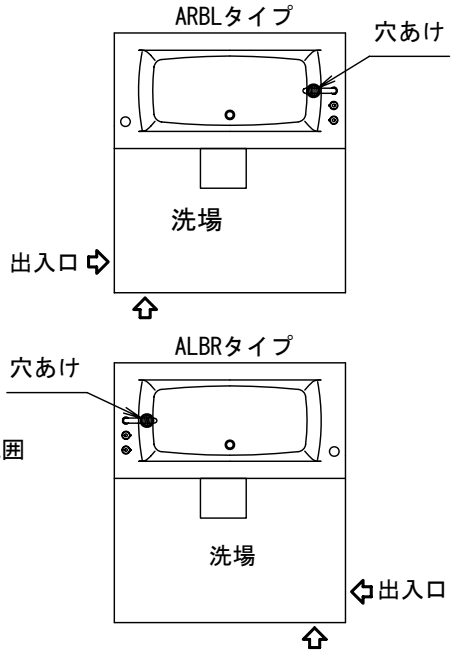
2 循環金具穴あけ

・設置するユニットの勝手に合わせ、下図を参照し、
ケガキに合わせてφ５０の穴をあける。

・穴あけ後、浴槽裏面の保温材をφ９０程度取り除き、
循環金具を取り付けてください。







保温材を取除かないまま循環金具を取付けると
漏水の恐れがあります。

浴槽 [組立 穴あけ 設置]

②浴槽パン「有り」の場合

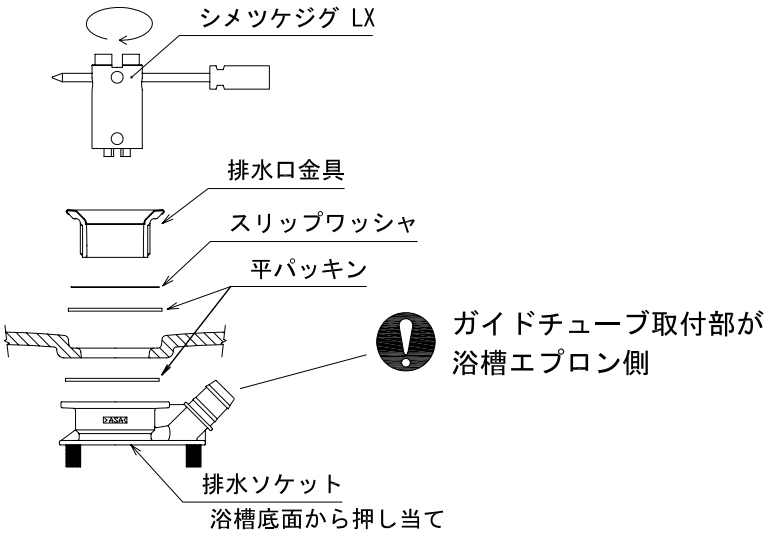
共通

(3)ワンプッシュ排水栓の取付

下図を参照し、浴槽に排水口金具を取り付ける。

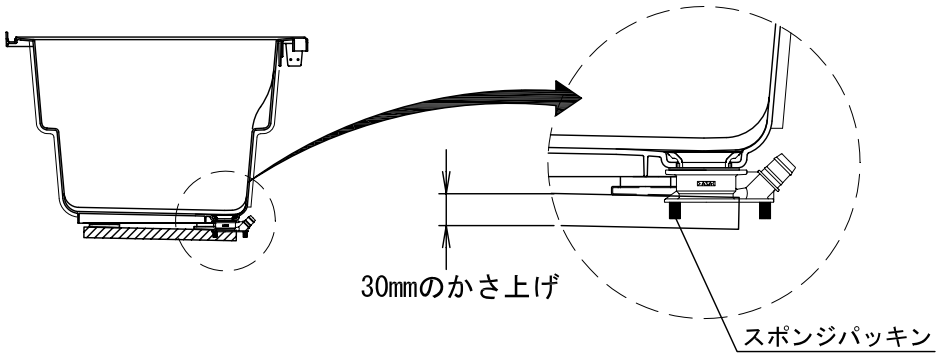
◇使用工具

シメツケジグＬＸ
専用工具（10138709）



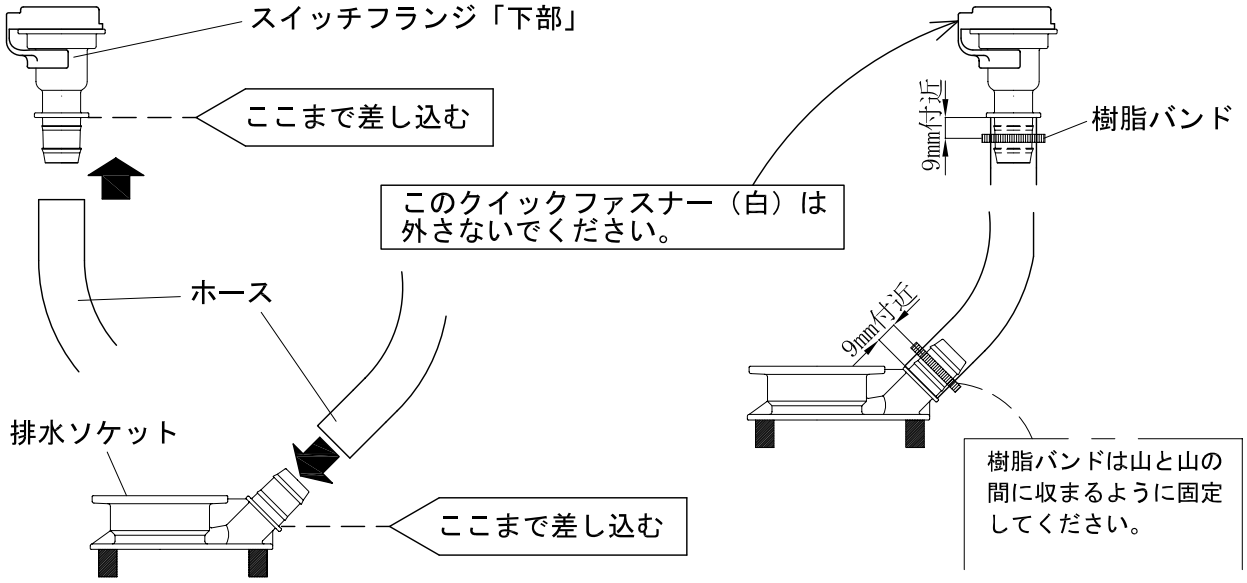
浴槽の直置き禁止

浴槽を直に置くと、スポンジパッキンが床に擦れて破損します。
スペーサー等で３０mm程度かさ上げした状態で保管してください。
浴槽搬入や設置の際、スポンジパッキンが破損しないように慎重に行ってください。

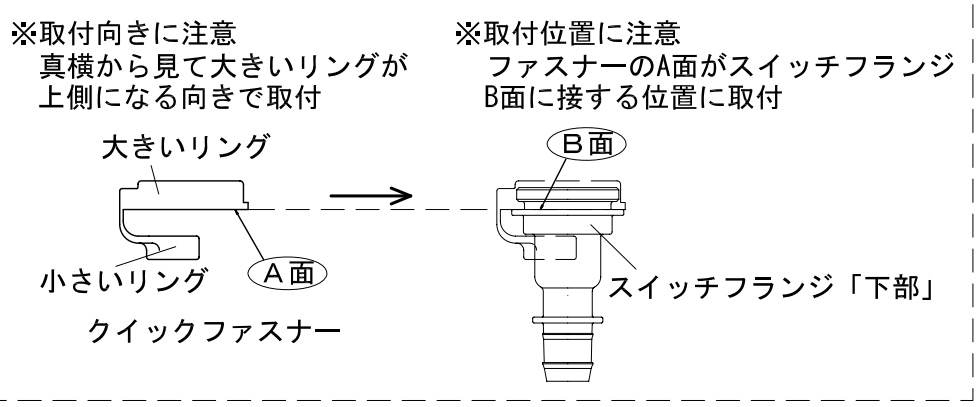


(4)ワンプッシュ排水栓用ホースの接続

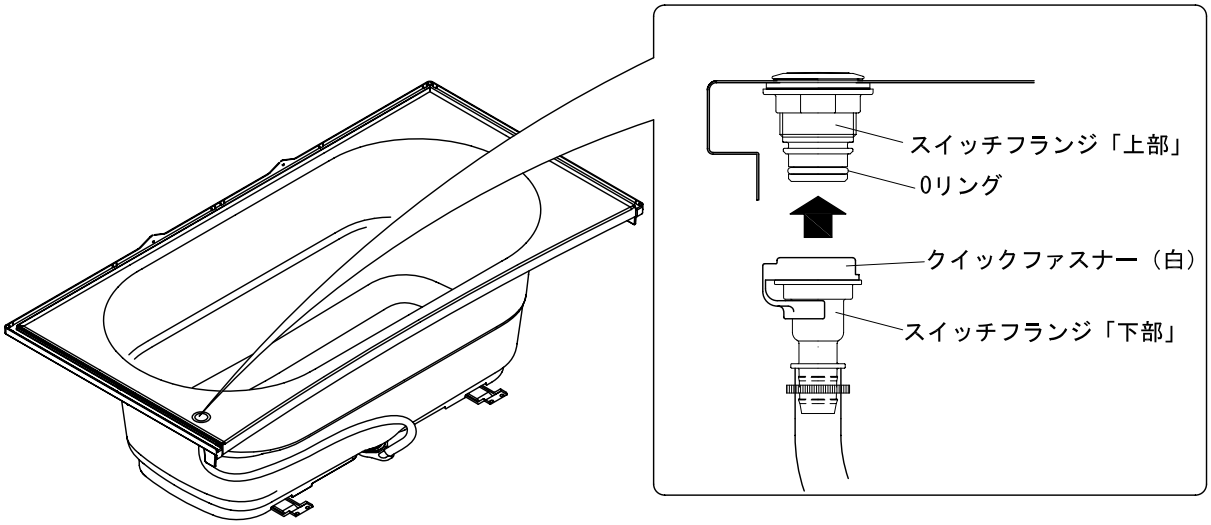
①ホースをエプロン側開口から取り出し、
スイッチフランジ「下部」をホースに差し込んだ後、
樹脂バンドで固定する。



＜参考＞クイックファスナーが外れた場合



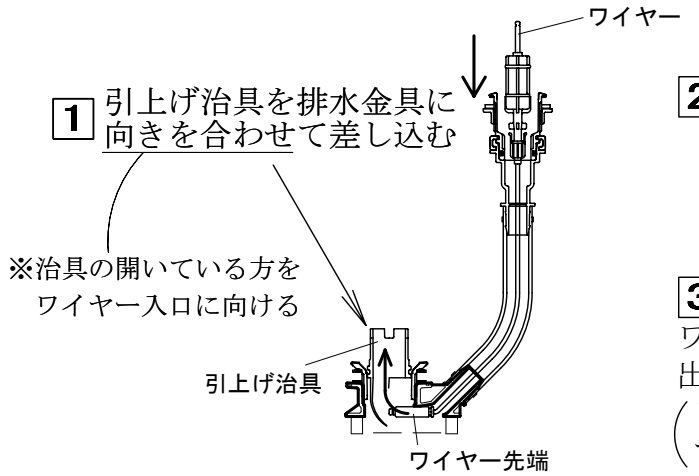
②スイッチフランジ上部に、スイッチフランジ下部を
カチッ と音がするまで差し込む。



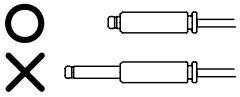
ワンプッシュの取付
②浴槽パン「有り」の場合

共通

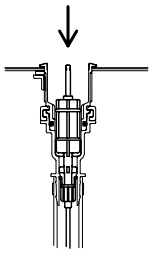
(5) ワイヤー等の機能部品の取付



2 ワイヤー先端が飛び出ていないことを確認してワイヤーを入れる

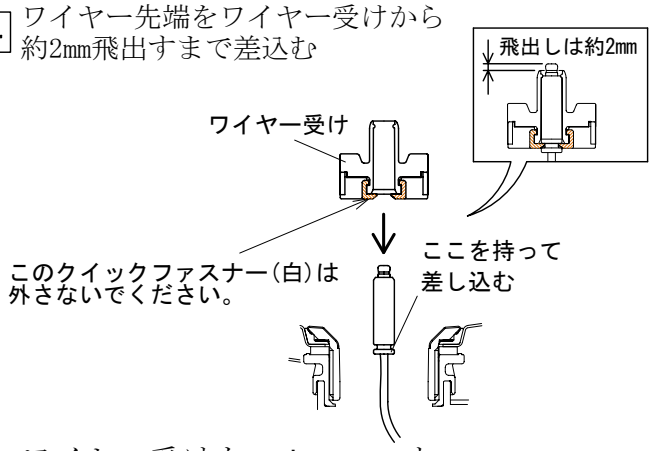


3 ワイヤー先端が引上げ治具から出てきたことを確認後奥まで押し込む
（ワイヤー先端が出る前に押し込みますとワイヤーが座屈する場合があります。）

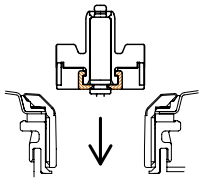


ワイヤー先端はラジオペンチ等でつかまないでください。

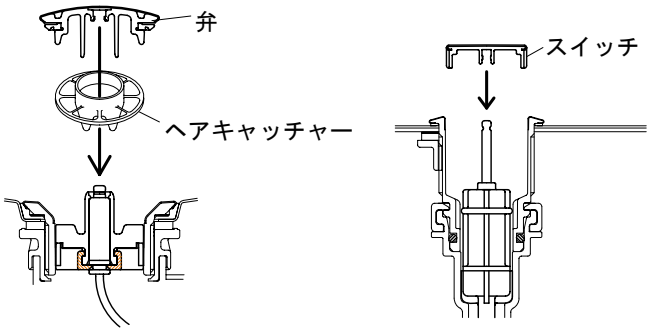
4 ワイヤー先端をワイヤー受けから約2㎜飛出すまで差込む



5 ワイヤー受けを　カチッ　と音がするまで押し込む。



6 排水口にヘアキャッチャーをセットし、弁とスイッチを　カチッ　と音がするまで垂直に押し込む。



7 最後に、4回以上スイッチを押し作動確認をする。

ワンプッシュの取付
②浴槽パン「有り」の場合

共通

(6)浴槽の設置

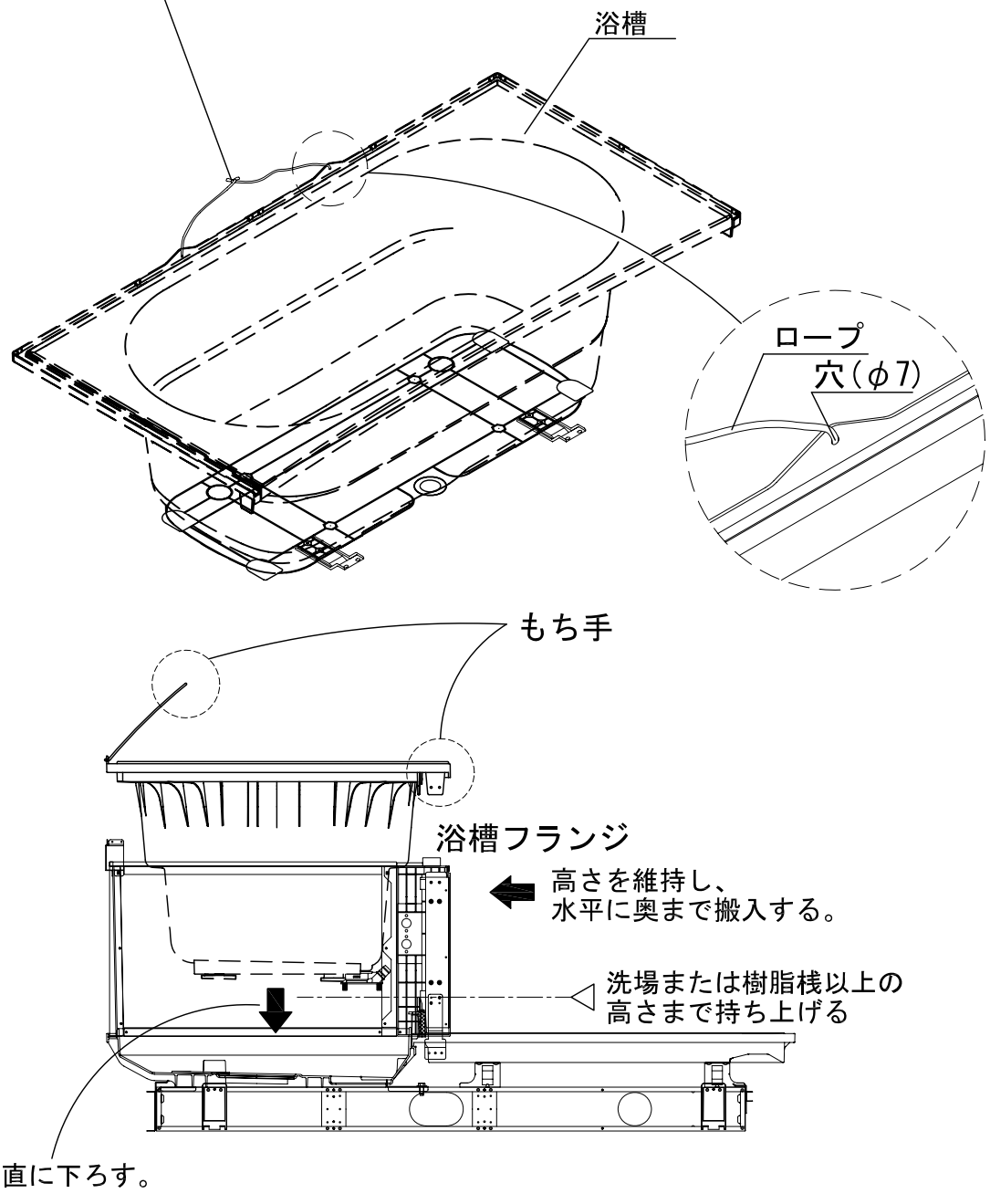
本ページおよび次のページを参照し、ロープを使用して浴槽を設置する。

◇使用部材

ロープ：φ5径の丈夫なもの（市販品）	約1.5m

ハンドグリップを搬入に使用すると、破損の恐れがあるため、絶対に使用しないこと。

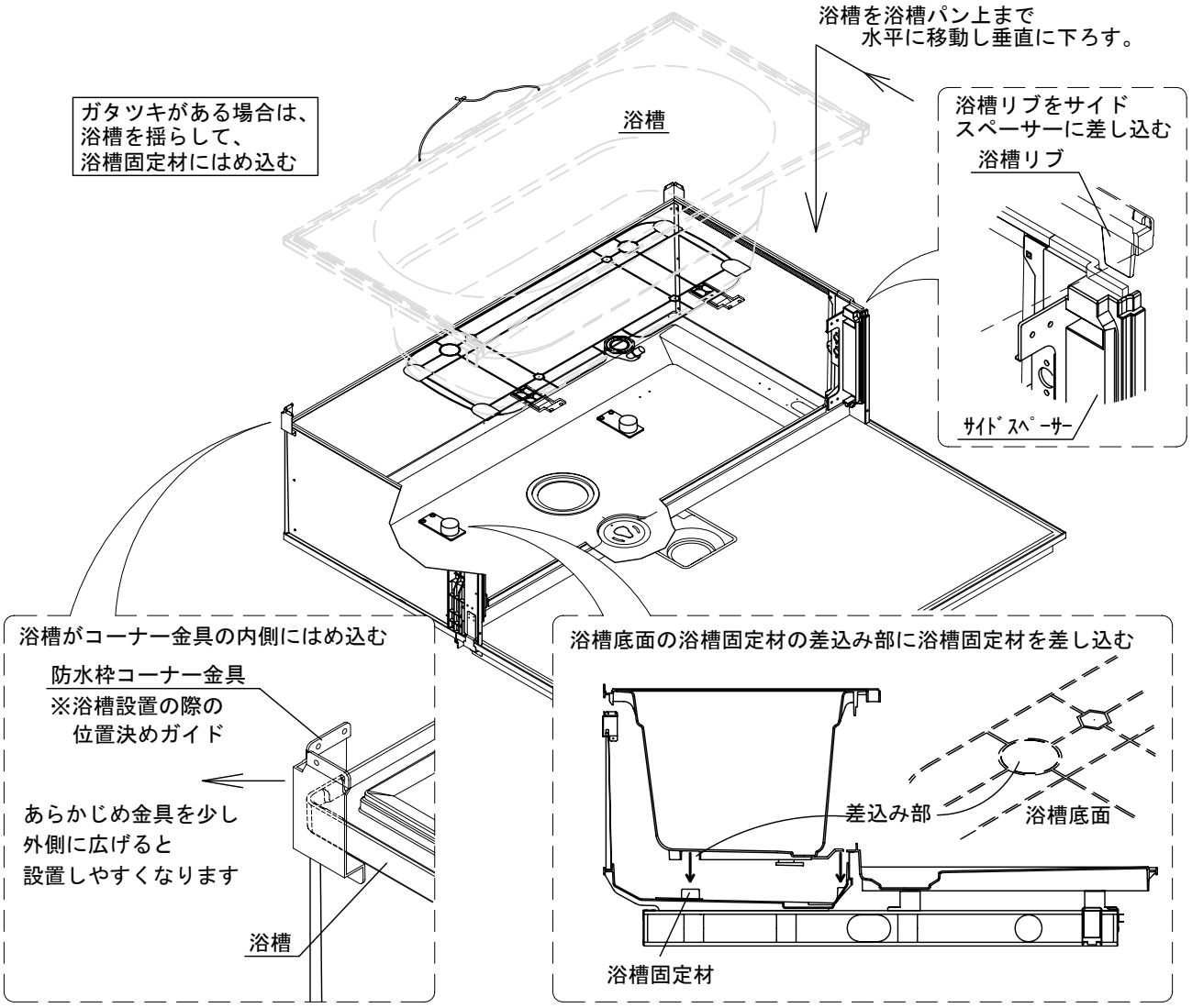
注意 浴槽の重量は約35ｋｇ程度です。
ロープは破断しないよう丈夫なものを選択し、
結び目がほどけないよう、しっかりと結ぶこと。

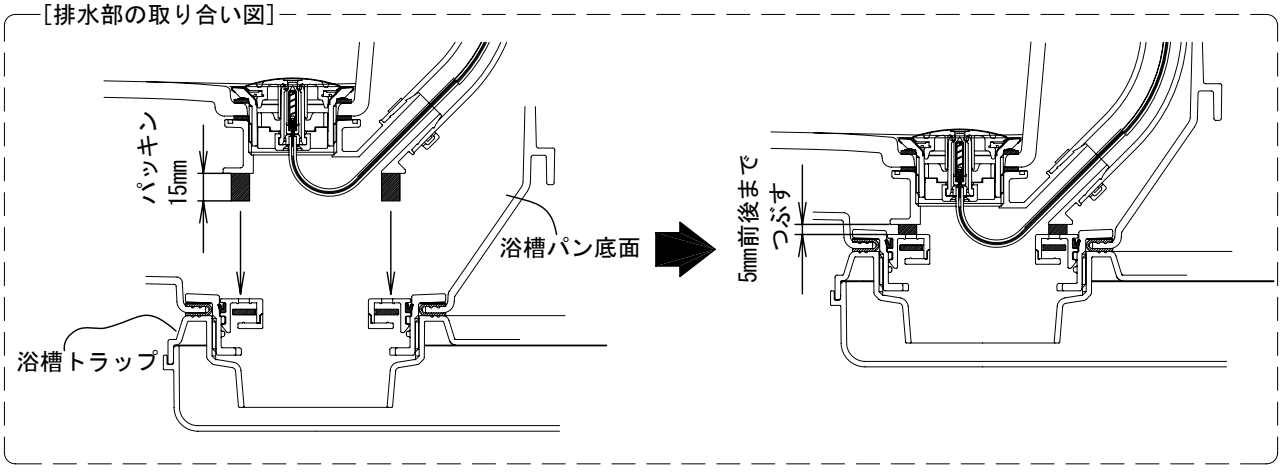


浴槽 ［ 組立 穴あけ 設置 ］
②浴槽パン「有り」の場合

共通

・設置後浴槽排水部のパッキンが5㎜前後までつぶれているか確認すること。
・浴槽を設置する際はパッキンが他部材に干渉して破損しないように慎重に行うこと。
・パッキンがよじれてないか確認し、よじれている場合は、再度持ち上げた後
ゆっくり下ろしてよじれをなくすこと。





浴槽 [組立 穴あけ 設置]

222 ②浴槽パン「有り」の場合

共通

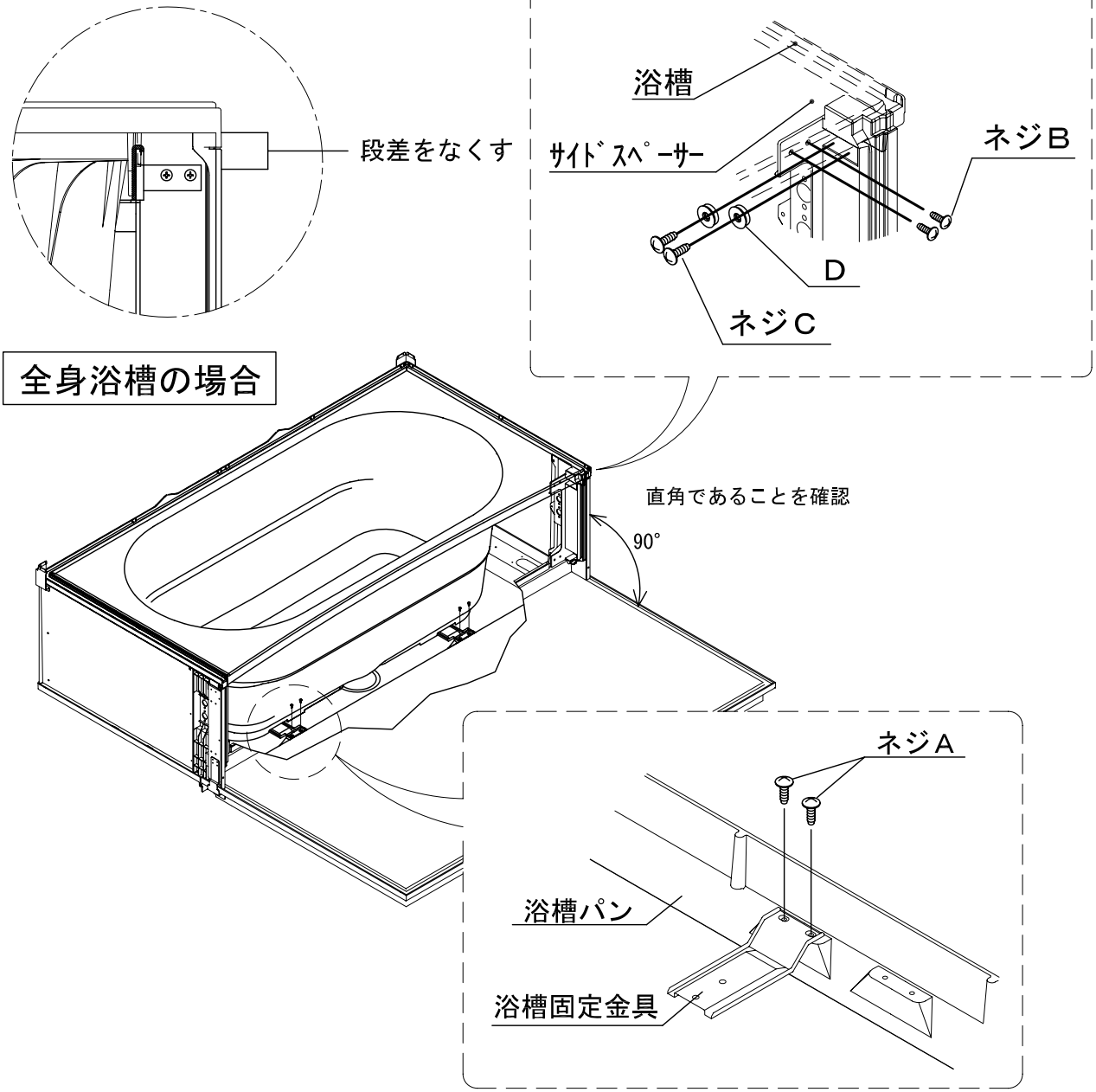
(7)浴槽の固定

下図を参照し、浴槽を固定し、浴槽とサイドスペーサーを連結する。

◇使用ネジ

B１トラスタッピンネジ6×12SUS 先端形状 みぞ　浴槽同梱	4本	A
B１トラスタッピンネジ4×16SUS 先端形状 みぞ　サイドスペーサー同梱	4本	B
トラスデルタイトネジ4×20SUS 先端形状　サイドスペーサー同梱	4本	C
ボンデットワッシャー 形状　サイドスペーサー同梱	4本	D

※浴槽とサイドスペーサーに
段差が無いことを確認



半身浴浴槽は次ページ参照

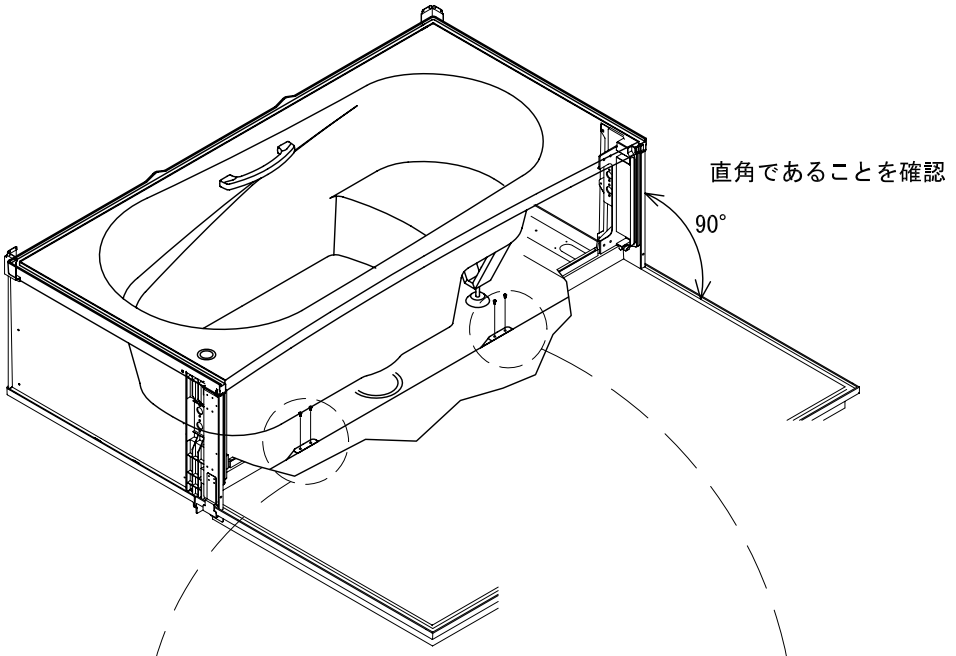
浴槽　[組立 穴あけ 設置]
②浴槽パン「有り」の場合

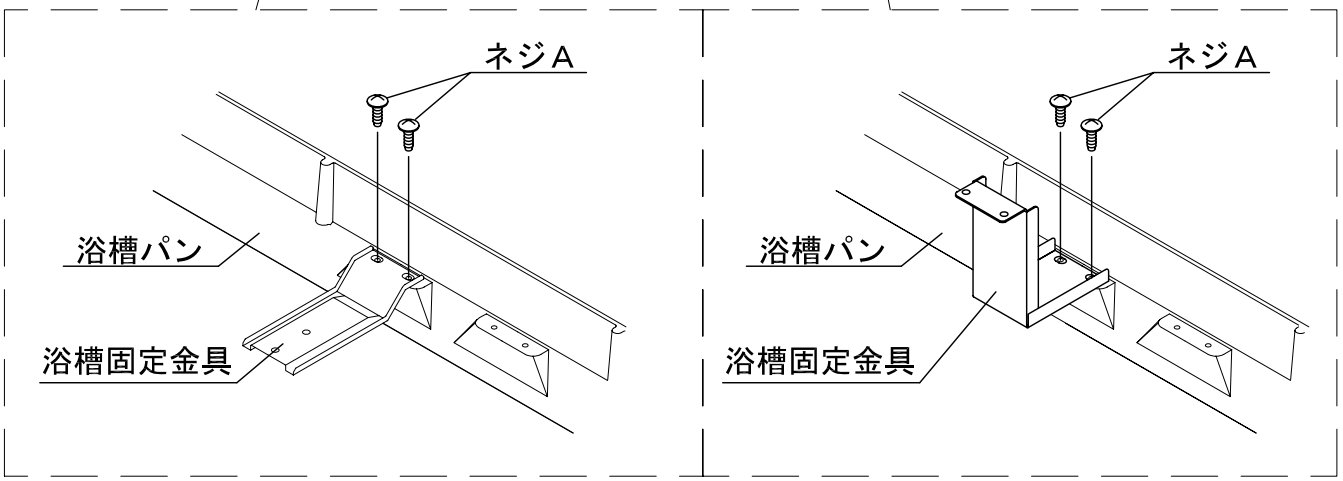
共通

半身浴浴槽の場合

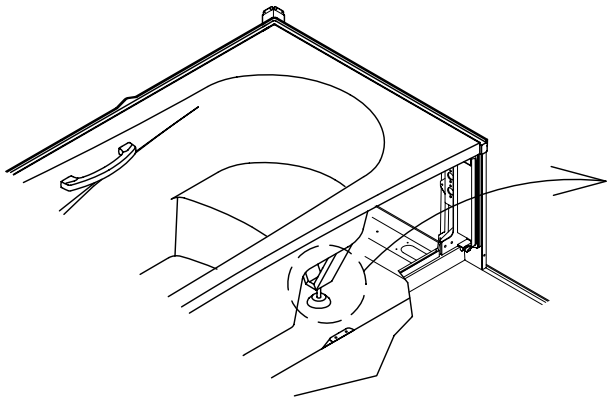
◇使用ネジ

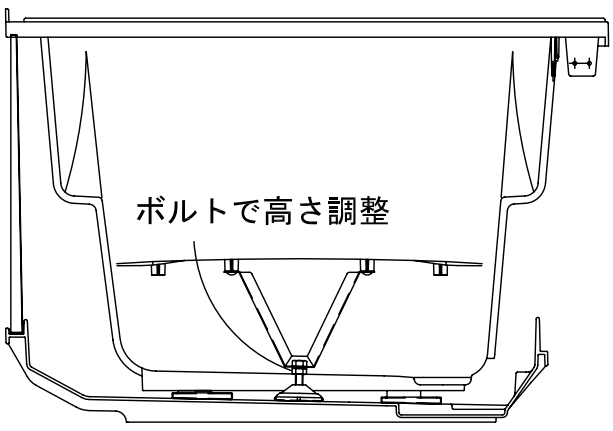
Ｂ１トラスタッピンネジ6×12SUS 先端形状 みぞ　浴槽同梱	4本	A





浴槽パンと浴槽脚の間に隙間がある場合はボルトで高さを調整すること





共通

作業：Ｅ　その他仕様 下台組付け手順

※基本手順と異なる手順のみ記載しています。

〈浴槽パン無しの場合〉

架台	組立・設置	P.227～
洗場	組立・設置	P.230～
配管	トラップ取付・漏水チェック	P.246～

◎専用工具
トラップシメツケコウグDM

浴槽	穴あけ・仮置き	P.101～
サイドスペーサー	組立・設置	P.103～
浴槽	固定・トラップ取付	P.108～
ワンプッシュ	取付	P.110～

◎専用工具
ヒキアゲジグLZE
シメツケジグLX

浴槽トラップ	漏水チェック	P.112～
浴槽水栓	取付	P.112～

〈浴槽パン有りの場合〉

架台	組立・設置	P.226～
配管	トラップ取付・設置・漏水チェック	P.230～

◎専用工具
トラップホルダーZA

浴槽パン	組立・設置	P.192～
配管[浴槽パン側]	トラップ取付・接着・漏水チェック	P.198～

◎専用工具
トラップシメツケコウグDM

洗場	組立・設置	P.244～
配管[洗場側]	トラップ取付・漏水チェック・組立	P.247～
防水枠	組立・設置	P.208～
サイドスペーサー	組立・設置	P.212～
浴槽	組立・穴あけ	P.216～
ワンプッシュ	取付	P.218～

◎専用工具
ヒキアゲジグLZE

浴槽	設置	P.221～
浴槽水栓	取付	P.112～

＜設備側工事＞
＜架台の墨出し＞

作業：Ａ

浴槽パン無し　　浴槽パン有り

＜下台組付け手順＞

作業：Ｂ（＋Ｅ）　　作業：Ｄ（＋Ｅ）

＜上台組付け手順＞

作業：Ｃ（＋Ｆ）

1. 架台の組付け手順

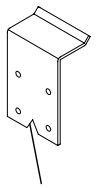
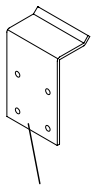
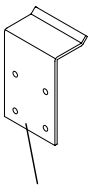
①戸建て用 フレーム架台[浴槽パン有りの場合]

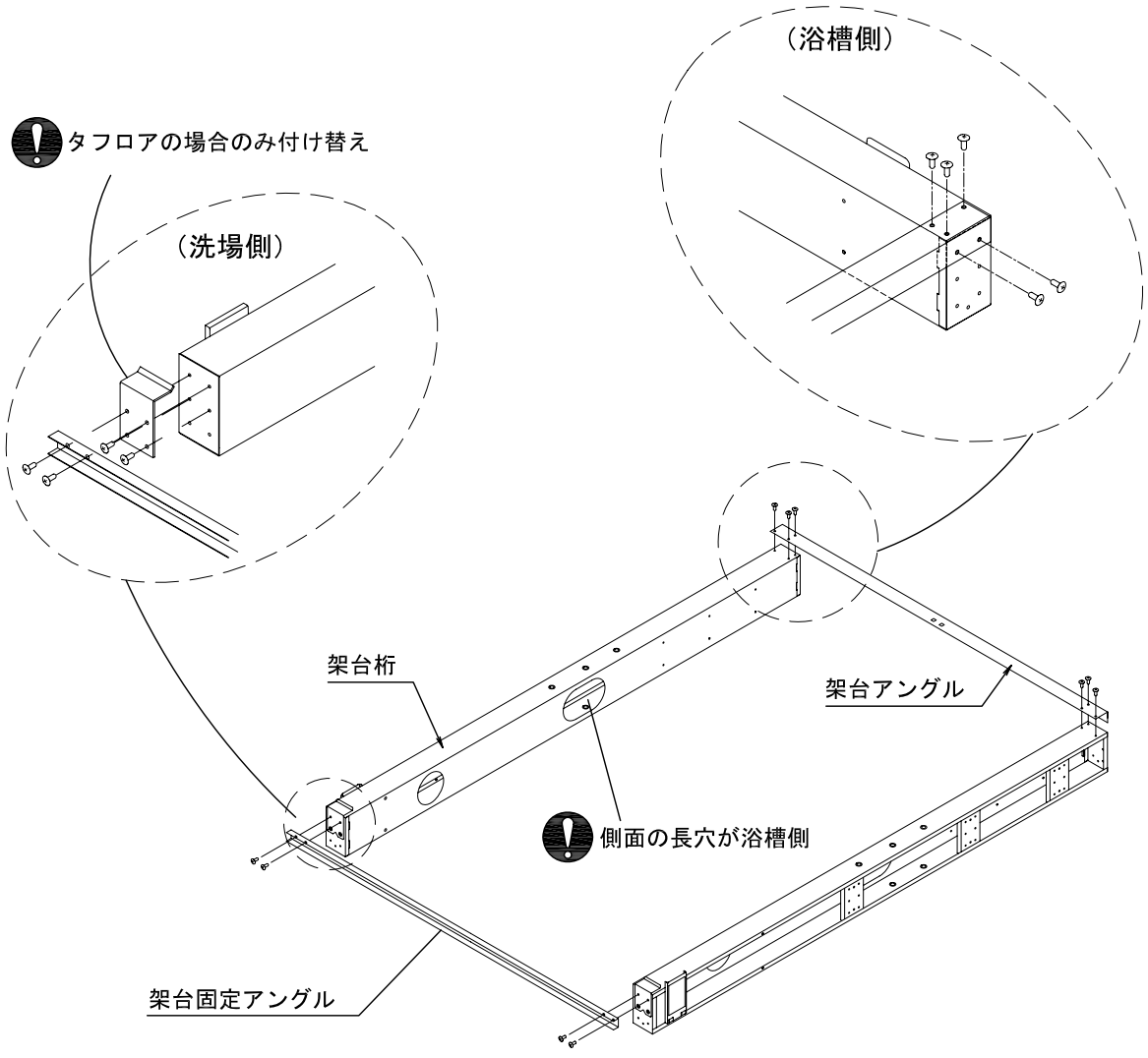
・架台桁に架台支持金具を架台クリップと指定のネジにて共締め固定する。
・次に、架台桁に架台アングルを固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 架台同梱	14本

◇使用部材

洗場側		浴槽側
FRP洗場	タフロア	
架台クリップZCA （架台に組付け済）  切欠き	架台クリップXA （バックガードセット同梱）  切欠き無し	架台クリップXA （架台に同梱）  切欠き無し



架台 [墨出し 組立 設置]

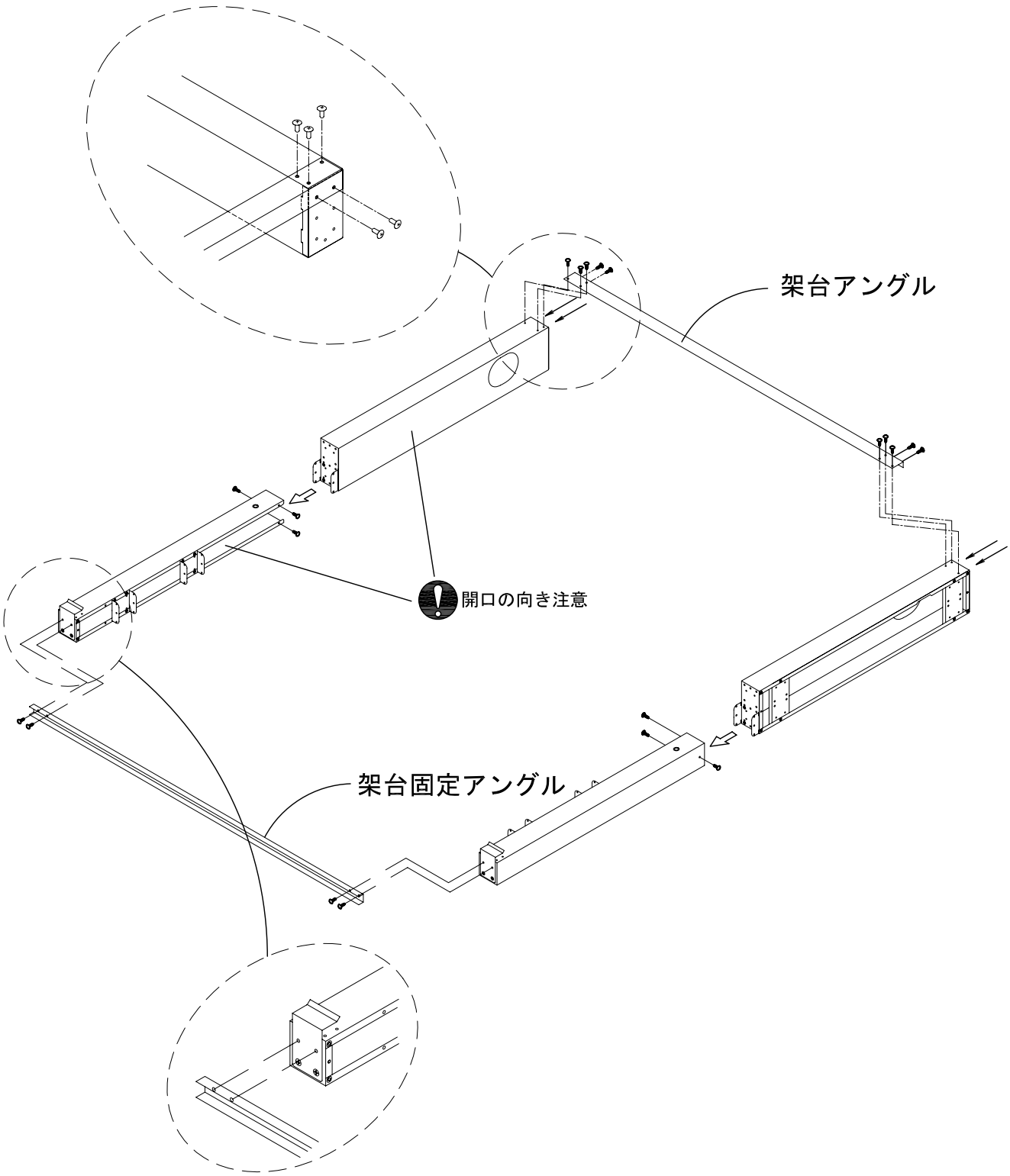
戸建	フレーム	浴槽パン
階上	ボルト	無 有

②階上設置用 フレーム架台[浴槽パン無しの場合]

・架台桁同士を接続し、共締め固定する。
・架台桁に架台固定アングルを架台クリップと指定のネジにて共締め固定する。
・次に、架台桁に架台アングルを固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 架台同梱	20本



架台 [墨出し 組立 設置]

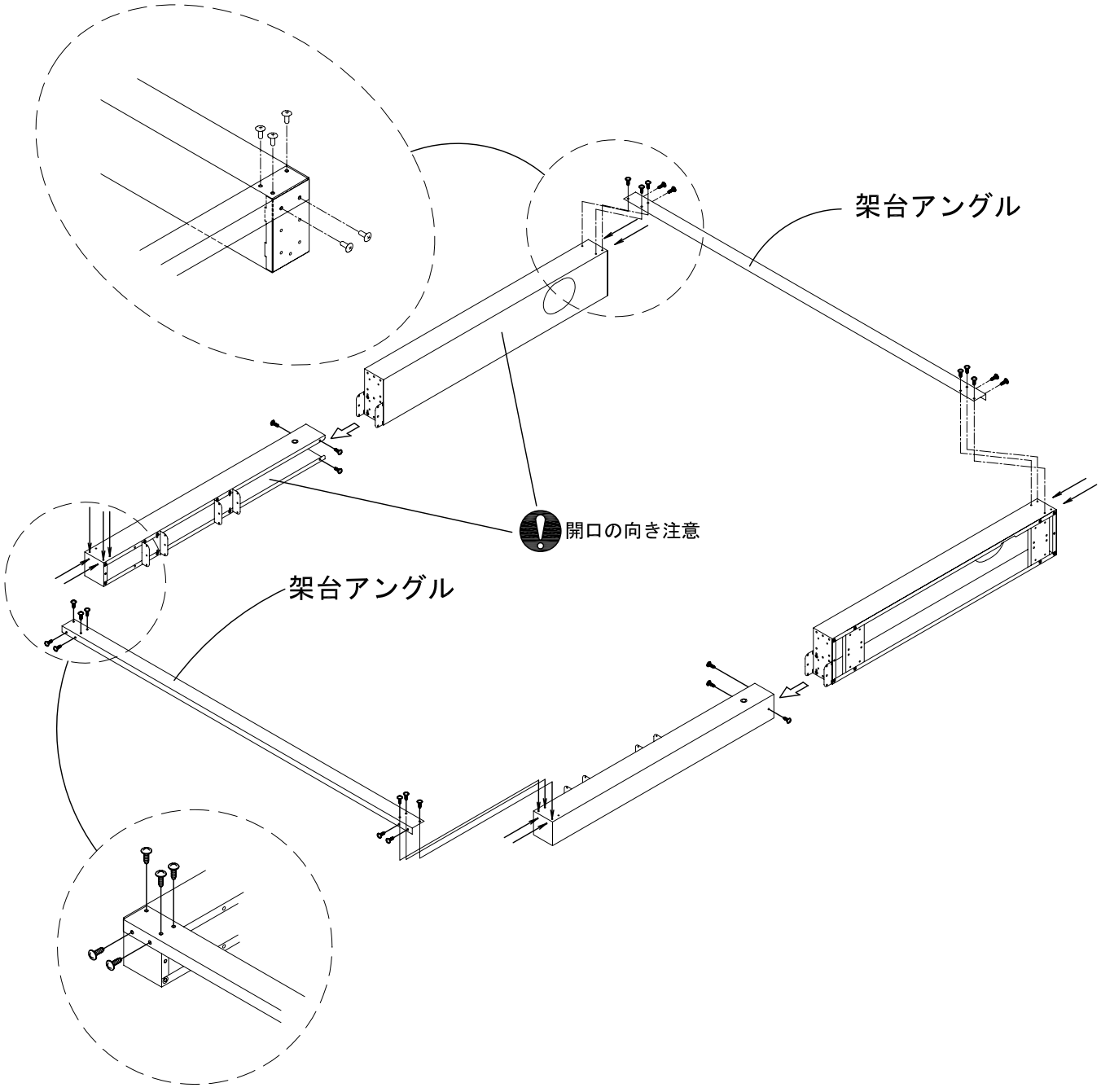
戸建 階上	ﾌﾚｰﾑ ﾎﾞﾙﾄ	浴槽ﾊﾟﾝ 無 有

③階上設置用 フレーム架台[浴槽パン有りの場合]

・架台桁同士を接続し、共締め固定する。
・次に、架台桁に架台アングルを固定する。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 架台同梱	26本



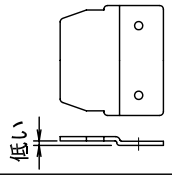
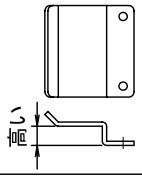
④戸建て用　ボルト架台・脚高ボルト脚架台の場合

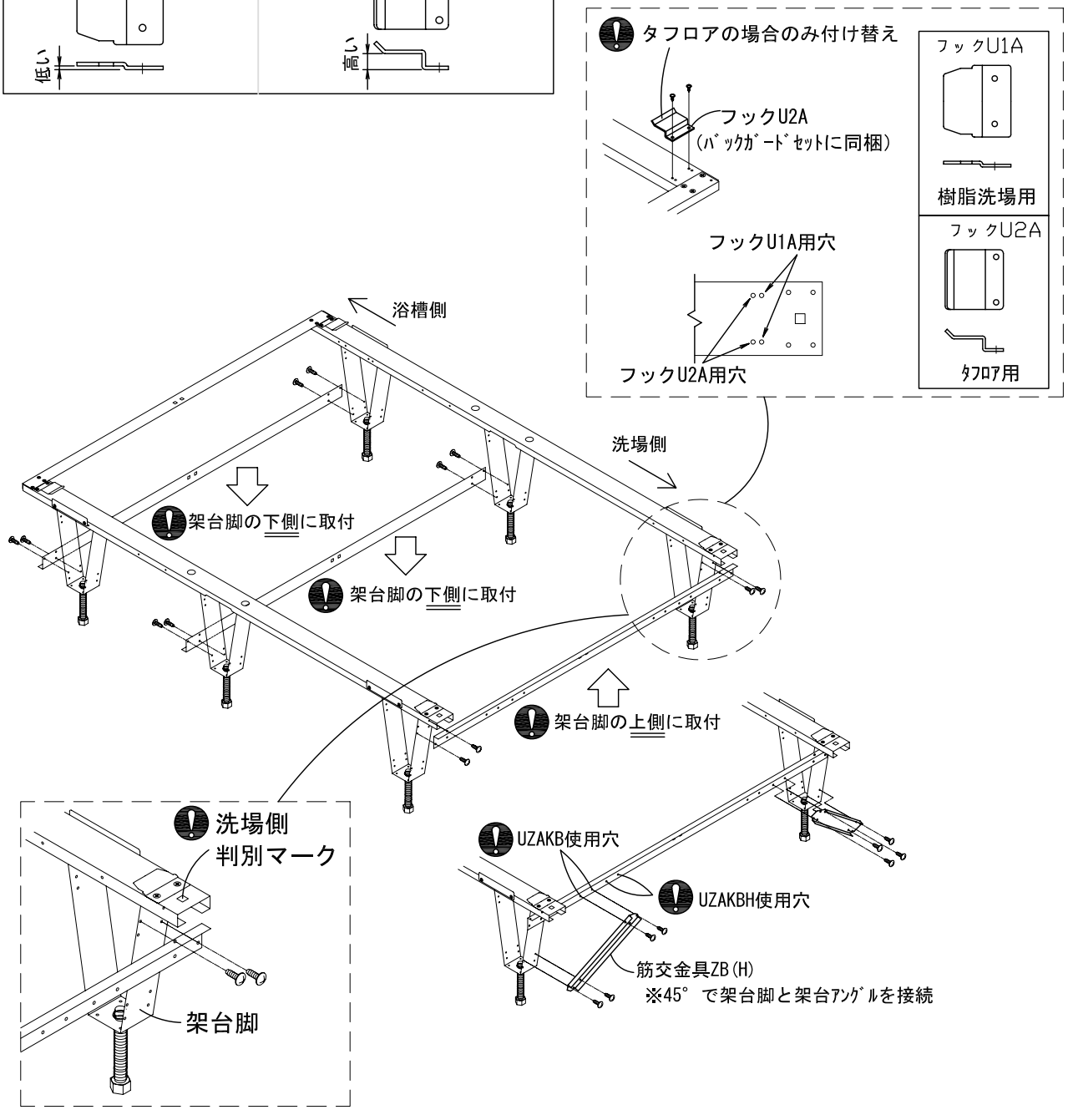
・架台桁および架台脚に架台アングルを固定する。

◇使用ネジ

トラスタッピンネジM4x16クロメート 先端形状 ▶ 架台同梱	26本

◇使用部材

洗場側	
FRP洗場	タフロア
フックU1A （架台に組付け済） 	フックU2A （バックガードセット同梱） 



架台　[墨出し 組立 設置]

戸建 階上	フレーム ボルト	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

2. 洗場の設置手順

①FRP洗場　階上設置　浴槽パン無し仕様の場合

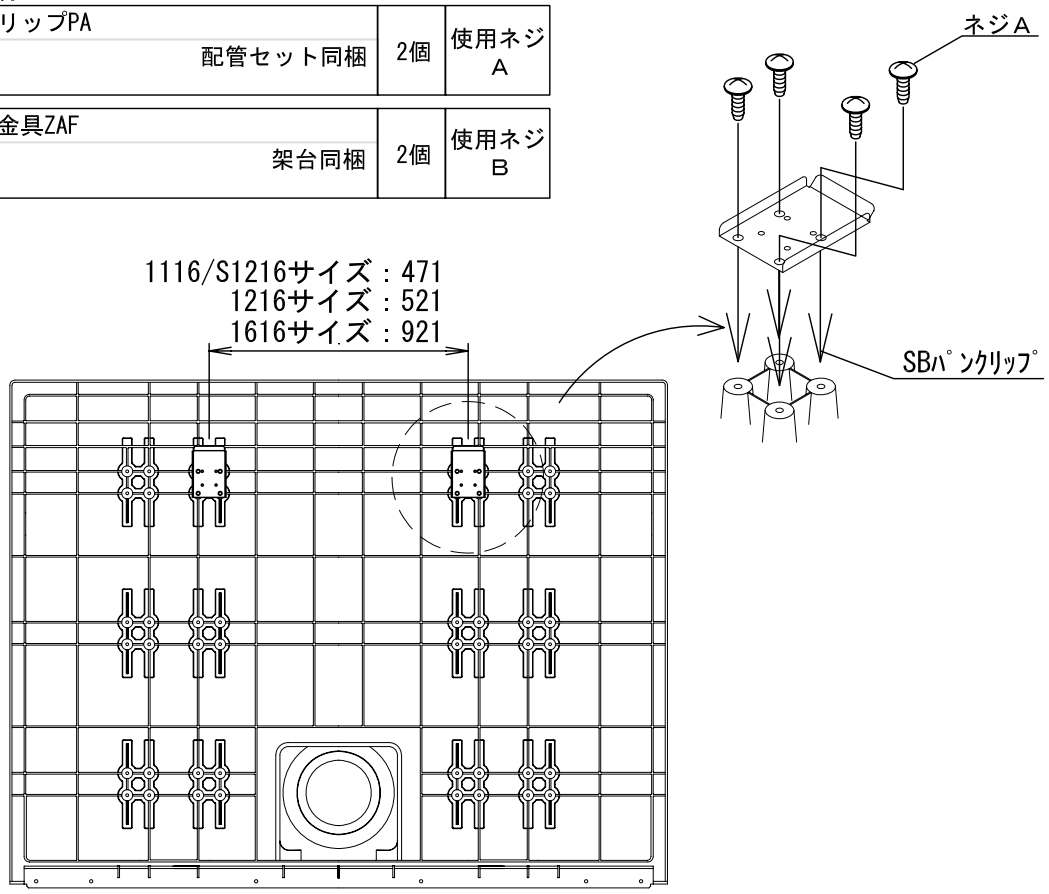
・洗場にSBパンクリップと洗場固定金具ZAFをネジで固定する。

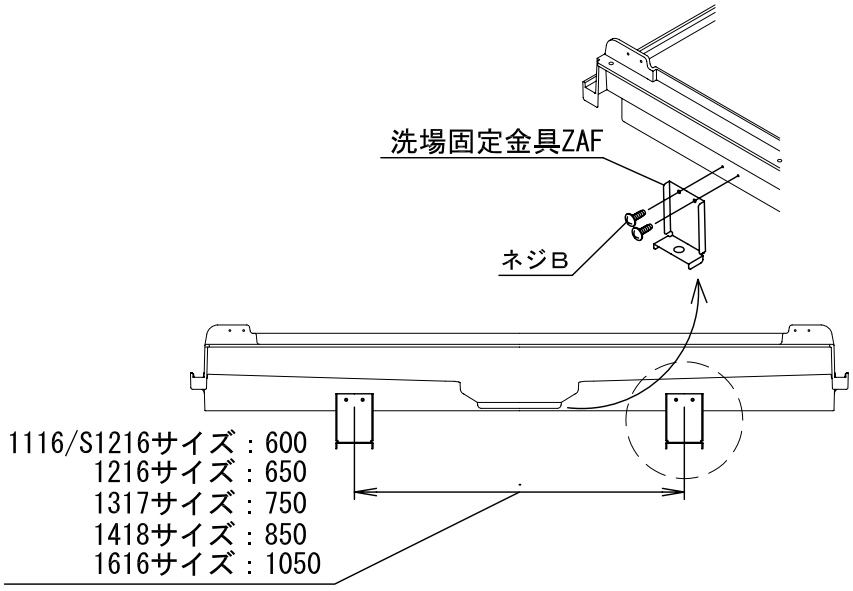
◇使用ネジ

Ｂ１トラスタッピンネジ6x16クロメート 先端形状 みぞ　配管セット同梱	8本	A
Ｂ１トラスタッピンネジ4x16クロメート 先端形状 みぞ　架台同梱	4本	B

◇使用部材

SBパンクリップPA 配管セット同梱	2個	使用ネジ A
洗場固定金具ZAF 架台同梱	2個	使用ネジ B

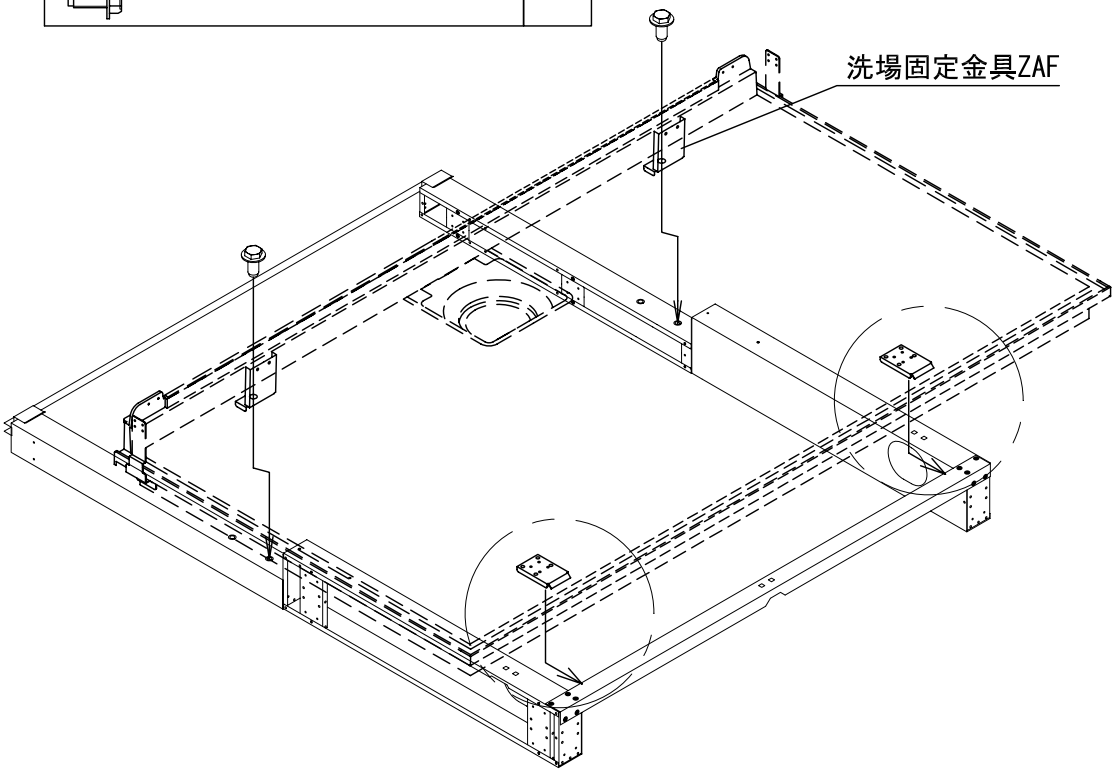


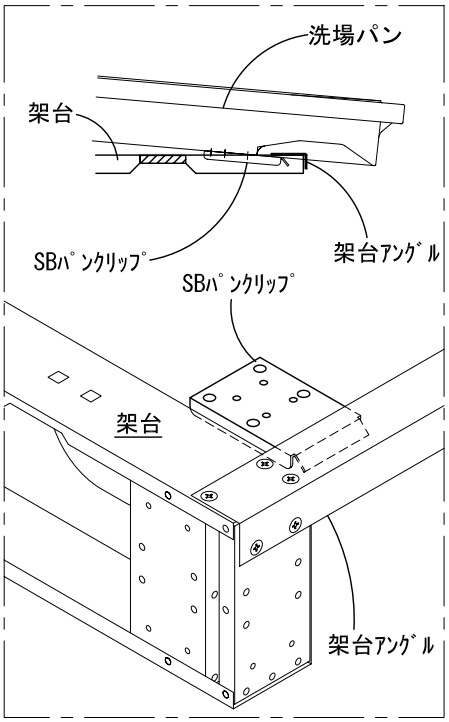


・洗場パンを架台の上に置き、SBパンクリップを架台アングルに差し込み、
手前側の洗場固定金具ZAFと架台をフランジ付き六角ボルトで固定する。

◇使用部材

フランジ付き六角ボルトM10×21クロメート 小物セット同梱	2本





洗場　［組立 設置］

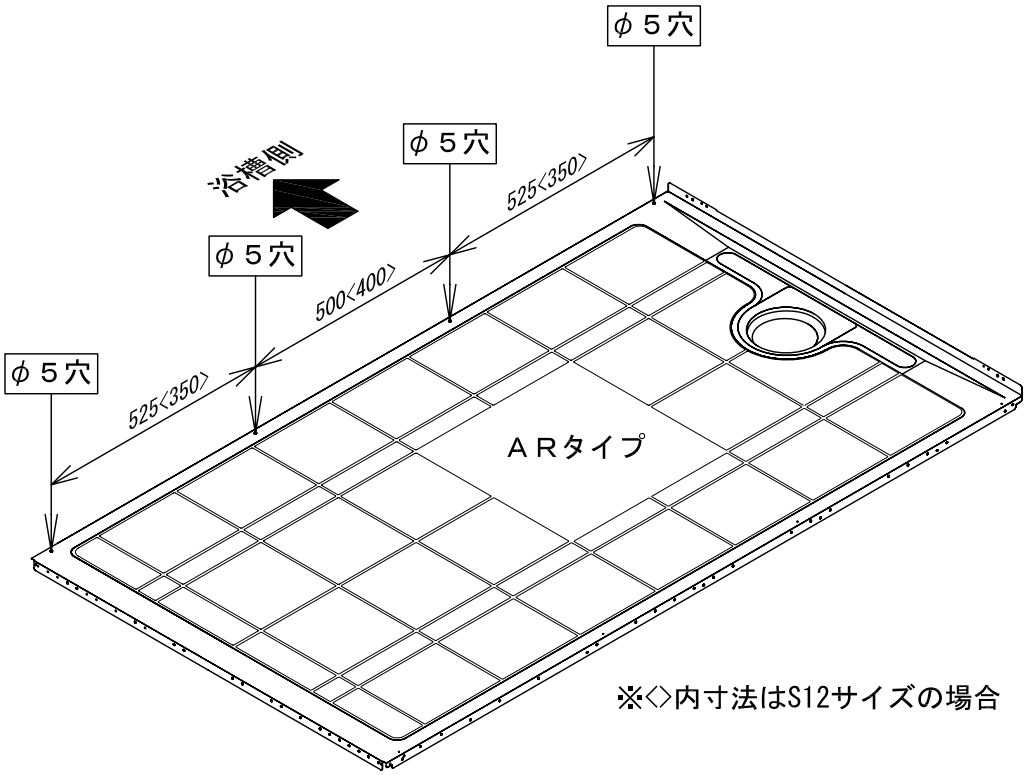
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

②タフロアの場合

・目印の箇所（４ヶ所）にφ５穴をあける。

◇Ｓ１２１６サイズ/１６１６サイズ　：洗場上面に凹マーク

◇１６１８/１８１８/１６２０サイズ：洗場上面に十字マーク



※<>内寸法はS12サイズの場合

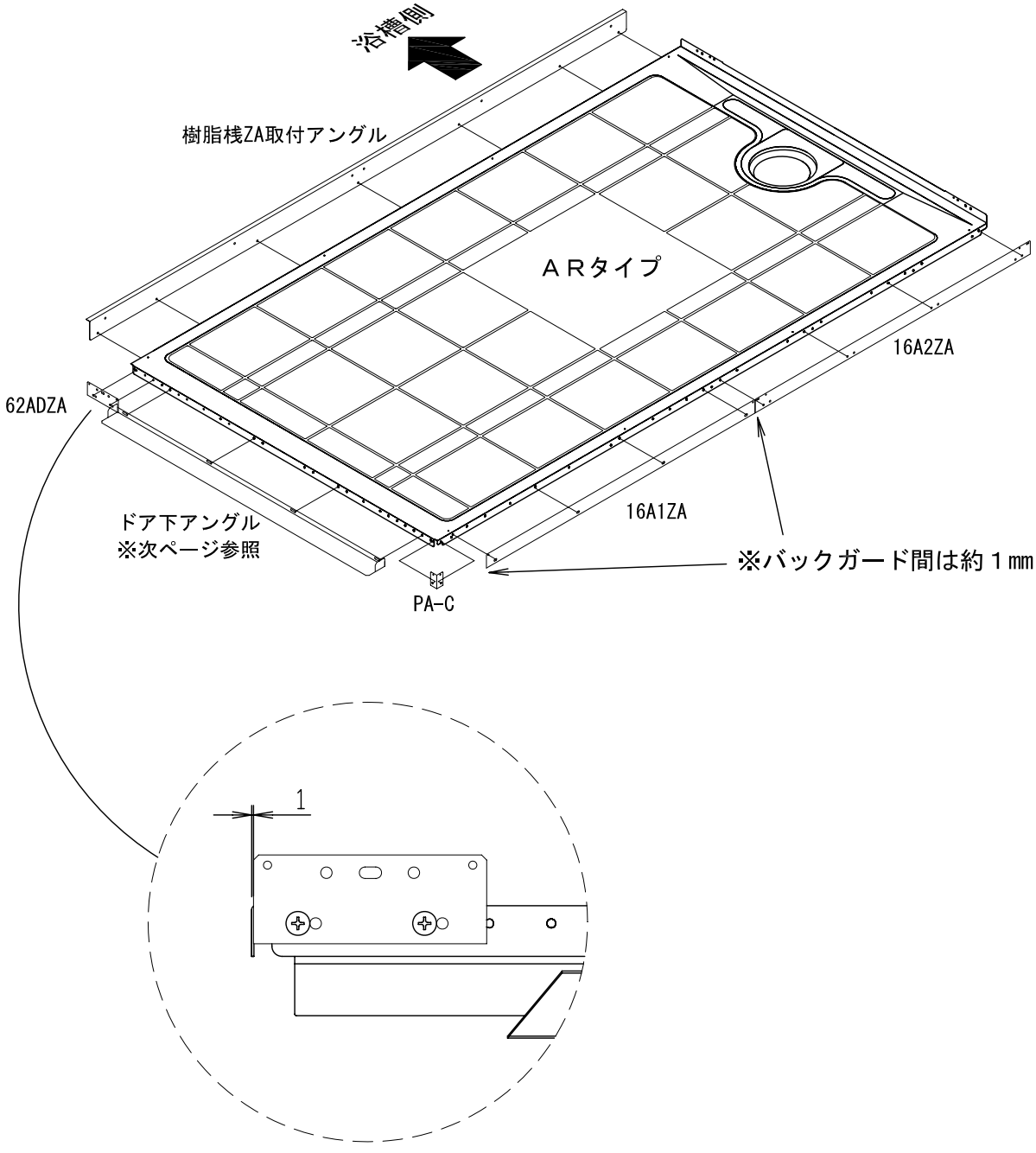
洗場　［組立 設置］

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

・タフロア側面に、下記内容に注意し、ネジでバックガードおよび
ドア下アングルを取付ける。
※下図は、16タイプAR勝手の図である。
他のサイズ・勝手は、次項以降の取付位置図を参照のこと。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート	
先端形状	バックガードセット同梱



洗場　［組立 設置］

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

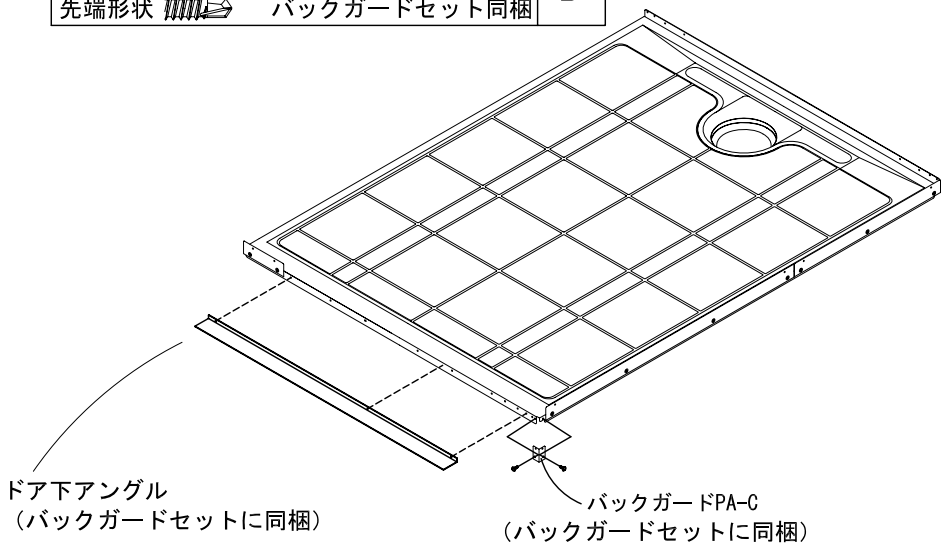
・ドア下アングル・バックガードPA-Cの取付（ドア取付部）

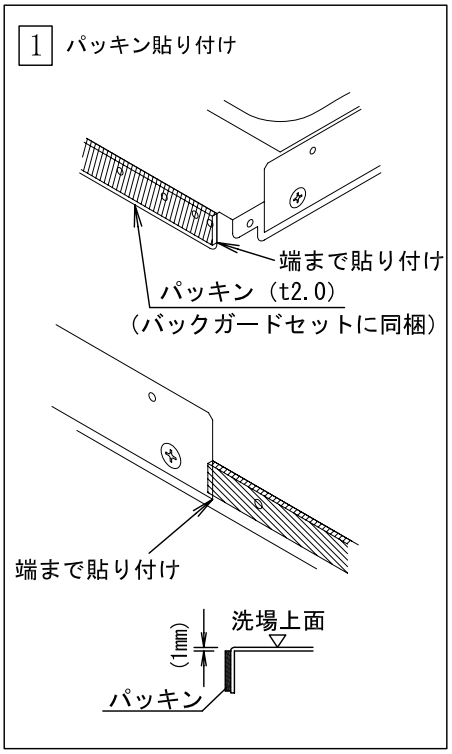
1. 洗場のドア下アングル取付面にパッキンを貼り付けてください。
2. ドア下アングル、バックガードPA-Cを取付けてください。

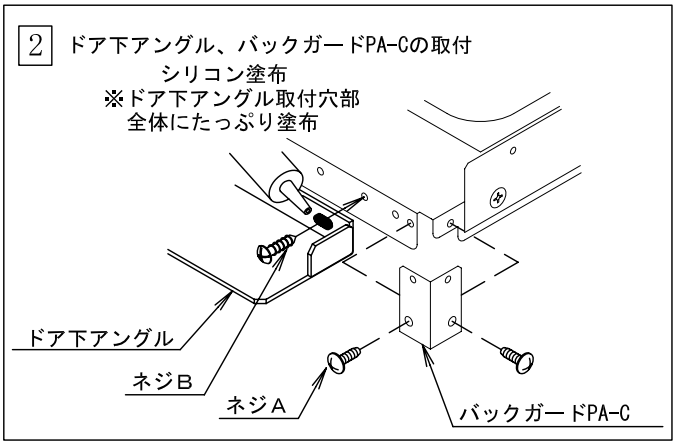
ドア下アングルおよびバックガードPA-Cの取付時は、シリコンを塗布してください。

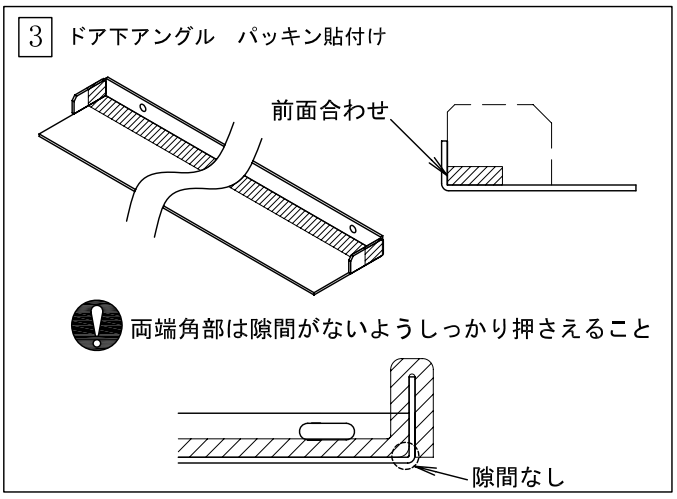
◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状　　バックガードセット同梱	A
テクスタッピンネジ4x30SUS 先端形状　　バックガードセット同梱	B









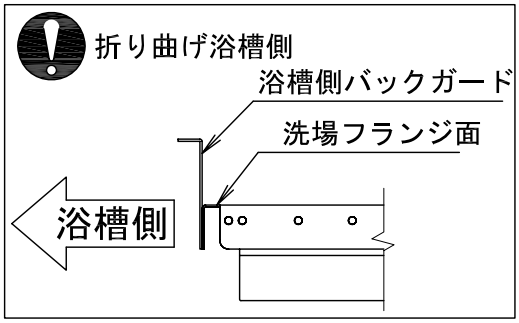
洗場　［組立 設置］

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

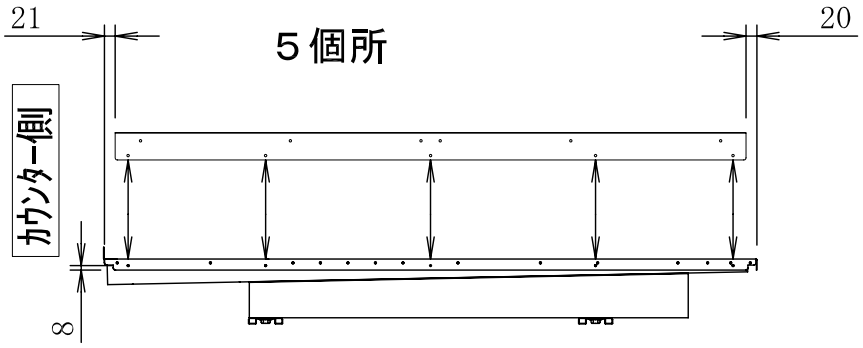
浴槽パン無し仕様の場合のみ

樹脂桟ZA取付アングル使用穴位置図

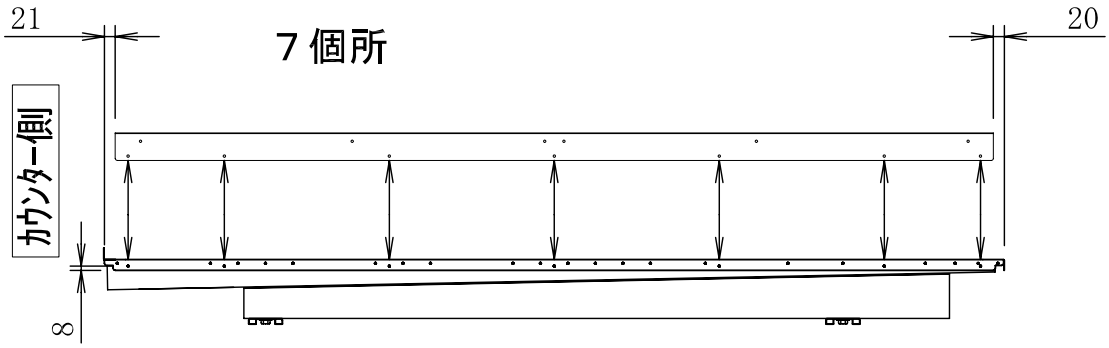
図は、ＡＲＢＬタイプを浴槽側から
見た図を示しています。
ＡＬＢＲタイプは、Ｃ．Ｌにて対称です。



S1216サイズ



1616/1618/1818/1620サイズ

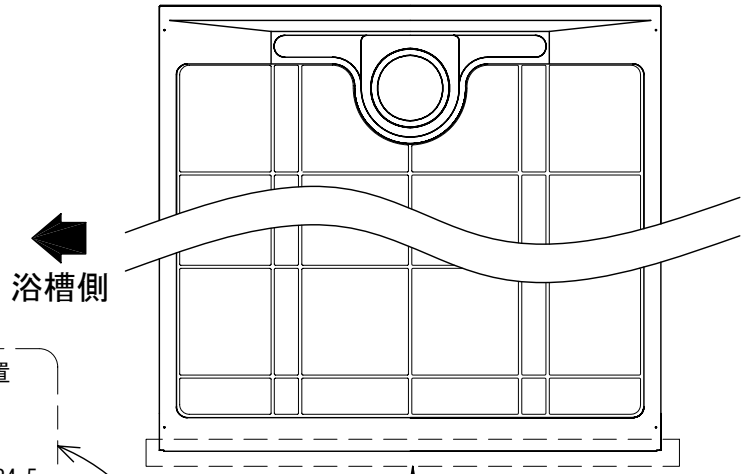


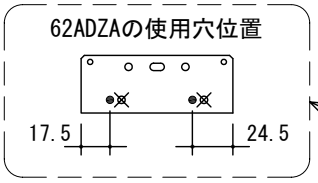
洗場　［組立 設置］

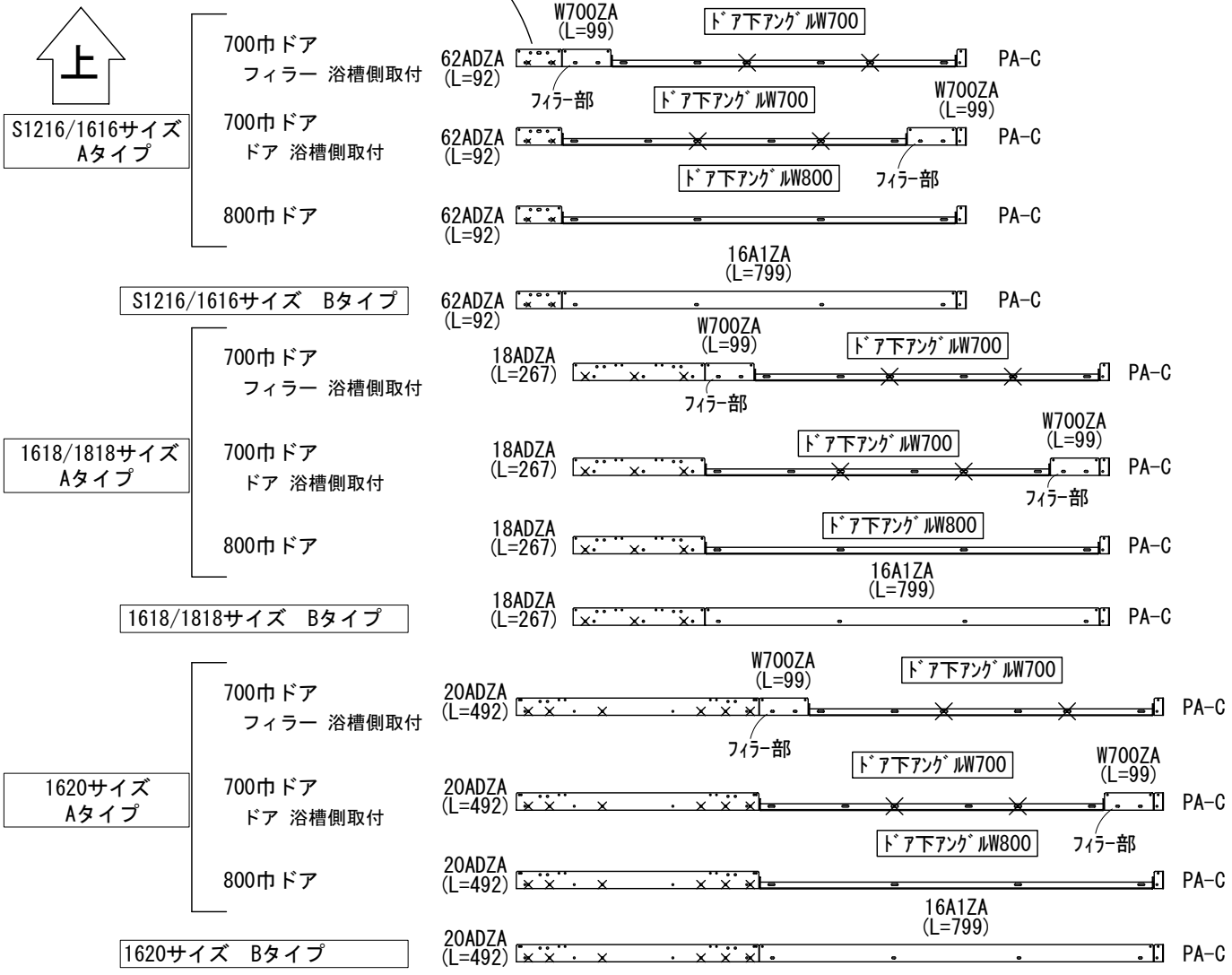
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

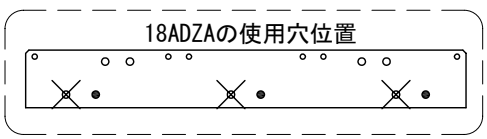
バックガード取付位置図

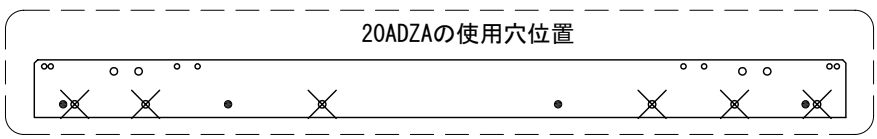
図は、ARBLﾀｲﾌﾟを示す。
ALBRﾀｲﾌﾟは、C.Lにて対称である。









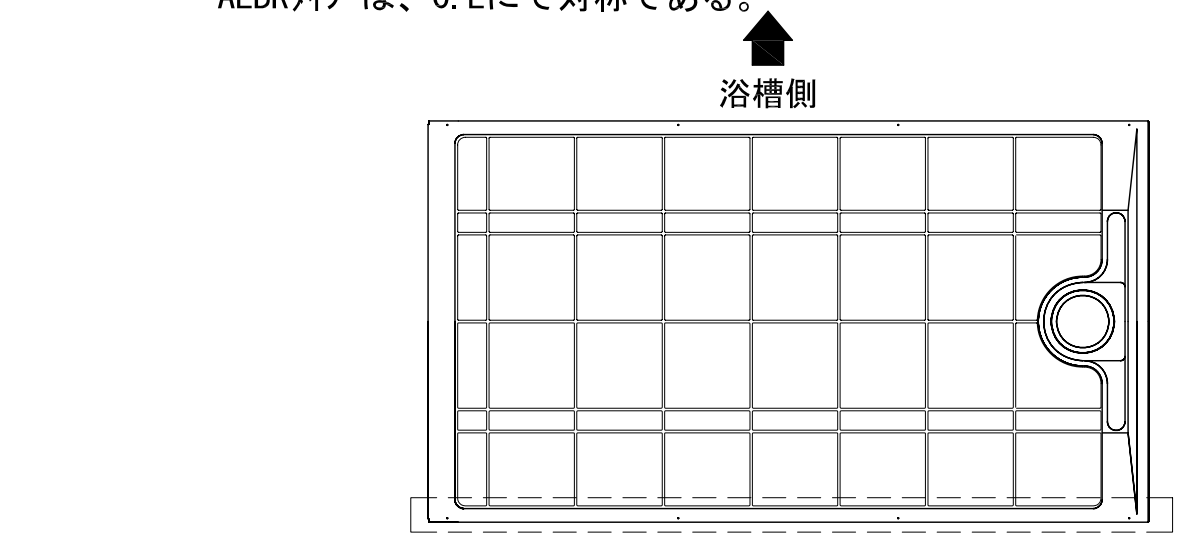


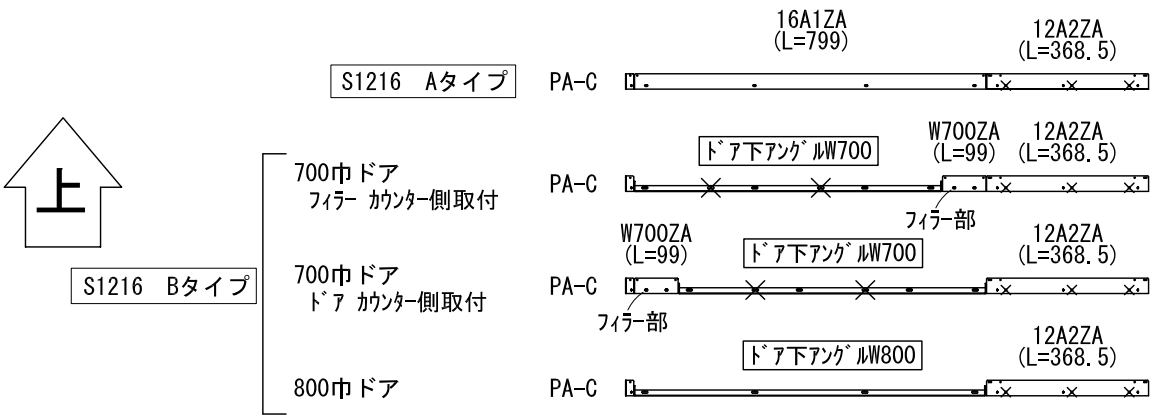
洗場 [組立 設置]

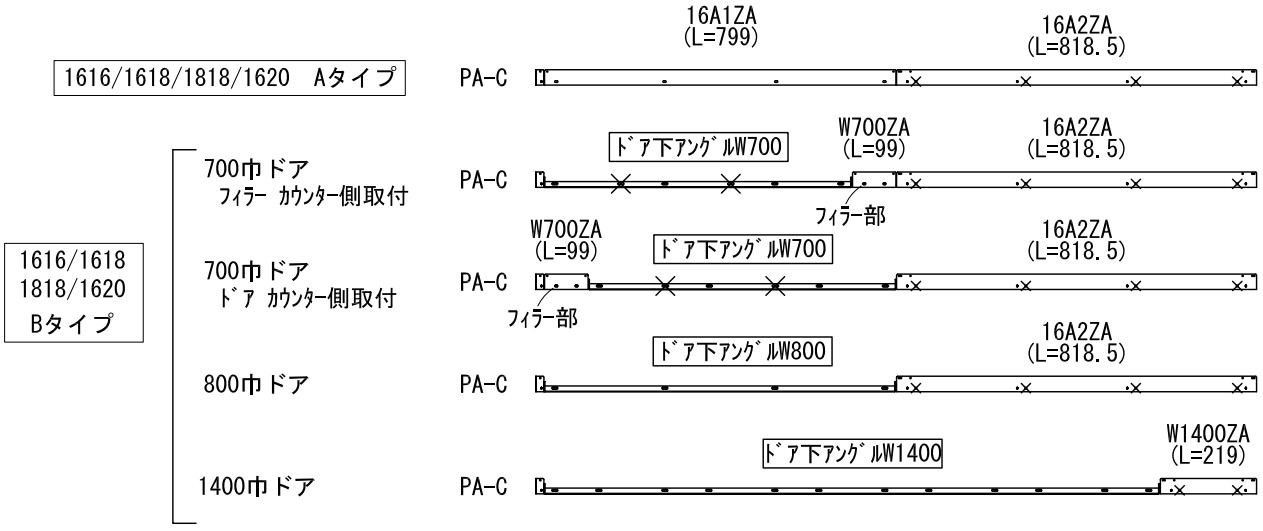
戸建	FRP	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	ﾀﾌﾛｱ	無 有

バックガード取付位置図

図は、ARBLﾀｲﾌﾟを示す。
ALBRﾀｲﾌﾟは、C.Lにて対称である。





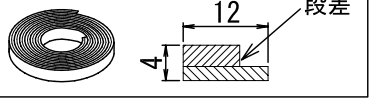


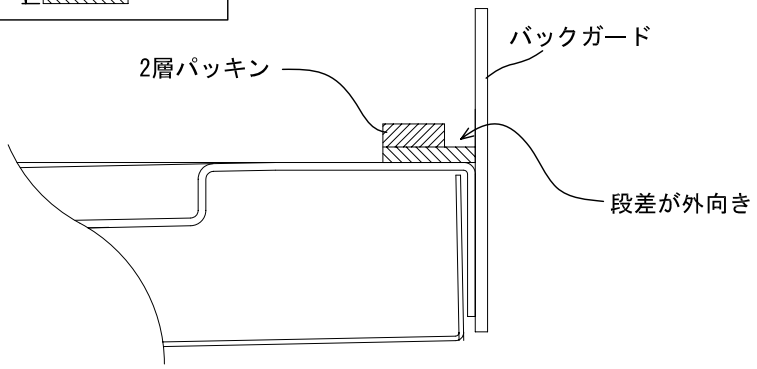
洗場 ［組立 設置］

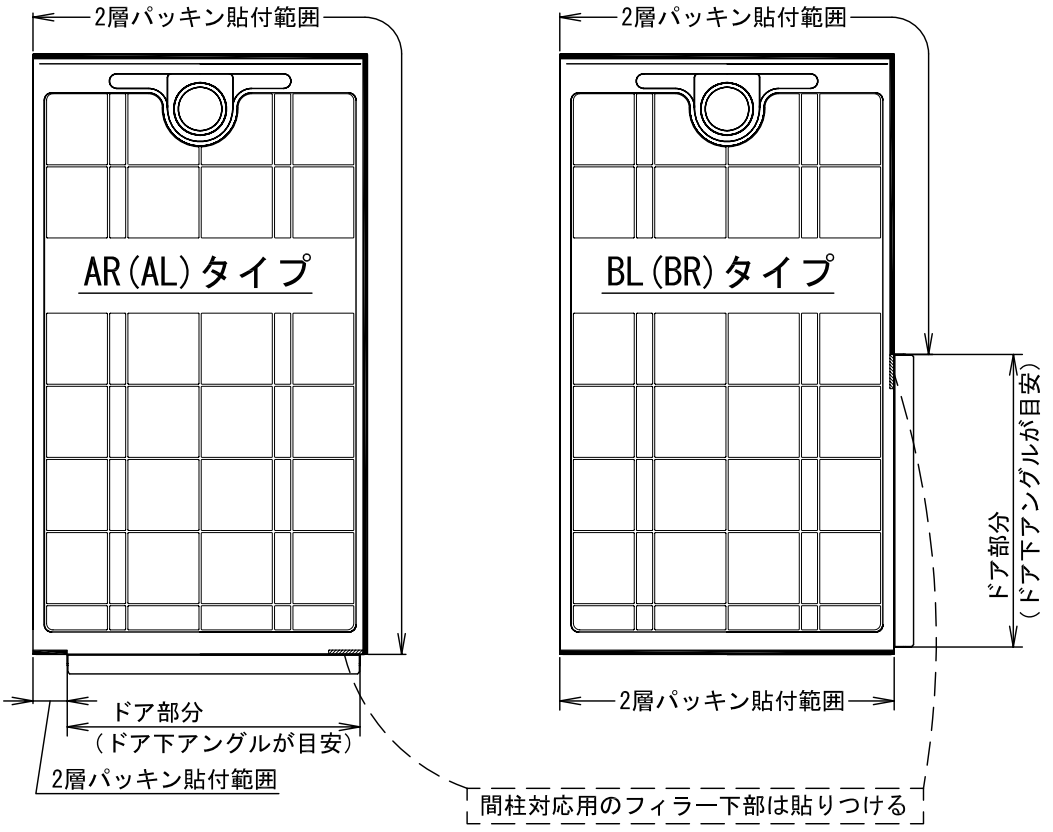
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無 有

・ドア部分以外のバックガードに沿って、
洗場の壁パネル載せ面に２層パッキンを貼り付ける。

◇使用部材

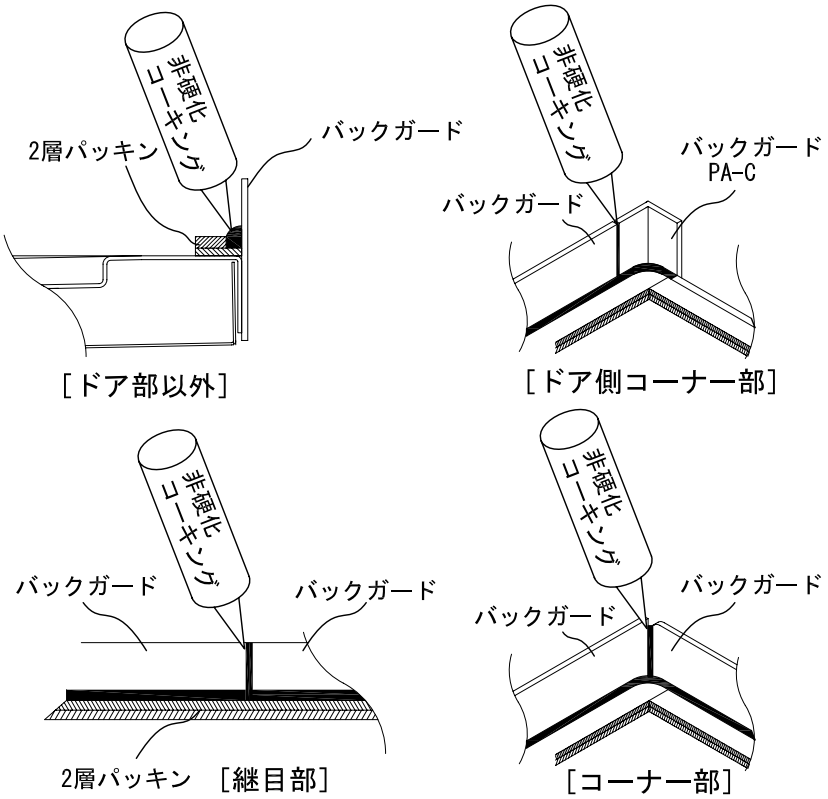
2層パッキン
バックガードセット同梱






戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

・２層パッキンの段差部とバックガードの隙間に非硬化コーキングを充填するように塗布する。

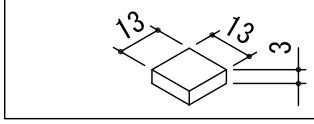


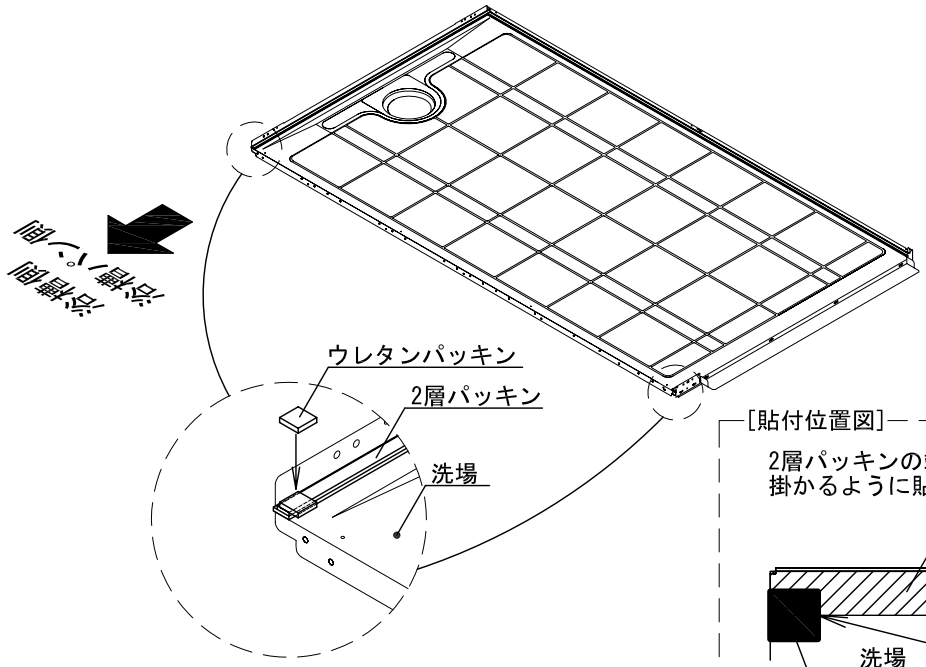
洗場　［組立 設置］

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

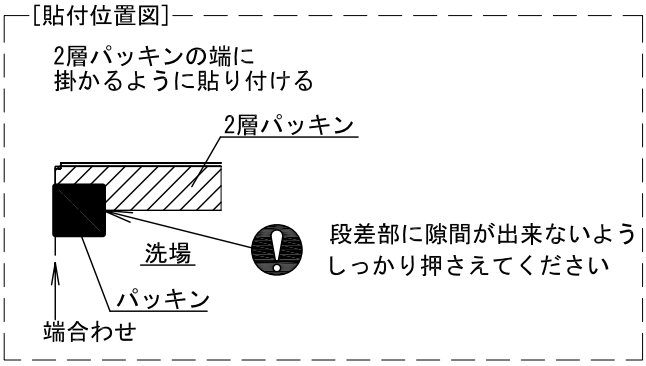
・洗場コーナー部の２層パッキンの上から止水パッキンを貼り付ける。
※２層パッキンの端と洗場に掛かるように貼り付け、上から押し付ける。

◇使用部材

ウレタンパッキン バックガードセット同梱 	2枚

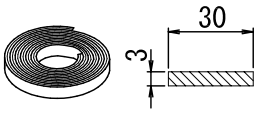


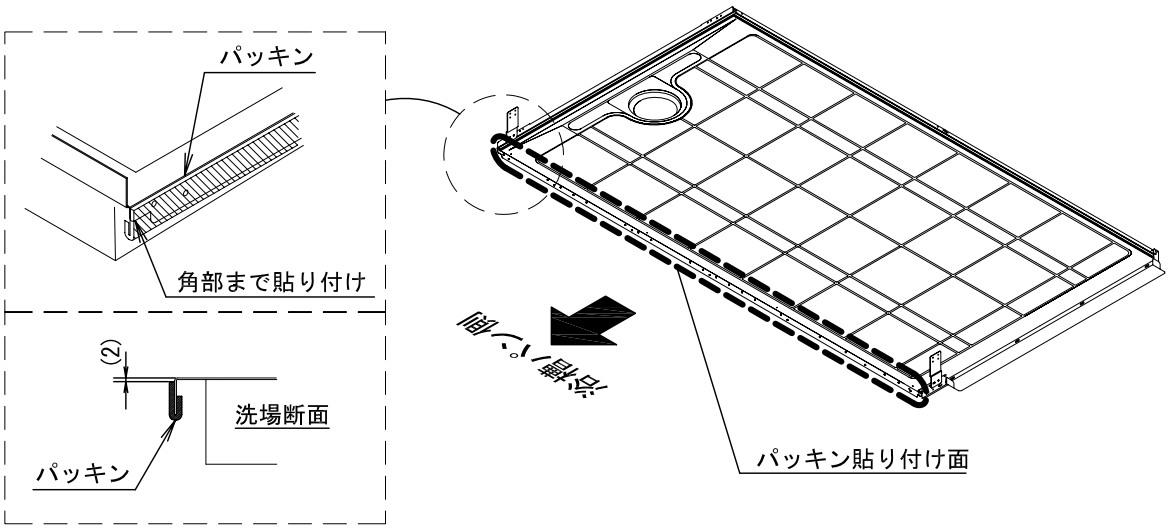
[貼付位置図]



・洗場側面にパッキンを貼り付ける。 浴槽パン有り仕様の場合のみ

◇使用部材

ウレタンパッキンt3×W30×L2000 浴槽パン同梱 	1本



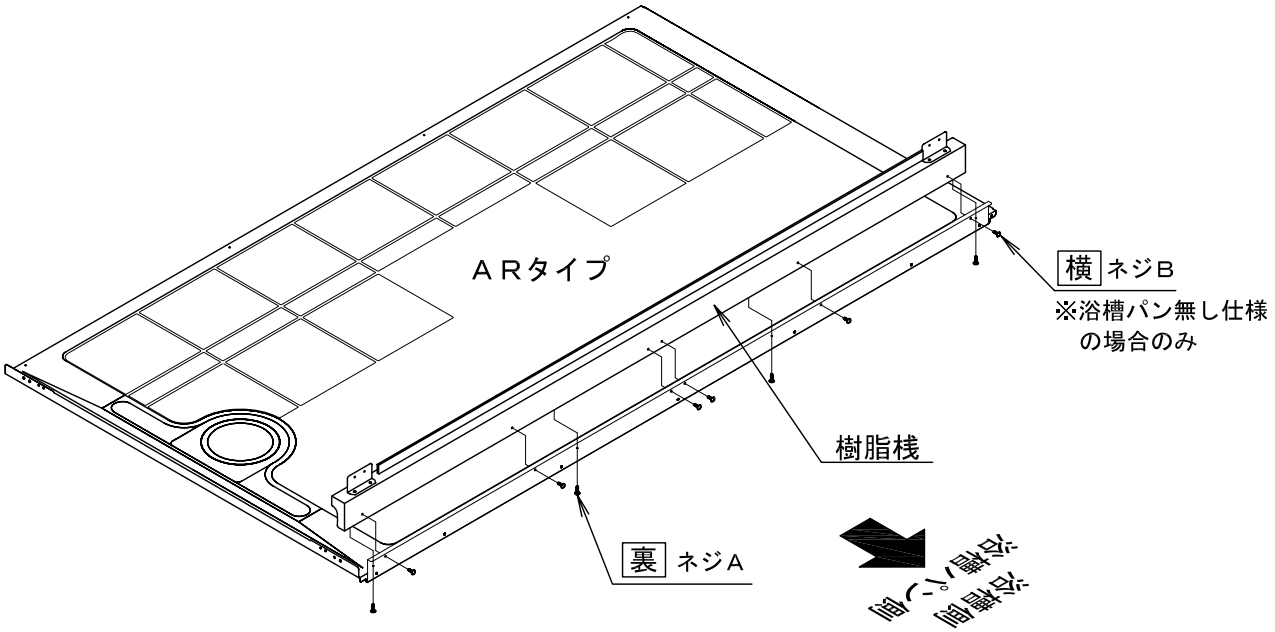
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

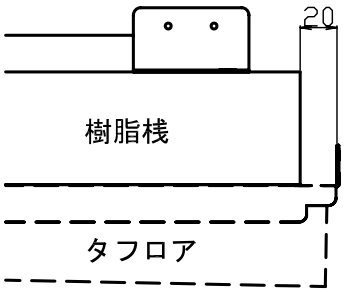
・タフロアに、横面からＢ１トラスデルタッピンネジ、
裏面からトラスデルタイトネジM4×12で樹脂桟を取付ける。

※下図は、AR勝手の図である。AL勝手は対称である。

◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 バックガードセット同梱	4本	A
Ｂ１トラスタッピンネジ4×12SUS 先端形状 すみぞ バックガードセット同梱	6本	B





樹脂桟取付位置

洗場　［組立 設置］

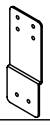
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

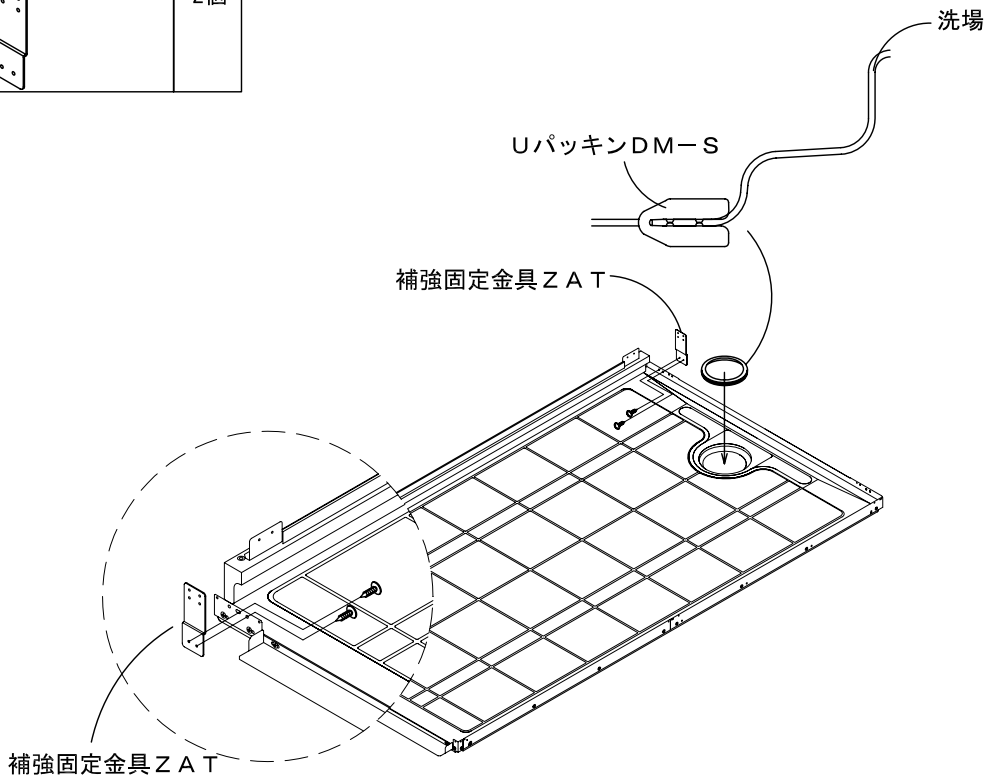
・洗場へ補強固定金具ＺＡＴをネジ２本（２ヶ所）で固定する。
・洗場へUパッキンＤＭ－Ｓ（配管セット同梱）を取り付ける。

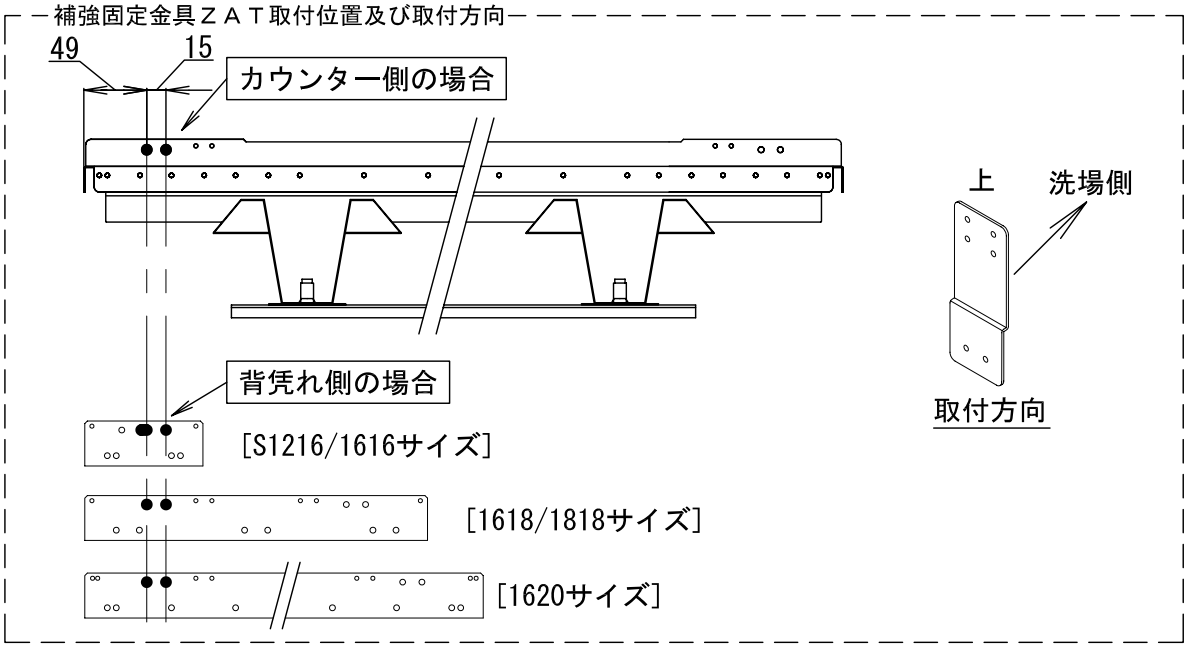
◇使用ネジ

トラスデルタイトネジM4x12クロメート 先端形状 バックガードセット同梱	4本

◇使用部材

補強固定金具ZAT バックガードセット同梱 	2個





洗場　［組立 設置］

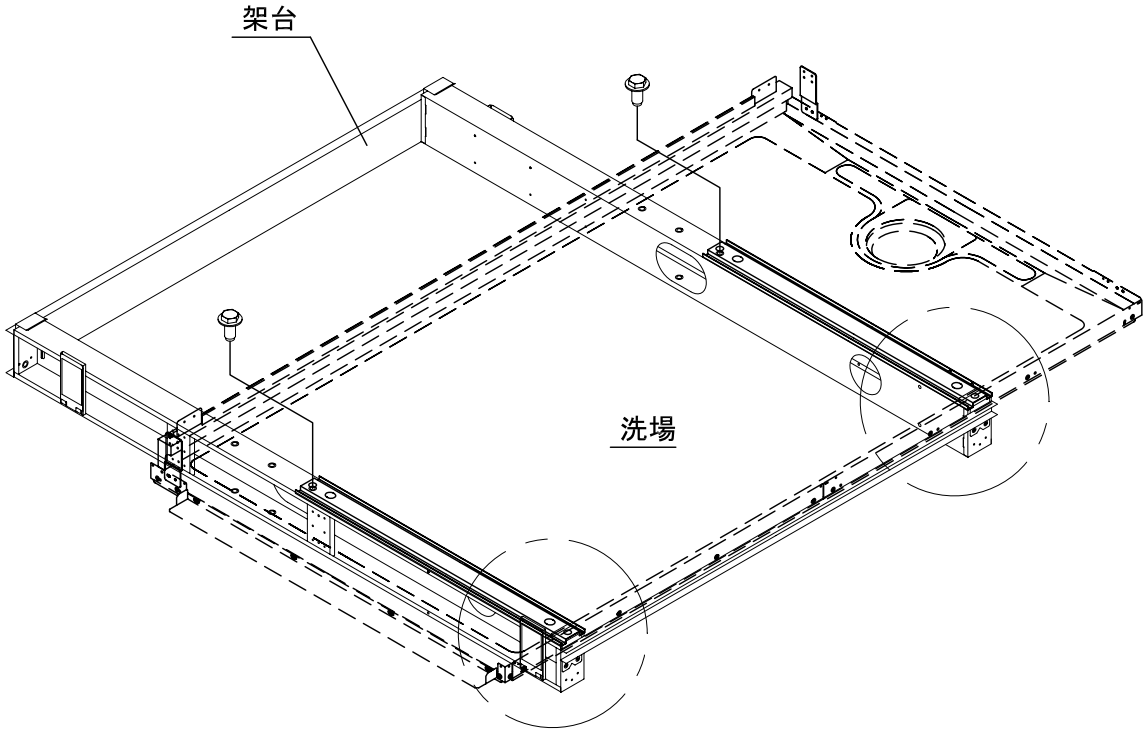
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

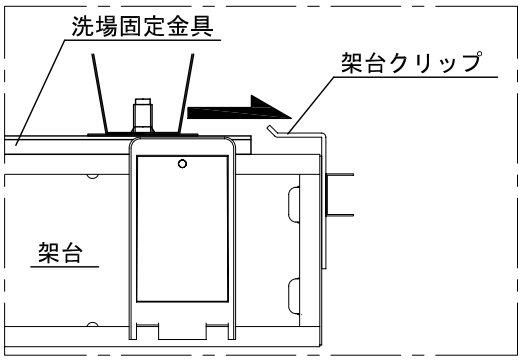
〈浴槽パン無し仕様の場合〉

洗場パンを架台の上に置き、洗場固定金具の奥側を架台クリップに差し込み、手前側の洗場脚と架台をフランジ付き六角ボルトで固定する。

◇使用部材

フランジ付き六角ボルトM10×21クロメート 小物セット同梱	2本



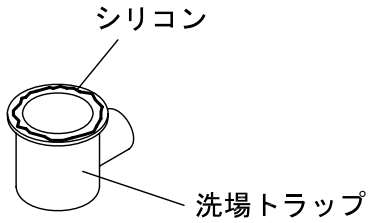


洗場　［組立 設置］

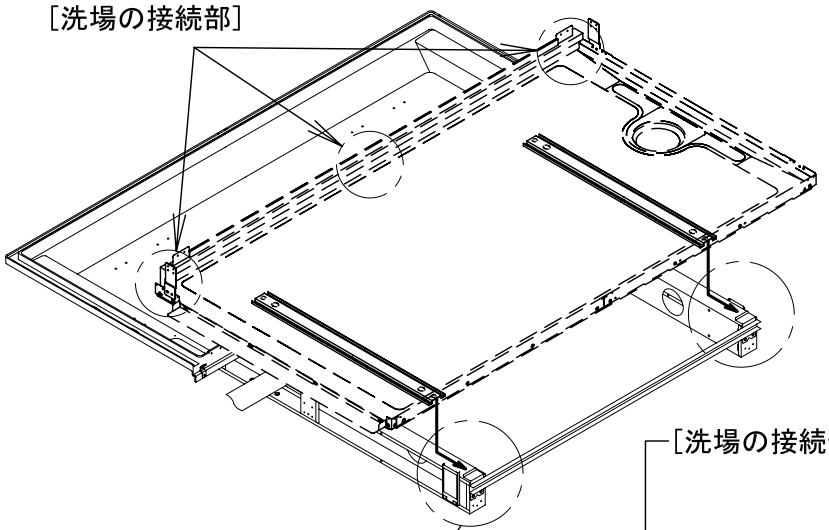
戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

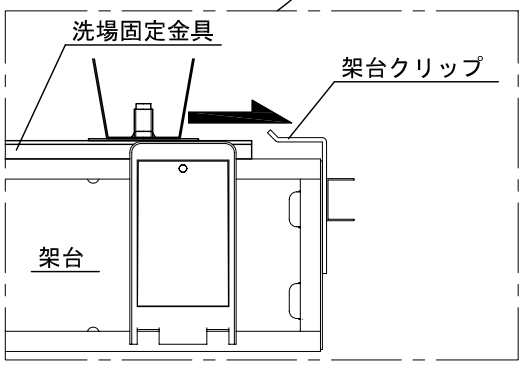
〈浴槽パン有り仕様の場合〉

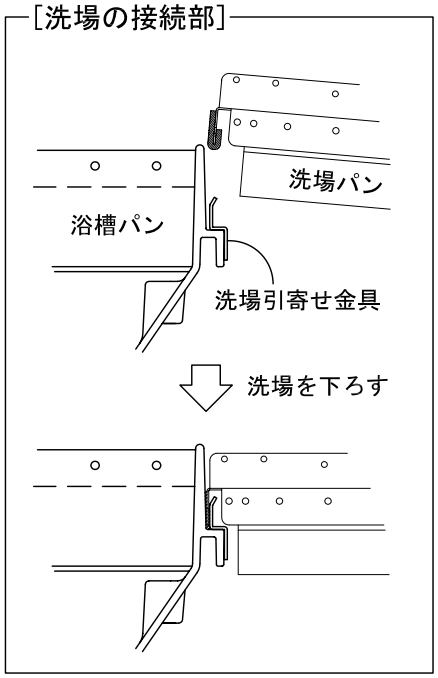
・洗場トラップにシリコンを塗布する。
・洗場脚を架台クリップに差し込み、洗場が洗場引き寄せ金具に引掛けるようにゆっくりと洗場を下ろす。



洗場を降ろす際に指をはさまないようにしてください。







洗場　[組立 設置]

戸建	FRP	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	ﾀﾌﾛｱ	無 有

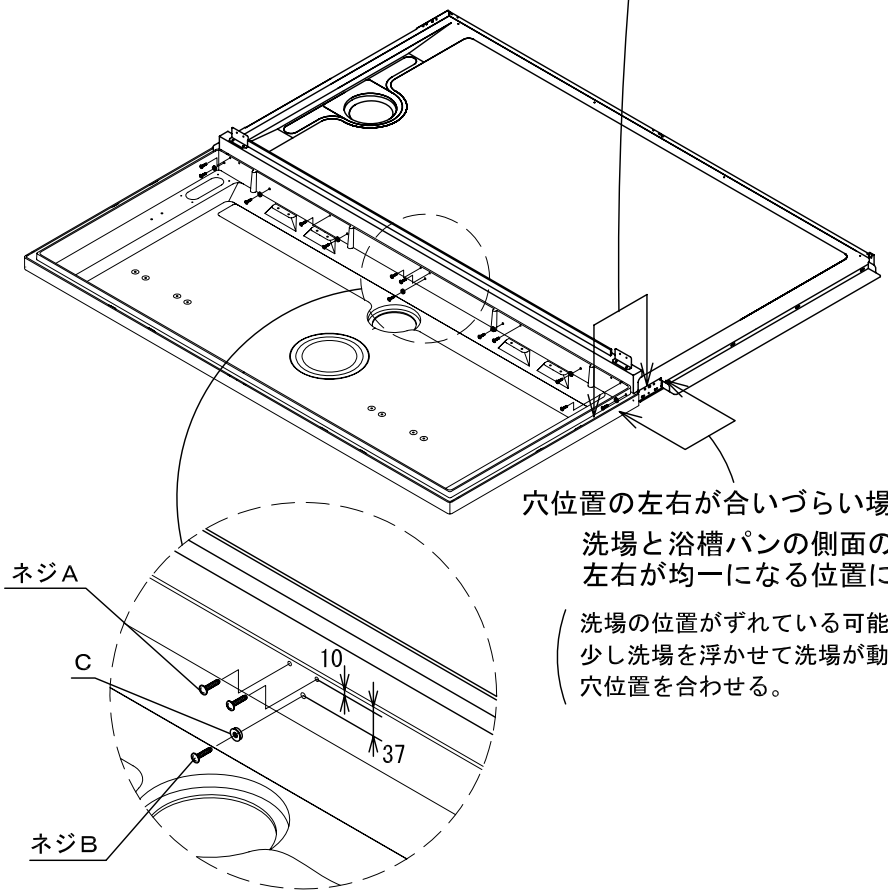
・洗場と浴槽パンをビス止めする。
・浴槽パンと樹脂桟をビス止めする。

◇使用ネジ

B１トラスタッピンネジ4×12SUS 先端形状 みぞ　防水枠同梱	6本	A
トラスデルタイトネジ4×20SUS 先端形状　防水枠同梱	7本	B
ボンデットワッシャー 形状　防水枠同梱	7本	C

穴位置の上下が合いづらい場合は、
パネル載せ面の段差を無くす

（洗場が正規の位置まで下がっていない可能性があるため、
洗場に体重を掛けて、穴位置を合わせる。）



穴位置の左右が合いづらい場合は、
洗場と浴槽パンの側面の差を
左右が均一になる位置に動かす

（洗場の位置がずれている可能性があるため、
少し洗場を浮かせて洗場が動くようにしてから
穴位置を合わせる。）

上記の穴位置で、
10㎜の箇所は、B1トラスタッピンネジ（ネジA）のみを使用
37㎜の箇所は、トラスデルタイトネジ（ネジB）とボンデットワッシャー（ネジC）を使用

洗場　［組立 設置］

戸建	FRP	浴槽ﾊﾟﾝ
階上	ﾀﾌﾛｱ	無 有

3. 洗場トラップの取付け手順

〈浴槽パン無し仕様の場合〉

1 洗場パンにUパッキンを取付けた後、洗場トラップ上面にシリコンを塗布し、洗場トラップを取付ける。

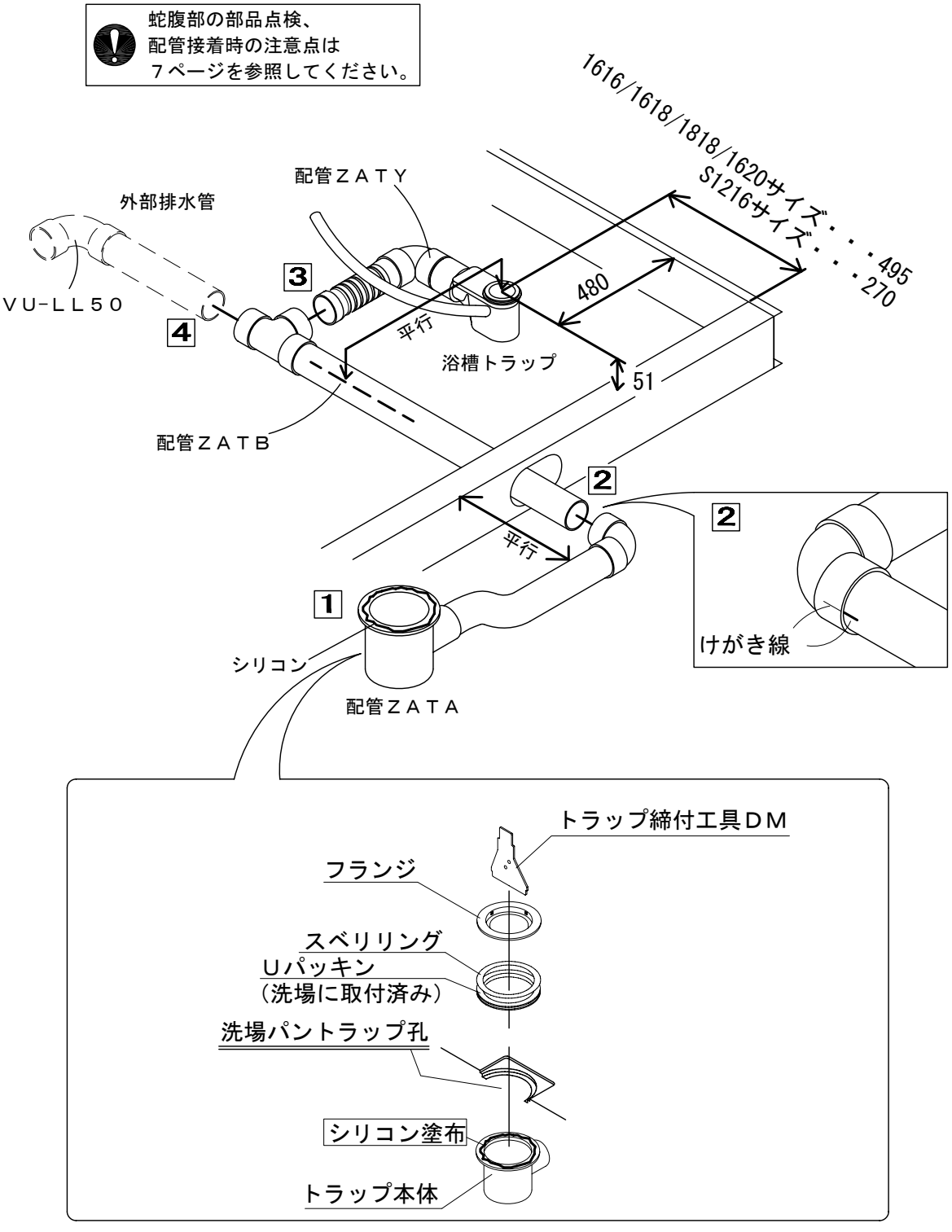
※配管ZATAが架台と平行になるように取付

2 配管ZATAと配管ZATBのけがき線を合せ、接着剤固定する。

3 配管ZATYとトラップ上面と配管ZATBが平行になるように接着剤固定する。

4 排水勾配（1/50～1/100）を確認し、外部排水管を接着する。

※外部排水の最初のエルボはVU-LL50を使用のこと



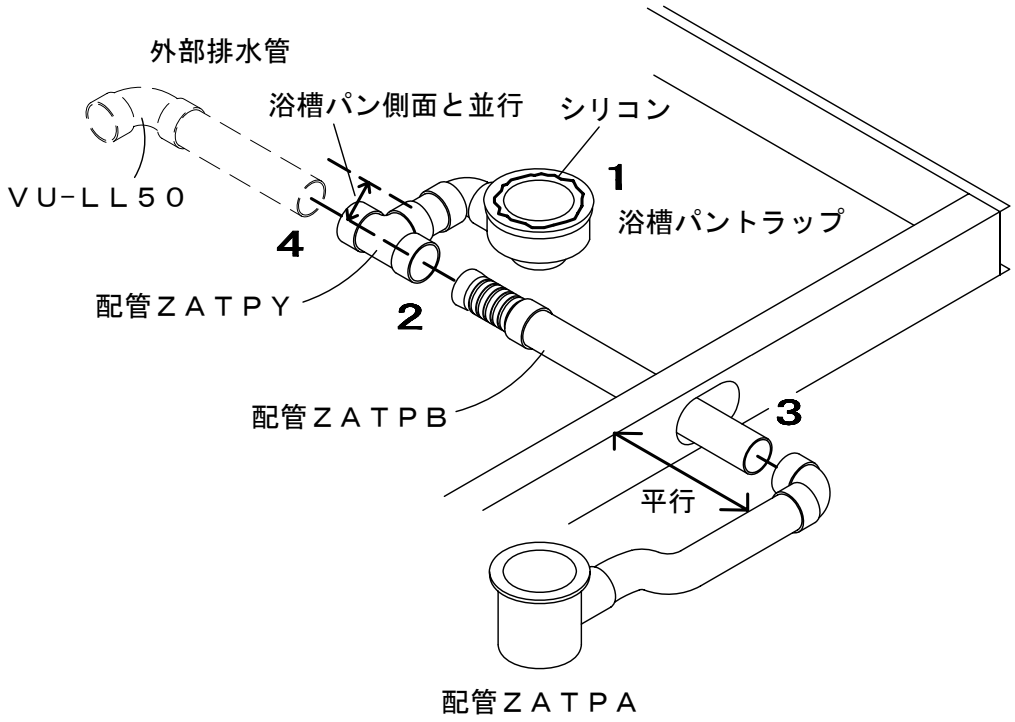
配管 [ﾄﾗｯﾌﾟ取付 漏水ﾁｪｯｸ 組立]

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無 有

〈浴槽パン有り仕様の場合〉

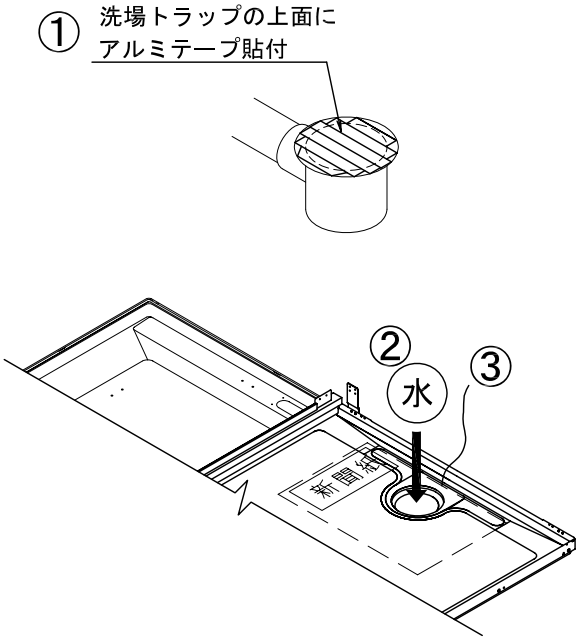
・浴槽パンにUパッキンを取付けた後、浴槽パントラップ上面に
シリコンを塗布し、浴槽パントラップを取付ける。
※配管ZATPYが浴槽パン側面が平行になるように取付
・配管ZATPBと配管ZATPYを接着剤固定する。
・配管ZATPAと配管ZATPBを接着剤固定する。
※配管ZATPAと架台が平行になるように取付
・排水勾配（1/50～1/100）を確認し、外部排水管を接着する。
※外部排水の最初のエルボはVU-LL50を使用のこと
・接着箇所の漏水チェックを行う。
※外部排水管が末端まで接続されていない場合は、
漏水検査ポンプを使用のこと

蛇腹部の部品点検、
配管接着時の注意点は
７ページを参照してください。

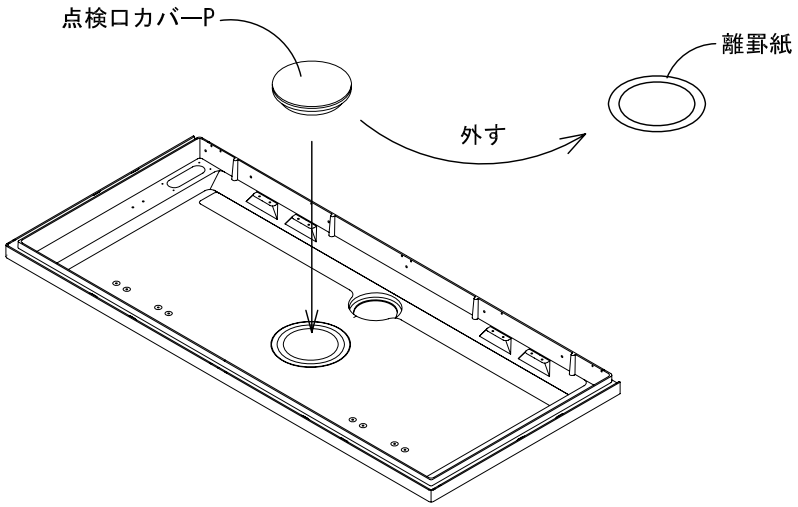


4.漏水チェック

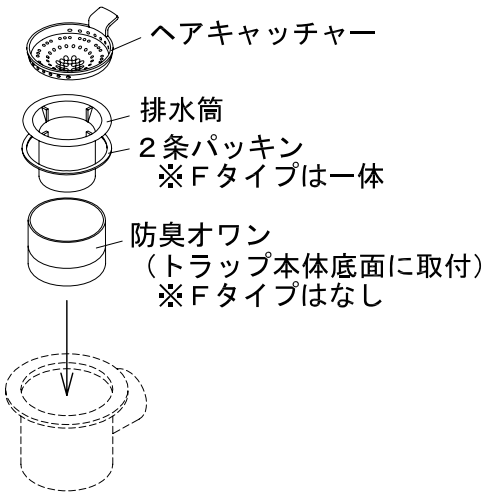
①洗場トラップの上面をアルミテープでふさぐ。
②洗場トラップ上面が水没する程度の水を流す。
③洗場トラップの下にあらかじめ敷いておいた新聞紙を取出し、
　水滴が落ちていないか確認する。



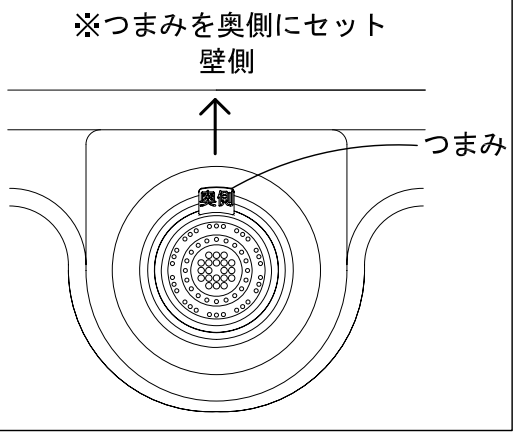
④漏水が無ければ、点検口フタＰ裏面の両面テープの離罫紙を剥がし
　浴槽パン底面の点検口に点検口フタＰを取付ける。



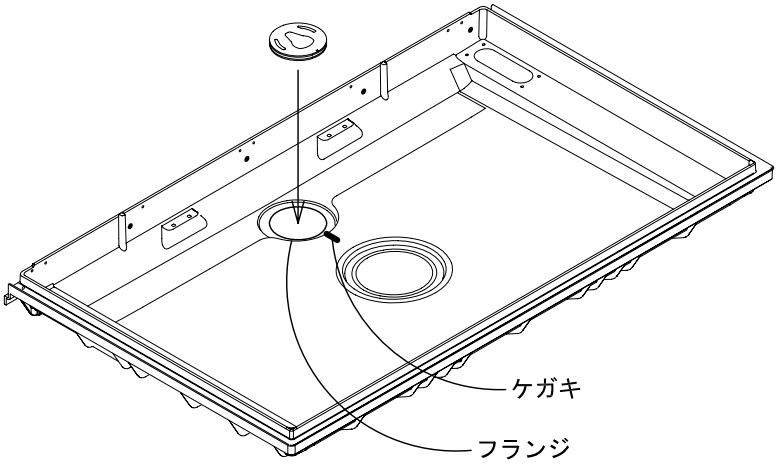
⑤洗場トラップに部品を取付ける。
※ヘアキャッチャーの向きに注意

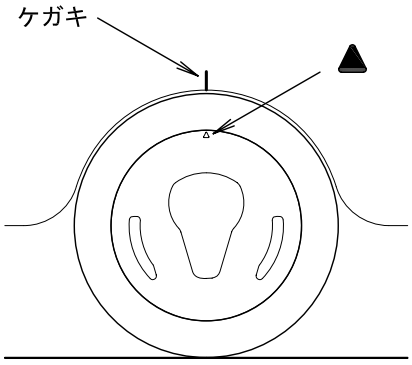


［タフロアの場合］



⑥フロート目皿を浴槽パン側のトラップ（エルボ）フランジに取り付ける。
※フロート目皿の ▲ 印と、浴槽パンのケガキを合わせる。
※取り付けの際は、強めに押し込む。





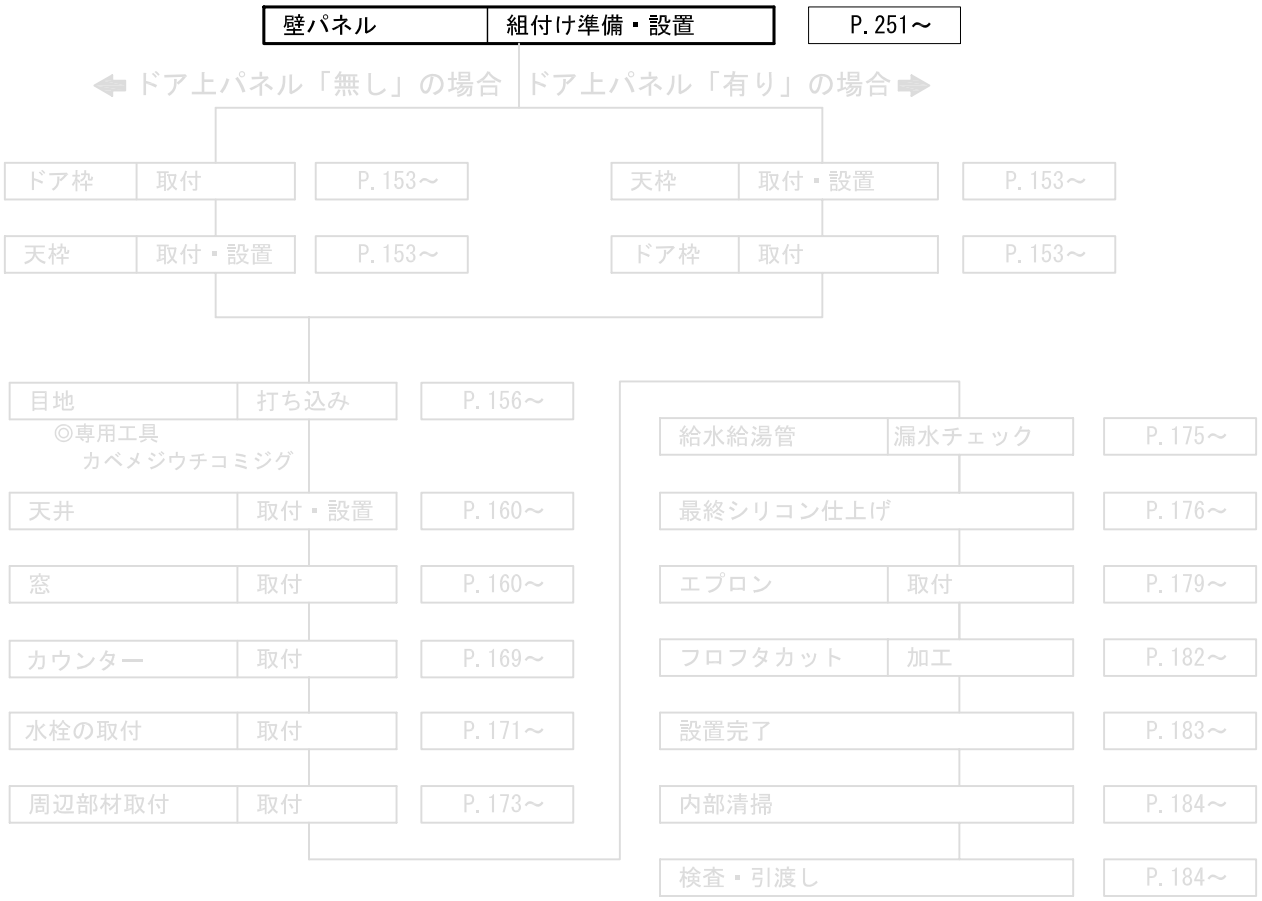
取り付け向きがずれると浴槽と水密されなくなりますので、
ケガキと ▲ 印を正しく合わせてください。

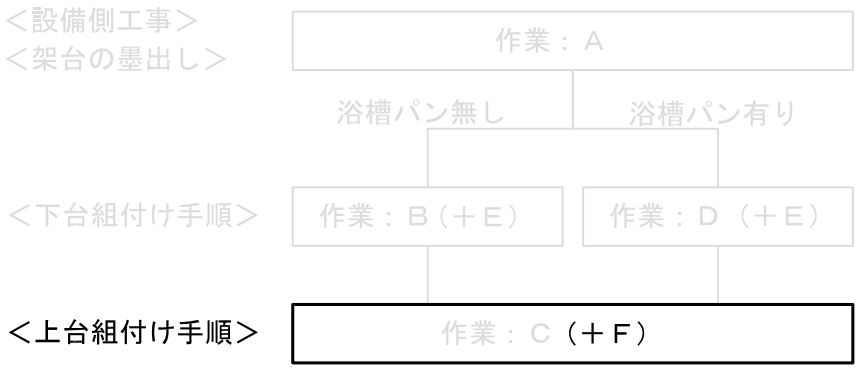
配管［ﾄﾗｯﾌﾟ 取付 漏水ﾁｪｯｸ 組立］

戸建 階上	FRP ﾀﾌﾛｱ	浴槽ﾊﾟﾝ 無　有

作業：Ｆ　１８１８サイズ　壁パネル組付け　手順

※壁パネルの設置手順で基本手順と異なる手順のみ記載しています。



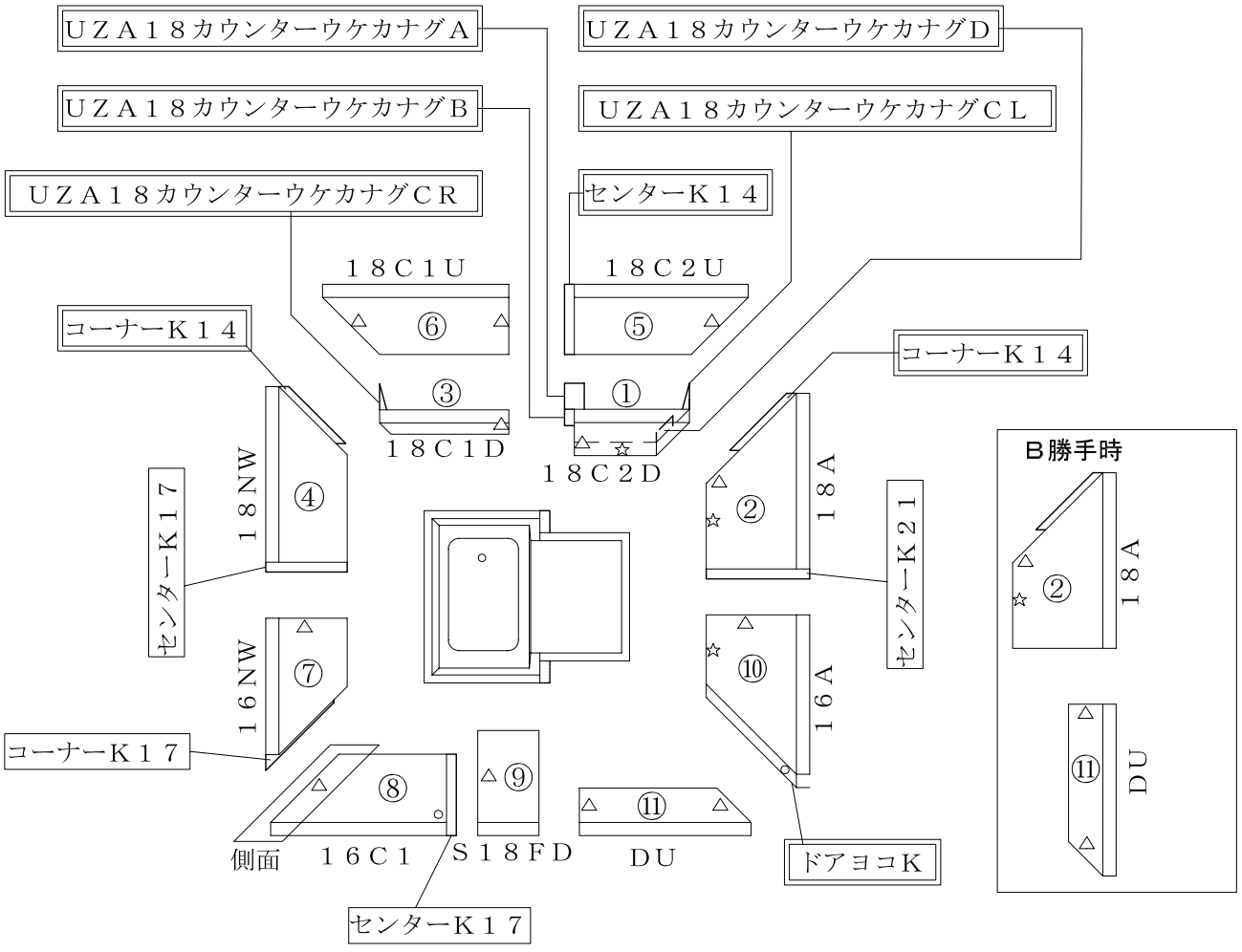


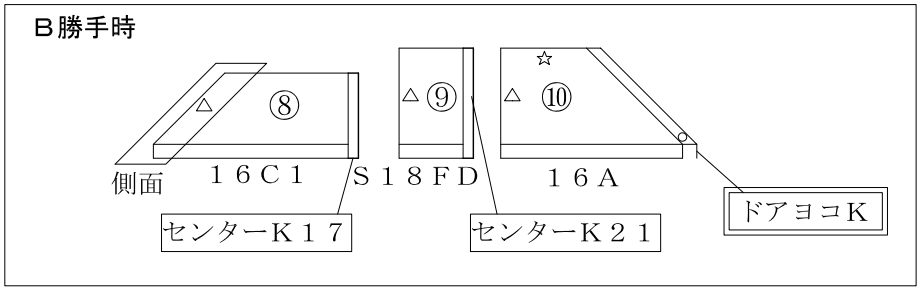
1. 壁パネルの組付け準備

〈金具、チャンネル取付位置図及び 組付け順序〉

○：ＤＵコテイカナグＢ
△：パネルフックネジＥ
☆：ガイド金具(タフロアのみ)

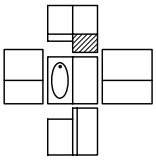
注）．◯ 内の数字はパネルの組付順序を示す。
注）．二重線で囲まれたチャンネルはパネル側面に取付
注）．――― 線で囲まれたパネルフックネジはパネル側面に取付



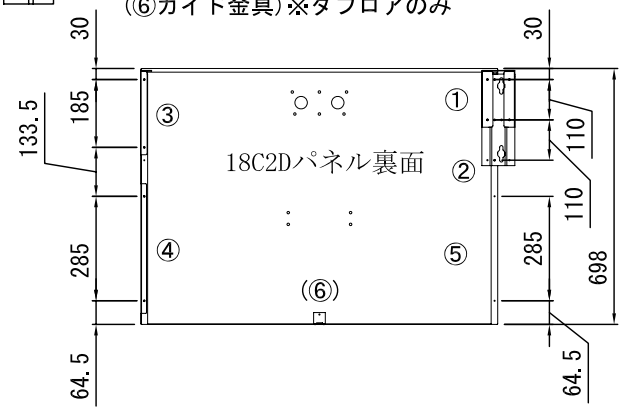


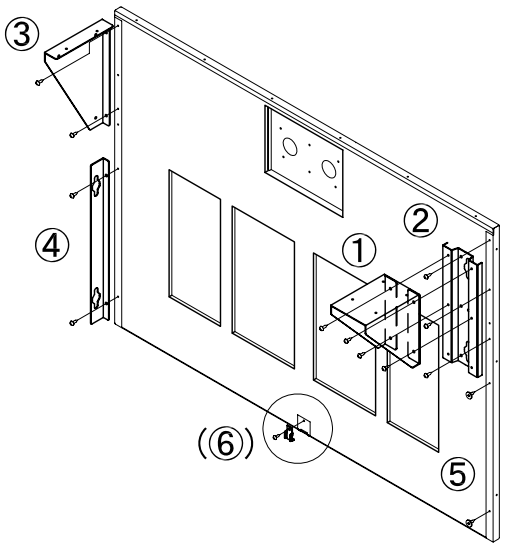
金具取付位置詳細図　１８１８タイプ　カウンター面

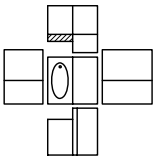
本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。



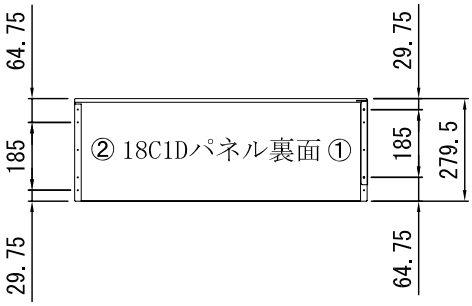
①ＵＺＡカウンターウケカナグＡ：４箇所
②ＵＺＡカウンターウケカナグＢ：３箇所
③ＵＺＡカウンターウケカナグＣＬ：２箇所
④ＵＺＡカウンターウケカナグＤ：２箇所
⑤パネルフックネジＥ：２箇所
(⑥ガイド金具)※タフロアのみ

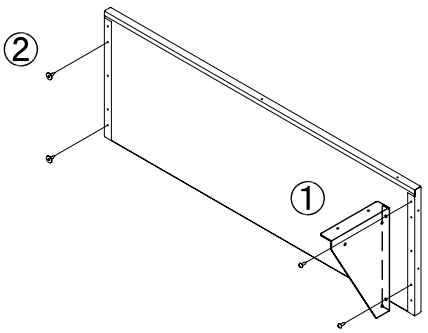


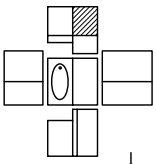




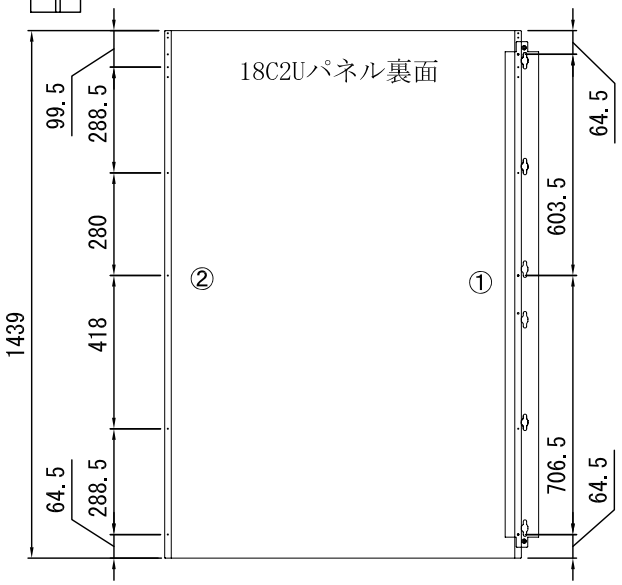
①ＵＺＡカウンターウケカナグＣＲ：２箇所
②パネルフックネジＥ：２箇所

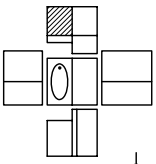




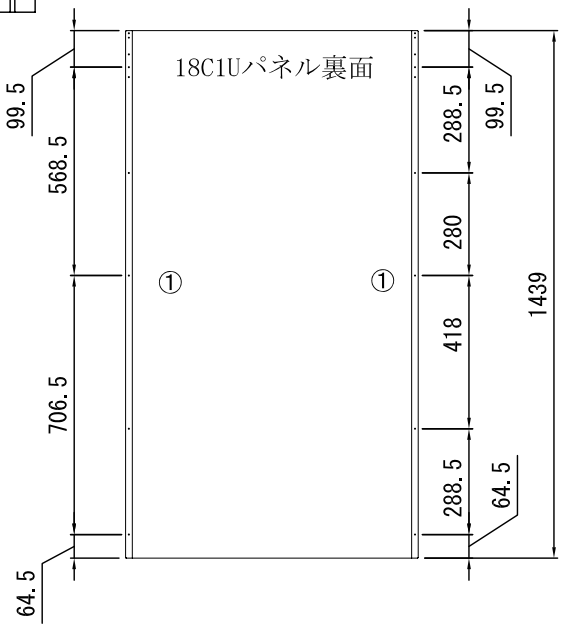


①センターチャンネルＫ１４：３箇所
②パネルフックネジＥ：５箇所



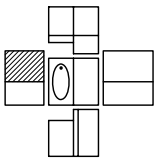


①パネルフックネジＥ：８箇所

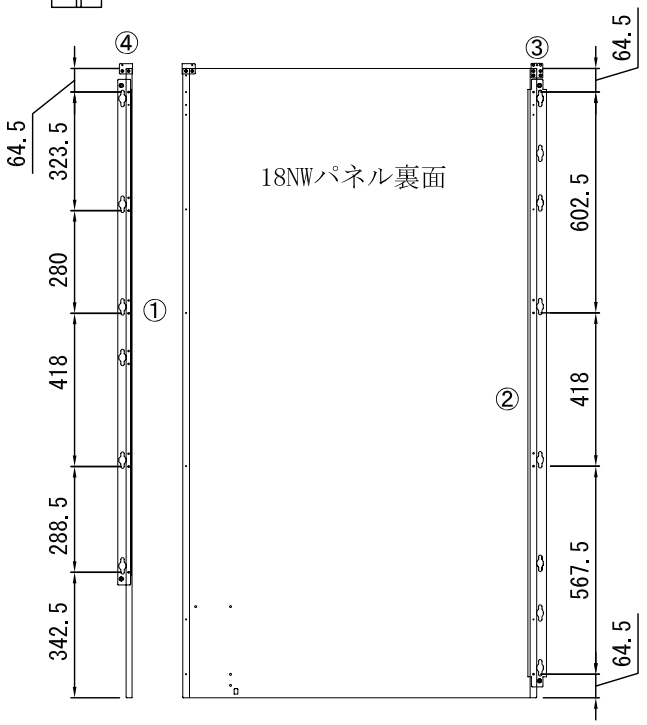


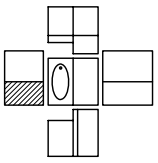
金具取付位置詳細図	１８１８タイプ　浴槽側面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

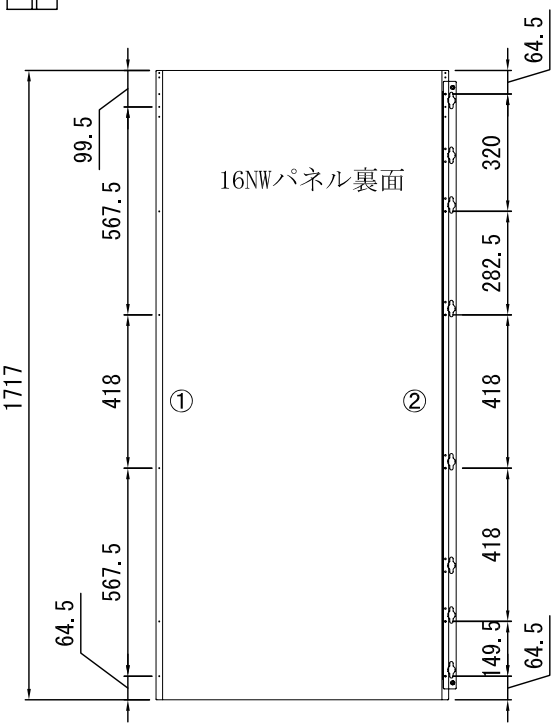


①コーナーチャンネルＫ１４：５箇所
②センターチャンネルＫ１７：４箇所
③テンワク固定金具Ａ
④テンワク固定金具Ｂ



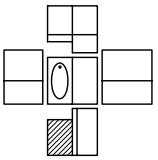


①パネルフックネジＥ：４箇所
②コーナーチャンネル：６箇所

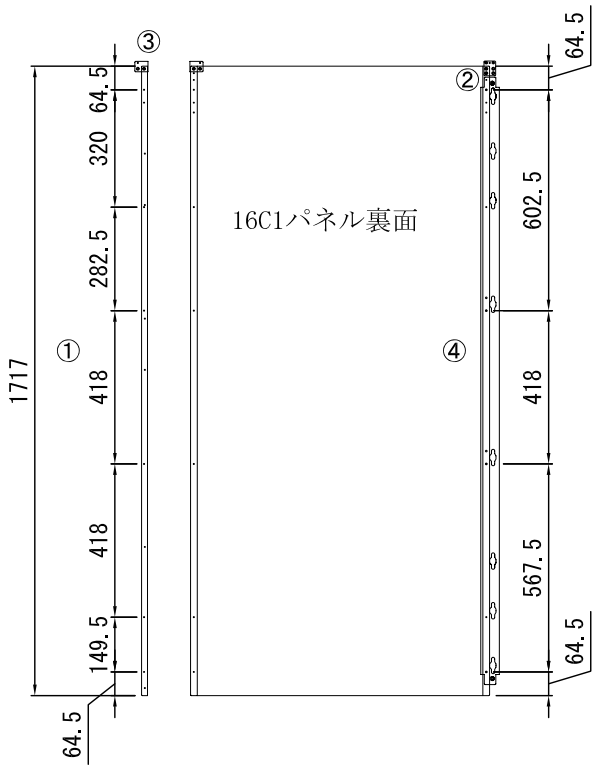


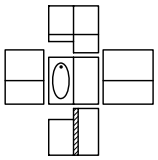
金具取付位置詳細図　１８１８タイプＡ勝手　カウンター対面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。



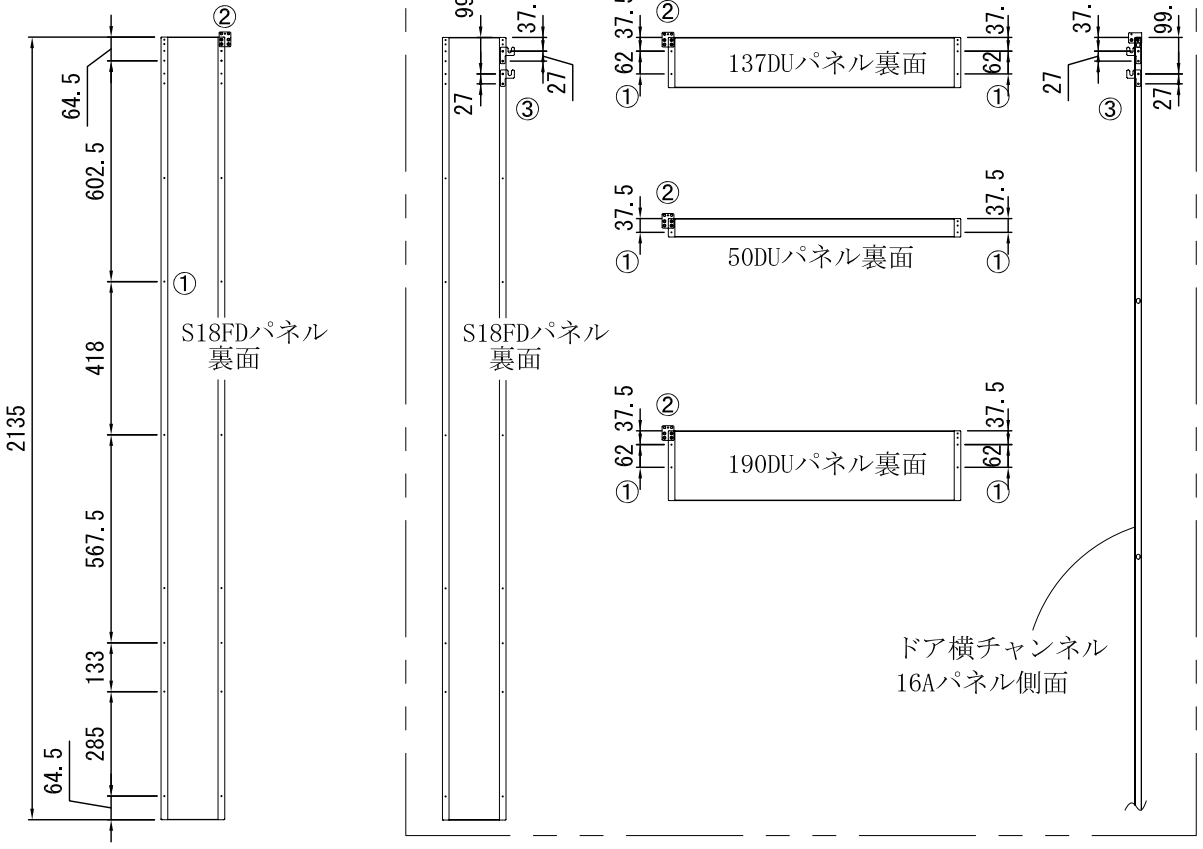
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③テンワク固定金具Ｂ
④センターチャンネル：４箇所





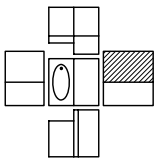
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ

注）DUパネルありの場合、
②はDUパネルに取付

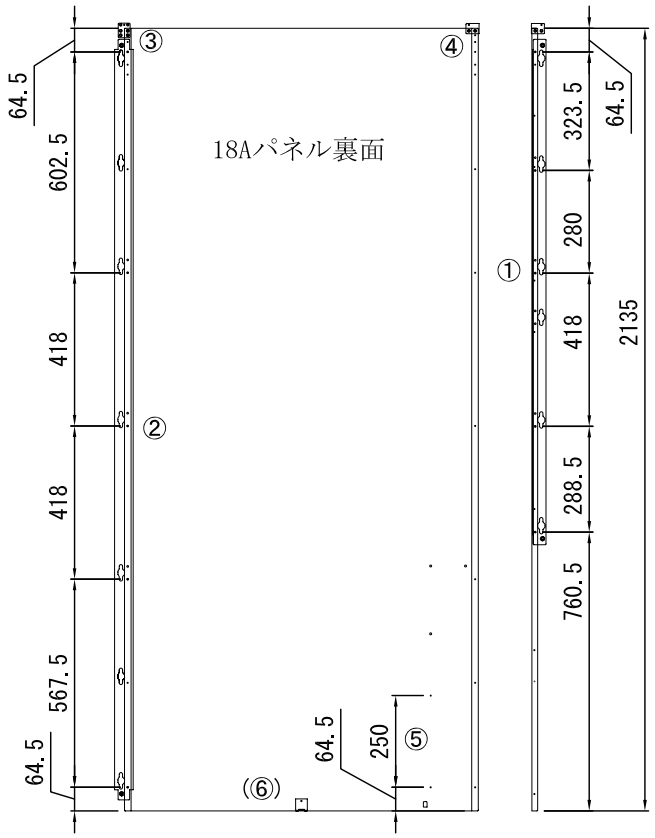


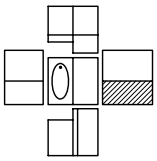
金具取付位置詳細図　１８１８タイプＡ勝手　洗い場側面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

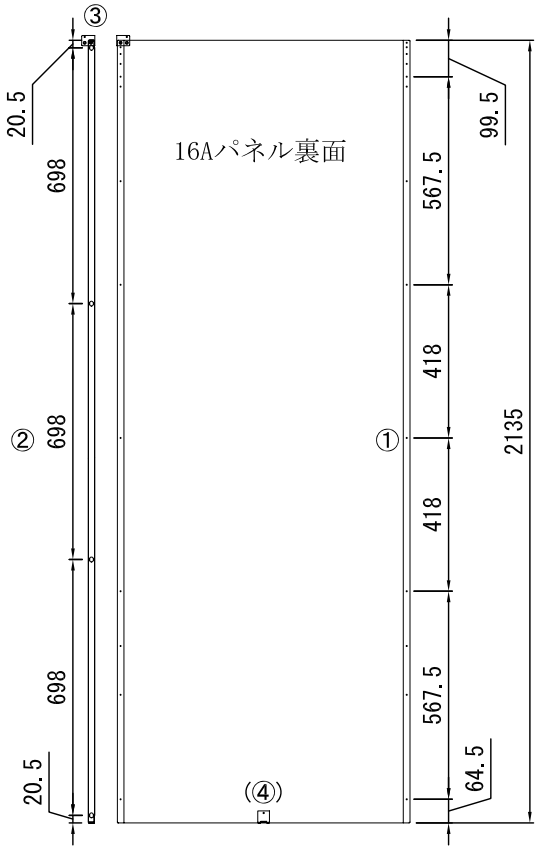


①コーナーチャンネルＫ１４：５箇所
②センターチャンネル：５箇所
③テンワク固定金具Ａ
④テンワク固定金具Ａ
⑤パネルフックネジＥ：２箇所
（⑥ガイド金具）※タフロアのみ



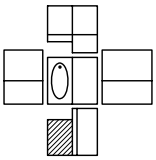


①パネルフックネジＥ：５箇所
②ドア横チャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
（④ガイド金具）※タフロアのみ

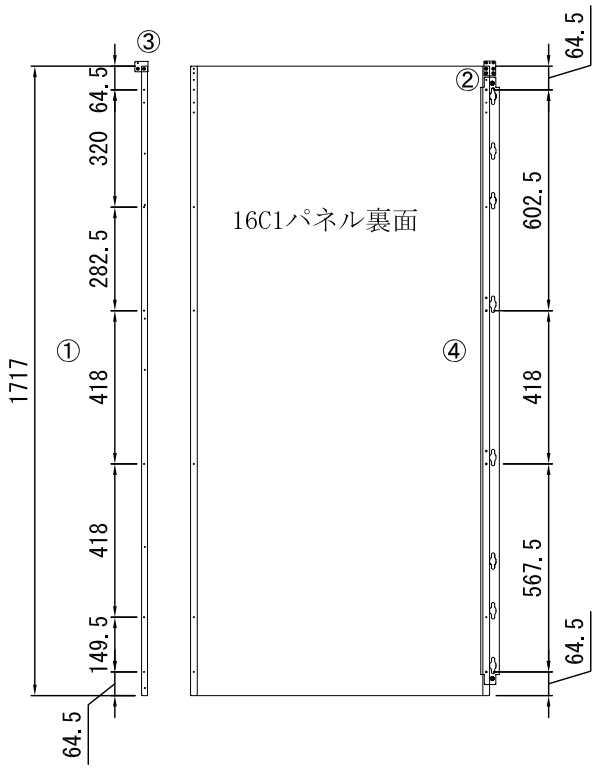


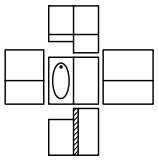
金具取付位置詳細図　１８１８タイプＢ勝手　カウンター対面

本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。

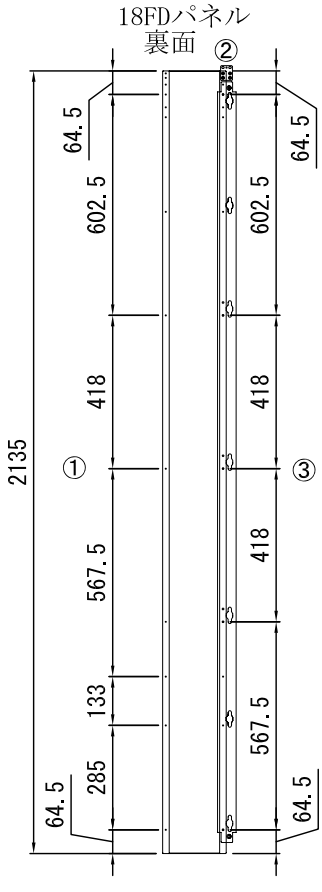


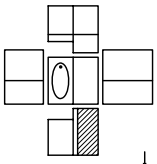
①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③テンワク固定金具Ｂ
④センターチャンネル：４箇所



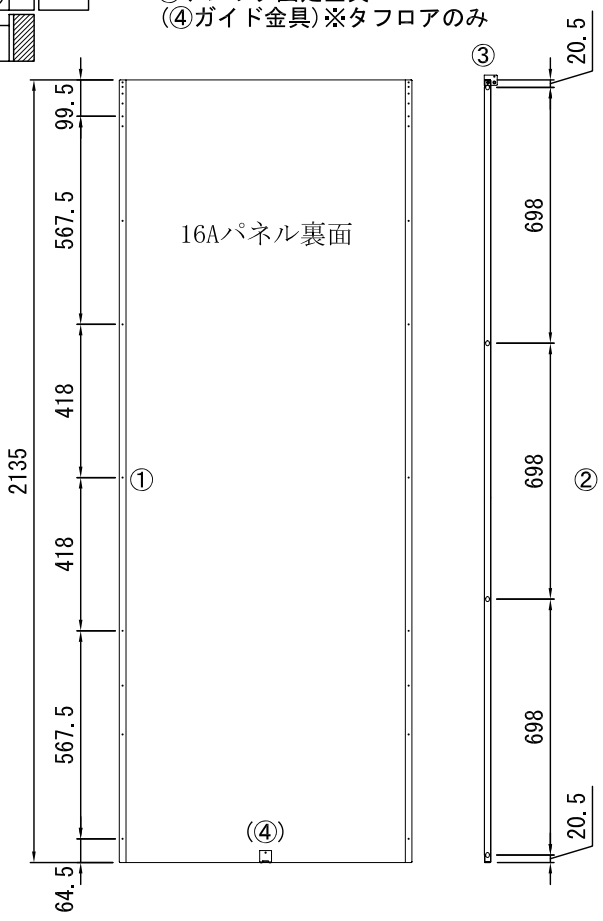


①パネルフックネジＥ：６箇所
②テンワク固定金具Ａ
③センターチャンネルＫ２１：５箇所



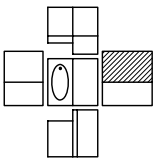


①パネルフックネジＥ：６箇所
②ドア横チャンネル：４箇所
③テンワク固定金具Ｂ
（④ガイド金具）※タフロアのみ



金具取付位置詳細図　１８１８タイプＢ勝手　洗い場側面

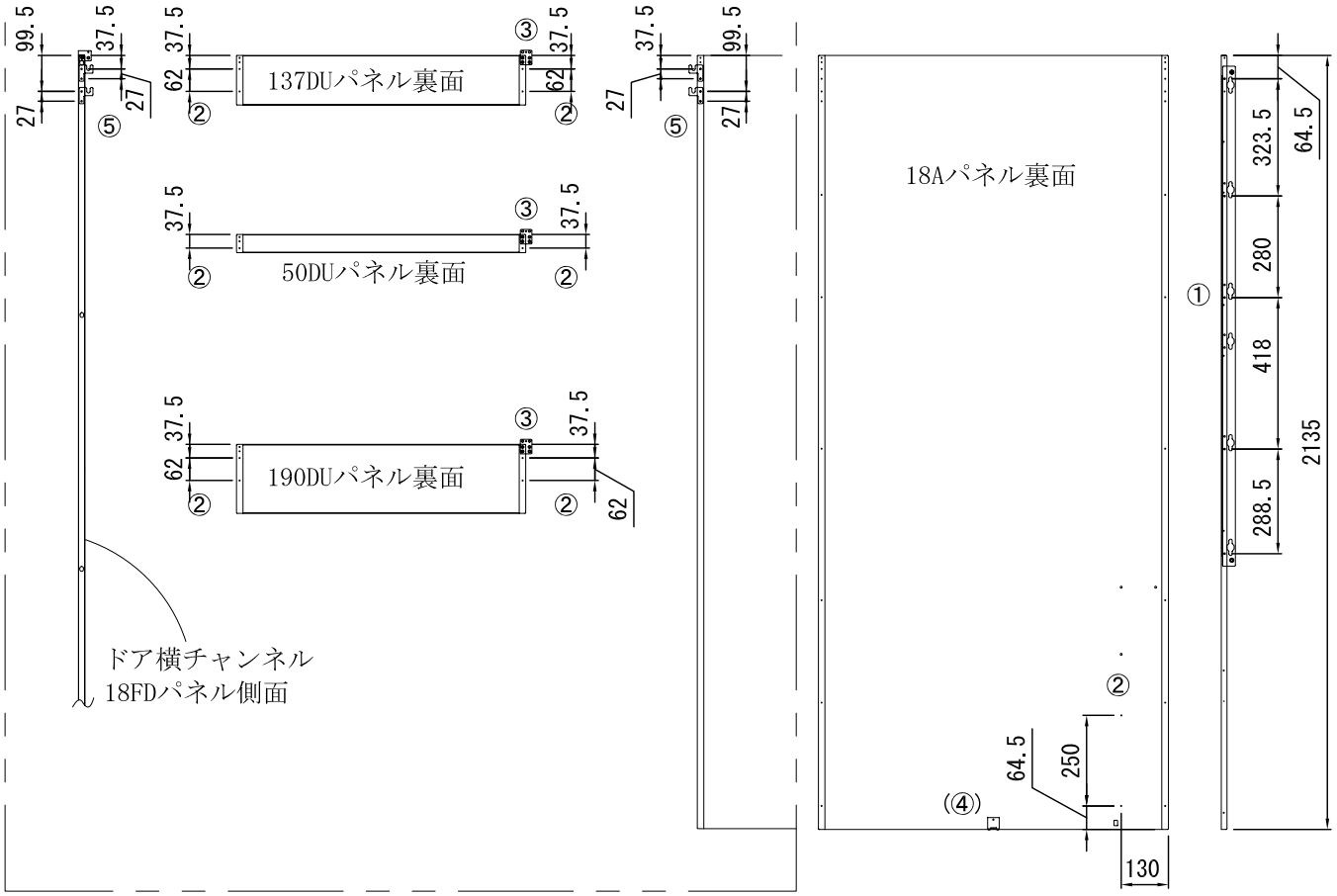
本図はＡＲＢＬを示す。
ＡＬＢＲは対称です。



①コーナーチャンネルＫ１４：５箇所
②パネルフックネジ：２箇所
③テンワク固定金具Ａ
(④ガイド金具)※タフロアのみ

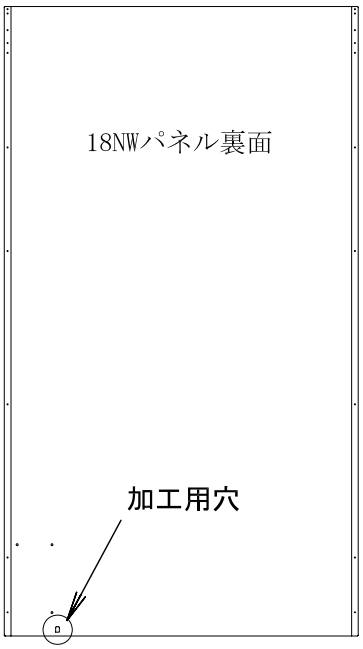
ＤＵパネルありの場合

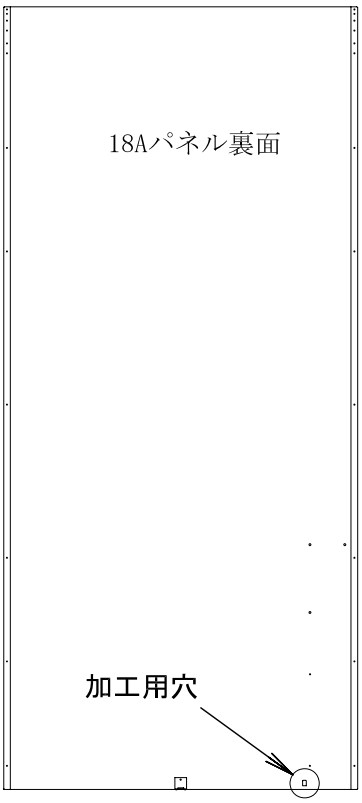
②パネルフックネジＥ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所
⑤ＤＵ固定金具Ａ:137/190DU ４箇所、50DU ２箇所

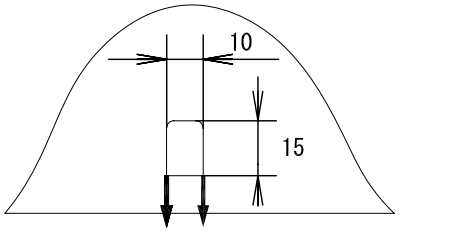


・18NWパネルと18Aパネルのパネル切り欠き加工

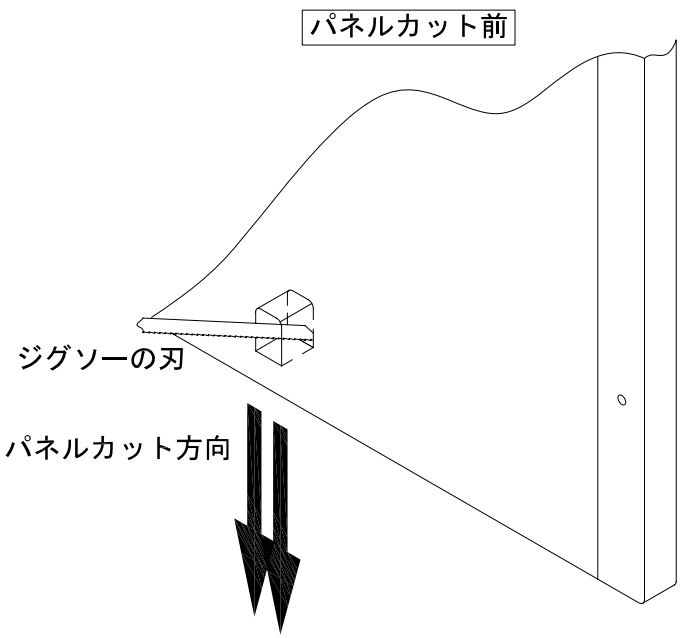
加工用窓穴にジグソーの刃を入れ、パネル下部を切り落とし、防製剤を塗布する。

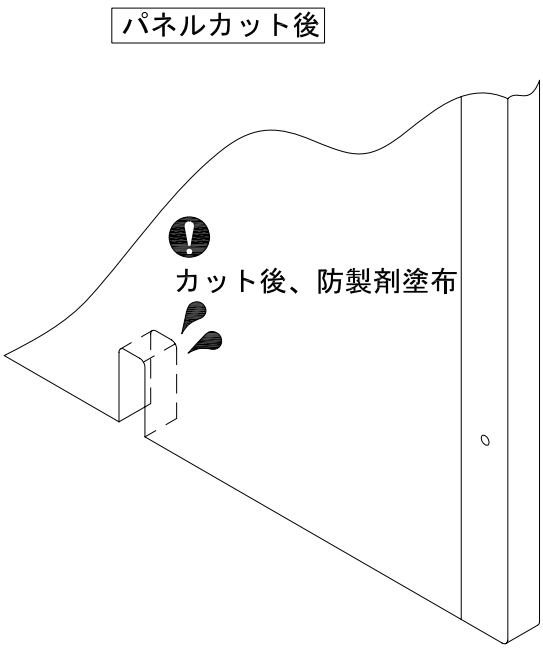




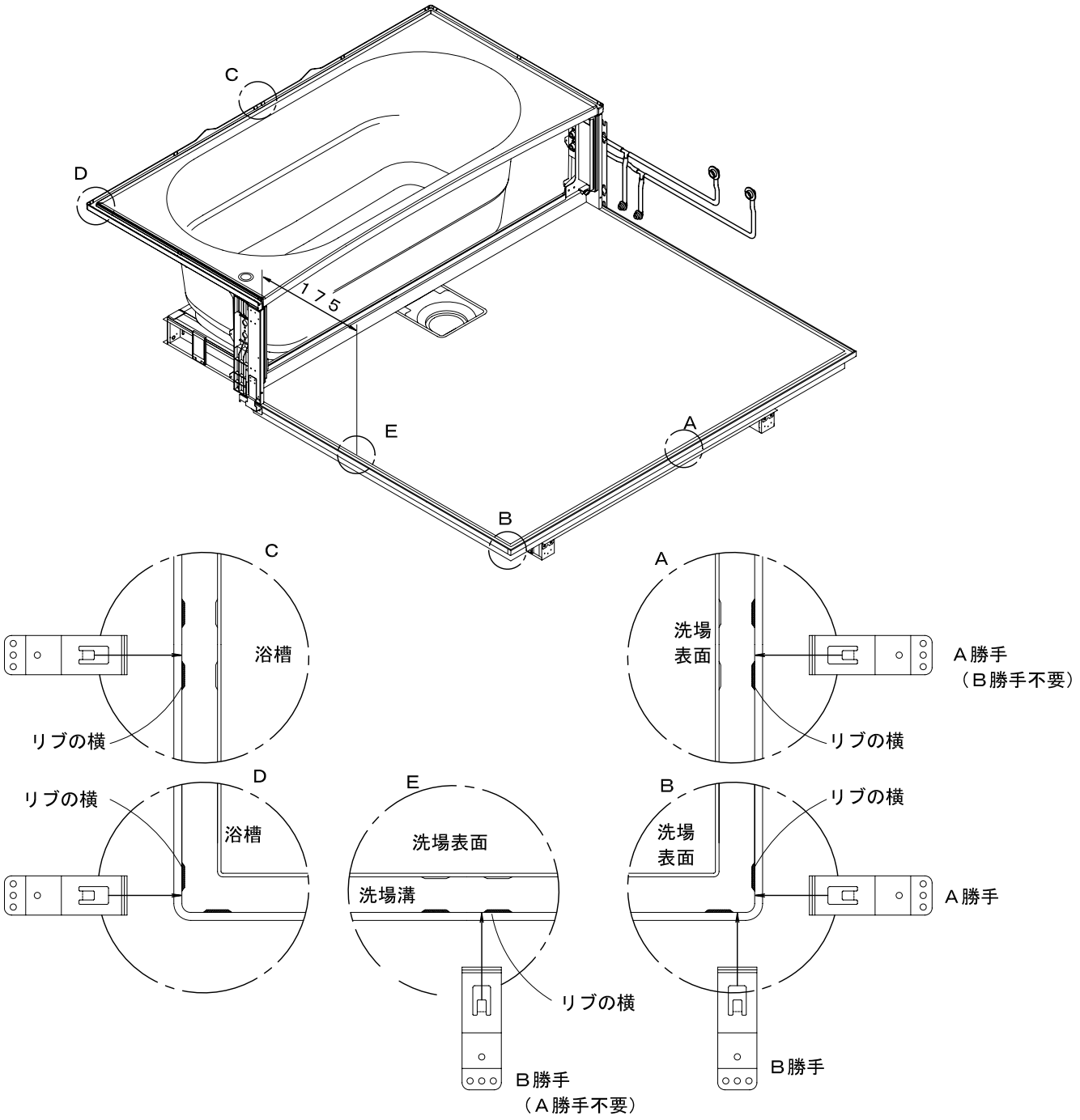


加工用穴部詳細



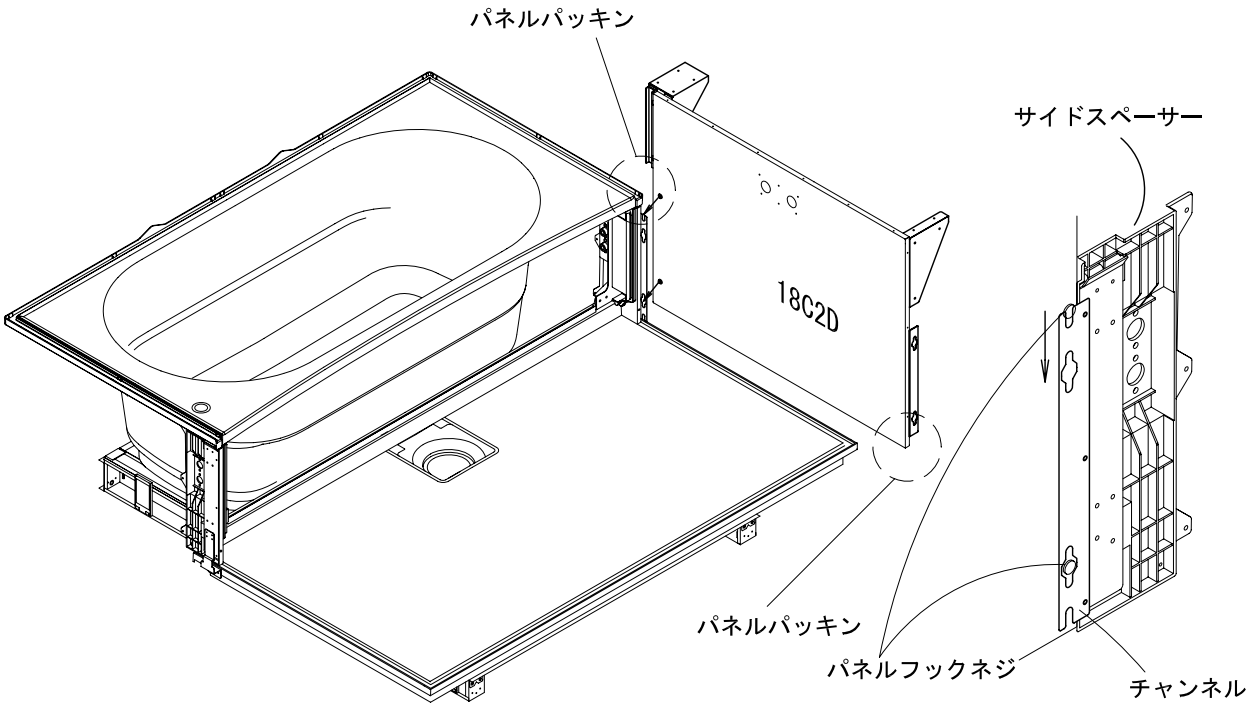


・壁パネル設置前に洗場・浴槽立ち上がり部にパネル固定金具を取り付ける。



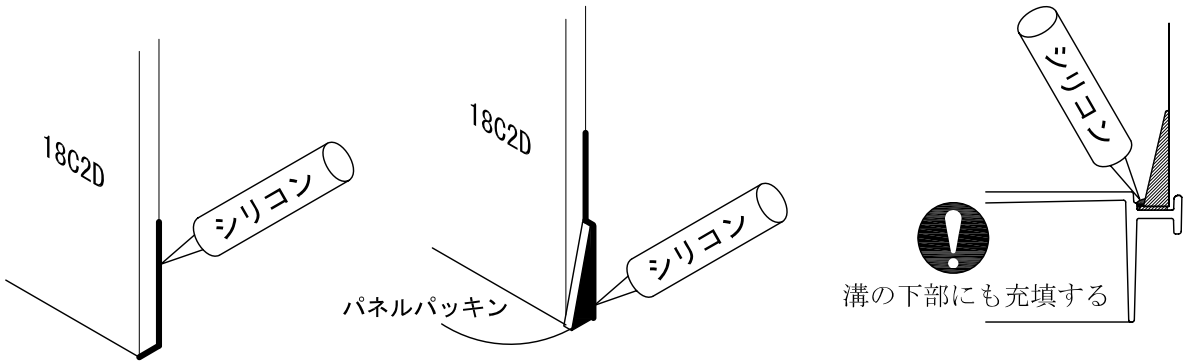
2. 壁パネルの組付け手順

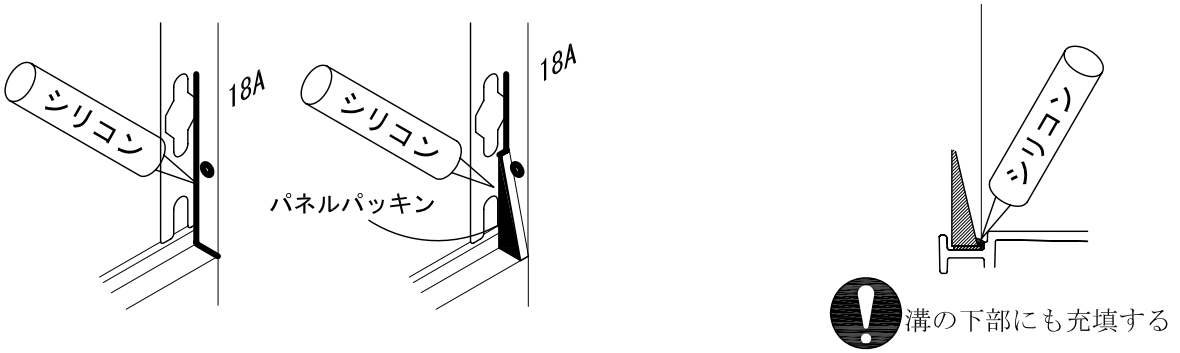
(1) C2パネルの組付



・壁パネルのパネルフックネジをサイドスペーサーに付けたチャンネル切り欠き部に引っ掛ける。

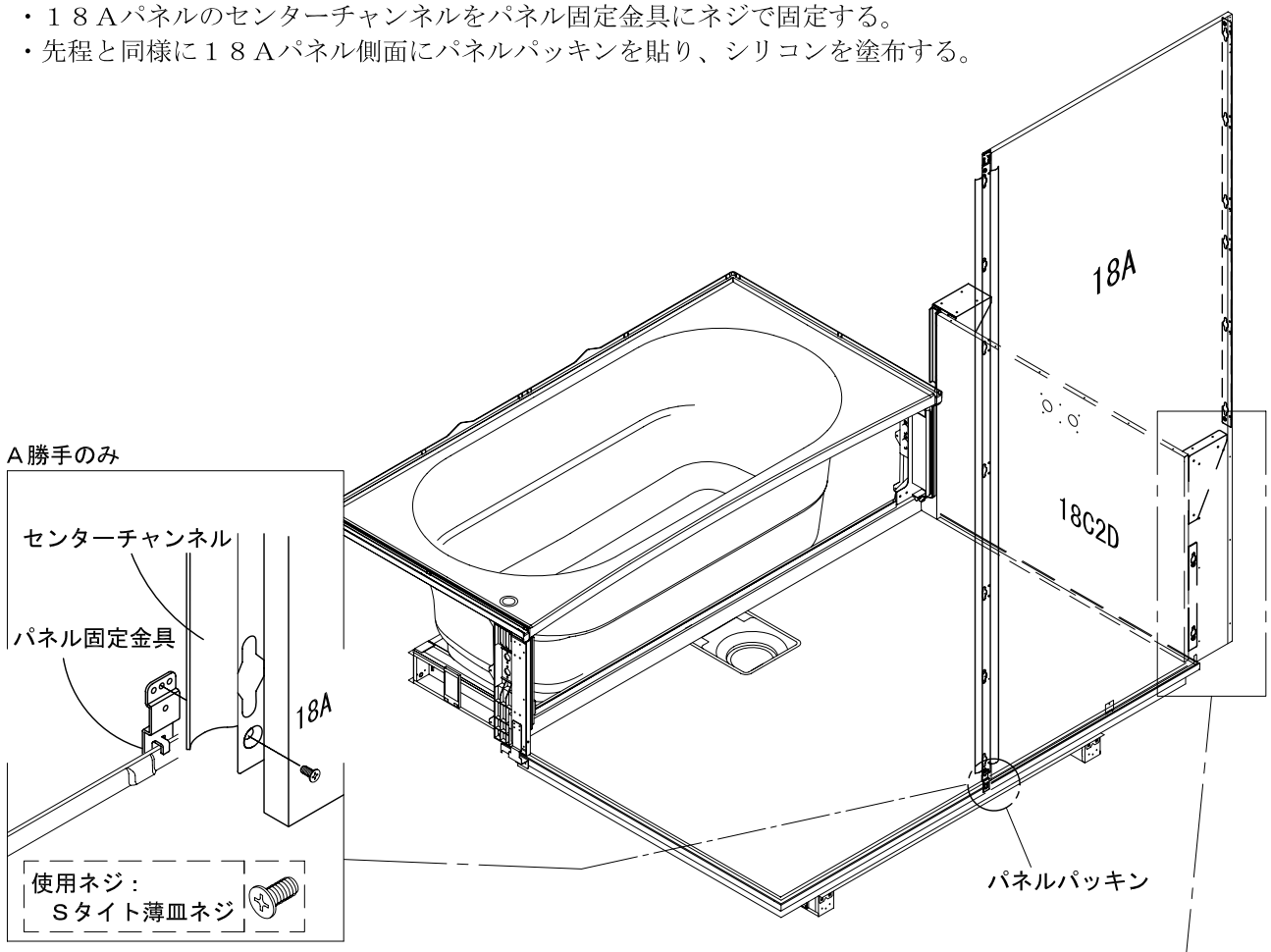
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）



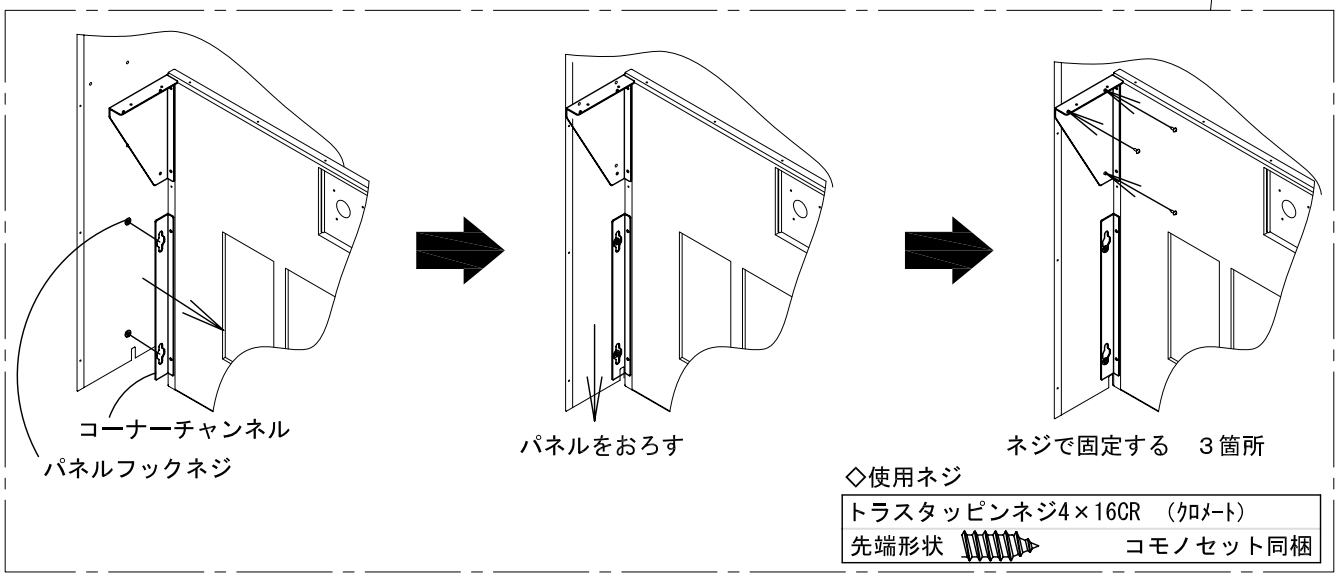


(2) Aパネルの組付

・１８Ａのパネルフックネジを１８Ｃ２Ｄパネルのチャンネル切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・１８Ａパネルのセンターチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。
・先程と同様に１８Ａパネル側面にパネルパッキンを貼り、シリコンを塗布する。

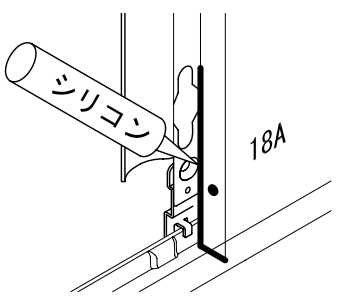


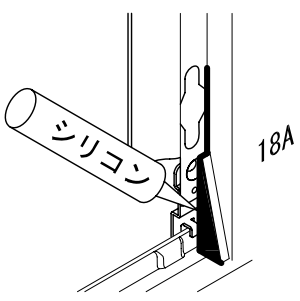
Ａ勝手のみ

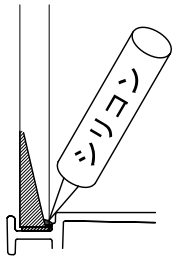


◇使用ネジ

トラスタッピンネジ4×16CR　(ｸﾛﾒｰﾄ)	
先端形状	コモノセット同梱



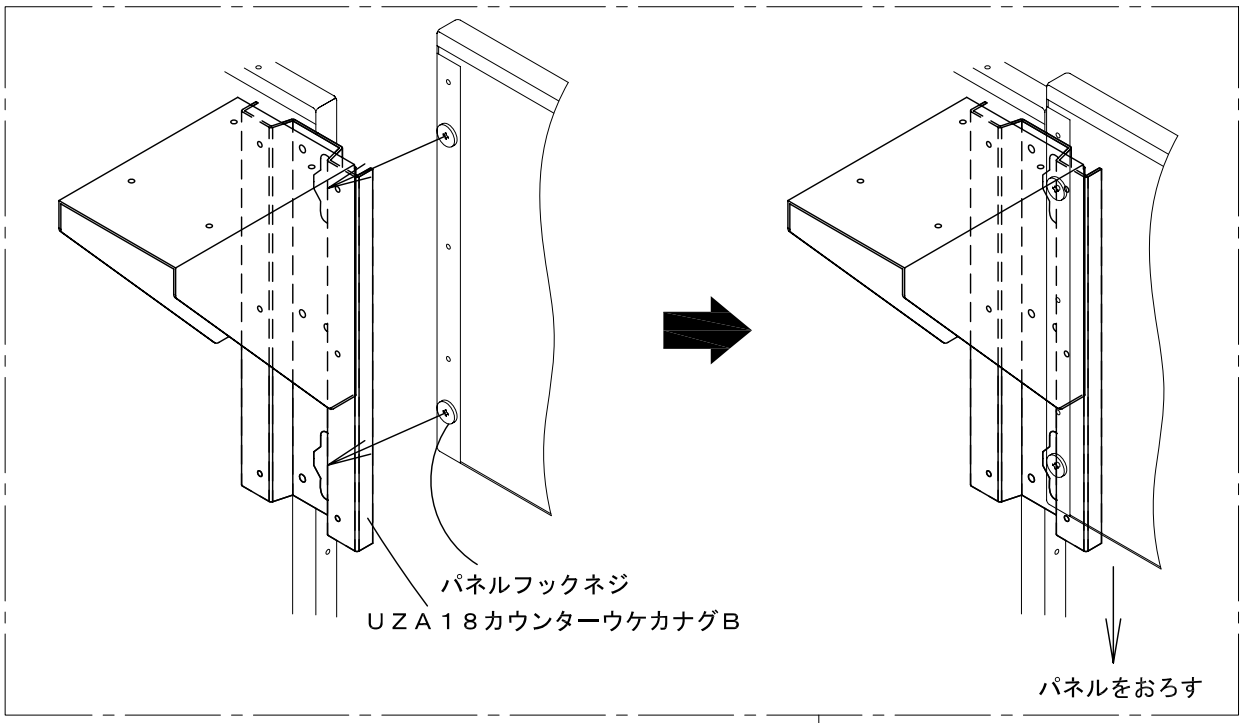


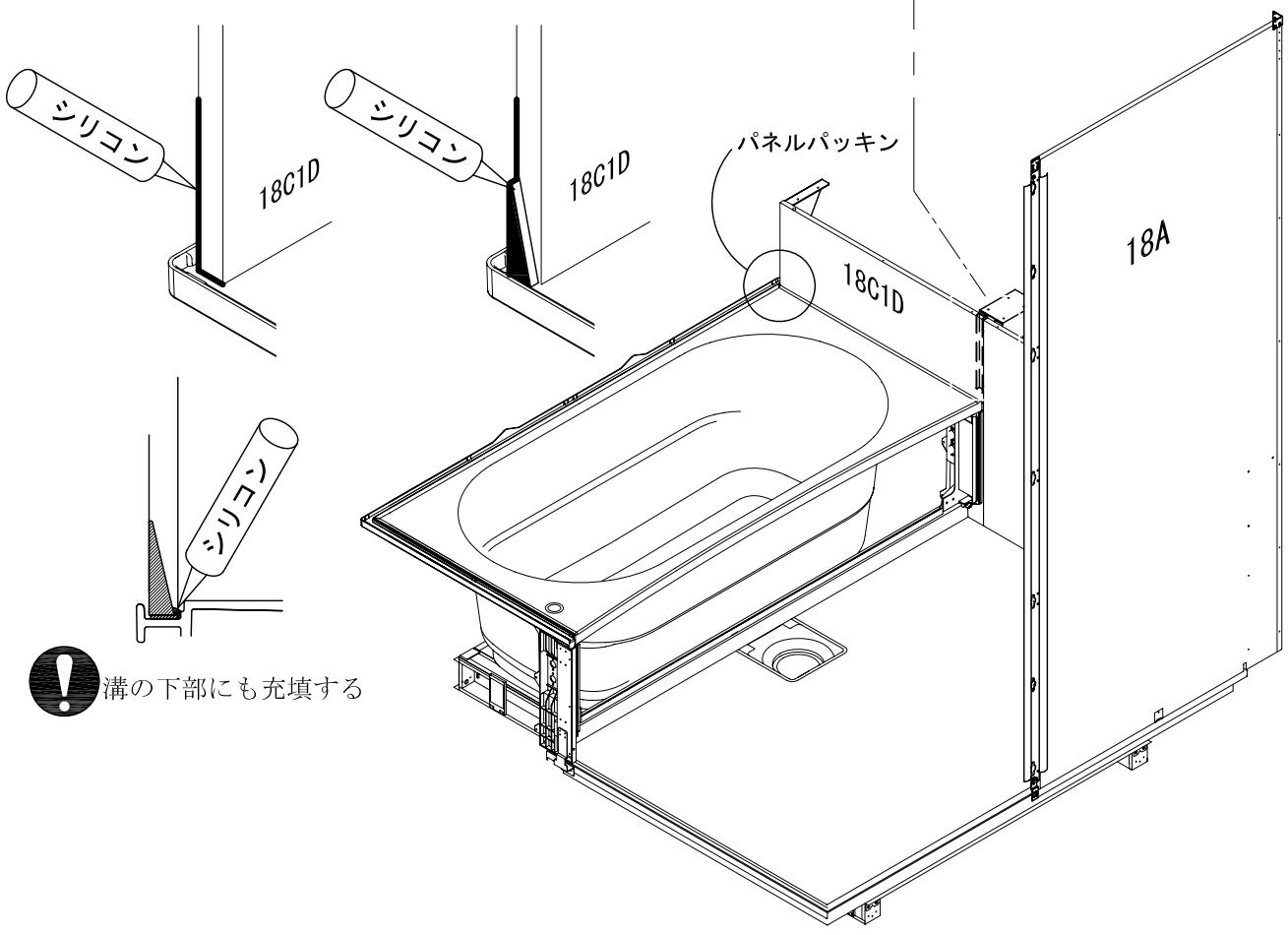


溝の下部にも充填する

（3）１８Ｃ１Ｕパネルの組付～カウンター面

・１８Ｃ１Ｄのパネルフックネジを１８Ｃ２ＤパネルのＵＺＡ１８カウンターウケカナグＢに引っ掛ける。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）



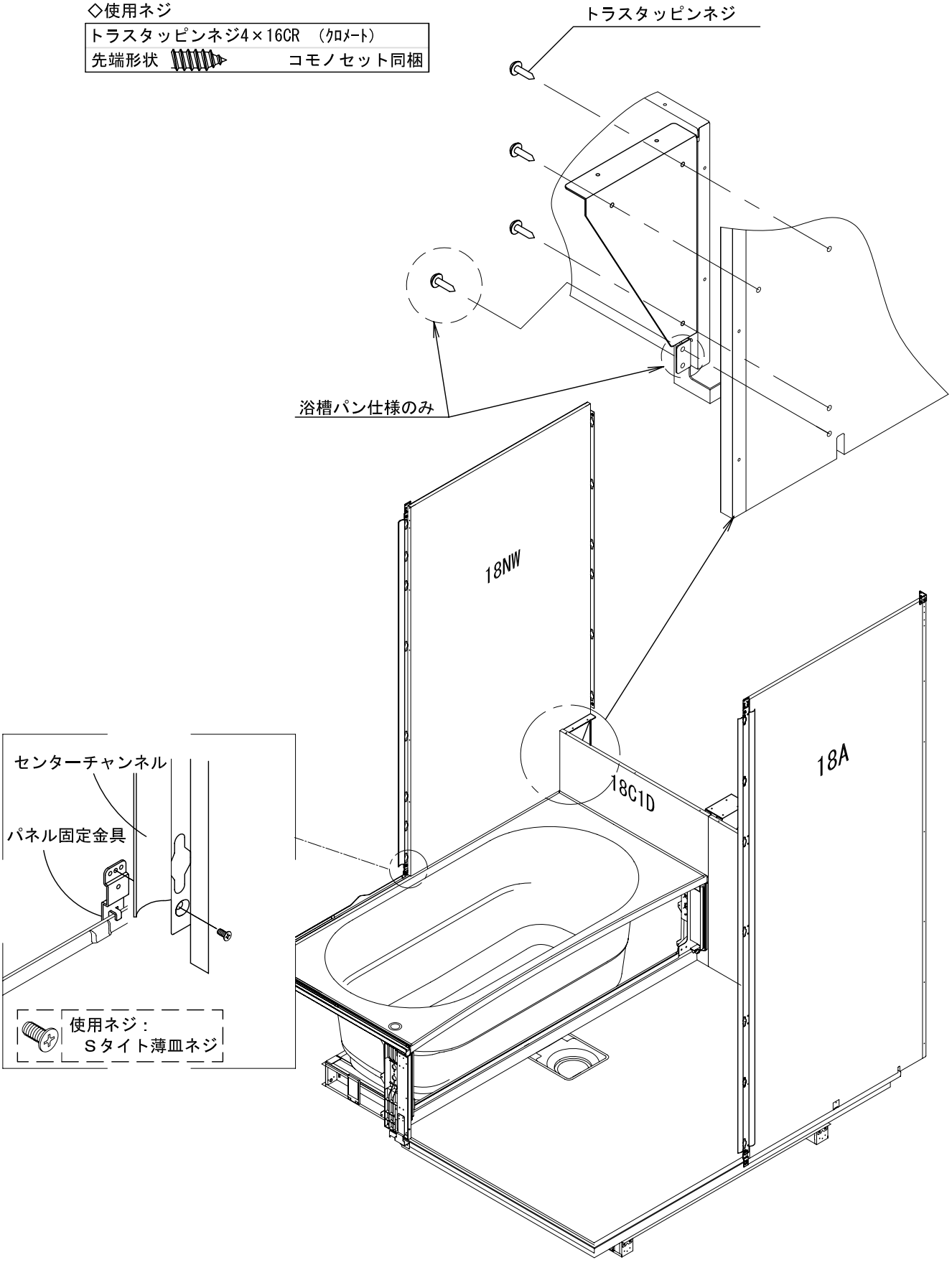


(4) 18NWパネルの組付

・１８ＮＷを１８Ｃ１Ｄパネルの ＵＺＡ１８カウンターウケカナグＣ（Ｒ/Ｌ）と固定する。
・１８ＮＷパネルのセンターチャンネルをパネル固定金具にネジで固定する。

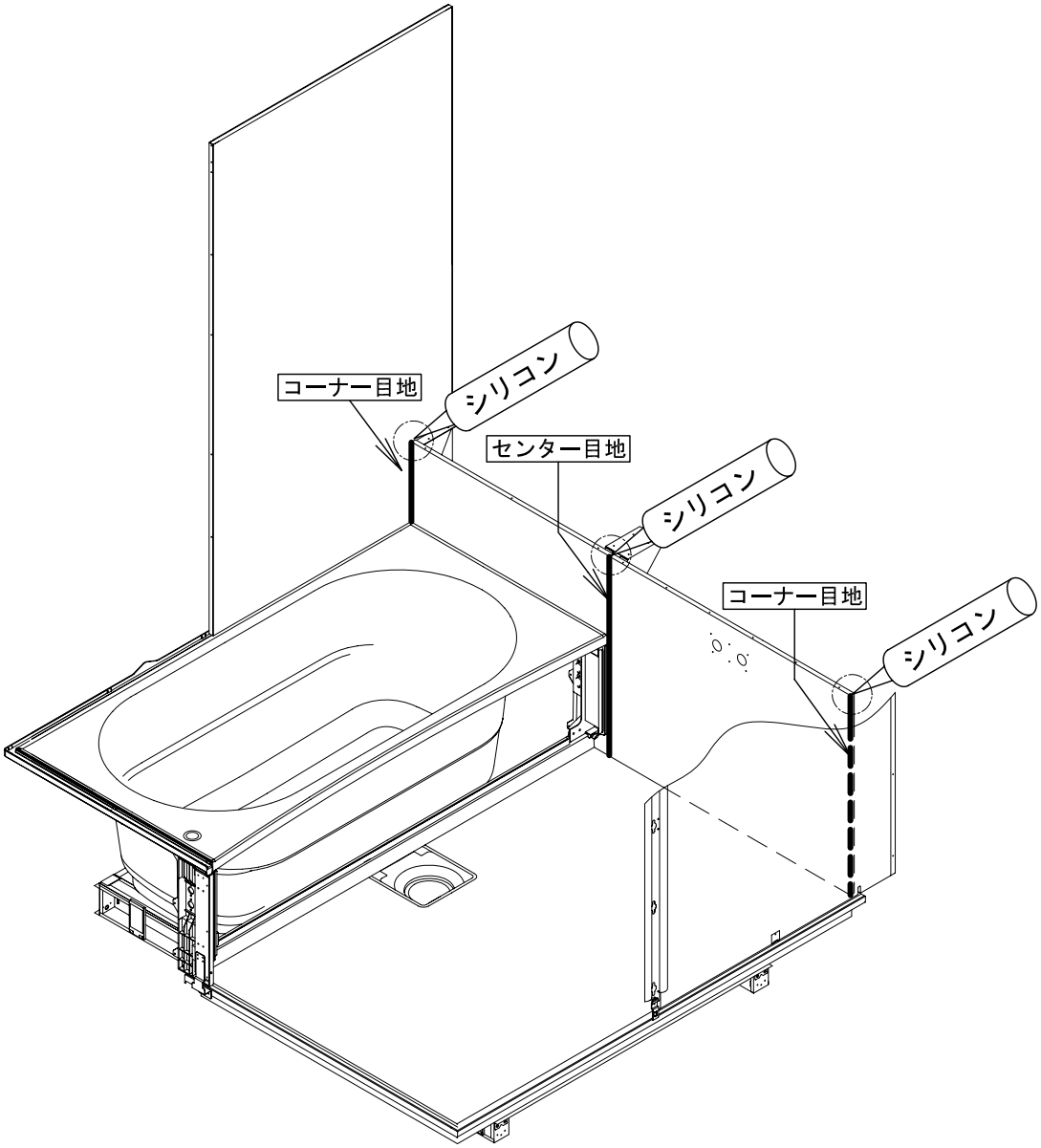
◇使用ネジ

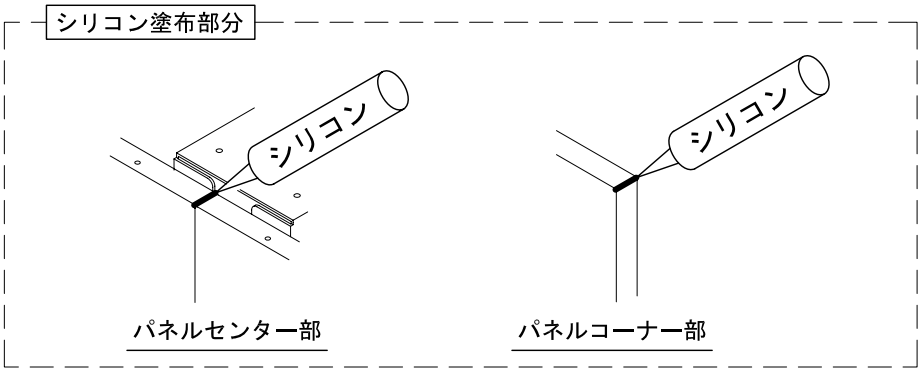
トラスタッピンネジ4×16CR （ｸﾛﾒｰﾄ）
先端形状 コモノセット同梱



(5) カウンター面パネルへの打ち込み目地設置作業

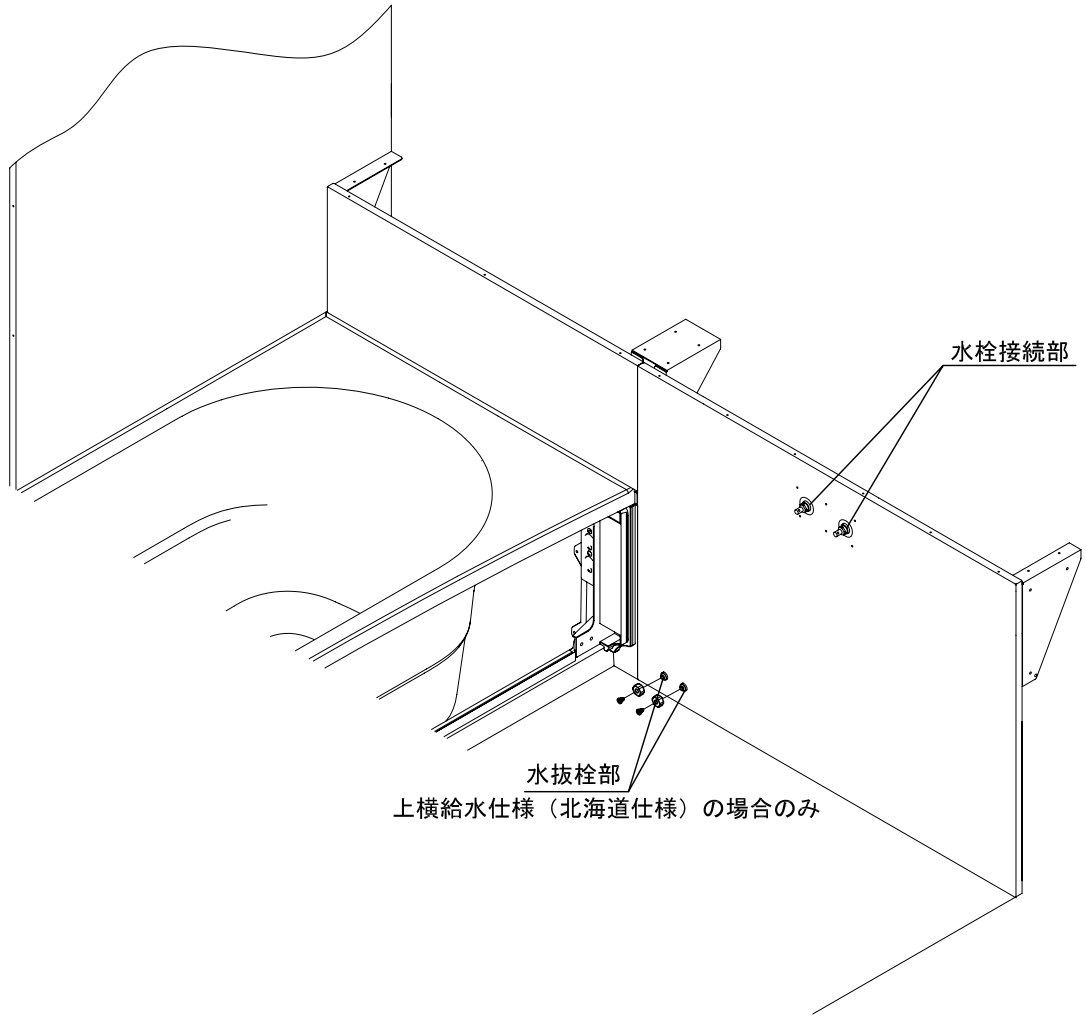
・下図に示す太線部に指定色の目地を打ち込む。
※目地の指定色および打ち込み方法は、作業Cの[壁パネル打ち込み目地設置手順]を参照のこと。
・目地打ち込み後に、壁パネル継ぎ目の目地上端部にシリコンを塗布する。



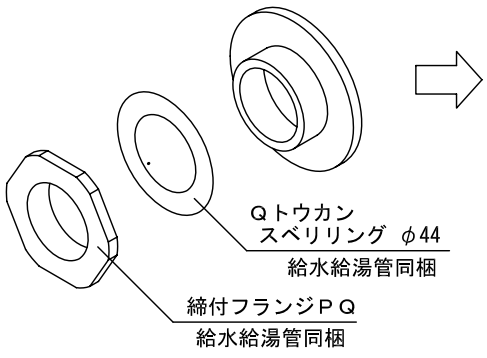


(6) カウンター面パネルへのQトウカン接続作業

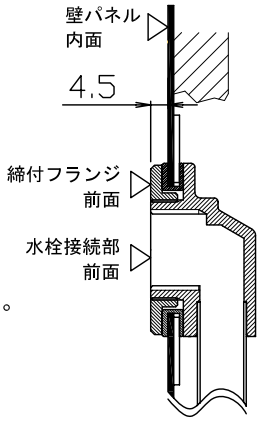
※上横給水仕様（北海道仕様）の場合は、1616・1618サイズと同様に水抜栓を取り付けること。



水栓接続部の取り付け方法



配管を18C2Dﾊﾟﾈﾙ裏から持ち、水栓接続部の位置を調整しながら締付フランジを取り付ける。



締め過ぎ
締め不足
に注意

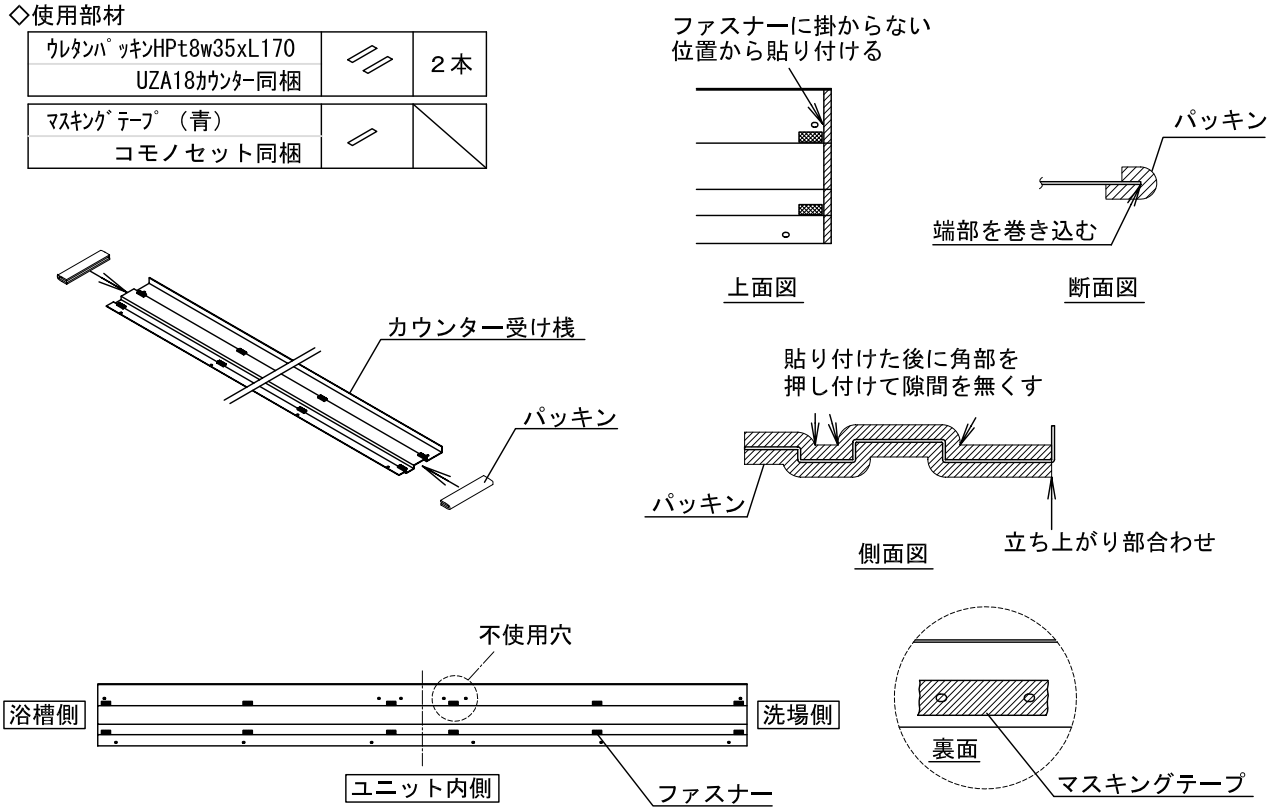
締付フランジは上図の寸法になるまで締め付ける。

(7)UZA18 カウンター受け桟の組付け準備

・受け桟の両端の側面を覆うようにパッキン（厚み5mm、幅35mm、長さ170mm）を貼り付ける。
・洗場側の不使用穴（2箇所）の裏面からマスキングテープを貼り付ける。（シリコンのバックアップ用）
※ファスナー貼付面が表面です。

◇使用部材

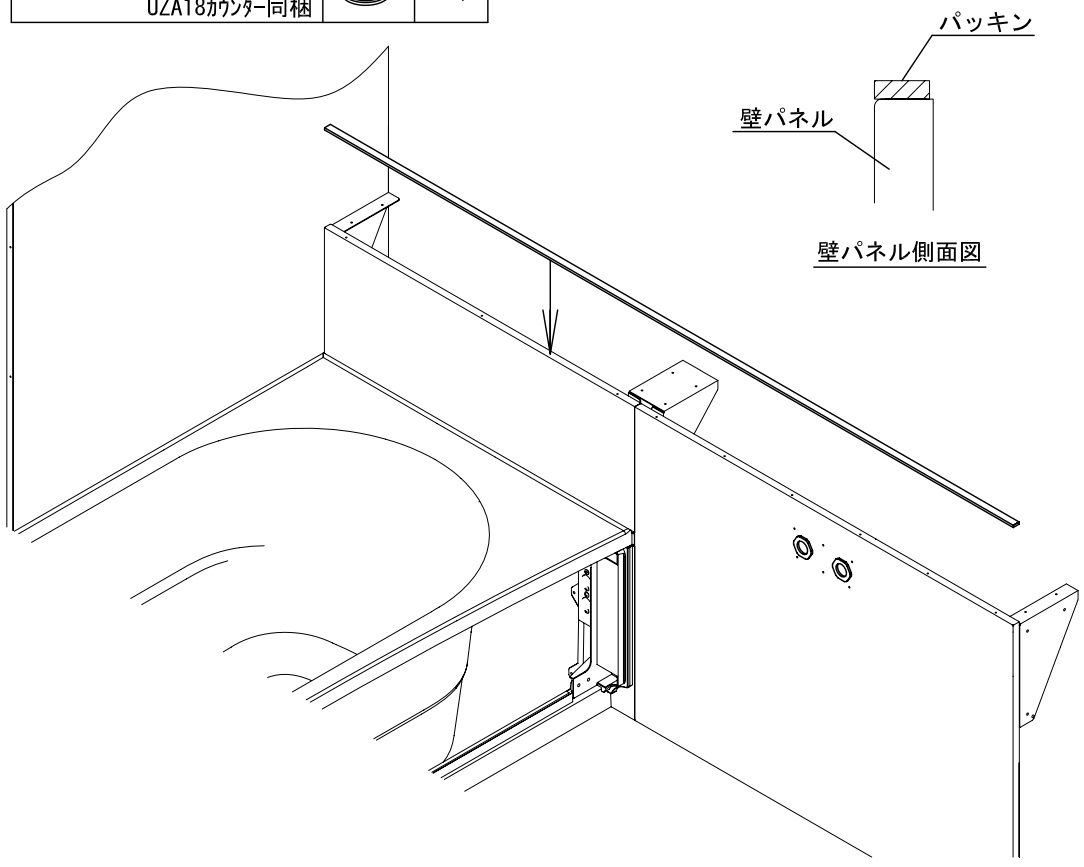
ｳﾚﾀﾝﾊﾟｯｷﾝHPt8w35xL170 UZA18ｶｳﾝﾀｰ同梱		2本
ﾏｽｷﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ（青） コモノセット同梱		



・下図指示位置のパネル上面にパッキン（厚み5mm、幅15mm、長さ1775mm）を貼り付ける。

◇使用部材

ｳﾚﾀﾝﾊﾟｯｷﾝHPGt5w15xL1775 UZA18ｶｳﾝﾀｰ同梱		1本

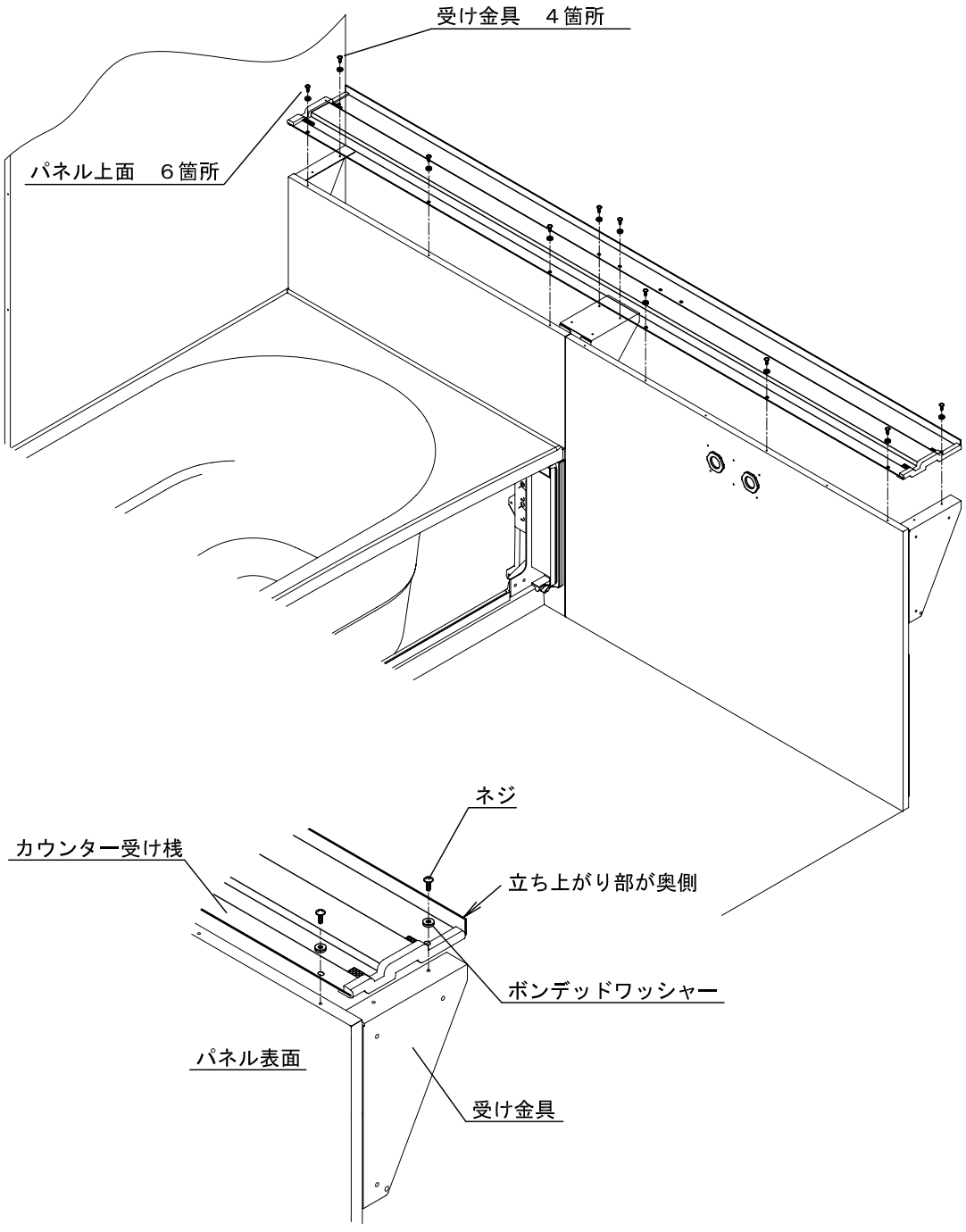


(8)UZA18 カウンター受け桟の組付け

・カウンター受け桟を受け金具に載せ、ネジで固定する。

◇使用ネジ

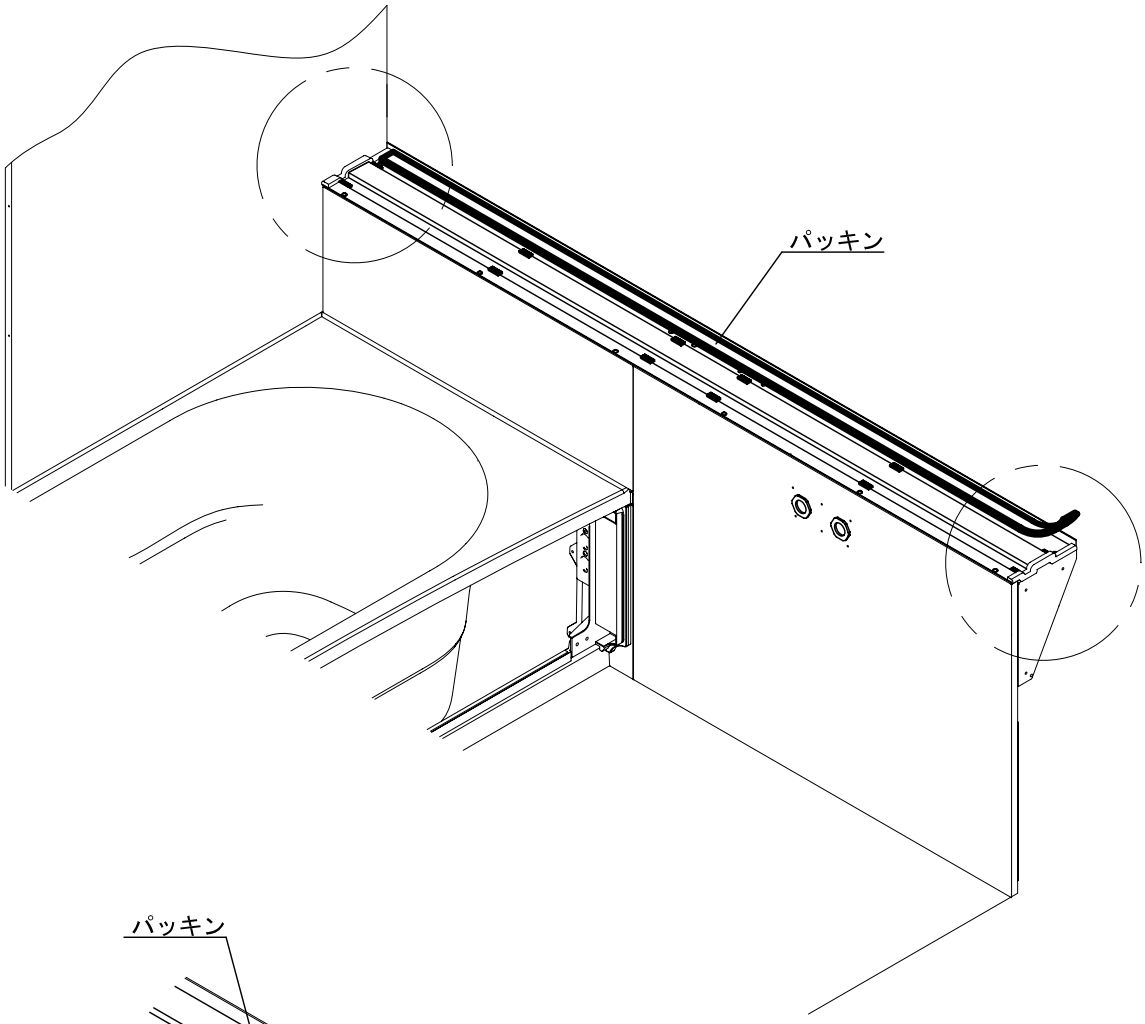
トラスデルタイトネジ4×14SUS 先端形状 コモノセット同梱	10本
ボンデットワッシャー 形状 コモノセット同梱	10個

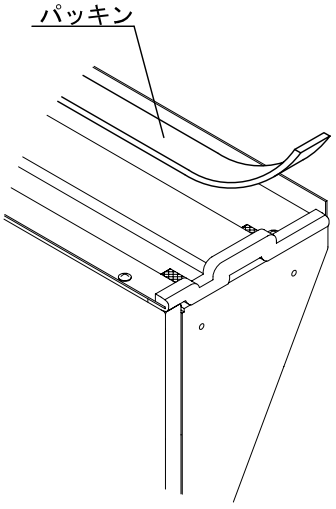


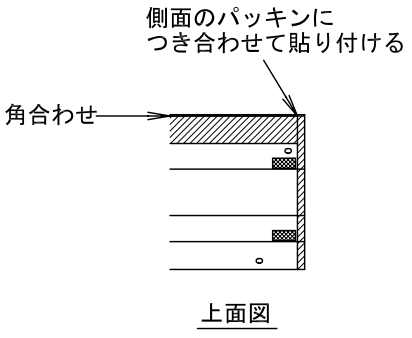
(9)パッキンの貼付

◇使用部材

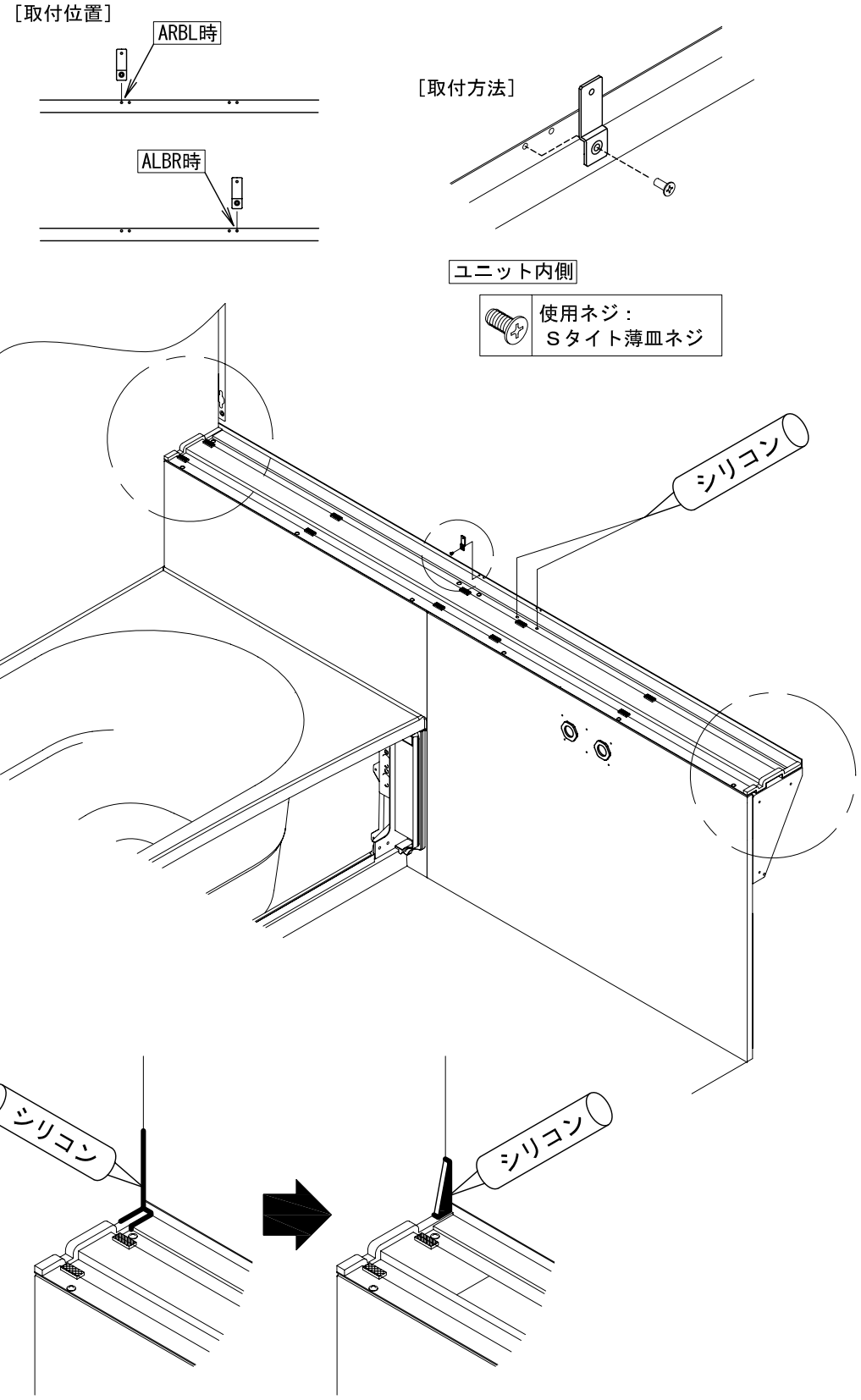
ｳﾚﾀﾝﾊﾟｯｷﾝHPGt5w30xL1771 UZA18ｶｳﾝﾀｰ同梱		1本





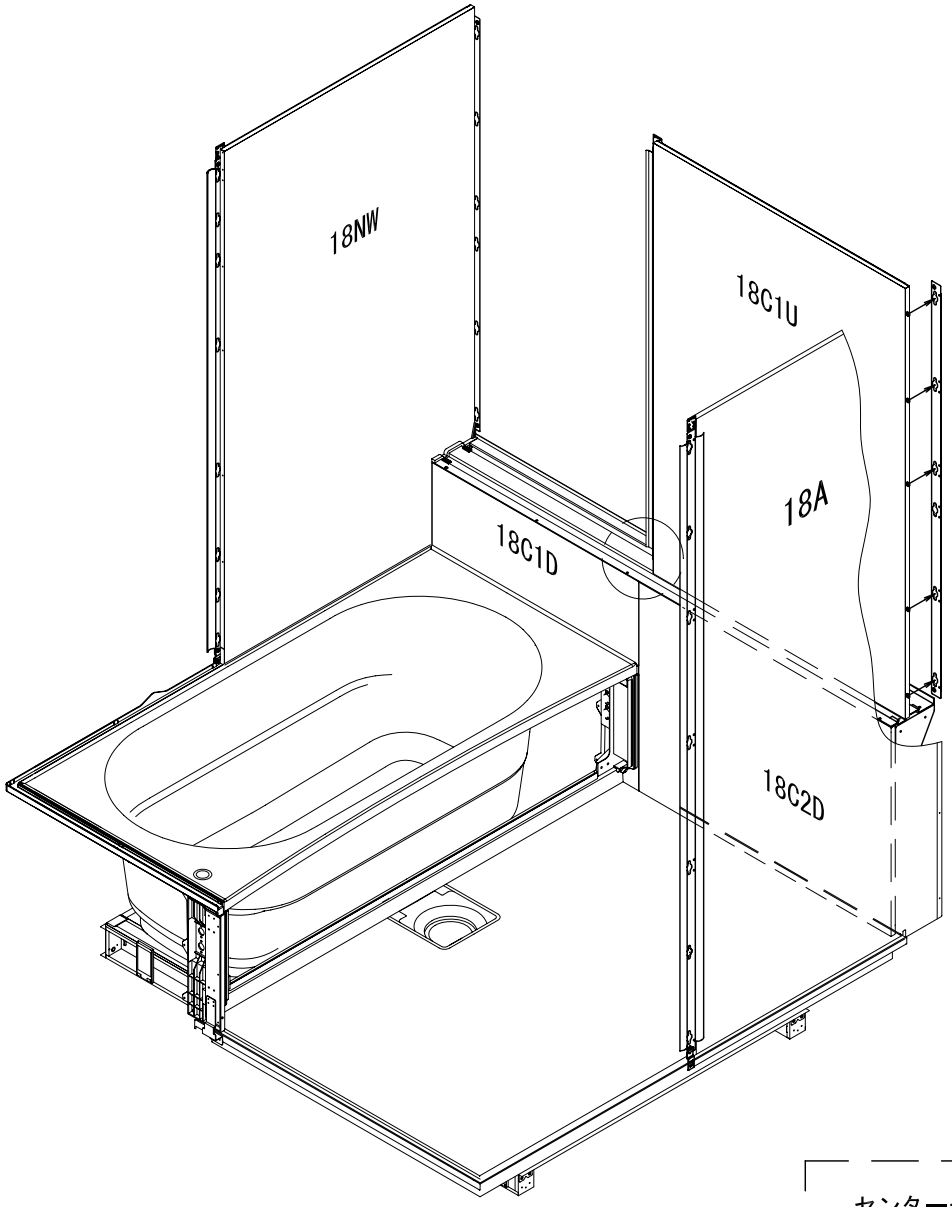


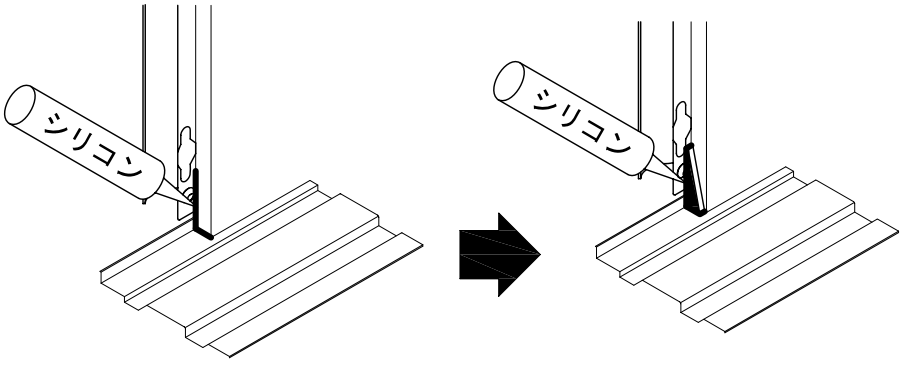
・カウンター受桟にパネル固定金具を取り付ける。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）

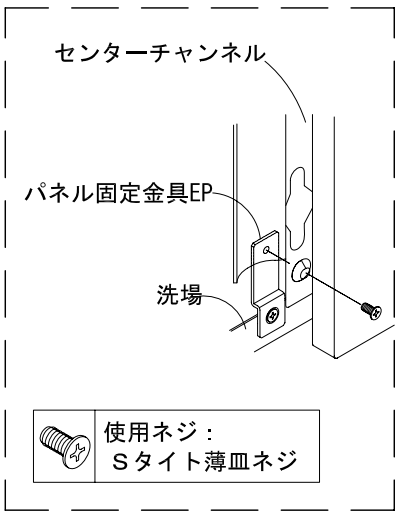


(10) 18C1Uパネルの組付

・18C1Uパネルのパネルフックネジを隣の18Aパネルのチャンネル
　切り欠き部すべてに引っ掛ける。
・パネル固定金具とチャンネルを薄皿ネジで固定する。
・パネルパッキン貼り付け部分にシリコンを塗布する。（太線部）
・パネルパッキンを貼り付け後シリコンを塗布する。（太線部）

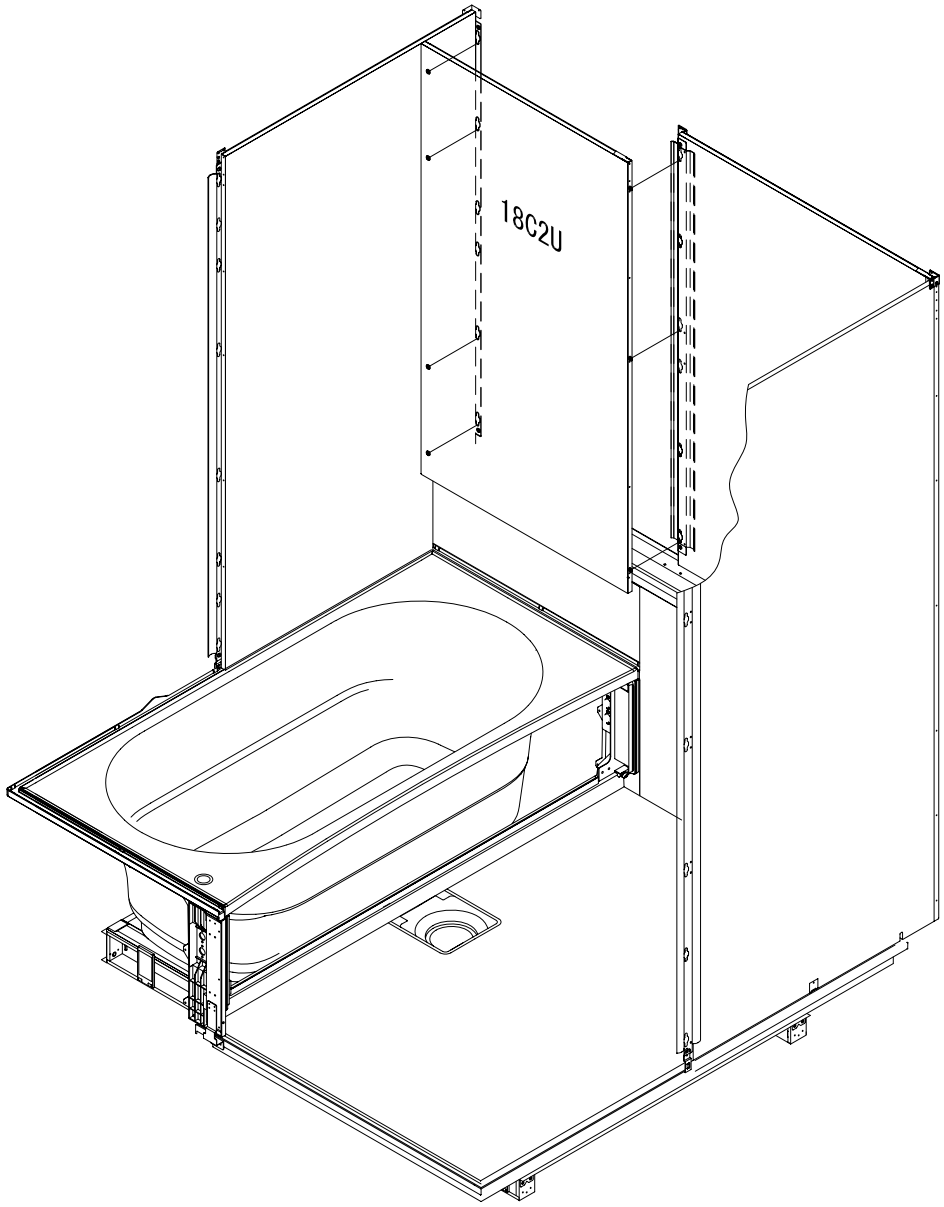






(11) 18C2Uパネルの組付

・１８Ｃ２Ｕのパネルフックネジを両隣のパネルのチャンネル切り欠き部
すべてに引っ掛ける。



以降の作業は、1620サイズのパネル組付方法を
参照し設置を完了させて下さい。

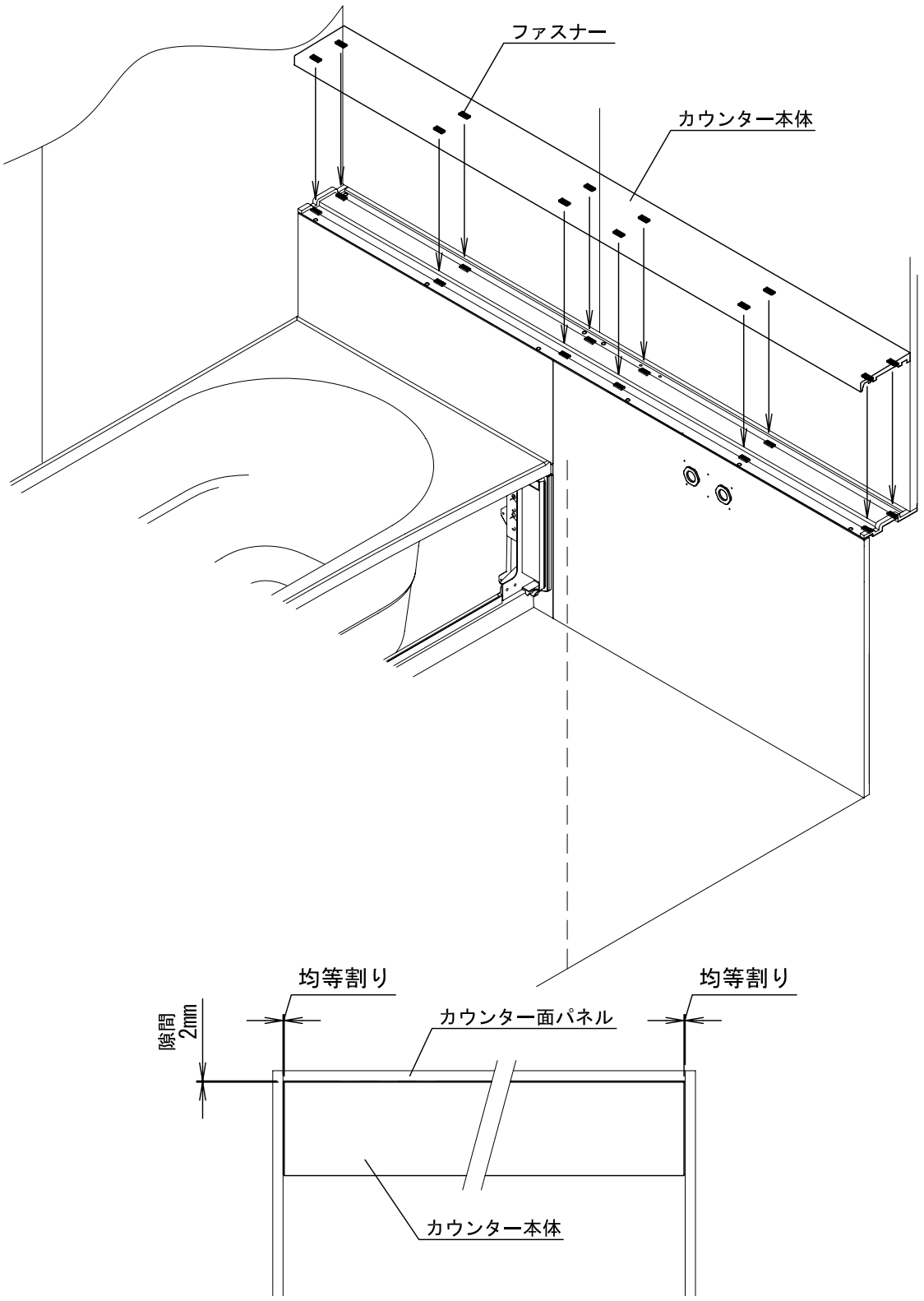
3. 18カウンターの組付け手順

１．１８カウンターの組付け

（１）カウンターの取付

・カウンター受け桟側に取り付けられたファスナーとカウンター側に取り付けられたファスナーが合うように取り付ける。

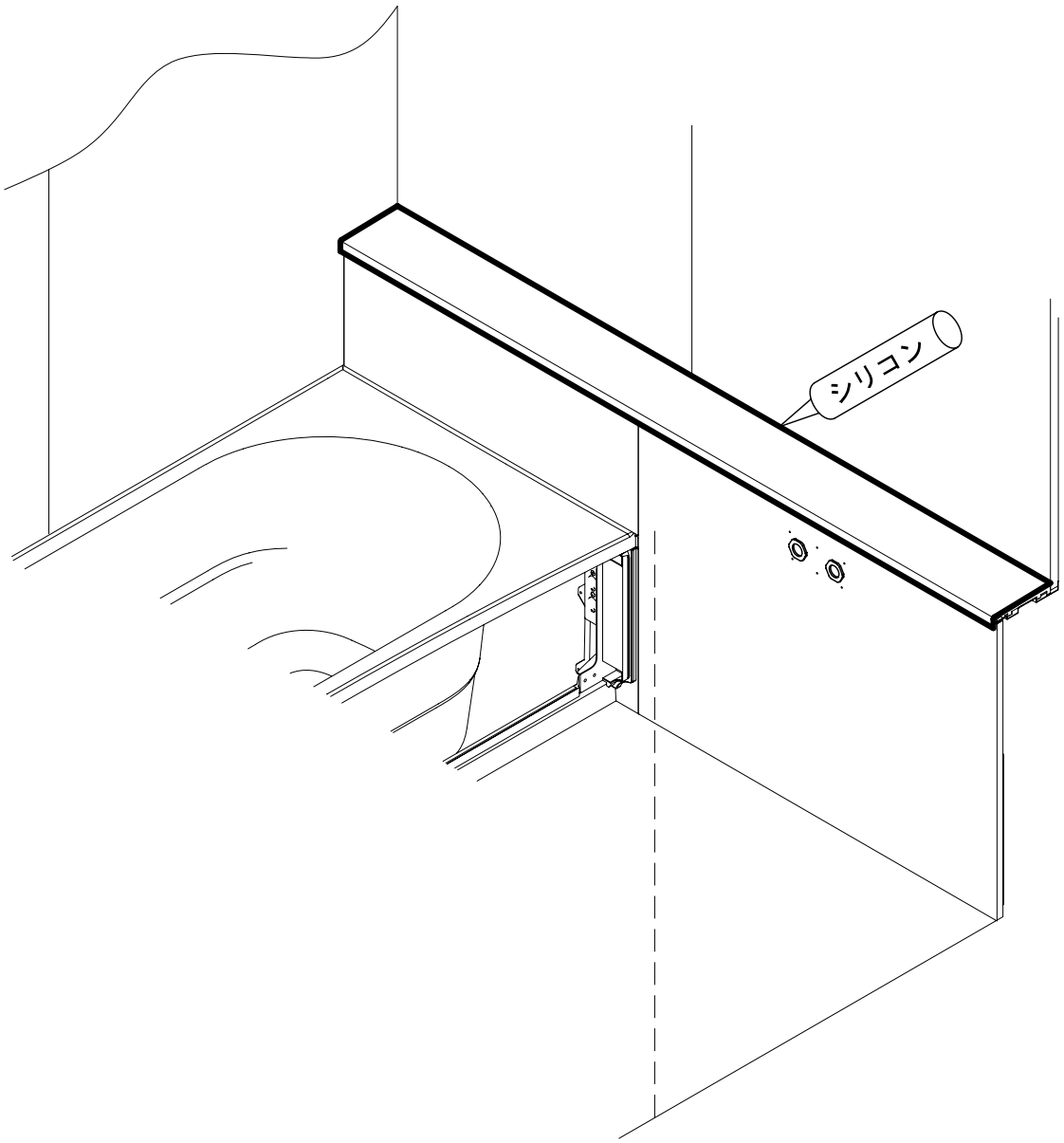
※カウンター面パネルとカウンターの隙間は２ｍｍ、両サイドの隙間は均等になるようにする。



(2)シリコンの塗布

下図の太線部に指定色のシリコンを塗布する。

カウンター色	シリコン指定色
ホワイト（W）	ホワイト
ベージュ（D）	クリア
チャコールグレー（CG）	クリア



様

平成　　年　　月　　日

システムバス
給湯機器

完成検査報告書

認定店名		印
設置士名		設置士No.	

下記の通り商品が取付が完了しましたので報告します。

現場名		号地・部屋番号		完了日	平成　年　月　日
所在地				取付依頼No.	
商品機種		ロットNO.		記事	

	シス		テム	バス	給湯機器
取付内容	標準 フルユニット	換気乾燥機	浴槽循環穴明け	本体設置
		タオル掛け	パネルリモコン穴明け	ブロックベース
	出窓	ハンドバー	パネル貫通金具穴明け	壁ハツリ
	ドーム天井	給水給湯管	循環金具付け	循環チューブ
	引戸	収納ケース	フレキ管付け	浴槽循環穴明け
	ブラインド	パネル窓開口	ヘルシージェット	オイルタンク
	フリー窓枠	パネル換気扇開口	ブロックベース	メインリモコン
	窓サッシ現場支給	パネル梁欠き加工	吊金具	メインケーブル
				フロリモコン
				フロケーブル
	その他　（商品） オプション			

完成検査結果	検査事項		検査事項	判定基準	結果	記事
	外観の状態	1	浴槽	傷・凹み等重大な損傷はないか	良・否	
		2	洗場・水栓		良・否	
		3	壁パネル・天井		良・否	
		4	ドア・窓		良・否	
		5	給湯機器・ジェットポンプ		良・否	
		6	その他付属品		良・否	
		7	目地・コーナー部	目地・隙間は均等か、コーキングの不揃い	良・否	
	据付・固定状態	1	ハーフユニット部	がたつきなく基礎に設置されているか	良・否	
		2	上部ユニット（パネル部）	接合部は正常か、垂直度は出ているか	良・否	
		3	洗い場	がたつき・きしみはないか	良・否	
		4	本体接合部	密着しているか、固定不良はないか	良・否	
		5	ドア・窓・付属品・ハンドバー	水平・垂直度、固定不良はないか	良・否	
		6	給湯機器・ジェットポンプ	水平・垂直度、がたつきはないか	良・否	
		7	リモコン・ケーブル	指示された場所に正しく設置、接続されているか	良・否	
	漏水	1	トラップ・排水口（フラットを含む）	浮き、がたつき、漏水はないか	良・否	水圧テスト kgf/cm² 分
		2	本体接合部	固定不良、コーキングは正常か	良・否	
		3	給湯機・ジェットポンプ	給湯機器及び配管の接続は確実にされているか	良・否	

御客様へ

上記の商品につきまして取付及び、完成検査を完了しましたので、報告書を添えて御引渡させていただきます。
後刻、不都合な点が見つかりましたらタカラスタンダード（株）の最寄りの事業所まで、ご連絡ください。

取扱説明書引渡し	1	施主様、現場責任者様、販売店様へ手渡しました。	完了・未完	部
		現場不在により、所定の場所に収納しました。	完了・未完	
	2	後日引渡しの為、回収しました。	完了・未完	
施工完了証貼付	必要事項を記入し、所定の場所に貼付けました。		完了・未完	枚
シリーズシール貼付	必要事項を記入し、所定の場所に貼付けました。		完了・未完	枚

[特記事項]

[ご確認者]

項目	現場責任者(工務店)様	販売店様	施主様
店名			
氏名	印	印	印

	不在の為、サイン受領できず